ECLIPSE

取扱説明書



AVN660HDmkⅡ

HDDナビゲーション内蔵 HDD/DVD/地上デジタルTV 7.0 AVシステム

お買い上げいただき、ありがとうございます。
正しくご使用いただくために、この「取扱説明書」をよくお読みください。
また、お読みになった後も必要なときに
すぐご覧になれるよう大切に保管してください。

FUJITSU TEN

この取扱説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。

取り扱い上のご注意

測位状態が安定してから走行する

- GPSマークが表示されてから走行してください。測位状態が不十分なときに走り出すと自車位置がずれる場合があります。

走行中は、一部の細街路を消去します

- 安全のため、走行中は細街路を地図に表示しません。（ただし、細街路を走行している場合は除きます）

※本書の画面と実際の画面は、地図データの作成時期・種類などによって異なることがあります。

⚠ 警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

⚠ 注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機のために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。

⚠ 重要

機器の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと
機器が故障したときにしていただきたいこと

ワンポイント

知っておいていただきたいこと

チェック

操作する前に知っておいていただきたいこと

- **製品に添付されている各種説明書や保証書などは必ずお読みください。これらの指示を守らなかったことによる不具合に対しては、当社は責任を負いかねます。**
- **仕様変更などにより、本書の内容と本機が一致しない場合もありますのでご了承ください。**

本書はやさしく取り扱ってください。
無理に広げたり引っ張ったりするとページがバラバラになってしまう場合があります。
やさしい取り扱いをお願いします。

⚠ 注意

表示画面のタッチスイッチ内側に結露が発生した場合、正しく動作しないことがありますので無理に使用せず、結露がなくなるまで操作をしないようにしてください。

お使いになる前に 24

ナビゲーション 79

SECTION 1 | はじめに 80
SECTION 2 | 基本操作 83
SECTION 3 | ナビゲーション案内 157
SECTION 4 | 地点の登録 220
SECTION 5 | VICS・渋滞考慮機能 236
SECTION 6 | 情報機能 258
SECTION 7 | オプション機能 279
SECTION 8 | こんなときは 304

オーディオ・ビジュアル 317

SECTION Ⅰ | はじめに 318
SECTION Ⅱ | 基本操作 324
SECTION Ⅲ | オーディオの操作 343
SECTION Ⅳ | MUSIC JUKEの操作 377
SECTION Ⅴ | ビジュアルの操作 425
SECTION Ⅵ | ポータブルオーディオ機器接続時の操作 475
SECTION Ⅶ | マルチウィンドウの操作 492

ハンズフリー 495

SECTION 1 | はじめに 496
SECTION 2 | ハンズフリーの準備 499
SECTION 3 | 基本操作 504
SECTION 4 | 設定・編集 513

ご参考に 527

目次一覧

お使いになる前に

1.安全上のご注意 24

2.本書の見方 28

3.特長 30

4.本機について 37

各部の名称と操作 37

パネルスイッチ 37

タッチスイッチ 38

タッチスイッチの操作について 39

電源の入れ方・切り方 39

本機の電源を入れる 40

オーディオの電源を切る 40

ディスクの出し入れ 40

各ディスク（CD・DVD）の入れ方 40

各ディスク（CD・DVD）の出し方 43

USBメモリの接続（取りはずし） 44

ディスプレイの角度調整 44

液晶パネルについて 45

本機のモードについて 46

本機の作動条件について 47

各モードの呼び出し 48

MENU画面 48

ナビゲーション画面 48

オーディオ操作画面 48

オンスクリーン表示について 48

5.E-iSERVについて 49

E-iSERVへのアクセスについて ... 49

赤外線通信について 50

モクテキチネット、Pic-CLIPの赤外線通信を行う場合 50

助手席リモコンの赤外線通信を行う場合 51

Bluetooth通信について 51

6.本機の設定 52

操作音の設定 52

ナビゲーション音声の出力位置切り替え 52

壁紙（Pic-CLIP）の設定 53

壁紙を切り替える 53

お好みの画像データに書き換える 54

携帯電話に保存した画像データを壁紙に設定する 55

携帯電話の操作 55

本機の操作 56

使用できる画像データについて 57

パソコンなどからUSBメモリに記録する場合 57

パソコンなどからCD-R/RWに書き込む場合 57

携帯電話から送信する場合 58

画像データを保存する 58

同じ名称のデータが存在している場合 59

HDDの容量が足りない場合 59

画像データを消去する 60

オープニング画面の設定 60

オープニング画面を切り替える 60

お好みの画像データに書き換える 61

携帯電話に保存した画像データをオープニング画面に設定する 63

携帯電話の操作 63

本機の操作 63

使用できる画像データについて 65
パソコンなどからUSBメモリに記録する場合 65
パソコンなどからCD-R/RWに書き込む場合 65
携帯電話から送信する場合 66
画面の調整・設定 66
画質調整画面を表示する 66
夜画・昼画表示に切り替える 67
画面を消す 67
画質の調整 67
色合い（映像画面時のみ）.....67
色の濃さ（映像画面時のみ）.....67
コントラスト 67
明るさ 68
画質の補正（Vivid View）.....68
ラジオアンテナの設定 68
ESNの設定 70
ESN設定画面を表示する 70
ESNを作動する 71
ESNのロックを解除する 72
ESNを解除する 73
ACCセキュリティを作動する 74
ACCセキュリティのロックを解除する 74
ACCセキュリティを解除する 75
暗証番号を変更する 75
セキュリティインジケータの表示を設定する 76
個人情報の初期化 76

ナビゲーション

1.はじめに

1.GPSボイスナビゲーションについて 80
GPSボイスナビゲーションをお使いになる前に 80
ナビゲーション画面の見方 80

2.基本操作

1.ナビメニュー画面・リスト画面について 83
ナビメニュー画面 83
リスト画面の切り替え方 86
▲・▼の切り替え表示 86
前・次の切り替え表示 86
50音順の切り替え表示 86
行の切り替え表示 86
英数字の切り替え表示 86
ページの切り替え表示 86
マークの切り替え表示 87
種類の切り替え表示 87
地域の切り替え表示 87
施設項目の切り替え表示 87
文字の表示範囲の切り替え方 88
2.画面の調整・音声の設定 89
地図の表示色の切り替え 89
地図の名称（文字）サイズの切り替え 89
画面切り替え時の動画表現の設定 90
時計表示の切り替え 90

音量の設定 91
音量を調節する 91
高速走行時の自動音量切り替えを設定する 91
操作説明音声（ボイスヘルプ）の設定 92
操作説明音声を設定する 92
ハートフル音声の設定 92
ハートフル音声を設定する 92
3.地図の表示 94
現在地の表示 94
地図の移動（ワンタッチスクロール） 94
地図の移動 95
スクロール時の地名表示を設定する 95
タッチスイッチの表示切り替え 96
タッチスイッチの表示を切り替える 96
タッチスイッチの表示を設定する 96
ショートカットスイッチ表示の設定 97
ショートカットスイッチを設定・表示する 97
ショートカットスイッチの設定・表示を解除する 97
地図縮尺の切り替え 99
希望の縮尺に切り替える 99
目的地までの縮尺に切り替える 100
縮尺切替メッセージ表示を設定する 100
市街図の表示 101
市街図表示に切り替える 101
市街図の縮尺を切り替える 102
市街図表示を解除する 102
施設の内容を表示する（ビルディングクイックサーチ） 102
走行軌跡の表示 103
走行軌跡を表示する 103
走行軌跡の消去・表示解除をする 103
地図向きの切り替え 104
地図の向きを切り替える 104
フロントワイド表示の切り替え ... 105
フロントワイド表示を設定する 105
2画面表示の切り替え（Wサイトナビ） 106
2画面表示に切り替える 106
右画面を操作する 107
2画面表示を解除する 107
シティドライブモード画面 108
シティドライブモード画面を操作する 109
シティドライブモード画面を解除する 109
高速路線マップ 110
高速道路を走行中の場合 110
高速路線マップの縮尺を切り替える 110
高速路線マップの自動表示を設定する 111
高速路線マップ表示を解除する 111
一般道路を走行中の場合 112
高速路線マップに表示を切り替える 112
駐車場マップ 112
駐車場マップの自動表示を設定する 112
駐車場マップを解除する 113

3D表示の設定 113
3D表示に切り替える 113
バーチャタウンマップを表示する 114
バーチャタウンマップの視点を調整する 114
見下ろす角度を調整する 115
バーチャタウンマップのビル表示を設定する 115
バーチャタウンマップのビル表示の高さを設定する 116
地図向きを回転する 116
ルート方向アップ表示を設定する 117
3D表示、バーチャタウンマップを解除する 117
リアルワイドマップ 118
リアルワイドマップ表示を設定する 118
行政区域塗り分け表示を設定する 119
シーズンレジャーランドマークの表示 119
シーズンレジャーランドマーク表示を設定する 119
3Dランドマークの表示 120
3Dランドマークの表示を設定する 120
3Dランドマークの内容を表示する 121
交通事故多発区間警告の設定 121
交通事故多発区間警告を設定する 121
道路形状警告（踏切警告・合流警告・カーブ警告・レーン警告）の設定 122
道路形状警告を設定する 122
県境案内の設定 123
県境案内表示を設定する 123
施設の表示 124
走行中に簡易操作で表示する 124
施設ランドマークを消去する 125
複数ジャンルを表示する 125
周辺の施設を検索する 126
ルートを考慮したリストを表示する 127
施設の情報を表示する（クイックサーチ） 128
周辺施設走行中呼び出しジャンルの変更 128
4.ロケーションサーチについて 130
周辺情報の検索 130
5.地図の呼び出し方法 131
50音・名称で地図を呼び出す 133
漢字・カタカナ・英数字を入力する 135
漢字を入力するには 136
エリア別で絞り込みする場合 137
県別から絞り込むとき 137
地域から絞り込むとき 139
施設ジャンル別で絞り込みする場合 140
主要施設で地図を呼び出す 141
住所で地図を呼び出す 143
メモリ地点で地図を呼び出す 144
履歴で地図を呼び出す 145
電話番号で地図を呼び出す 145
郵便番号で地図を呼び出す 147

ジャンルで地図を呼び出す 147
エリアを指定して施設を表示する 148
マップコードで地図を呼び出す... 150
赤外線通信で地図を呼び出す 150
携帯電話の操作 151
本機の操作 151
Bluetooth通信で地図を呼び出す 152
携帯電話の操作 152
本機の操作 152
6.呼び出した地図の操作 153
表示した地図の操作 153
ピンポイントで検索できたとき 153
ピンポイントで検索できないとき 153
位置の変更 154
施設内容の表示 154
提携駐車場の検索 154
住所の検索 155
住所一覧から検索する 155
周辺住所から検索する 155

3.ナビゲーション案内

1.目的地設定・ルート探索について 157
2.目的地を設定してルート探索 158
目的地の設定 158
地図スクロールから設定する 158
登録地点から設定する 159
地図の呼び出し方法から設定する 160
ルート探索 161
ルート学習探索 162
ルート学習を設定する 162
ルート学習結果を消去する 163
渋滞考慮ルート探索 163
渋滞考慮探索を設定する 163
全ルート図表示 164
ルートの表示について 164
細街路の表示について 165
全ルート図の表示・タッチスイッチについて 166
表示について 166
タッチスイッチについて 166
季節規制区間の表示・回避 167
季節規制区間を回避する 167
季節規制区間メッセージ表示を設定する 168
ルート情報（案内道路情報）の表示 168
5ルート同時表示（5ルート探索機能） 169
3.探索ルートの変更 171
目的地の追加 172
区間別探索条件の変更 174
目的地の並び替え 175
目的地の消去 176
ルート変更スイッチから消去する 176
MENUスイッチから消去する 176
地図画面から消去する 177
乗降インターチェンジ（IC）の指定 178

インターチェンジ（IC）
指定の解除 179
通過道路の指定 180
全ルート図画面から指定する 180
ルート変更スイッチから
指定する 181
通過道路指定の修正 182
通過道路指定の解除 183
4.目的地履歴（ラストゴール
メモリー）に
ついて 184
目的地履歴（ラストゴール
メモリー）の消去 184
5.目的地案内の開始・中止・
再開 185
案内の開始 185
案内の中止・再開 185
デモンストレーション（デモ）.... 185
6.目的地案内について 187
交差点・側道・レーン（車線）
案内 187
分岐しない交差点について 187
分岐する交差点（交差点拡大図）
について 187
交差点拡大図の自動表示を
設定する 188
交差点拡大図を解除する 188
拡大解除スイッチから
解除する 188
案内図替スイッチから
解除する 188
3Dイラスト拡大図について 189
立体交差点拡大図について 189
難交差点拡大図について 189
リアル交差点拡大図について 189
リアル交差点拡大図の
自動表示を設定する 190
3D 交差点拡大図について 190
3D 交差点拡大図を設定する ... 190
側道案内拡大図について 191
側道案内拡大図を解除する 191
拡大解除スイッチから
解除する 191
案内図替スイッチから
解除する 191
レーン（車線）リスト図表示
（ハイパーレーン
アシスト）について 192
レーンリスト自動表示を
設定する 192
レーンリスト図を解除する 193
細街路の案内 193
細街路での自動２画面表示を
設定する 194
フェリー航路の案内 194
到着予想時刻表示の設定 194
アナログ／デジタル表示を
切り替える 195
平均車速を設定する 195
料金案内 196
料金案内表示を設定する 196
車両情報を設定する 197
料金所レーン案内 198
料金所レーン案内図の自動表示を
設定する 199
料金所レーン案内図を解除する 199
拡大解除スイッチから
解除する 199
案内図替スイッチから
解除する 199

ターンリスト図案内 201
ターンリスト自動表示を設定する 201
ターンリスト図を解除する 202
一般道路走行中に解除する 202
高速道路走行中に解除する 202
高速分岐案内（ジャンクションレーンアシスト）..... 203
高速分岐模式図の自動表示を設定する 203
高速分岐模式図を解除する 204
拡大解除スイッチから解除する 204
案内図替スイッチから解除する 204
都市高速マップ 205
都市高速マップの自動表示を設定する 205
都市高速マップ表示を解除する 206
音声案内 206
自動音声案内を設定する 208
交差点目印案内を設定する 208
他モードでの案内 209
7.案内ルートの操作 210
全ルート図の再表示 210
到着予想時刻／残距離表示の切り替え 210
オンルートスクロール 210
オンルートスクロールを開始する 211
オンルートスクロールの施設を設定する 211
オンルートスクロール画面の操作について 211
次の目的地までの場合 212
次の施設までの場合 212
8.ルートの再探索 213
ルートの再探索について 213
タッチスイッチ一覧 214
ルートの再探索 216
自動再探索（ハイパーリルート）..... 216
自動再探索を設定する 217
9.目的地の予約 218
目的地予約の設定 218
目的地予約の案内 219
目的地予約の消去 219
4.地点の登録
1.地点の登録とは 220
2.メモリ地点の登録・修正・消去 222
メモリ地点の登録 222
ワンタッチで登録する 222
離れた場所を登録する 222
メモリ地点の修正・入力 223
MENUスイッチからメモリ地点修正画面を表示する 223
地図画面からメモリ地点修正画面を表示する 224
メモリ地点の種別（自宅・特別メモリ）を変更する 224
自宅、特別メモリ地点を解除する 225
メモリ地点のマークを変更する 225
方向付きを設定する場合 227
メモリ地点の名称を入力する 227

ひらがな・漢字を
入力するには 228
メモリ地点の名称を表示する 229
メモリ地点の名称読みを
入力する 229
メモリ地点の位置を修正する 230
メモリ地点の電話番号を
入力する 231
メモリ地点の消去 231
MENUスイッチから消去する 231
地図画面から消去する 232
**3.迂回メモリ地点の登録・修正・
消去 233**
迂回メモリ地点の登録 233
迂回メモリ地点の修正 234
迂回メモリ地点の消去 235
5.VICS・渋滞考慮機能
1.VICS情報について 236
VICSとは 236
VICSのメディア概要 237
VICS特有の事項 238
FM多重放送特有の事項 238
電波ビーコン特有の事項 238
光ビーコン特有の事項 239
**VICS情報提供内容と
表示について 239**
レベル1 239
レベル2 239
レベル3 240
2.放送局の受信 241
VICS提供放送局の選択 241
自動で選択する 241
エリアで選択する 242
周波数を手動で選択する 242
3.VICS情報の表示・案内 244
VICS情報表示の設定 244
VICS表示道路色を切り替える 244
VICS情報の表示 246
VICS情報を地図表示する 247
VICSマークの内容表示について ... 247
VICS情報を消去する 247
渋滞・規制音声案内 248
渋滞・規制の音声自動発声を
設定する 248
渋滞・規制を音声で案内する 248
VICS図形情報の表示 249
VICS文字情報の表示 250
**地図に表示されるVICS表示
マークについて 251**
VICSの用語説明 252
VICSの問い合わせ先 252
4.渋滞考慮機能について 253
渋滞考慮とは 253
5.交通データ情報の表示 254
交通データ情報表示の設定 254
交通データ情報の表示 254
6.交通状況学習機能 256
交通状況学習機能とは 256
交通状況学習結果の表示 256
交通状況学習結果の消去 256

6.情報機能

1.情報メニュー画面について.... 258

情報メニュー画面 258
タッチスイッチ一覧 259

2.FM多重放送 260

FM多重放送の番組について 260
FM多重放送の表示 260
放送局の切り替え 260
番組の切り替え 261
独立情報番組のページ送り 261
連動情報番組の文字情報を繰り返し見る 262
文字情報の記録・呼び出し・消去 262
記録する 262
呼び出す 262
消去する 262

3.メンテナンス機能 264

メンテナンスメニュー画面 264
メンテナンス時期の設定 264
メンテナンス案内の設定 266
メンテナンスの案内 267
メンテナンス設定の更新 267
メンテナンス設定の消去 268
販売店の設定 268
販売店の修正・消去 269

4.SYSTEM CHECK機能 270

SYSTEM CHECK画面の表示 ... 270

5.スポットインフォメーション（情報付施設）の検索 271

情報付施設の検索・表示・編集 ...271
ブラウザ画面を操作する 271
ブラウザ画面をブックマークに登録する 272
ブックマークを呼び出す 272
ブックマークを編集する 272
ブックマークを削除する 273
ソフトウェアキーボードの使い方 273
ソフトウェアキーボード画面 274
かな・漢字入力画面 274
英字・数字入力画面 274
定型文入力画面 274
カタカナ入力画面 274
数字・記号入力画面 274
履歴入力画面 275
漢字に変換するには 276
入力したい漢字に変換されないときは 276

6.カレンダー機能 278

カレンダー画面の表示 278

7.オプション機能

1.2メディア/3レベル対応VICSユニットの操作 279

2メディア/3レベル対応VICSユニットの構成 279

割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示 280

割り込み情報の表示を設定する 280

割り込み情報の表示時間を調整する 281

割り込み情報を呼び出す 281

渋滞考慮探索 282

2.ETCシステムの操作 283

ETC車載器を初めて使う 283

車両情報などをETC車載器に登録する（セットアップ） 283

ETCカードを入手する 283

ETCとは 284

ETCメニュー画面 285

走行中の表示 285

ETCレーンの通過案内 286

ETCレーン（精算用）通過時 286

履歴の表示 286

登録情報の表示 287

ETCの設定 287

ETCの各項目を設定する 287

3.バックアイカメラの操作 288

バックアイカメラの映像を映す 289

ガイド線の設定・調整 289

画面の見方について 291

ガイド線の見方 291

ガイド線表示の解除 291

視点の切り替え 292

バックアイカメラの初期設定をする 292

視点を切り替える 293

4.フロントアイカメラの操作 294

フロントアイカメラの映像について 294

フロントアイカメラ映像の切り替え 296

手動で表示する 296

自動で表示する 296

5.Bluetoothユニットの操作 298

Bluetoothユニットの構成 298

Bluetooth機器の登録（カンタンペアリング） 299

Bluetooth接続中の表示について 301

受信レベル表示 301

電池残量表示 302

Bluetooth接続状態表示 302

お車を手放すとき 303

8.こんなときは

1.補正が必要なとき 304

現在地の修正 304

距離の補正 305

自動補正するとき 306

手動補正するとき 306

2.ナビゲーションの設定を記憶したいとき 307
記憶することのできる設定項目...307
ナビゲーション設定の記憶 307
記憶の呼び出し 308
名称の変更 308
ナビゲーション設定の記憶の消去 308
3.地図データの情報 310
地図データの情報表示 310
4.車速情報の表示 311
車速情報の表示 311
5.精度と誤差 312
測位精度について 312
GPS衛星の電波の性質と受信状態について 312
現在地表示の誤差について 312
タイヤによる誤差について 313
マップマッチングによる自車位置検出の補正について 313
現在地表示、ルート案内の精度について 314
道路、地名データについて 315
ルート案内について 315

オーディオ・ビジュアル

Ⅰ.はじめに

1.ご使用になる前に 318
ディスクについて 319
地上デジタルTV放送について ...323

Ⅱ.基本操作

1.ソースの切り替え方 324
ソースを切り替える 324
パネルスイッチから切り替える 324
タッチスイッチから切り替える 325
操作画面の表示 325
2.各ソースの操作画面 326
3.音の調整 328
主音量の調整 328
4.音質の調整 329
音質調整画面の表示 329
SFC（音場）の設定 330
SFC（音場）の調整、記憶 330
SFC（音場）レベルをリセットする 330
LOUDNESSの設定 330
音質補正の設定（ハーモナイザー）.....331
EQ（イコライザ）の調整 332
イコライザカーブを選択する 332
イコライザカーブの調整、記憶 334

イコライザの調整値の呼び出し 335
EQカーブをリセットする 335
POS（ポジショニングセレクター）の調整 335
ポジションを設定する 335
ボデータイプとツィーターを設定する 336
FADER BALANCE（音量バランス）の調整 337
サブウーファの設定 337
出力方式を設定する 337
位相を切り替える 338
サブウーファレベルを設定する 338
X-OVER(クロスオーバ)を設定する 339
5.画面の設定 341
タッチスイッチの設定 341
画面スイッチの表示切り替えについて 341
機能スイッチの表示について 341
画面モード切り替え 341

Ⅲ.オーディオの操作

1.ラジオの使い方 343
ラジオを聞く 343
聞きたい放送局を選ぶ 343
手動で選ぶ 343
自動で選ぶ 343
プリセットスイッチから選ぶ 343
放送局を記憶する 343
マニュアル（手動）で記憶する 344
AUTO.P（自動）で記憶する 344
AUTO.Pで記憶した放送局を変更する 345
エリアスイッチについて 345
局名スイッチについて 345
ラジオを止める 345
2.CDプレーヤーの使い方 346
CDを聞く 346
聞きたい曲を選ぶ 346
早送り・早戻しする 346
聞きたい曲を探す 347
同じ曲を繰り返し聞く 347
曲の順番をランダムに聞く 347
携帯電話でアルバム情報を見る ...347
CDを止める 348
3.MP3/WMAプレーヤーの使い方 349
MP3/WMAを聞く 350
聞きたいフォルダを選ぶ 350
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 350
フォルダ・ファイル選択スイッチから選ぶ 350
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 350
早送り・早戻しする 350
1つ上の階層を表示する 351
現在の階層を表示する 351
聞きたい音楽ファイルを探す 351
同じ音楽ファイルを繰り返して聞く 351
順番をランダムに聞く 351
音楽ファイル情報などを表示する 352
MP3/WMAを止める 352
MP3/WMAについて 353

再生可能なMP3ファイルの規格について 353
再生可能なWMAファイルの規格について 353
ID3タグ/WMAタグについて 354
使用できるメディアについて 354
使用できるディスクのフォーマットについて 355
ファイル名について 356
CD-R、CD-RWについて 357
MP3/WMAの再生について 357
MP3/WMAの演奏時間表示について 357
MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番 357
MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方 358
インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合 358
音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合 358
CD-R/RWに書き込む場合 358
4.USB AUDIOの使い方 359
USB AUDIOを聞く 360
聞きたいフォルダを選ぶ 360
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 360
フォルダ・ファイル選択スイッチから選ぶ 360
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 360
早送り・早戻しする 360
1つ上の階層を表示する 360
現在の階層を表示する 361
聞きたい音楽ファイルを繰り返し聞く 361
いま聞いているファイルを繰り返し再生する 361
いま聞いているフォルダを繰り返し再生する 361
音楽ファイルの順番をランダムに聞く 361
いま聞いているフォルダの階層からランダムに再生する 361
全てのファイルをランダムに再生する 362
音楽ファイル情報などを表示する 362
USB AUDIOを止める 362
音楽ファイルを本機に転送する ... 363
全ての音楽ファイルを転送する（一括転送）..... 364
曲を選んで転送する（カスタム転送）..... 364
再生していた曲を転送する（先程の再生曲を転送）... 366
MP3/WMAについて 367
再生可能なMP3ファイルの規格について 367
再生可能なWMAファイルの規格について 367
ID3タグ/WMAタグについて 368
使用できるメディアについて 368
使用できるメディアのファイルフォーマットについて ... 369
ファイル名について 370
MP3/WMAの再生について 370
MP3/WMAの演奏時間表示について 371
MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番 371
MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方 371

インターネット上のMP3/WMA
音楽配信サイトから
入手する場合 371
音楽CDからMP3/WMAファイル
に変換する場合 371
メディアに書き込む場合 371

5.MUSIC JUKE plusの
使い方 372

MUSIC JUKE plusを聞く 373
聞きたいフォルダを選ぶ 373
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 373
フォルダ・ファイル選択
スイッチから選ぶ 373
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 373
早送り・早戻しする 373
1つ上の階層を表示する 374
現在の階層を表示する 374
聞きたい音楽ファイルを
繰り返し聞く 374
いま聞いているファイルを
繰り返し再生する 374
いま聞いているフォルダを
繰り返し再生する 374
音楽ファイルの順番を
ランダムに聞く 375
いま聞いているフォルダの階層から
ランダムに再生する 375
全てのファイルをランダムに
再生する 375
音楽ファイル情報などを
表示する 375
MUSIC JUKE plusを止める 375
ハードディスクの容量確認 375
音楽ファイルを削除する 376
MP3/WMAについて 376
MP3/WMAファイル、フォルダ
のリスト表示順番 376

Ⅳ.MUSIC JUKEの操作

1.MUSIC JUKEをお使いに
なる前に 377

MUSIC JUKEの概要 377
MUSIC JUKEの構成について 377
プレイモード・
プレイリストについて 378
データベースについて 379
Gracenoteメディアデータ
ベースについて 379
メディアクリックデータベース
（MCDB）について 380
オートタイトリング
機能について 381
ジャケット写真について 382
データベース情報の
表示について 382
データベースの更新について 383
Gracenoteメディアデータ
ベースを更新する 383
メディアクリックのデータ
ベースを更新する 384
タイトル情報の受信について 385
タイトル情報の受信について 385
タイトル情報の保存について 385
タイトル情報の表示について 386
タイトル情報の受信 386
タイトル情報の表示 386
CDタイトルを表示する 386
CDタイトル画面の見方 387
CD情報インジケータの表示を
設定する 388

新譜情報を表示する 388
情報メニュー画面から確認する 388
新譜情報受信メッセージ画面から確認する 389
新譜情報受信メッセージの表示を設定する 390
携帯電話で新譜情報を見る 390
タイトル情報の更新 391
CDタイトルを更新する 391
新譜情報を更新する 392
ハードディスクの容量確認 392
操作の流れについて 394
2.MUSIC JUKEへの録音 395
MUSIC JUKEへの録音について 395
録音についての注意 396
録音モードの設定 396
MUSIC JUKEへの録音 398
CDを再生しながら自動で録音する 399
録音画面の見方 399
CDの中からお好みのトラック（曲）を録音する 399
3.MUSIC JUKEの使い方 401
MUSIC JUKEを聞く 401
表示・再生について 402
再生中のプレイリストの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ 402
選曲・頭出しスイッチから選ぶ 402
トラック切り替えスイッチから選ぶ 402
プレイモード・プレイリストから聞きたいトラック（曲）を選ぶ 402
“AGENT”から選ぶ 404
早送り・早戻しする 405
聞きたいトラック（曲）を探す ...405
プレイリストの中から聞きたい曲を探す 405
プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す 406
聞きたいトラック（曲）を繰り返し聞く 406
いま聞いている曲を繰り返し再生する 406
いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する 406
トラック（曲）の順番をランダムに聞く 406
いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する 406
全てのトラック(曲)をランダムに再生する 407
トラック（曲）情報などを表示する 407
携帯電話でアルバム情報を見る ...407
MUSIC JUKEを止める 408
4.プレイリストの編集 409
マイセレクトへのプレイリストの作成 ...409
プレイリストを作成する 409
作成したプレイリストにトラックを追加する 410
プレイリストの名称入力 412
カナ、英字、数・記号の入力 413
プレイリスト名称の編集 413

ジャケット写真の表示を設定する 415
タイトル情報の再取得 415
プレイリストの並び替え 416
お好みに合わせて並び替える 416
作成した順番に並び替える 417
プレイリストの削除 417
5. トラックの編集 419
トラック情報の編集 419
トラック編集画面の呼び出し 419
トラックタイトルを変更する 420
アーティストを変更する 420
ジャンルを変更する 421
トラックの消去 422

Ⅴ.ビジュアルの操作

1.DTVをお使いになる前に 425
B-CASカードについて 426
取り扱いについての注意 426
B-CASカードに関する問い合せ ... 427
B-CASカードの差し込み・取り出し方について 427
カードスロットカバーを取りはずす 427
B-CASカードを差し込む 428
カードスロットカバーを取り付ける 429
B-CASカードを取り出す 429
初回起動時の設定 429
2.DTVの使い方 430
DTV（地上デジタルTV放送）を見る 430
バンドを切り替える 431
見たいチャンネルを選ぶ 432
地上デジタルTVのチャンネル構成について 432
記憶されたチャンネルから選ぶ 432
パネルスイッチから切り替える 432
タッチスイッチから選ぶ 432
リストから選ぶ 432
受信可能なチャンネルを探して選ぶ 433
見たい番組を選ぶ 433
チャンネルを記憶する 433
手動設定で記憶する 433
自動設定で記憶する 434
エリアスイッチについて 435
音声多重放送を切り替える 435
画面表示・音声の切り替え 436
映像を切り替える 436
音声を切り替える 436
字幕を切り替える 436
緊急警報放送を受信したときは ... 437
DTV（地上デジタルTV放送）を終わる 437
3.EPG（電子番組表）の使い方 438
EPG（電子番組表）を見る 438
見たい番組を探す 438
日付を切り替えて探す 438
チャンネルを切り替えて探す 438
番組を切り替えて探す 439
番組の情報を見る 440

4.データ放送の使い方 441
データ放送を見る 441
データ放送を操作する 441
色ボタン・カーソルの操作について 441
10キー（テンキー）の操作について 442
文字入力の操作について 442
カナ、英数字、数記号の入力 ... 443
5.DTVの設定 445
初期設定画面に切り替える 445
初期設定をする 445
文字スーパーを設定する 445
居住地域を設定する 446
県域から設定する 446
郵便番号から設定する 447
イベントリレーを設定する 447
受信モードを設定する 447
B-CASカードの動作確認 448
B-CASカードの情報を見る 448
B-CASカードの動作確認をする ... 449
6.DVDプレーヤーをお使いになる前に 450
DVDの特長 450
マルチ音声機能について 450
マルチアングル機能について 450
字幕表示機能について 451
ディスクについて 452
再生できるディスクの種類について 452
再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について 452
ディスクに表示されているマークについて 453
ディスクの構成について 454
DVDビデオディスクの構成 454
DVD-VRディスクの構成 454
操作の流れについて 455
7.DVDプレーヤーの使い方 457
DVDを見る 457
映像を操作する 458
映像を再生する 458
早送り・早戻しする 458
パネルスイッチから早送り・早戻しする 458
タッチスイッチから早送り・早戻しする 458
静止画を送る 458
いま見ているチャプターを繰り返し再生する 458
映像を一時止める 459
映像を止める 459
ディスクメニューを操作する 459
画面を直接タッチして操作する 459
タッチスイッチから操作する 460
DVDを止める 460
見たい映像を探す 460
チャプターから探す 461
タイトル番号から探す 461
チャプターから探す 461
プログラム（プレイリスト）から探す 462
スイッチの表示を切り替える 463
タッチスイッチを消す 463
タッチスイッチの表示場所を切り替える 463

画面表示・音声の切り替え 464
アングルを切り替える 464
字幕言語を切り替える 464
音声言語を切り替える 465
音声多重を切り替える 465
DVDプレーヤーの設定 467
音声言語を設定する 468
コードを入力する 468
字幕言語を設定する 468
コードを入力する 468
メニュー言語を設定する 469
コードを入力する 469
マルチアングルマークの表示を設定する 470
視聴制限を設定する 470
映像出力を切り替える 471
言語コード一覧 473
8.VTRの使い方 474
VTRを見る 474
VTR設定画面の切り替え 474
VTRを終わる 474
Ⅵ.ポータブルオーディオ機器接続時の操作
1.iPodプレーヤーの使い方 475
iPodを接続する 476
iPodを取りはずす 476
iPodを聞く・映像を見る 477
早送り・早戻しする 477
再生したい音楽ファイルを選ぶ...478
再生したいファイルをリストから探す 478
音楽ファイルを探す 478
映像ファイルを見る 479
再生中のリストを表示する 479
同じファイルを繰り返し再生する 480
ファイルの順番をランダムに再生する 480
今再生しているリストの中からランダムに再生する 480
リストをランダムに聞く 480
iPodを止める 480
2.Bluetooth AUDIOの使い方 481
Bluetooth AUDIOについて 481
対応Bluetooth仕様および対応プロファイルについて ...481
Bluetooth機器を登録する 482
情報メニュー画面から登録する 482
オーディオ操作画面から登録する 482
Bluetooth機器を接続する 483
自動で接続する 483
手動で接続する 483
Bluetooth AUDIOを聞く 484
早送り・早戻しする 484
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 485
同じ音楽ファイルを繰り返して聞く 485
音楽ファイルの順番をランダムに再生する 485
Bluetooth AUDIOを止める 485
Bluetooth AUDIOの設定 486
Bluetooth機器を切り替える 486
パスキーを変更する 486
自動接続を設定する 487

詳細情報を表示する 487
Bluetooth機器の登録を
削除する 488
3.AUXの使い方 489
ポータブルオーディオを
お使いになる前に 490
ポータブルオーディオを接続する
（取りはずす）.....490
ポータブルオーディオを聞く 491
ポータブルオーディオを終わる...491

Ⅶ.マルチウィンドウの操作

1.マルチウィンドウ機能 492
マルチウィンドウについて 492
マルチウィンドウ画面の表示 492
マルチウィンドウ画面の操作 492
オーディオソースの切り替え 492
画面サイズの調整 492
画面の比率を切り替える 493
全画面に切り替える 493
オーディオ画面の操作 493

ハンズフリー

1.はじめに

1.ご使用になる前に 496
ハンズフリーについて 496
Bluetooth携帯電話について 496
対応Bluetooth仕様および対応
プロファイルについて ...497
ハンズフリーが
使用できないとき 497
ハンズフリー操作について 498
音声について 498

2.ハンズフリーの準備

1.携帯電話の登録 499
携帯電話を登録する 499
情報メニュー画面から登録する 499
携帯電話画面から登録する 499
2.携帯電話の接続 501
携帯電話を自動で接続する 501
Bluetooth接続確認表示 501
自動接続できなかった場合 501
携帯電話を手動で接続する 501
Bluetooth接続の
再接続について 503

3.基本操作

1.電話のかけ方 504
携帯電話画面を表示する 504
ダイヤル発信する 505
電話帳発信する 505

履歴発信する 506
履歴を削除する 507
携帯電話本体から発信する 507
発信を中断する 507
2.電話の受け方 508
電話を受ける 508
着信中画面で操作する 508
電話を保留する（応答保留）..... 509
着信音の音量を調整する 509
着信拒否する 509
3.通話中の操作 510
通話中画面で操作する 510
受話音量を調整する 510
通話を終了する 510
10キー入力する 510
送話音をミュート（消音）する 510
通話を転送する 511
画面で操作する 511
携帯電話本体で操作する 511
4.簡易画面での操作 512
簡易画面について 512

4.設定・編集

1.登録機器の設定 513
使用する携帯電話を選択する 513
電話機詳細情報を表示する 513
携帯電話の登録を削除する 514
2.ハンズフリーメニュー画面について 515
ハンズフリーメニュー画面を表示する 515
3.電話帳の編集 516
携帯電話の電話帳データを転送する 516
電話帳のデータを削除する 517
電話帳のデータを個別に削除する 517
電話帳のデータをすべて削除する 518
4.音量の設定 519
音量の設定をする 519
音量を調整する 519
高速走行時の自動音量切り替えを設定する 519
5.ハンズフリーの設定 520
パスキーを変更する 521
自動接続を設定する 521
ACC-ON時のBluetooth接続確認表示を設定する 521
自動着信応答を設定する 522
着信割り込み表示を設定する 522
電話帳ロックを設定する 522
ロックNo.を設定する 523
電話帳ロックを設定する 524
電話帳ロックを解除する 524
電話帳ロック設定を初期化する 525

ご参考に

1.知っておいていただきたいこと 528

ナビゲーションの機能概要および初期状態について 528

地図表示設定 528
自動表示切替設定 529
案内表示設定 529
音声設定 530
ルート系設定 530
その他 531

こんなメッセージが表示されたときは 532

共通操作関係 532
ナビゲーション関係 533
ETC統一エラーコード一覧 536
オーディオ・ビジュアル関係 537
ハンズフリー関係 541

故障とお考えになる前に 542

共通操作関係 542
ナビゲーション関係 543
オーディオ・ビジュアル関係 546

2.用語説明 549

3.地図データについて 553

地図データについて 553

4.VICS情報有料放送サービス契約約款 554

5.Gracenoteメディアデータベースのご利用について 555

6.FM de TITLEサービス放送局について 556

7.バッテリーの交換時について 557

8.お手入れについて 558

本機のお手入れについて 558
アンテナのお手入れについて 558

9.仕様 559

10.凡例 562

11.索引 563

共通索引 563
ナビゲーション索引 565
オーディオ索引 570
ハンズフリー索引 578

MEMO

1. 安全上のご注意

⚠ 警 告

- ●本機はＤＣ12Ｖ⊖アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24Ｖ車で使用しないでください。火災の原因となります。
- ●ナビゲーションによるルート案内時も、実際の交通規制に従って走行してください。ナビゲーションによるルート案内のみに従って走行すると実際の交通規制に反する可能性があり、交通事故の原因となります。
- ●安全のため、運転者は走行中に操作しないでください。走行中の操作はハンドル操作を誤るなど思わぬ事故につながるおそれがあります。車を停車させてから操作をしてください。なお、走行中に画面を注視しないでください。運転者が走行中、画面を注視することは法律で禁止されています。前方不注意となり事故の原因となります。
- ●運転者は走行中に音量調整などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- ●運転者は走行中にディスクの切り替えをしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- ●運転者は走行中に地点登録・メモリ設定などの操作をしないでください。前方不注意となり事故の原因となりますので、必ず安全な場所に車を停車させてから行ってください。
- ●運転者がテレビやビデオなどを見るときは必ず安全な場所に車を停車し、パーキングブレーキを使用してください。テレビやビデオは安全のため走行中は表示されません。
- ●ディスク差し込み口に異物を入れないでください。火災や感電の原因となります。
- ●本機およびHDD（ハードディスクドライブ）を分解したり、改造しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ●機器内部に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- ●画面が映らない、音が出ないなどの故障状態で使用しないでください。事故、火災、感電の原因となります。
- ●ヒューズを交換する時は、必ず規定容量（アンペア数）のヒューズを使用してください。規定容量を超えるヒューズを使用すると、火災の原因となります。
- ●万一、異物が入った、水がかかった、煙が出る、変な匂いがするなど異常が起こったら、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談してください。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。
- ●雷が鳴りだしたら、アンテナ線や本機に触れないでください。落雷により感電の危険性があります。
- ●本機を使用するために禁止された場所に駐・停車しないでください。
- ●車内に直射日光が差し込んだ場合、製品に光が反射する場合があります。十分に注意して運転頂きますようお願い致します。
- ●運転中は、絶対にヘッドホン・イヤホンを使用しないでください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、交通事故の原因となります。
- ●リモコンを放置しないでください。停車したときやカーブを曲がるときに、リモコンが足元に転がり、ブレーキペダルなどの下に入り込むと運転の妨げとなり交通事故の原因となります。
- ●走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

⚠ 注 意

- ●本機はエンジンスイッチがONまたはACCのとき使用できますが、バッテリー保護のため、エンジンをかけた状態でご使用ください。
- ●本機を車載用以外としては使用しないでください。感電やけがの原因となることがあります。
- ●運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度で使用してください。車外の音が聞こえない状態で運転すると、事故の原因となることがあります。
- ●電源ON時は、ボリュームに注意してください。電源ON時に突然大きな音が出て、聴力障害などの原因となることがあります。
- ●ディスク差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。
- ●ディスプレイの角度調整時に、手や指を挟まないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。
- ●本機の放熱部に手を触れないでください。放熱部の熱でやけどをする場合があります。
- ●本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお求めの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。
- ●音声が割れる、歪むなどの異常状態で使用しないでください。火災の原因となることがあります。
- ●当該液晶ディスプレイパネルは蛍光管が組み込まれていますので、地方自治体の条例、または、規則にしたがって廃棄してください。
- ●極端な高温や低温でのご使用は誤作動や故障の原因となります。とくに夏期は車内が高温になることがありますので、窓を開けるなどして温度を下げてからご使用ください。
- ●本機の中に金属や水が入ったり、強い衝撃が加わると故障の原因となりますのでご注意ください。

⚠ 重 要

ディスク等を取り出すときや、チルト位置を設定する際に、下記に注意してください。

＜A／T車の場合＞

- ・ディスク等を取り出す際、Pレンジで干渉する場合はNレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）
- ・チルト位置を設定する際、Pまたは®、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

＜M／T車の場合＞

- ・ディスク等を取り出す際、1・3・5・®ポジションで干渉する場合はニュートラルに切り替えてから操作してください。但し、走行中は操作しないでください。
- ・チルト位置を設定する際、1・3・5・®ポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

1. 安全上のご注意

📖ワンポイント

●本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。

●著作権保護された番組をビデオデッキなどで録画する際、著作権保護のための機能が働き、正しく録画できません。また、この機能により、再生目的でもビデオデッキを介してモニター出力した場合には画質劣化する場合がありますが、機器の問題ではありません。著作権保護された番組を視聴する場合は本製品とモニターを直接接続してお楽しみください。

●地図データを使用したことにより発生したお客様本人および第三者のいかなる損害にも、弊社はその責任を負いかねます。

●地図データの誤字・脱字・位置ずれ等表記又は内容に関する誤りに対して、取り替え・代金の返却はいたしかねます。

●地図データに含まれる機能がお客様の特定目的に適合することを、弊社は保証するものではありません。

●お客様がハードディスク内に保存したデータは、いかなる記録媒体にも転送できません。

●走行中操作できないものは走行状態になると色がトーンダウンし、操作できません。また、操作できないスイッチにタッチすると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。

●悪路走行中などの振動の激しい場合は、ディスクのデータを読み取れなくなり正常に作動しないことがあります。振動が静まり、しばらくすると正常にもどります。

●気温が低いときにヒーターをつけた直後では、CD及びDVD読み取り部のレンズに露（水滴）が付くこと（結露）があります。このようなときは1時間ほどそのままの状態で放置しておけば結露が取り除かれ、正常に作動するようになります。何時間たっても正常にもどらない場合は、販売店にご相談ください。

●本機をお買いあげ後、初めてご使用になるときや長時間バッテリーをはずしておいた場合などは、現在地を正しく表示しないことがありますが、しばらくするとGPSの測位によって表示位置などが修正されます。

●本機は精密機器であり、静電気、電気的なノイズ、振動等により記録されたデータが消失する場合があります。お買いあげ後、お客様が本機に記録されるデータにつきましては、データ消失の場合にそなえて、別にメモをとるなどして保管してください。

●なお、以下のような場合、保証はいたしかねますので、予めご了承ください。

① 本機の故障、誤作動、または不具合等により、あるいは本機が電気的なノイズの影響等を受けたことにより、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータ等が変化・消失した場合。

② お客様、または第三者が本機の使用を誤ったことにより、ハードディスクドライブ内の地図データや基本プログラム、お客様が本機に記録されたデータ等が変化・消失した場合。

③ 本機の故障・修理に際し、お客様が記録されたハードディスクドライブ内のデータ等が変化・消失した場合。

※ なお、本機を装着もしくはご使用されたときは、上記の内容を承認されたものとみなさせていただきます。

●本機は他の電装品からの電気的ノイズに対して影響を受けにくい構造になっておりますが、強力なノイズを発生する電装品があり、本機のそばで使用された場合、画面の乱れ、雑音等の誤作動をすることがあります。その場合は、原因と思われる電装品の使用をやめてください。

MEMO

2. 本書の見方

セクションタイトル
セクションタイトルを表示しています。

項目タイトル
項目ごとにNo.とタイトルがつけられています。

操作タイトル
操作目的ごとにタイトルがつけられています。

チェック
操作前におこなうことなどを記述しています。

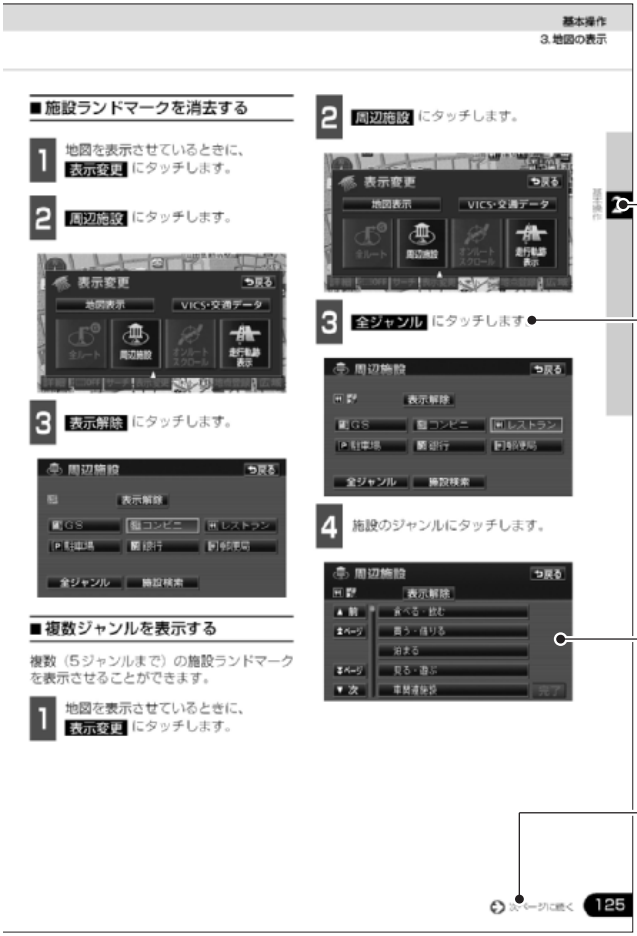
ワンポイント
操作に関連することなどを記述しています。



チェック

本書では、一部を除きオプション機器が接続されている画面で説明しています。

ナビゲーションは、一部を除きノースアップ1画面・2Dのリアルワイドマップ表示の画面で説明しています。また、GPSマーク、VICS情報が表示されていない地図画面を使用しています。



セクション見出し
セクションの見出しを表示しています。

操作手順
操作の内容です。
番号の順に操作してください。

操作画面
操作する画面を表示しています。

次ページに続く
次のページに操作説明が続くことを表示しています。

チェック

スイッチ表示について

パネルスイッチを押すときは、[○○○]（[MAP]・[AV]など）でスイッチ名称を表示しています。
画面のタッチスイッチにタッチするときは、○○○ でスイッチ名称を表示しています。
1つ前の画面にもどすときは、戻る にタッチするとタッチした画面で行った操作がキャンセルされます。（一部の機能では、キャンセルされないものがあります。）

3. 特長

高精度ハイスピードレスポンスを可能にしたHDD（ハードディスクドライブ）

大容量のハードディスクを搭載し、従来のDVD-ROMナビゲーションより各動作の大幅なスピードアップを実現しています。

携帯電話を使って簡単に情報を転送できる赤外線通信機能

（49 ページ参照）

携帯電話の赤外線通信機能を使って、壁紙や目的地の設定を行うことができます。また、携帯電話をリモコンとして使うこともできます。



盗難抑止効果が期待できるESN機能

（70 ページ参照）

ナビゲーションやオーディオ機能のロック、セキュリティインジケータの点滅により、盗難抑止の効果が期待できます。



住所エリアを色分けした見やすい地図表示

都道府県や市区町村などの境ごとに塗り分けして地図を見やすく表示します。



よく使う機能をワンタッチで呼びだすショートカットスイッチ

（97 ページ参照）

現在地や地図画面にショートカットスイッチを表示して、ワンタッチで操作画面を呼び出すことができます。



走行した道路をひと目で確認できる走行軌跡表示

（103 ページ参照）

地図上に軌跡を表示して、走行した道路を確認することができます。

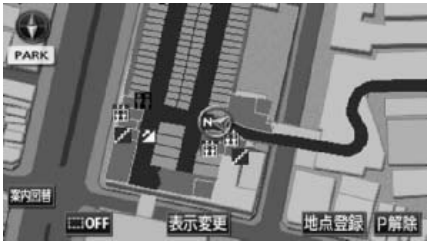
表示できる軌跡は、約1000kmです。



地下駐車場の入口・出口を表示する駐車場マップ

（112 ページ参照）

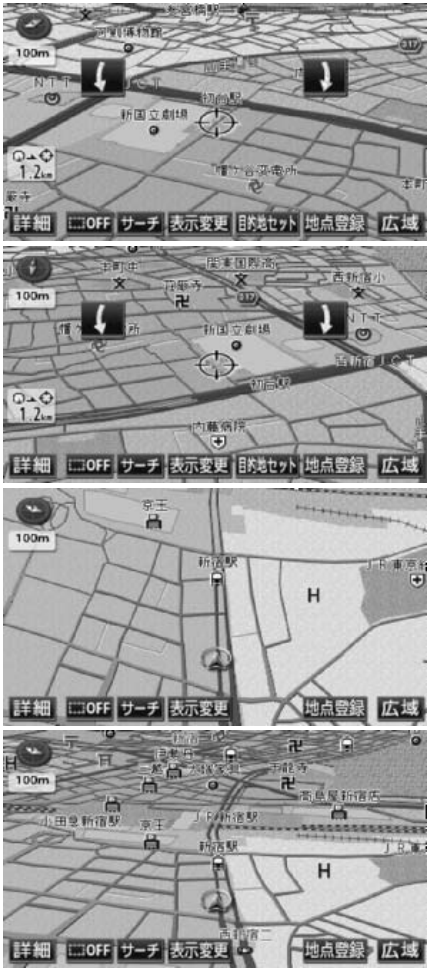
わかりにくい地下駐車場の入口、出口、エレベーター位置などを詳細に表示します。



自由自在の3Dスクロール

（114 ページ参照）、（116 ページ参照）

3D地図表示のまま、好きな方向へ自由自在にスクロールができます。また、地図を見る位置を360°回転させたり、見下ろす角度を変えることができます。

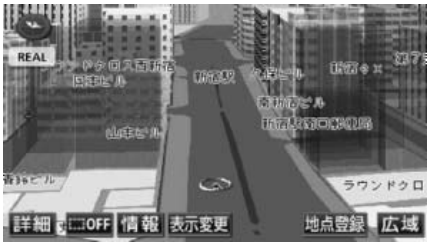


3. 特長

ビルの向こう側まで透過して表示するバーチャタウンマップ

（114 ページ参照）

25mスケールのバーチャタウンマップでは必要な情報を的確に伝えるために、画面手前のビルやマンションなどを見やすく透過して表示します。透過表示により、ビルの向こう側を通るルートや一方通行などのマークもはっきりと確認することができます。



道幅や道路種類などを表現するリアルワイドマップ

（118 ページ参照）

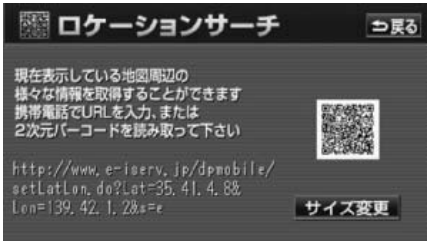
全国の道幅データにより、細街路、1車線、2車線、3車線以上の道路を高速道路、国道、主要道、県道、その他の道路で色分け表示し、広い道は太く、狭い道は細く、実際の道路状況をナビゲーション画面にリアルに再現しています。また、学校や駅などの施設マークをイラスト的に表示します。



位置情報を２次元バーコードに変換するロケーションサーチ機能

（130 ページ参照）

携帯電話で読み取った２次元バーコード（位置情報）をもとに、さまざまな情報を検索することができます。



実際の建物や道路状況をリアルに表現するリアル交差点拡大図

（189 ページ参照）

ルート案内中に複雑に入り組んだ交差点をリアルに表示することができます。



交差点までの車線を案内する交差点レーンリスト図

（192 ページ参照）

ルート案内中に分岐する交差点（ 手前約700mから）までの走行車線をリスト表示します。



分岐点までの距離や進行方向を案内するターンリスト図

（201 ページ参照）

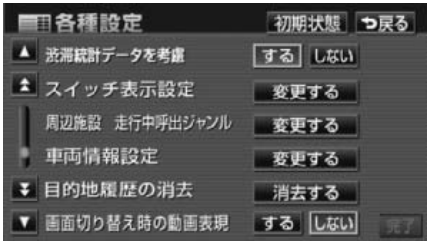
ルート案内中に現在地から３つ先までの分岐点の距離や進行方向をリスト表示します。



交通状況を考慮した渋滞考慮ルート探索機能

（163 ページ参照）

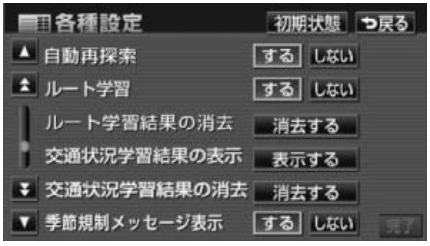
収録された渋滞統計データをもとに、受信したVICS情報と探索を開始する時間から最適なルートを探索することができます。



よく通る道路をルート探索に反映するルート学習機能

（162 ページ参照）

自宅付近などのよく通る道路を学習し、学習した道路をルートの探索時に反映することができます。



必要な道路だけを表示する都市高速マップ

（205 ページ参照）

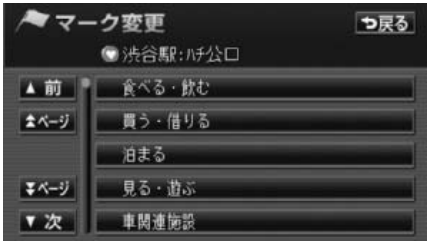
ルート案内中に都市高速道路を走行中、周囲の道路表示を省略して都市高速道路の情報のみを表示します。



地図上に任意の施設マークを登録する地図カスタマイズ機能

（220 ページ参照）

地図に登録されていない施設を新たに地図上に登録し、表示することができます。



渋滞などの情報を表示するVICS機能

（236 ページ参照）

VICSセンターから提供される交通情報を受信し、その情報を文字（レベル1）・簡易図形（レベル2）・地図（レベル3）で表示します。



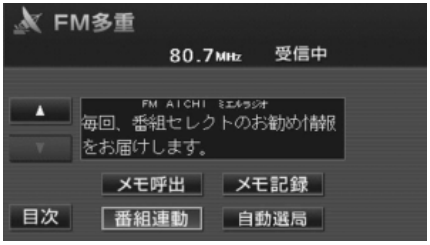
3. 特長

多様な情報を検索・表示・操作する情報機能

（258 ページ参照）

●FM多重放送表示機能

FM多重で放送される一般文字情報（見えるラジオ）を表示します。



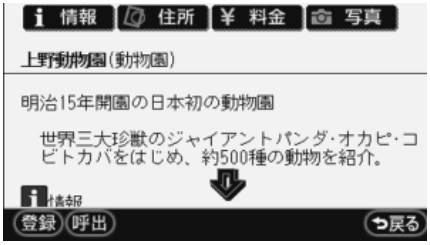
●メンテナンス機能

ナビゲーションで使用するGPSカレンダーと距離情報をもとに、車のオイルや消耗品の交換をナビゲーションの画面と音声でお知らせします。



●スポットインフォメーション（情報付施設）検索機能

主要な施設をジャンルから検索し、施設の情報・住所・料金・写真などを見ることができます。また、地図に表示したランドマークからも施設の情報を見ることができます。



●カレンダー機能

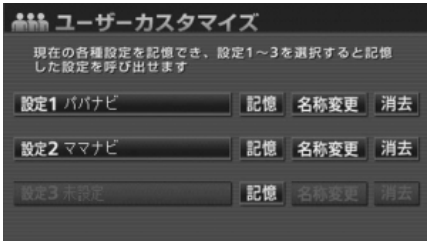
GPSのカレンダー機能で2028年までのカレンダーを表示することができます。



ユーザーごとに設定を記憶するユーザーカスタマイズ機能

（307 ページ参照）

ユーザーごとにナビゲーションの各使用設定を記憶し、簡単に呼び出すことができます。



音楽の録音を可能にしたMUSIC JUKE（ミュージックジューク）

（377 ページ参照）

大容量の音楽ハードディスクを搭載し、音楽CDを通常の速さで再生しながら、4倍の速さで録音することが可能です。録音したデータは、種類別に検索できるほか、編集機能でプライベートアルバムを作成することもできます。



理想の音響空間を創り出す音質調整機能

（329 ページ参照）

車が持つさまざまな音響空間や、お使いになるメディアの特性に合った音質を創り出すことができます。



アルバム数枚分を収録した音楽ディスクを再生するMP3/WMAプレーヤー

（349 ページ参照）

音楽データを約1/10サイズに圧縮できるMP3圧縮技術。本機はMP3データを収録したCD-R/RWの再生が可能です。

また、WMAデータを再生することもできます。



高画質・高音質な映像を楽しむことができる地上デジタルTV

（425 ページ参照）

地上デジタルTV放送ならではの、乱れのない高画質な映像、雑音のないCD並みの高音質な番組を楽しむことができます。

また、より広範囲なエリアで視聴できる、ワンセグ放送も受信することができます。



美しい映像と迫力あるサウンドを楽しめるDVDプレーヤー

（450 ページ参照）

高画質・高音質で記録されたDVDビデオや、地上デジタルTV放送を録画・編集したDVDビデオレコーディング（VR）の映像や静止画を再生することができます。



3. 特長

DVDメニューを直接操作できるダイレクトタッチ機能

（459 ページ参照）

DVDのディスクメニューに直接タッチして操作することができます。



ナビゲーションと各オーディオ画面などを同時表示するマルチウィンドウ機能

（492 ページ参照）

ナビゲーションの画面とオーディオ操作画面を左右分割して同時に表示します。



再生中のアルバム情報を携帯電話で見ることができるFLIP MOBILE

（347 ページ参照）

携帯電話を使って2次元バーコードを読み取ると、再生中のアルバムに関連する携帯サイト（FLIP MOBILE）へ接続することができます。



システムアップ

●**2 メディア /3 レベル対応 VICS ユニット**（279 ページ参照）

別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットを接続すると、光・電波ビーコンを受信し、渋滞情報を考慮したルート探索やリアルタイムな割り込み情報を表示できます。

●**ETCシステム**（283 ページ参照）

ETC(Electronic Toll Collection) システムは、有料道路の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

●**バックアイカメラ**（288 ページ参照）

バックギアにシフトすると本機のモニター画面に自動で後方のカメラ映像を映すことができます。

また、車幅や距離感覚を補うガイド線表示に対応しています。BEC308／BEC309を接続している場合は、俯瞰（ふかん）映像に切り替えることができます。

●**フロントアイカメラ**（294 ページ参照）

見通しの悪い交差点やT字路などで、本機のモニター画面に車両の左右のカメラ映像を映すことができます。

●**ビデオ接続コード**（474 ページ参照）

別売のビデオ接続コードを接続すると、本機でビデオカメラなどの映像をご覧になることができます。

●**iPod接続コード**（475 ページ参照）

別売のiPod接続コードを接続すると、本機でiPodの操作をすることができます。

●**Bluetoothユニット**（298 ページ参照）

別売のBluetoothユニットを接続すると、Bluetooth 無線技術を使用したハンズフリー機能や地図の呼び出し、音楽の再生機能を使用することができます。

●**USBメモリ接続コード**（44 ページ参照）

別売のUSBメモリ接続コードにUSBメモリを接続すると、収録されている情報により、音楽の再生や転送、壁紙の設定、データベースの更新機能を使用することができます。

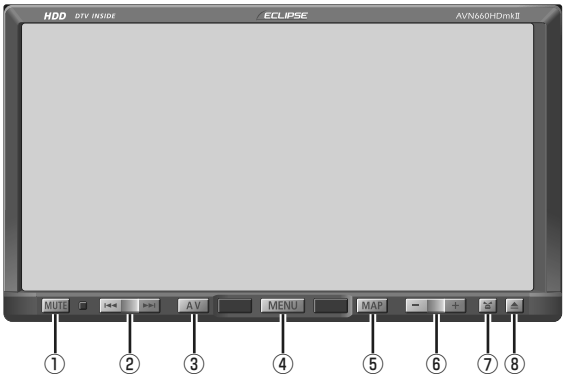
4. 本機について

各部の名称と操作

本機はパネルに配置しているスイッチ（パネルスイッチ）を押したり、画面に表示されるスイッチ（タッチスイッチ）を直接タッチして操作します。

■パネルスイッチ

それぞれのパネルスイッチを押して操作します。

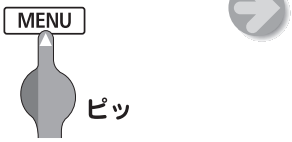


①	MUTE	オーディオの音声を消すときに押します。
②	⏮ ⏭	DTV・ラジオの選局、音楽用CDの選曲、DVDのチャプター選択などを行うときに押します。
③	AV	オーディオの操作画面を表示するときに押します。 録音をするときに1秒以上押します。
④	MENU	メニュー（ナビ・オーディオ・情報）画面を表示するときに押します。メニュー画面表示中に押すと、ナビメニュー画面→オーディオメニュー画面→情報メニュー画面の順に切り替わります。 画質を調整するときに1秒以上押します。
⑤	MAP	ナビゲーション画面/現在地を表示するときに押します。
⑥	− +	オーディオの音量を調整するときに押します。
⑦		別売のフロントアイカメラ接続時に押すと、フロントアイカメラの映像を表示します。
⑧	⏏	ディスプレイを開くときや、画面の角度調整をするときに押します。

次ページに続く

4. 本機について

■ MENU を押すと





最後に表示していたメニュー画面が表示されます。

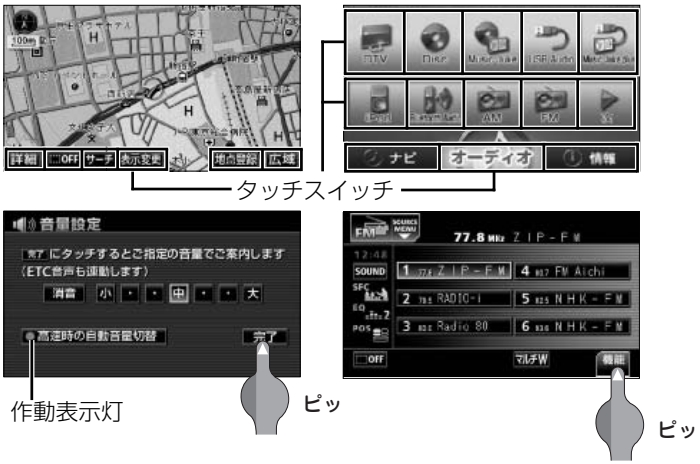
■ タッチスイッチ

画面のスイッチにタッチして操作します。

⚠ 重要

タッチスイッチは指でタッチしてください。

ボールペン、シャープペンシルの先など先端の硬い物や先端の鋭利な物で操作すると、故障の原因になることがあります。



タッチスイッチの操作について

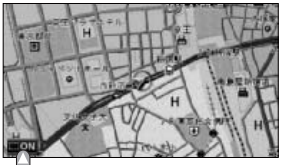
- タッチスイッチは“ピッ”という応答音が鳴るまでタッチしてください。
- 画面保護のため、タッチスイッチは指で軽くタッチしてください。
- スイッチの反応がないときは、一度画面から手を離してから再度タッチしてください。
- 操作できないタッチスイッチは、色がトーンダウンします。
- スイッチの機能が働いているときは、タッチスイッチの色が明るくなるものや、作動表示灯が点灯するものがあります。

■ タッチスイッチを表示しない

〈ナビゲーション画面〉



ピッ



タッチスイッチの表示が消えます。
ON にタッチするとタッチスイッチが表示されます。

〈オーディオ操作画面〉



ピッ



タッチスイッチの表示が消えます。
画面にタッチするとタッチスイッチが表示されます。

電源の入れ方・切り方

本機は、車のエンジンをかけると自動的に電源が入り、ナビゲーションの画面、またはオーディオの画面※を表示します。エンジンを切ると電源も切れます。

※ 前回、映像を伴うオーディオソースの画面をご覧になっている途中でエンジンを切った場合はそのオーディオソースの画面を表示します。

4. 本機について

■本機の電源を入れる



■オーディオの電源を切る



● 次 にタッチして
ページを切り替えます。

● OFF にタッチします。

ワンポイント

- ●内蔵のハードディスクに地図データを収録していますので、地図ディスクは必要ありません。
- ●ナビゲーションの画面が表示されないときは、MAP を押してください。
- ●オーディオの電源が入らないときは、オーディオメニュー画面で切り替えたいソースにタッチしてください。詳しくは、**「ソースの切り替え方」**（324ページ）を参照してください。
- ●ナビゲーションの電源は切ることができません。

ディスクの出し入れ

音楽をお聞きになるときは、音楽CDを、DVDを再生するときはDVDを差し込み口に入れてください。

⚠ 注 意

ディスク差し込み口に手や指を入れないでください。けがの原因となることがあります。

■各ディスク（CD・DVD）の入れ方

⚠ 重 要

- ●地図ディスク（DVD-ROM）は使用できませんので差し込まないでください。
- ●本機は8cm CDおよび8cm DVDを再生することができます。故障の原因となるため、アダプタ等は使用せず、そのまま差し込んでください。

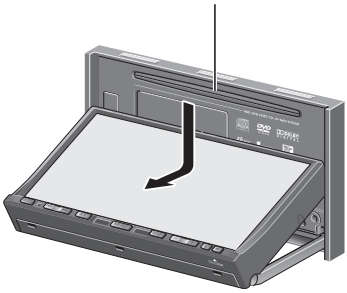
1 ⏏ を押します。

2 ⏏DISC にタッチします。

- ディスプレイが開き、差し込み口があらわれます。
- Full OPEN にタッチする、または ⏏ を約1秒間"ピッ"と音がするまで押してもディスプレイは開きます。



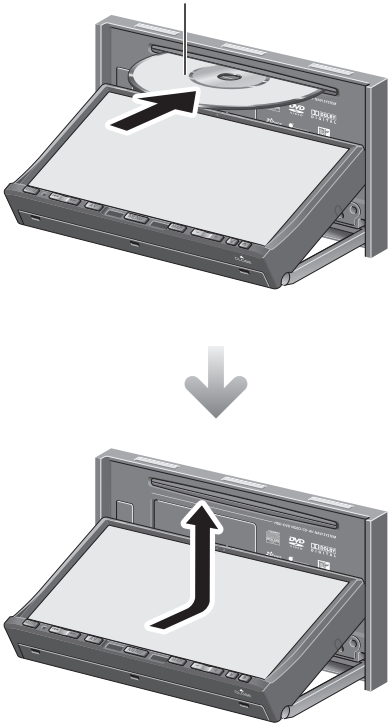
DVD、または CD 差し込み口



3 差し込み口に希望のディスクを差し込みます。

- ディスク差し込み後、ディスプレイが自動で閉じます。
- DVDおよびCDは、中心の穴と端をはさんで持ち、ラベル面を上にして差し込んでください。
- DVD を差し込んだときは DVD の再生が始まります。
- CD を差し込んだときは音楽 CD、または MP3/WMAの再生が始まります。

DVD、または CD



4. 本機について

ワンポイント

- DVDおよびCDの差し込み口は同じですので、どちらか一方の使用になります。
- 本機の初期の設定では、音楽CDを再生すると自動でMUSIC JUKEに録音が開始されます。録音を中止するには、AV を1秒以上押してください。詳しくは、**「MUSIC JUKEへの録音」**（395ページ）を参照してください。

■ DVDについて

- 下記のマークの付いたDVDビデオディスクが再生できます。また、DVDビデオフォーマットに準じて記録されたDVD±R/RWディスクや、DVDビデオレコーディング（VR）フォーマットに準じて記録されたCPRM対応のDVD-R/RWディスクも再生することができます。



- DVDビデオディスクによっては一部の機能が使用できない場合があります。
- DVD±R/RW（DVD±Recordable/ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないDVD±R/RWは再生できません。
- DualDiscには対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- Dolby Digitalに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。



■ CDについて

- 下記のマークの付いた音楽用CDやCD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）が使用できます。



- 記録部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
- CD-R/RW は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R/RW（MP3/WMAは除く）や、UDFフォーマットで書き込みされたCD-R/RWは再生できません。
- CD-TEXT機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



- スーパーオーディオCD（SACD）は、ハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。



- CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTSトラックが混在したCDは正常に再生されません。
- Video-CDは再生できません。

■各ディスク（CD・DVD）の出し方

⚠ 重要

- ディスクを取り出す際、下記に注意してください。

  ＜A／T車＞

  ディスクを取り出す際、Pレンジで干渉する場合は、Nレンジに切り替えてから操作してください。（コラムA／Tの場合はPまたはNレンジで操作してください。）

  ＜M／T車＞

  ディスクを取り出す際、1・3・5・Ⓡポジションで干渉する場合は、ニュートラルに切り替えてから操作してください。
- 各ディスクを取り出すとき、押し出された状態のままディスプレイを閉じないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ディスプレイを手で閉じないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイを開けたとき、ディスプレイ上にコップや缶などの物を置かないでください。ディスプレイが損傷するおそれがあります。
- ディスプレイにジュースなどをこぼしたときは、すぐにふき取ってください。そのまま放置しておくと故障するおそれがあります。
- 熱やホコリからディスプレイを保護するため、各ディスクを出し入れするとき以外は、ディスプレイを閉じておいてください。

1 [⏏] を押します。

2 **⏏DISC** にタッチします。
（自動でディスクが押し出されます。）



3 取り出し後、**CLOSE** にタッチします。

- [⏏] を押してもディスプレイは閉じます。

4. 本機について

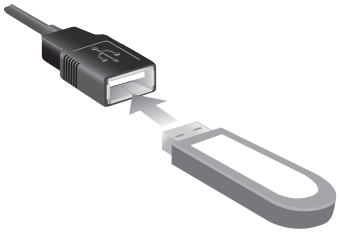
USBメモリの接続（取りはずし）

別売のUSB接続コードを接続している場合、USBメモリを接続することができます。

⚠ 重要

- ●本機でUSBメモリを使用しているときにUSBメモリ内のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- ●USBメモリを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

1 USBメモリを接続します（取りはずします）。



📖 ワンポイント

- ●本機で使用できる　USB　メモリは以下のフォーマットです。
  - ・対応クラス：マスストレージクラス
  - ・対応USB　Ver.：USB2.0/1.1
  - ・最大消費電流：500mA未満
- ●上記以外のUSBメモリは、正常な動作が行えないため接続しないでください。また、上記を満たしているUSBメモリでも、正常に動作しないことがあります。
- ●USB接続コードに、iPodやiPhoneを接続しても認識させることはできません。
- ●USB　コネクタ接続タイプのマルチカードリーダーには対応していません。
- ●本機のUSBメモリ接続コードから延長コードを介してUSB機器を接続しても、正常に動作しないことがあります。
- ●USB ハブを接続して USB メモリを認識させることはできません。
- ●USB　メモリ内のデータにアクセス中は、USBメモリを抜かないでください。

ディスプレイの角度調整

車外からの光などで画面が見にくいときは画面の角度を調整できます。

⚠ 注意

ディスプレイの角度調整をするときは手などをはさまないよう注意してください。けがの原因や、ディスプレイの故障の原因になります。

⚠ 重要

- ●ディスプレイがTILT状態のときに上部のすき間からディスクを差し込まないでください。本機およびディスクにキズがつくおそれがあります。
- ●ディスプレイの角度調整をする際、下記に注意してください。

＜A／T車＞

チルト位置を設定する際、PまたはⓇ、Nレンジで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（走行レンジで干渉する場合はチルト位置の設定はしないでください。）

＜M／T車＞

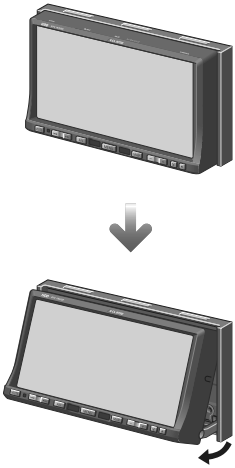
チルト位置を設定する際、1・3・5・Ⓡポジションで手などが干渉しないように設定しご使用ください。（干渉する場合はチルト位置の設定をしないでください。）

1 ⏏ を押します。

2 TILTの ▲ 、または ▼ にタッチします。

- ▲ ：タッチするごとにディスプレイが傾いた状態から1段階（5°）ずつもどります。（最大6段階30°）
- ▼ ：タッチするごとにディスプレイが斜め下方に1段階（5°）ずつ傾きます。（最大6段階30°）





3 調整後、⏏ を押します。

ワンポイント

- ディスプレイを傾けた状態でも、ディスプレイを開くことができます。ディスプレイを閉じると、元の傾いた状態にもどります。
- ディスプレイを傾けた状態でエンジンスイッチをOFF（LOCK）にすると、自動的に傾いていない状態になります。次にエンジンスイッチをACCまたはONにしたときは、元の傾いた状態にもどります。

液晶パネルについて

- 液晶パネルは斜め方向から見ると画面が白っぽく見えたり、黒っぽく見えたりすることがあります。
- 太陽の光などの外光が表示部にあたると画面が見えにくくなります。

4. 本機について

本機のモードについて

本機には大きく分けて「MENU」・「ナビゲーション」・「オーディオ」の3つのモードがあります。

どのモードからでも、希望のモードに切り替えることができます。



	モード	主な機能
1	MENU	● ナビメニューの表示 目的地の設定、VICSの設定、各種設定など ● オーディオメニューの表示 オーディオソースの切り替え ● 情報メニューの表示 FM多重放送の受信、HDDのデータ管理、ESNの設定など
2	ナビゲーション	● 現在地の表示 ● 目的地の案内 ● 地点（自宅・メモリ地点）の登録など
3	オーディオ	● 地上デジタルTV放送（DTV）の受信 ● CDプレーヤーの操作 ● MP3/WMAプレーヤーの操作 ● DVDプレーヤーの操作 ● MUSIC JUKEの操作 ● MUSIC JUKE plusの操作 ● USB AUDIOの操作（別売） ● iPodの操作（別売） ● AM・FM放送の受信など

本機の作動条件について

本機の機能は、次の条件（エンジンスイッチの位置）により、操作できる場合とできない場合があります。

❍：操作できます　×：操作できません

各機能	エンジンスイッチ				
	OFF（LOCK）	ACC	ON停車中※2	ON走行中	ディスプレイがオープン状態
ナビゲーション／情報	×	❍	❍	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	×
オーディオ※1（映像を伴わないオーディオソース）	×	❍	❍	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	×
オーディオ※1（映像を伴うオーディオソース）	×	❍	❍	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります※3	×
赤外線通信機能	×	❍	❍	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	×
Bluetooth通信機能※4	×	❍	❍	走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります	×
ディスクの出し入れ／ディスプレイの角度調整	エンジンOFF後はディスプレイを閉じることができます	❍	❍	❍	ディスプレイの角度調整はできません

※1 映像を伴わないオーディオソース：FM、AM、CD、MP3/WMA、MUSIC JUKE、AUX、iPod（MUSIC）、USB AUDIO、MUSIC JUKE plus、Bluetooth AUDIO
映像を伴うオーディオソース：DVD、DTV、VTR、iPod（VIDEO）

※2 パーキングブレーキがかかっている状態。

※3 映像は表示されません。

※4 別売のBluetoothユニットが接続されているとき。

ワンポイント

操作できないスイッチは、色がトーンダウンし、操作できません。また、走行中に操作できないスイッチを操作すると、画面に操作禁止メッセージが表示されることがあります。

4. 本機について

各モードの呼び出し

次のスイッチを押すと各画面に切り替わります。

■ MENU画面

MENU を押します。



■ ナビゲーション画面

MAP を押します。



■ オーディオ操作画面

AV を押します。
（CDプレーヤー作動時）※1



（OFF画面）※2



※1 オーディオの機能が作動しているときに表示します。オーディオの操作については**「ソースの切り替え方」**（324ページ）を参照してください。

※2 オーディオの機能が OFF のときに表示されます。

■ オンスクリーン表示について

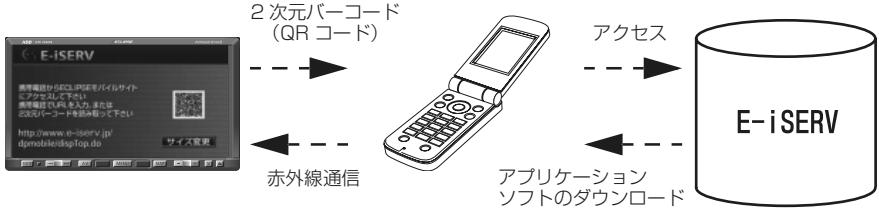
ナビゲーション画面表示中や画面が消えているときにオーディオを操作（トラック選曲や周波数選局）すると、オンスクリーンが表示されます。

オンスクリーン表示はしばらくすると自動で解除されます。



5. E-iSERVについて

本機は携帯電話を使ってE-iSERV（ECLIPSE information SERVICE）にアクセスし、下記機能のアプリケーションソフトをダウンロードすることができます。携帯電話にダウンロードした機能は、赤外線通信を行うことで本機に読み込むことができます。動作確認済の携帯電話については、E-iSERVを参照してください。



機　能	内　容
モクテキチネット	パソコン※や携帯電話からモクテキチネットへアクセスし、検索した目的地のマップコードを専用のアプリケーションソフトで送信することができます。詳しくは、**「赤外線通信で地図を呼び出す」**（150ページ）を参照してください。
Pic-CLIP	携帯電話に保存されている画像データを専用のアプリケーションソフトで送信し、壁紙やオープニング画面に設定することができます。詳しくは、**「壁紙（Pic-CLIP）の設定」**（53ページ）、または**「オープニング画面の設定」**（60ページ）を参照してください。
助手席リモコン	専用のアプリケーションソフトを用いることにより、携帯電話を使ってリモコン操作ができます。

※ PC版「モクテキチネットpowered by its-mo Drive」は、「its-mo Drive（いつもドライブ）」へ変更されています。

E-iSERVへのアクセスについて

⚠ 警告

走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

E-iSERVへは、携帯電話を使って2次元バーコード（QRコード）を読み込む、またはURLを入力してアクセスすることができます。



チェック

2次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。

次ページに続く

5. E-iSERVについて

1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 E-iSERV にタッチします。

● E-iSERV 画面では２次元バーコードおよびURLが表示されます。（下記参照）携帯電話に２次元バーコードを読み込む、またはURLを入力してE-iSERVにアクセスしてください。

● サイズ変更 にタッチすると２次元バーコードが拡大されます。

《パソコンからアクセスする場合》

下記URL（ECLIPSEホームページ）からE-iSERVへアクセスしてください。

http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/

《携帯電話からアクセスする場合》

下記URLもしくは２次元バーコードからE-iSERVへアクセスしてください。

http://www.e-iserv.jp/dpmobile/dispTop.do

ワンポイント

- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 2 次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- ２次元バーコードが読み取れないときは、２次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- 携帯電話の通信料金はお客様のご負担になります。
- QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

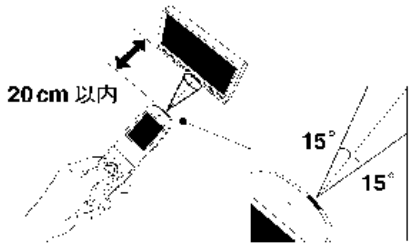
赤外線通信について

E-iSERVからダウンロードした機能や情報は、携帯電話の赤外線通信を使用して、本機に読み込むことができます。モクテキチネットについては**「赤外線通信で地図を呼び出す」**（150ページ）、Pic-CLIPについては**「壁紙（Pic-CLIP）の設定」**（53ページ）、または**「オープニング画面の設定」**（60ページ）を参照してください。

モクテキチネット、Pic-CLIPの赤外線通信を行う場合

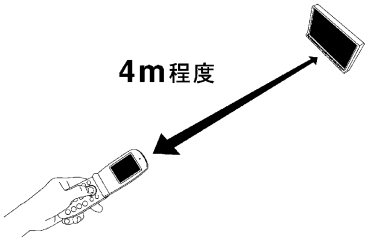
通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作するときは携帯電話と本機の受光部をまっすぐ近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。

また、Pic-CLIPの転送には、画像サイズによって１分程度かかる場合があります。



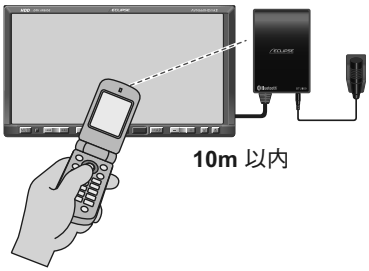
助手席リモコンの赤外線通信を行う場合

携帯電話の赤外線送信部から送信のみの通信となるため、遠く（後部座席など）からでも操作することができます。



Bluetooth通信について

別売のBluetoothユニットを接続している場合、E-iSERVからダウンロードした機能や情報は、携帯電話のBluetooth通信を使用して、本機に読み込むことができます。**「Bluetooth通信で地図を呼び出す」**（152ページ）を参照してください。



6. 本機の設定

本機はナビゲーションやオーディオの他に、下記の設定をすることができます。

- 操作音の設定（52 ページ参照）
- ナビゲーション音声の出力位置切り替え（52 ページ参照）
- 壁紙（Pic-CLIP）の設定（53 ページ参照）
- オープニング画面の設定（60 ページ参照）
- 画面の調整・設定（66 ページ参照）
- ラジオアンテナの設定（68 ページ参照）
- ESN（ECLIPSE Security Network）の設定（70 ページ参照）
- 個人情報の初期化（76 ページ参照）

操作音の設定

パネルスイッチを押したときや、タッチスイッチにタッチしたときの“ピッ”という操作音を設定することができます。

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 設定 にタッチします。

- 設定 が表示されていないときは、次 にタッチします。



3 操作音設定の 1 、2 、3 、4 、OFF （消音）のいずれかにタッチします。



4 設定完了 にタッチします。

ナビゲーション音声の出力位置切り替え

ルート案内中の音声案内など、ナビ音声を出力するスピーカの位置を前席左側、または前席右側に切り替えることができます。

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 設定 にタッチします。

● 設定 が表示されていないときは、 次 にタッチします。



3 ナビ音声設定の 左側スピーカ 、または 右側スピーカ にタッチします。



4 はい にタッチします。

5 設定完了 にタッチします。

ワンポイント

ルート案内中にナビゲーション音声の出力位置を切り替えると、現在のルート案内が終了するまで音声案内などが聞こえなくなります。（新しく目的地を設定すると、音声案内などを聞くことができます。）

壁紙（Pic-CLIP）の設定

ナビゲーションの情報画面やオーディオの操作画面などの背景をお好みに合わせて切り替え、表示することができます。また、USBメモリやCD-R/RW、携帯電話に保存した画像データ、あらかじめHDDに取り込んだ画像データを壁紙として表示することができます。

■壁紙を切り替える

1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、 情報 にタッチします。

2 画像データ にタッチします。



3 Pic-CLIPの 変更する にタッチします。



次ページに続く

6. 本機の設定

4 1 ～ 5 、カスタム のいずれかにタッチします。

- 選択した画像を表示します。
- カスタム にタッチすると書き換えた画像が設定されます。
- カスタム がタッチできないときは、画像の書き換えが必要です。画像の書き換えは**「お好みの画像データに書き換える」**（54ページ）を参照してください。



5 完了 にタッチします。

■お好みの画像データに書き換える

USBメモリやCD-R/RW、HDDに記録した画像データを壁紙として表示することができます。使用できる画像データについては、**「パソコンなどからUSBメモリに記録する場合」**（57ページ）、**「パソコンなどからCD-R/RWに書き込む場合」**（57ページ）を参照してください。

チェック

- 画像データ以外のデータが同じUSBメモリやディスクに混在すると、画像データを読み込むことができない場合があります。
- HDD（ハードディスク）から書き換える場合は、あらかじめHDDに画像データを保存してください。**「画像データを保存する」**（58ページ参照）
- MUSIC JUKEに音楽を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。**「MUSIC JUKEへの録音」**（395ページ参照）
- 本機にUSBメモリの音楽データを転送している場合は、転送を中止してから画像データを書き換えてください。**「音楽ファイルを本機に転送する」**（363ページ参照）

1 画像データを記録したCD-R/RWを本機に差し込む、またはUSBメモリを接続します。**「画像データを保存する」**（58ページ参照）

- 画像データの読み込み中は本機およびエンジンスイッチの操作をしないでください。

2 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

3 画像データ にタッチします。

4 Pic-CLIPの 変更する にタッチします。

5 カスタムの変更 にタッチします。



6 USB 、CD 、HDD のいずれかにタッチします。



7 壁紙に設定するデータにタッチします。

- プレビュー にタッチすると、選択した画像を表示することができます。
- 複数のデータがある場合は、▲ 、▼ にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。



● プレビュー画面

8 決定 にタッチします。

- 設定した壁紙が表示されます。

9 完了 にタッチします。

■携帯電話に保存した画像データを壁紙に設定する

携帯電話に保存されている画像データを赤外線通信機能で送信し、壁紙として表示することができます。送信できる画像データについては、**「携帯電話から送信する場合」**（58ページ）を参照してください。

⚠ 警告

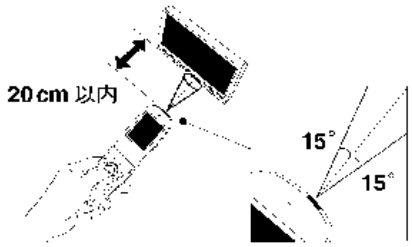
走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

チェック

- 赤外線通信を行うには、携帯電話と本機をそれぞれ操作する必要があります。また、携帯電話から画像データを送信するには、専用のアプリケーションソフトが必要です。**「E-iSERVについて」**（49ページ参照）
- 通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作する時は携帯電話と本機の受光部をまっすぐ近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。

携帯電話の操作

1 専用のアプリケーションソフトから画像データを送信します。



6. 本機の設定

本機の操作

1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 画像データ にタッチします。



3 Pic-CLIPの 変更する にタッチします。



4 ケータイリンク にタッチします。

● データを受信し、壁紙に登録されます。



ワンポイント

- IrDAバージョン1.2に対応しています。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、他の赤外線装置の近くでは正常に受信できない場合があります。
- 通信距離はあくまで目安です。携帯電話の機種や周囲の環境によって異なります。
- 赤外線受光部が汚れていると通信しにくくなります。汚れている時は傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。
- 携帯電話の機種により、通信しにくい場合があります。
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 画像データの転送には、画像サイズによって1分程度かかる場合があります。
- データ受信中は電源を切らないでください。

■使用できる画像データについて

壁紙に使用できるデータは、下記の条件で書き込まれたものになります。

パソコンなどからUSBメモリに記録する場合

	USBメモリ
画像容量	2MB以下（1ファイル当たり）
推奨画像サイズ	約401万画素以下
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は非対応）
表示ファイル数（枚数）	100まで
ファイル名文字数	半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1/※2
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1/※2/※3
取り込み対象となる画像ファイル	ルートディレクトリ（最上位階層）およびPICフォルダ内

※1 半角数字、半角英字（大文字）、記号“_”（アンダースコア）、記号、漢字（表示できない文字有り）のみです。

※2 ファイル名が半角29文字以上の場合、ファイルは表示されません。

※3 拡張子.jpgは表示されません。

ワンポイント

- 画像サイズが横400×縦234dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- 画像サイズが横400×縦234dotより小さい場合、元の画像を規定サイズに拡大し、表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。

パソコンなどからCD-R/RWに書き込む場合

	CD-R／RW
ディスクフォーマット	ISO9660規格（MODE1）
画像容量	1.5MB以下（1ファイル当たり）
推奨画像サイズ	約401万画素以下
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は非対応）
書き込み方式	シングルセッションのみ
表示ファイル数（枚数）	100まで
ファイル名文字数	半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1/※2
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1/※2/※3
取り込み対象となる画像ファイル	ルートディレクトリのみ（最上位階層のみ）

※1 半角数字、半角英字（大文字）、記号“_”（アンダースコア）、記号、漢字（表示できない文字有り）のみです。

※2 ファイル名が半角29文字以上の場合、ファイルは表示されません。

※3 拡張子.jpgは表示されません。

次ページに続く

6. 本機の設定

ワンポイント

- 画像サイズが横400×縦234dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- 画像サイズが横400×縦234dotより小さい場合、元の画像を規定サイズに拡大し、表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。

携帯電話から送信する場合

	携 帯 電 話
画像容量	100KBまで（1ファイル当たり）
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は非対応）
表示文字数	送信日時により自動付与

ワンポイント

- 画像サイズが横400×縦234dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- 画像サイズが横400×縦234dotより小さい場合、元の画像を規定サイズに拡大し、表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。

■画像データを保存する

USBメモリ、またはCD-R/RWに記録した画像データを本機のHDDに最大100ファイル（100枚）まで保存することができます。

チェック

- USBメモリからHDDに保存する場合は、記録したUSBメモリを別売の接続コードに接続してください。画像データ以外のデータが同じUSBメモリに混在すると、画像データを読み込むことができない場合があります。
- CD-R/RWからHDDに保存する場合は、記録したCD-R/RWをディスク差し込み口に差し込んでください。画像データ以外のデータが同じディスクに混在すると、画像データを読み込むことができない場合があります。
- MUSIC　JUKEに音楽を録音している場合は、録音を止めてから画像データを保存してください。**「MUSIC　JUKEへの録音」**（395ページ参照）
- 本機にUSB　メモリの音楽データを転送している場合は、転送を中止してから画像データを書き換えてください。**「音楽ファイルを本機に転送する」**（363ページ参照）

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

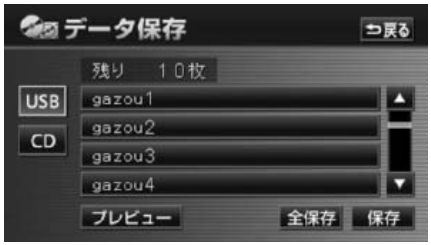
2 画像データ にタッチします。



3 画像の編集の **HDDへ保存** にタッチします。



4 **USB** 、または **CD** にタッチします。



5 保存したい画像データにタッチします。

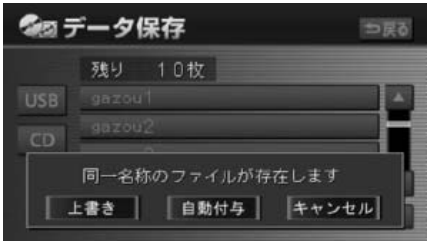
- **プレビュー** にタッチすると選択した画像を表示することができます。

6 **保存** にタッチします。

- **全保存** にタッチすると、USBメモリ、またはCD-R/RWに記録されている全ての画像データを保存します。

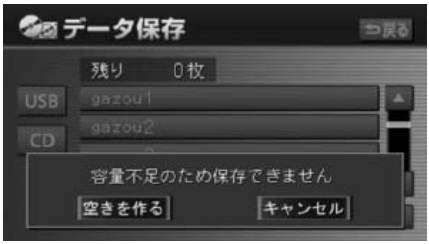
同じ名称のデータが存在している場合

- **上書き** にタッチすると、新しいデータに書き換えます。
- **自動付与** にタッチすると、データ名の前に番号を付けて保存します。
  （例）“AA1.jpg”がすでに存在する場合、新しく保存する同じ名称の“AA1.jpg”には“01_AA1.jpg”と番号が自動で付けられ、保存されます。
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。
- **全保存** にタッチ後、 **キャンセル** にタッチすると、保存中の画像データ保存を中止し、次の画像データの保存を開始します。



HDDの容量が足りない場合

- **空きを作る** にタッチすると、すでに保存されているデータを一部消去します。**「画像データを消去する」**（60ページ参照）
- **キャンセル** にタッチすると、保存を中止します。



6. 本機の設定

■画像データを消去する

画像データを本機のHDDから消去します。

1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 画像データ にタッチします。

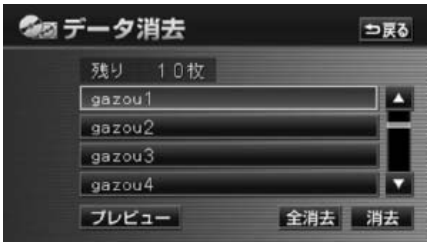


3 画像の編集の HDDから消去 にタッチします。



4 消去したい画像データにタッチします。

● プレビュー にタッチすると選択した画像を表示することができます。



5 消去 にタッチします。

● 全消去 にタッチするとHDDに保存されている全ての画像データを消去します。

6 YES にタッチします。

オープニング画面の設定

本機のオープニング画面（電源を入れたときに表示される画面）をお気に入りの画像に切り替えることができます。また、USBメモリやCD-R/RW、携帯電話に保存した画像データ、あらかじめHDDに取り込んだ画像データをオープニング画面として表示することができます。

■オープニング画面を切り替える

1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 画像データ にタッチします。



3 オープニング画の 変更する にタッチします。



4 1 、2 、3 、カスタム 、のいずれかにタッチします。

- 選択した画像を表示します。
- カスタム にタッチすると書き換えた画像が設定されます。
- カスタム がタッチできないときは、画像の書き換えが必要です。画像の書き換えは**「お好みの画像データに書き換える」**（54ページ）を参照してください。



5 完了 にタッチします。

■お好みの画像データに書き換える

USBメモリやCD-R/RW、HDDに記録した画像データをオープニング画面として表示することができます。使用できる画像データについては、**「パソコンなどからUSBメモリに記録する場合」**（57ページ）、**「パソコンなどからCD-R/RWに書き込む場合」**（57ページ）を参照してください。

チェック

- 画像データ以外のデータが同じUSBメモリやディスクに混在すると、画像データを読み込むことができない場合があります。
- HDD（ハードディスク）から書き換える場合は、あらかじめHDDに画像データを保存してください。**「使用できる画像データについて」**（65ページ参照）
- MUSIC　JUKEに音楽を録音している場合は、録音を止めてから画像データを書き換えてください。**「MUSIC JUKEへの録音」**（395ページ参照）
- 本機にUSBメモリの音楽データを転送している場合は、転送を中止してから画像データを書き換えてください。**「音楽ファイルを本機に転送する」**（363ページ参照）

1 画像データを記録したCD-R/RWを本機に差し込む、またはUSBメモリを接続します。**「使用できる画像データについて」**（65ページ参照）

- 画像データの読み込み中は本機およびエンジンスイッチの操作をしないでください。

2 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

3 画像データ にタッチします。

次ページに続く

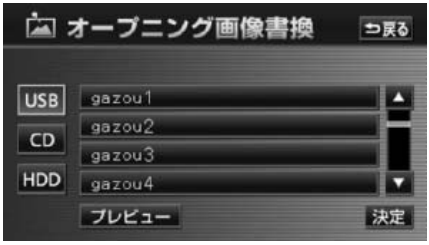
6. 本機の設定

4 オープニング画の **変更する** にタッチします。

5 **カスタムの変更** にタッチします。

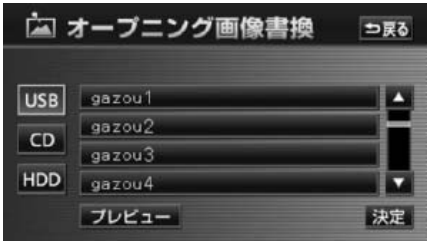


6 **USB** 、**CD** 、**HDD** のいずれかにタッチします。



7 オープニング画面に設定するデータにタッチします。

- **プレビュー** にタッチすると、選択した画像を表示することができます。
- 複数のデータがある場合は、**▲** 、**▼** にタッチすると、データを切り替えて表示することができます。





● **プレビュー画面**

8 **決定** にタッチします。

- 設定したオープニング画面が表示されます。

9 **完了** にタッチします。

■携帯電話に保存した画像データをオープニング画面に設定する

携帯電話に保存されている画像データを赤外線通信機能で送信し、オープニング画面として表示することができます。送信できる画像データについては、**「携帯電話から送信する場合」**（58ページ）を参照してください。

⚠ 警 告

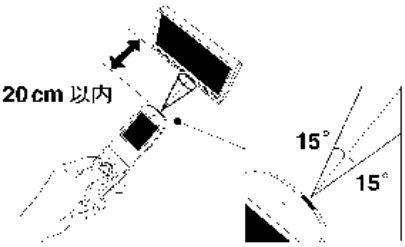
走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

チェック

- 赤外線通信を行うには、携帯電話と本機をそれぞれ操作する必要があります。また、携帯電話から画像データを送信するには、専用のアプリケーションソフトが必要です。**「E-iSERVについて」**（49ページ参照）
- 通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作するときは携帯電話と本機の受光部をまっすぐ近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。

携帯電話の操作

1 専用のアプリケーションソフトから画像データを送信します。



本機の操作

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **画像データ** にタッチします。



3 オープニング画の **変更する** にタッチします。



4 **ケータイリンク** にタッチします。

- データを受信し、オープニング画面に登録されます。



次ページに続く

6. 本機の設定

ワンポイント

- IrDAバージョン1.2に対応しています。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、他の赤外線装置の近くでは正常に受信できない場合があります。
- 通信距離はあくまで目安です。携帯電話の機種や周囲の環境によって異なります。
- 赤外線受光部が汚れていると通信しにくくなります。汚れている時は傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。
- 携帯電話の機種により、通信しにくい場合があります。
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 画像データの転送には、画像サイズによって1分程度かかる場合があります。
- データ受信中は電源を切らないでください。

■使用できる画像データについて

オープニング画面に使用できるデータは、下記の条件で書き込まれたものになります。

パソコンなどからUSBメモリに記録する場合

	USBメモリ
画像容量	2MB以下（1ファイル当たり）
推奨画像サイズ	約401万画素以下
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は非対応）
表示ファイル数（枚数）	100まで
ファイル名文字数	半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1/※2
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1/※2/※3
取り込み対象となる画像ファイル	ルートディレクトリ（最上位階層）およびPICフォルダ内

※1 半角数字、半角英字（大文字）、記号“_”（アンダースコア）、記号、漢字（表示できない文字有り）のみです。

※2 ファイル名が半角29文字以上の場合、ファイルは表示されません。

※3 拡張子.jpgは表示されません。

ワンポイント

- 画像サイズが横400×縦234dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- 画像サイズが横400×縦234dotより小さい場合、元の画像を規定サイズに拡大し、表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。

パソコンなどからCD-R/RWに書き込む場合

	CD-R／RW
ディスクフォーマット	ISO9660規格（MODE1）
画像容量	1.5MB以下（1ファイル当たり）
推奨画像サイズ	約401万画素以下
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は非対応）
書き込み方式	シングルセッションのみ
表示ファイル数（枚数）	100まで
ファイル名文字数	半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1/※2
表示文字数	半角28文字・全角14文字まで（+.jpg）※1/※2/※3
取り込み対象となる画像ファイル	ルートディレクトリのみ（最上位階層のみ）

※1 半角数字、半角英字（大文字）、記号“_”（アンダースコア）、記号、漢字（表示できない文字有り）のみです。

※2 ファイル名が半角29文字以上の場合、ファイルは表示されません。

※3 拡張子.jpgは表示されません。

次ページに続く

ワンポイント

- ●画像サイズが横400×縦234dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- ●画像サイズが横400×縦234dotより小さい場合、元の画像を規定サイズに拡大し、表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。

携帯電話から送信する場合

	携 帯 電 話
画像容量	100KBまで（1ファイル当たり）
ファイル拡張子	.jpg（JPEG2000は非対応）
表示文字数	送信日時により自動付与

ワンポイント

- ●画像サイズが横400×縦234dotより大きい場合、元の画像を規定サイズに縮小し、表示します。画像のない部分は黒帯になります。
- ●画像サイズが横400×縦234dotより小さい場合、元の画像を規定サイズに拡大し、表示します。画像のない部分は黒帯を表示します。

画面の調整・設定

画面を見やすくするため、ライト（車幅灯、尾灯、番号灯）の点灯・消灯により〈昼画表示〉と〈夜画表示〉に切り替わります。

取り付ける車種により、ライトの点灯、消灯を本機が検出できない場合があります。その場合は、手動で〈昼画表示〉と〈夜画表示〉を切り替えてください。

● ライト消灯時…＜昼画表示＞



● ライト点灯時…＜夜画表示＞



■画質調整画面を表示する

1 ナビゲーション画面、オーディオ操作画面、または映像画面のときに MENU を1秒以上押します。

2 調整が終了したら、**完了** にタッチします。

● 約20秒以上操作しなかったときは、自動で設定し表示していた画面にもどります。



■夜画・昼画表示に切り替える

1 昼画（夜画）表示のときに **夜画面**（ **昼画面** ）にタッチします。

● タッチするごとに、夜画表示と昼画表示が切り替わります。



ワンポイント

本機の電源を入れると、パネルスイッチは常時点灯します。

■画面を消す

1 **画面消** にタッチします。

● 再度、画面を表示させるには MAP を押します。

■画質の調整

昼画・夜画それぞれ独立して調整することができます。

チェック

操作画面、設定画面を表示している時は「色合い」、「色の濃さ」を調整することができません。



● **ナビゲーション画面およびオーディオ操作画面時**



● **映像画面時**

色合い（映像画面時のみ）

1 緑色を強くするときは **緑** 、赤色を強くするときは **赤** にタッチします。

色の濃さ（映像画面時のみ）

1 濃くするときは **濃** 、淡くするときは **淡** にタッチします。

コントラスト

1 強くするときは **強** 、弱くするときは **弱** にタッチします。

6. 本機の設定

明るさ

1 明るくするときは **明** 、暗くするときは **暗** にタッチします。

● ライト消灯時の初期設定は最大値（一番明るい状態）になっています。

■画質の補正（Vivid View）

画質全体を同時に補正することができます。



● **オーディオ操作画面時**



● **映像画面時**

1 **Vivid View** にタッチします。

● タッチスイッチにタッチするごとに、下図の順に補正レベルを切り替えることができます。

Hi→ Off → Low → Mid

ラジオアンテナの設定

お車のラジオアンテナがオートアンテナの場合、ラジオ受信時以外にもラジオアンテナが上がったままになります。このときは、本機から強制的にラジオアンテナを下げることができます。

⚠ 重要

ラジオアンテナを下げたまま、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、次にエンジンスイッチをACC、またはONにしてもラジオアンテナは、下がったままになります。ラジオアンテナを上げるときは、設定画面で、**上げる** にタッチしてください。

1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

● **設定** が表示されていないときは、**次** にタッチします。



3 ラジオアンテナの **上げる** 、または **下げる** にタッチします。

- **下げる** にタッチしたときは、メッセージを確認後、**表示消去** にタッチします。



4 **設定完了** にタッチします。

6. 本機の設定

ESNの設定

ESN（ECLIPSE Security Network)は、バッテリーターミナルをはずして再度接続した場合に、本機をロックする（操作できなくする）セキュリティ機能です。

ESN作動中はセキュリティインジケータを点滅させて、盗難を抑止することができます。

また、ACCセキュリティを作動させると、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にするたびに本機をロックすることができます。



セキュリティインジケータ

■ESN設定画面を表示する

1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 ESN にタッチします。

● ESN設定画面が表示されます。



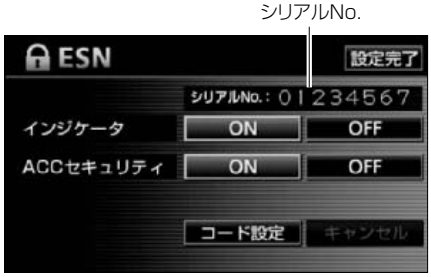
■ESNを作動する

ESNは4桁の暗証番号を本機に登録することで作動します。

● 暗証番号の初期設定は「0000」です。暗証番号は他人にわかりにくい番号にしてください。

1 ESN設定画面で、**コード設定** にタッチします。

● 表示されるシリアルNo.は、保証書に記載されている製造番号と同一の、機器固有の番号です。



2 現在の暗証番号を入力します。

● 初期設定は「0000」です。

● 間違えたときは、**クリア** にタッチすると、消去されます。



3 **決定** にタッチします。

4 新しい暗証番号を入力します。

● 入力した暗証番号は“＊”で表示されます。



5 **決定** にタッチします。

6 もう一度、**4** で入力した暗証番号を入力します。



7 **決定** にタッチします。

8 **はい** にタッチします。

● ESNが作動します。



次ページに続く

6. 本機の設定

ワンポイント

- 暗証番号の登録中は、オーディオがOFFになります。
- 登録した暗証番号は、セキュリティの解除や暗証番号の変更を行うときに必要になります。登録した暗証番号を忘れたときの確認用にメモなどをしておくことをおすすめします。

■ESNのロックを解除する

バッテリーターミナルをはずした後、エンジンスイッチをONにすると、セキュリティがロックされた状態で起動します。ロックを解除するには、解除キーの入力が必要です。

解除キーは携帯電話からE-iSERVにメールを送ると取得することができます。

チェック

ロックを解除するときに使用する解除キーは、ESN作動時に設定した4桁の暗証番号とは異なります。

1 携帯電話で2次元バーコードを読み取り、メーラーを立ち上げます。

- 2次元バーコードは、セキュリティ保護のため、Web上では公開しておりません。製品に同梱されている「取扱説明書」の97ページを参照してください。
- 携帯電話のメールの作成画面が表示されます。
- アドレスはあらかじめ入力されています。

2 **認証** にタッチします。

- 解除キー入力画面が表示されます。
- 画面切り替え確認メッセージが表示されるまで **HELP** にタッチし、**はい** にタッチすると、"お客様相談窓口へお問い合わせ下さい"のメッセージが表示され、操作できなくなります。この場合、お買い上げの販売店までご連絡ください。



3 メールのタイトルにシリアルNo.（8桁）、本文に前回のキーNo.（6桁）を入力します。



前回のキーNo.　シリアルNo.



4 メールを送信します。

- 今回のキーNo.が記載されたメールがE-iSERVより返信されます。

5 メールに記載されている、今回のキー No.を入力します。

● 間違えたときは **クリア** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



6 **決定** にタッチします。

● 5回照合できなかった場合、" お客様相談窓口へお問い合わせ下さい"のメッセージが表示され、操作できなくなります。この場合、お買い上げの販売店までご連絡ください。

ワンポイント

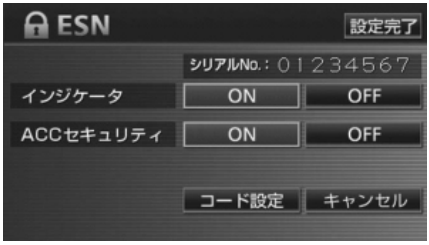
- 本機能はNTT　DoCoMo、au、SoftBankの3キャリアに対応しています。（一部の携帯電話やドメインには対応していません。）
- 携帯電話以外（パソコンなど）から送信されたメールや、ファイルが添付されているメール（デコメールやHTML メールなど）には対応していません。
- メールにはシリアルNo.や前回のキーNo.以外の文字を入力しないでください。桁数が違う場合や、英数字以外の文字が入力されている場合、エラーメールが返信されます。
- 携帯電話がE-iSERV（esn_admin@eismail.ten.fujitsu.com）からのメールを受信できるよう設定しておいてください。
- メールサーバーの通信状況やメンテナンス状況によっては、メールの返信に時間がかかる場合があります。
- E-iSERV のメンテナンス等サービスに関する情報は、ホームページでご確認ください。http://www.e-iserv.jp/top/index.html

■ESNを解除する

チェック

ESNを解除した場合、ACCセキュリティも解除されます。ACCセキュリティのみを解除したい場合は、**「ACCセキュリティを解除する」**（75ページ）を参照してください。

1 ESN設定画面で、**キャンセル** にタッチします。



2 暗証番号を入力します。



3 **決定** にタッチします。

次ページに続く

6. 本機の設定

4 **はい** にタッチします。



■ ACCセキュリティを作動する

ACCセキュリティを作動させると、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にするたびに、本機をロックすることができます。

チェック

ACCセキュリティの作動は、ESNの作動中のみ行うことができます。

1 ESNを作動します。

● **「ESNを作動する」**（71ページ）を参照してください。

2 ACCセキュリティの **ON** にタッチします。



3 **設定完了** にタッチします。

■ ACCセキュリティのロックを解除する

ACCセキュリティが作動しているときは、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からONにするたびに、認証画面が表示されます。認証画面で暗証番号を入力するとロックを解除することができます。

1 暗証番号を入力します。

● 間違えたときは、 **クリア** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



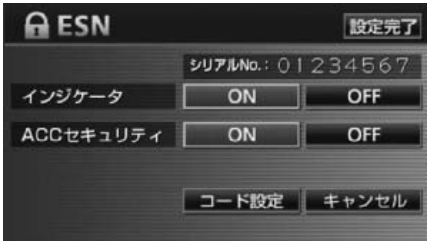
2 **決定** にタッチします。

● 5回照合できなかった場合、"お客様相談窓口へお問い合わせ下さい"のメッセージが表示され、操作できなくなります。この場合、お買い上げの販売店までご連絡ください。



■ ACCセキュリティを解除する

1 ESN設定画面で、ACCセキュリティの **OFF** にタッチします。



2 **設定完了** にタッチします。

■ 暗証番号を変更する

1 ESN設定画面で、**コード設定** にタッチします。



2 現在の暗証番号を入力します。

● 間違えたときは **クリア** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。



3 **決定** にタッチします。

4 新しい暗証番号を入力します。



5 **決定** にタッチします。

6 もう一度、**4** で入力した番号を入力します。



次ページに続く

7 決定 にタッチします。

8 はい にタッチします。

● 暗証番号が変更されます。



■ セキュリティインジケータの表示を設定する

ESNを作動させているときに点滅するセキュリティインジケータの表示を切り替えることができます。

1 ESN設定画面で、インジケータの ON 、または OFF にタッチします。



2 設定完了 にタッチします。

個人情報の初期化

本機に登録した内容を消去し、本機を初期状態にもどすことができます。

初期化（消去）される項目は下記になります。

項目	初期化される内容
メンテナンス	各種項目・自動通知設定
メモリ地点	登録したメモリ地点
迂回メモリ地点	登録した迂回メモリ地点
目的地履歴	目的地を設定したときに自動で記憶される地点
ユーザーカスタマイズ	記憶させた各種ナビ設定
ショートカット	ショートカットスイッチに記憶させた機能
走行軌跡	保存した走行軌跡の履歴
DTVの設定	DTVに関する設定
Bluetooth AUDIO※	登録したBluetooth機器の情報
ハンズフリー※	登録した電話帳データ
	発信履歴および着信履歴
	登録した携帯電話の情報
	ロックNo.の設定

※ 別売の Bluetooth ユニットが接続されているとき

1 MENU を押します。

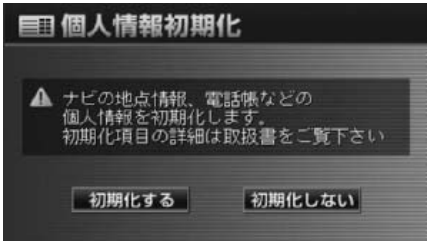
● 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 個人情報初期化 にタッチします。

● 個人情報初期化 が表示されていないときは、次 にタッチします。

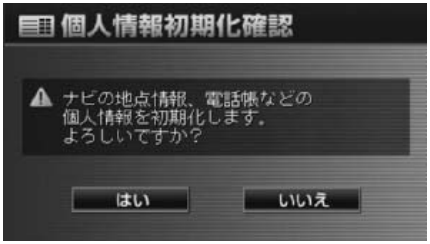


3 初期化する にタッチします。



4 はい にタッチします。

● 個人情報を初期化後、2 の画面にもどります。



ワンポイント

- ハードディスクに保存された音楽データや画像データは消去されません。MUSIC JUKEやMUSIC JUKE plusの操作、または画像データの消去でデータを消去してください。詳しくは**「プレイリストの削除」**（417ページ）、**「トラックの消去」**（422ページ）、**「音楽ファイルを削除する」**（376ページ）、**「画像データを消去する」**（60ページ）を参照してください。
- 一度初期化（消去）された内容（データ）は元にもどせません。十分注意して初期化作業をおこなってください。
- 初期化中はオーディオの出力が停止します。初期化後、自動で音声を出力します。
- Bluetooth AUDIO、またはハンズフリー機能を使用している場合、Bluetooth接続が切断されます。

MEMO

ナビゲーション

1. GPSボイスナビゲーションについて

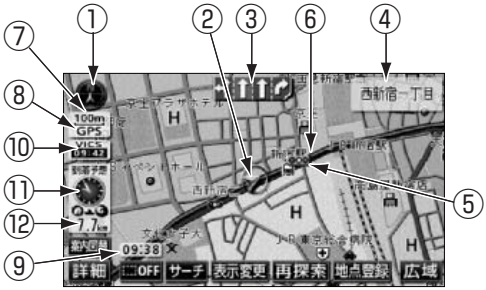
目的地を設定することによって、自動的にルートを探索し、音声と画面表示によるルート案内を行います。

GPSボイスナビゲーションをお使いになる前に

- 地図データに情報が無い場合は、路線名の表示や施設の検索、ルートの案内などをすることができません。
- 本機が探索するルートは目的地周辺までの参考ルートです。必ずしも最短ルート、早く行けるルート、渋滞していないルートではありません。
- 施設の表示やルートの案内などは、実際とは異なる場合があります。
- 到着予想時刻は、走行条件などにより、多少の誤差が生じる場合があります。
- 交差点案内や音声案内などは、状況により異なる場合があります。また、まれに誤った案内が行われる場合があります。

ナビゲーション画面の見方

ナビゲーションの地図表示には現在地画面とスクロールさせた地図画面があります。



＜現在地画面＞



＜スクロール地図画面＞

① **方位マーク**（ヘディングアップ時は ）
地図の方角が表示されます。

- 地図向き（ノースアップ／ヘディングアップ）の切り替えについては**「地図向きの切り替え」**（104ページ）を参照してください。

② **自車マーク**
現在位置と車が向いている方角が表示されます。

③ **レーン（車線）表示**
通過・分岐する交差点の車線が表示されます。（地図データに情報のある交差点のみ）

- 目的地案内中は走行を推奨する車線が青色で表示されます。

④ **名称表示（ ）**
状況により次の名称が表示されます。（地図データに情報のある地点のみ）

- 通過・分岐する交差点の名称
- 走行している道路の名称、または路線番号
- 通過するインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）の名称（高速道路を走行しているときのみ）

● 分岐するインターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）の方面名称（高速道路を走行しているときのみ）

⑤ **案内ポイント**

交差点案内（車線表示・交差点名称表示・交差点拡大図）が表示されます。

● 交差点案内については、**「交差点・側道・レーン（車線）案内」**（187ページ）を参照してください。

⑥ **ルート表示**

目的地を設定したとき、目的地までのルートが表示されます。

● 案内が行われるのは、濃い青（ ▬▬ ）の表示上に現在地があるときです。出発地および目的地周辺の細街路では薄い青のルートのみ表示します。

⑦ **スケール表示**

表示させている地図の縮尺が表示されます。

⌐¬ の長さがこの場合は100mになります。

⑧ **GPSマーク**

GPS衛星からの位置情報が利用されているときに、表示されます。

ただし、GPSマークが表示されているときでも、GPS衛星の状態などにより誤差が生じることがあります。

GPSは次のようなときに利用できないことがあります。

● ビル、トンネル、高架道路などでGPS衛星からの電波が遮断されるとき

● GPS アンテナのまわりに遮へい物があるなど電波が遮断されるとき

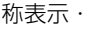
● GPS 衛星が電波を出していないとき（米国の追跡官制センターで信号をコントロールしているため改良･修理等で電波が止まることがあります。）

● デジタル式携帯電話（1.5GHz）を GPS アンテナ付近で使用したとき

⑨ **時計表示**

現在の時刻が表示されます。

● 表示については、**「時計表示の切り替え」**（90ページ）を参照してください。

⑩ **VICSタイムスタンプ** 

VICS情報が提供された時刻が表示されます。また、渋滞規制案内音声があるときは、タッチスイッチに替わります。

（目的地案内中のルート上にVICS情報があるときは、タイムスタンプが、渋滞：赤、混雑：橙、規制：黄になります。）

● VICS情報の表示については、**「VICS情報の表示」**（246ページ）を参照してください。

● 地図上に表示されるマークについては、**「地図に表示されるVICS表示マークについて」**（251ページ）、または**「凡例」**（562ページ）を参照してください。

⑪ **到着予想時刻表示／目的地方向マーク**

状況により次のマークが表示されます。

■ **到着予想時刻表示** 

目的地案内中、目的地へ到着する予想時刻が表示されます。

● 到着予想時刻については、**「到着予想時刻表示の設定」**（194ページ）を参照してください。

● 案内中の到着予想時刻表示の切り替えについては**「到着予想時刻／残距離表示の切り替え」**（210ページ）を参照してください。

■ **目的地方向マーク** 

ルートからはずれたとき、目的地の方向が表示されます。

次ページに続く

1. GPSボイスナビゲーションについて

⑫ **残距離表示**

現在地から目的地までの距離が表示されます。

- 目的地案内中は、表示されているルートを通っての距離が表示されます。
- ルートからはずれたときは、直線距離が表示されます。
- 残距離表示の切り替えについては、**「到着予想時刻／残距離表示の切り替え」**（210ページ）を参照してください。

⑬ **カーソルマーク**

検索した地図やスクロールさせた地図に表示されます。

スクロールするには地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチします。

⑭ **カーソル位置地名表示**

スクロールしたカーソル位置の地名が表示されます。（手をはなしてから約6秒間）

1. ナビメニュー画面・リスト画面について

ナビメニュー画面

1 MENU を押します。

- ナビメニュー画面が表示されます。
- ナビメニュー画面が表示されない場合、ナビ にタッチします。
- MENU を押すごとに、下図の順にメニュー画面を切り替えることができます。

ナビメニュー画面→オーディオメニュー画面
↑ 情報メニュー画面 ←

2 タッチスイッチにタッチして、次の操作を行うことができます。

- 次 にタッチすると、項目を切り替えることができます。



● ナビメニュー画面

項目（タッチスイッチ）	機　能	ページ
目的地	目的地の設定	158
	目的地の予約	218
案内中止／案内再開※2	目的地案内の中止・再開	185
メモリ地点	メモリ地点の登録・修正・消去	222、223、231
	迂回メモリ地点の登録・修正・消去	233、234、235
音量設定	音量の設定	91
	高速時の自動音量切り替えの設定	91
VICS	VICS図形情報・文字情報の表示	249、250
	割り込み情報の表示	249、250、281
	割り込み情報の表示の設定※1	280
	VICS提供放送局の選択	241
	FM多重チューナーの設定	241
赤外線通信ケータイリンク	赤外線通信での地図の呼び出し	150
Bluetoothケータイリンク※1	Bluetooth通信での地図の呼び出し	152
ユーザーカスタマイズ	各種ナビ設定の記憶・呼び出し・消去	307、308
車速情報	車速パルスの確認	311
使用データ	地図データの情報表示	310

※1 機器が接続されていないときは、表示されません。
※2 目的地が設定されていないときは、トーンダウンし、タッチしても操作できません。

次ページに続く

1. ナビメニュー画面・リスト画面について

項目（タッチスイッチ）		機　能	ページ
各種設定※3	地図表示設定	フロントワイド表示の設定	105
		3D時ルート方向アップ表示の設定	117
		3D地図表示の角度の調整	115
		3Dビル表示の設定	115
		行政区域塗り分け表示の設定	119
		地図の表示色の切り替え	89
		リアルワイドマップ表示の設定	118
		地図の文字サイズの切り替え	89
		立体ランドマーク表示の設定	120
		シーズンレジャーランドマーク表示の設定	119
		地図スクロール時の地名表示の設定	95
	自動表示切替設定	交差点拡大図自動表示の設定	188
		リアル交差点拡大図自動表示の設定	190
		高速分岐模式図自動表示の設定	203
		レーンリスト自動表示の設定	192
		ターンリスト自動表示の設定	201
		都市高速マップ自動表示の設定	205
		高速路線マップ自動表示の設定	111
		駐車場マップ自動表示の設定	112
		細街路自動ツイン表示の設定	194
	案内表示設定	縮尺切替メッセージ表示の設定	100
		道路形状警告の設定	122
		交通事故多発区間警告の設定	121
		料金案内の設定	196
		料金所レーン案内の設定	199
		県境案内の設定	123
		3D交差点拡大図の設定	190
		到着予想時刻表示の設定	194
		平均車速の設定	195
		VICS情報・交通データ考慮の設定	195
	音声設定	VICS渋滞・規制音声自動発声の設定	248
		自動音声案内の設定	208
		他モード時の案内の設定	209
		操作説明音声の設定	92
		交差点目印案内の設定	208
		ハートフル音声の設定	92

※3 各項目の初期状態については、**「ナビゲーションの機能概要および初期状態について」**（528ページ）を参照してください。

項目（タッチスイッチ）		機　能	ページ
各種設定※3	ルート系設定	自動再探索の設定	217
		ルート学習の設定	162
		ルート学習結果の消去	163
		交通状況学習結果の表示	256
		交通状況学習結果の消去	256
		季節規制メッセージ表示の設定	168
		渋滞統計データ考慮の設定※4	163
	その他	スイッチ表示の設定	96
		周辺施設走行中呼出ジャンルの変更	128
		車両情報の設定※5	197
		目的地履歴の消去	184
		画面切り替え時の動画表現の設定	90
		ショートカットスイッチの設定	97
		時計表示の設定	90
		現在地の修正・距離の補正	304、305

※3 各項目の初期状態については、**「ナビゲーションの機能概要および初期状態について」**（528ページ）を参照してください。

※4 別売の2メディア/3レベル対応VICSユニット接続時には、電波・光ビーコンからのVICS情報もルート探索に考慮することができます。

※5 目的地が設定されているときは、トーンダウンし、タッチしても操作できません。

ワンポイント

各種設定画面で **初期状態** にタッチすると、下記を除く各種設定項目がすべて初期設定の状態にもどります。

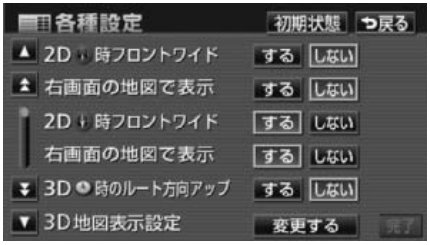
- 3D地図表示設定
- 3Dビル表示の高さの設定
- 平均車速の設定
- スイッチ表示の設定
- 周辺施設走行中呼出ジャンルの変更
- 車両情報の設定
- ショートカットスイッチの設定
- ナビ補正

1. ナビメニュー画面・リスト画面について

リスト画面の切り替え方

■▲・▼の切り替え表示

▲ ・ ▼ にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



■前・次の切り替え表示

▲前 ・ ▼次 にタッチすると、1項目ずつリストが動きます。



■50音順の切り替え表示

▲50音 ・ ▼50音 にタッチすると、「あ→い」と次の音にリストが動きます。



■行の切り替え表示

あ行 ・ か行 ・ さ行 ・ た行 ・ な行 ・ は行 ・ ま行 ・ や行 ・ ら行 ・ わ行 にタッチすると、行ごとにリストが動きます。



■英数字の切り替え表示

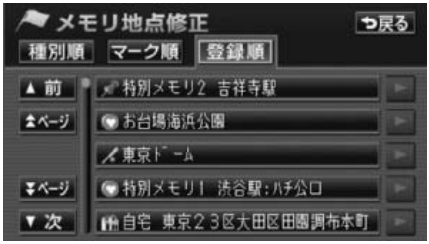
ABC ・ DEF ・ GHI ・ JKL ・ MNO ・ PQRS ・ TUV ・ WXYZ ・ 0-9 にタッチします。

- タッチするごとに、「A→B」と次の英数字にリストが動きます。



■ページの切り替え表示

▲ページ ・ ▼ページ にタッチすると、1ページずつリストが動きます。

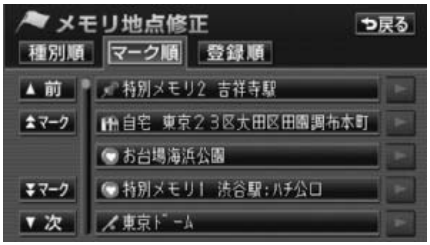


▲▲ ・ ▼▼ にタッチすると、1ページずつリストが動きます。



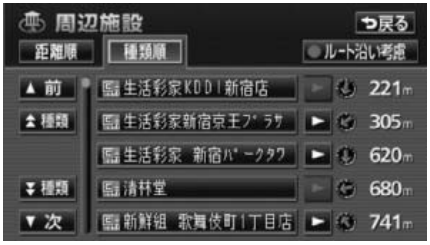
■ マークの切り替え表示

▲マーク ・ ▼マーク にタッチすると、次のマークにリストが動きます。



■ 種類の切り替え表示

▲種類 ・ ▼種類 にタッチすると、次の種類にリストが動きます。



■ 地域の切り替え表示

北海道 ・ 東北 ・ 関東 ・ 中部 ・ 近畿 ・ 中四国 ・ 九州 にタッチすると、地域ごとにリストが動きます。



■ 施設項目の切り替え表示

店 ・ 宿泊 ・ 遊び ・ 公共 ・ 医療 ・ 交通 ・ 文化 ・ 他 にタッチすると、施設項目ごとにリストが動きます。



1. ナビメニュー画面・リスト画面について

文字の表示範囲の切り替え方

リストに表示されている名称の文字数が多い場合、名称がすべて表示されないことがあります。次の操作をすると、名称をすべて確認することができます。

- ▶ 、または ◀ にタッチすると、名称をすべて確認することができます。



2. 画面の調整・音声の設定

地図の表示色の切り替え

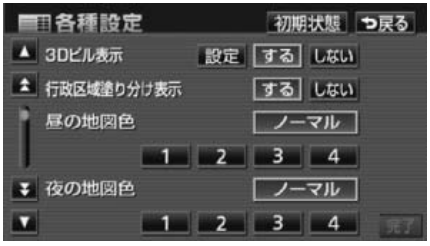
昼画・夜画それぞれの地図表示色（5種類）を切り替えることができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 昼の地図色・夜の地図色それぞれで、**ノーマル** ・ **1** ・ **2** ・ **3** ・ **4** のいずれかにタッチします。



4 **完了** にタッチします。

スイッチ番号	強調する内容
ノーマル	通常の色表示
1	道路の識別を強調した色表示
2	案内ルートを強調した色表示
3	主要道路を強調した色表示
4	地図彩度を抑えた色表示

地図の名称（文字）サイズの切り替え

地図に表示されている名称（文字）の大きさを切り替える（2種類）ことができます。

● 文字サイズ：**大**



● 文字サイズ：**小**



1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

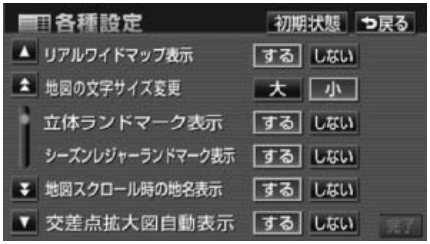
2 **地図表示設定** にタッチします。



次ページに続く

2. 画面の調整・音声の設定

3 地図の文字サイズ変更の **大** 、または **小** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

3D表示（113 ページ参照）にさせているときは、手前側から大きい文字で表示されます。

画面切り替え時の動画表現の設定

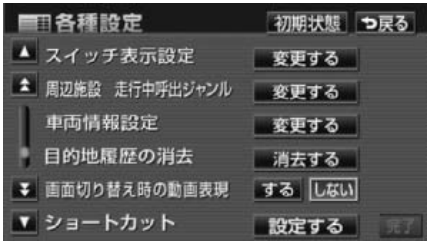
画面の切り替えを動きのある表現に設定することができます。（一部を除く）

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 画面切り替え時の動画表現の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

時計表示の切り替え

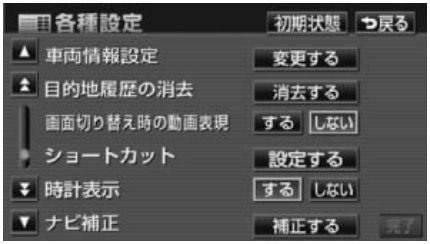
地図画面に表示される現在時刻の表示を切り替えることができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 時計表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

時計表示の時刻はGPS電波を利用して自動調整します。（手動で調整することはできません。）

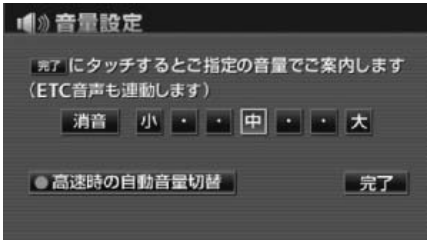
音量の設定

操作の手引きを説明する音声やルート案内中に聞こえる音声の音量を調整することができます。

■音量を調節する

1 ナビメニュー画面で、**音量設定** にタッチします。

2 **消音** ・ **小** ・ ・ ・ ・ **中** ・ ・ ・ **大** のいずれかにタッチします。



3 **完了** にタッチします。

■高速走行時の自動音量切り替えを設定する

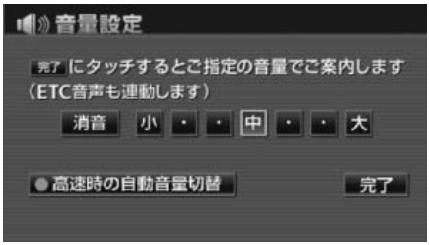
高速走行中は、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。

自動音量切り替えをON（自動で上がる）にするか、OFF（上がらない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**音量設定** にタッチします。

2 **高速時の自動音量切替** にタッチします。

● タッチするたびに、ONとOFFが切り替わります。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

高速時の自動音量切替をONにすると、車速が約80km/h以上になったときに、設定した音量が自動的に1段階上がります。（車速が約70km/h以下になると、もとの音量にもどります。）

2. 画面の調整・音声の設定

操作説明音声（ボイスヘルプ）の設定

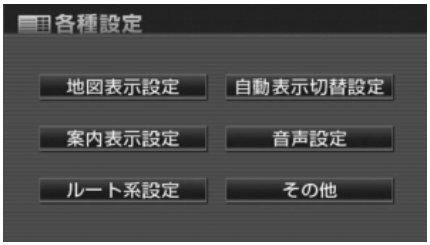
操作の手引きとなる説明音声を出力させることができます。

■操作説明音声を設定する

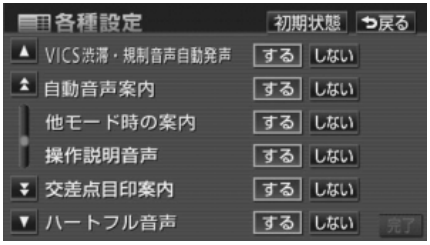
操作説明音声をON（発声する）にするか、OFF（発声しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **音声設定** にタッチします。



3 操作説明音声の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ハートフル音声の設定

ハートフル音声をON（発声する）に設定すると、通常のナビゲーションの音声案内とは別に日付、あいさつなどの音声を出力させることができます。

その日に初めてエンジンスイッチをACC、またはONにし、ナビゲーション画面を表示したとき日付、曜日などをお知らせします。

[ハートフル音声の例]

- 日付案内の例
  今日は○月○日○曜日○○○（記念日など）です。（1回のみ／日）
- 自宅到着の例
  お疲れさまでした。（目的地設定の **自宅へ帰る** からルート案内したときのみ）
- 挨拶の例
  ・明けましておめでとうございます。（1/1～1/3に1回のみ／日）
  ・メリークリスマス（12/24～12/25に1回のみ／日）

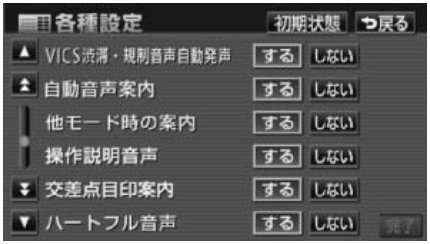
■ハートフル音声を設定する

ハートフル音声をON（発声する）にするか、OFF（発声しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **音声設定** にタッチします。

3 ハートフル音声の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

以下の場合、ハートフル音声が2回出力されます。

- 午前 5 時までにナビゲーションを起動する…1回目の音声出力
- 再度、午前5時以降にナビゲーションを起動する…2回目の音声出力

3. 地図の表示

現在地の表示

エンジンスイッチをACC、またはONにすると、現在地画面になります。

- 地図に現在の車の位置（自車位置）が表示されます。
- 現在地以外の画面を表示させているときは、MAP を押すと、現在地画面にもどります。

チェック

- エンジンスイッチを OFF（LOCK）にするとき、DTVやDVDなどの映像画面を表示していた場合は、エンジンスイッチをACC、またはONにしても現在地が表示されません。
- 高速路線マップを表示させているときは、地名・路線名・路線番号は表示されません。

1 現在地画面で、MAP を押します。

- 現在地付近の地名が表示されます。
- 現在地が道路上のときは、路線名・路線番号が表示される場合があります。（25m～200mスケール図のとき）



ワンポイント

- 取り付け後、およびバッテリーターミナルを脱着したあとは、実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている（自車マークがずれている）ことがあります。しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、自車位置が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）
  GPS情報が利用されず、自車位置が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、自車位置の修正を行ってください。（304 ページ参照）
- 走行中は道路の表示が制限されます。（細街路などは表示されません。）ただし、細街路を走行したときなどは、必要に応じて表示されます。

地図の移動（ワンタッチスクロール）

地図を表示させているときに、地図（タッチスイッチ以外の場所）に直接タッチすると、タッチした地点が画面の中心となり、地図を動かすこと（スクロール）ができます。また、スクロール中は、地図中心付近の地名を表示します。

■地図の移動

1 地図にタッチ（タッチスイッチ以外の場所）します。

- 地図左に現在地からの直線距離が表示されます。
- 画面の中心付近にタッチし続けるとゆっくり連続して地図が移動します。
- 画面の端付近にタッチし続けると高速で連続して地図が移動します。
- 地図の移動後、カーソルの地名が約 6 秒間、画面上部に表示されます。
- カーソル位置が道路上のときは、路線名・路線番号が表示される場合があります。（50m～200mスケール図のとき）



ワンポイント

- 安全のため、走行中の地図の移動は、一定の距離でのスクロールになります。
- ワンタッチスクロールで地図を動かすと、地図が固定され、現在地が移動しても地図は動きません。MAP を押すと、もとの状態（地図が動く）にもどります。
- 地図を移動させたときは、地図向きの切り替え（104 ページ参照）ができないことがあります。

■スクロール時の地名表示を設定する

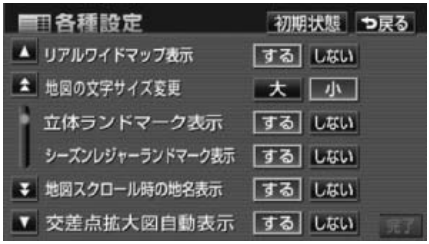
地図スクロール時の地名表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 地図スクロール時の地名表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

3. 地図の表示

タッチスイッチの表示切り替え

地図を表示させているときに、画面上のタッチスイッチの表示を少なくすることができます。

■ タッチスイッチの表示を切り替える

1 OFF にタッチします。



- タッチスイッチが表示されていないときに、ON にタッチすると、タッチスイッチが表示されます。



■ タッチスイッチの表示を設定する

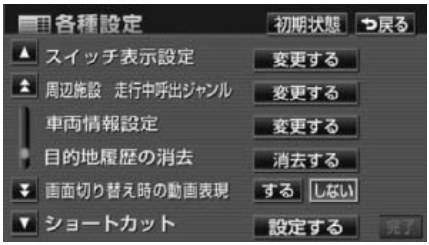
OFF にタッチしたときに表示するスイッチを設定することができます。

1 ナビメニュー画面で、各種設定 にタッチします。

2 その他 にタッチします。



3 スイッチ表示設定の 変更する にタッチします。



4 表示するタッチスイッチ（トーンダウンしているタッチスイッチ）にタッチします。

- トーンダウンしているタッチスイッチは OFF にタッチしたとき消去されます。
- すべてのタッチスイッチを表示する設定にしたとき、OFF は表示されません。
- 初期状態 にタッチすると、表示設定が初期設定の状態にもどります。



5 完了 にタッチします。

ワンポイント

広域 および **詳細** の表示設定は同じになります。別々の表示設定にすることはできません。

ショートカットスイッチ表示の設定

よく使う機能を設定（1つのみ）しておくと、現在地画面や地図画面にショートカットスイッチを表示して、ワンタッチで機能の操作画面を呼び出すことができます。



● ショートカットスイッチ表示

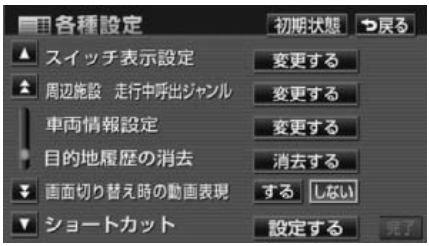
■ショートカットスイッチを設定・表示する

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 ショートカットの **設定する** にタッチします。



4 設定する機能のスイッチにタッチします。

- **音量設定**（91 ページ参照）
- **地図表示設定**（106 ページ参照）
- **ユーザーカスタマイズ**（307 ページ参照）
- **FM多重**（260 ページ参照）
- **VICS FM図形**（249 ページ参照）
- **VICS FM文字**（250 ページ参照）
- **VICS表示設定**（244 ページ参照）
- **カレンダー**（278 ページ参照）



5 **完了** にタッチします。

■ショートカットスイッチの設定・表示を解除する

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

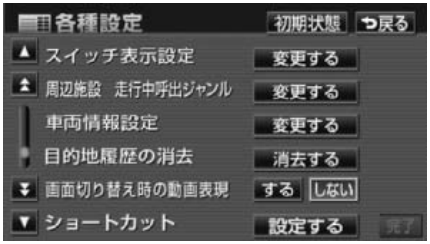
次ページに続く

3. 地図の表示

2 **その他** にタッチします。



3 ショートカットの **設定する** にタッチします。



4 **表示解除** にタッチします。



5 **完了** にタッチします。

地図縮尺の切り替え

地図を1/2048万図～1/2500図までの希望の縮尺（地図の範囲）に切り替えることができます。また、目的地が設定されているときは、ワンタッチで目的地までを表示する縮尺に切り替えることができます。

タッチスイッチ	縮尺	スケール表示	タッチスイッチ	縮尺	スケール表示
市街図 詳細	1/2500	25m		1/16万	1.6km
				1/32万	3km
広域	1/5000	50m		1/64万	7km
市街図	1/5000	50m		1/128万	13km
詳細	1/1万	100m		1/256万	26km
	1/2万	200m		1/512万	50km
	1/4万	400m		1/1024万	100km
	1/8万	800m	広域	1/2048万	200km

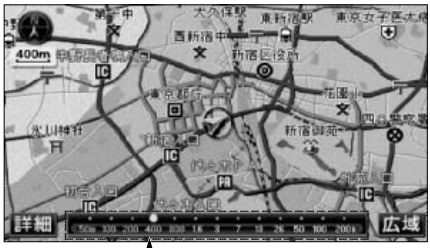
■希望の縮尺に切り替える

チェック

走行中は安全のため、縮尺を無段階に切り替える、またはスケールバーの数字にタッチして縮尺を切り替えることはできません。

1 地図の範囲を広くするときは 広域 、狭くするときは 詳細 にタッチします。

- タッチスイッチにタッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。
- 広域 、または 詳細 にタッチしたあと、スケールバーの数字にタッチすると、タッチした数字の縮尺に切り替わります。
- 広域 、または 詳細 を約1秒以上タッチし続けると、縮尺を無段階に切り替えることができます。
- 新たに切り替えた縮尺が ○ （黄色）で表示されます。



スケールバー

ワンポイント

- 3D表示、または駐車場マップを表示しているときはスケール表示の ⌊⌋ を表示しません。また、バーチャタウンマップ表示中はREAL、駐車場マップ表示中はPARKと表示します。
- 最大範囲（200km スケール図）にすると 広域 が消去されます。また、最小範囲（50mスケール図）にすると 詳細 が 市街図 （101 ページ参照）に切り替わります。（市街図が収録されている地域のみです。市街図が収録されていない地域は 詳細 が消去されます。）

3. 地図の表示

■目的地までの縮尺に切り替える

目的地が設定されているときに、現在地を中心にワンタッチで、目的地までのルートを表示できる縮尺に切り替えることができます。

（複数の目的地が設定されているときは次の目的地まで）

チェック

3D表示中（113 ページ参照）、市街図表示中（101 ページ参照）は が表示されません。

1 目的地が設定されているときに、**広域** 、または **詳細** にタッチします。



2 にタッチします。



ワンポイント

設定しているルート、または現在地によってはルート全体を表示できないことがあります。

■縮尺切替メッセージ表示を設定する

縮尺切替中に『市街図を表示します』などのメッセージを画面に表示させることができます。



● **縮尺切替メッセージ表示**

縮尺切替メッセージ表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 縮尺切替メッセージ表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

縮尺切替メッセージ表示を **する** に設定したときは、以下のメッセージを表示することができます。

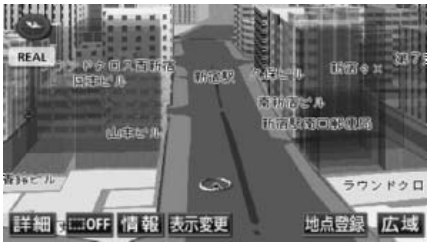
- 「都市高マップは 200m 図より詳細な地図では表示できません」
- 「都市高マップは 1.6km 図より広域な地図では表示できません」
- 「施設情報・VICS 情報は広域の地図には表示されません」
- 「施設情報は 800m 図より広域の地図には表示されません」
- 「VICS情報は1.6km図より広域の地図には表示されません」
- 「市街図を表示します」
- 「リアル市街図を表示します」

市街図の表示

市街図が収録されている地域では、1／2500図（25mスケール図）と1／5000図（50mスケール図）の市街図表示に切り替えることができます。



● 市街図



● バーチャタウンマップ表示

■市街図表示に切り替える

1 50mスケール図を表示させているときに、**市街図** にタッチします。

● 50mスケールの市街図が表示されます。



3. 地図の表示

■ 市街図の縮尺を切り替える

1 地図の範囲を広くするときは **広域**、狭くするときは **詳細** にタッチします。



ワンポイント

- 市街図が収録されていない地域に地図、または現在地を移動させると、市街図表示は自動的に解除されます。
- 25m　スケールの市街図では、一方通行を ➡ で表示します。バーチャタウンマップでは ⛔ で表示します。**「バーチャタウンマップを表示する」**（114ページ参照）
- 走行中、市街図で地図の移動（ワンタッチスクロール）はできません。
- 3D 表示にしているとき、25m スケールの市街図表示に切り替えると、自動的にバーチャタウンマップ表示になります。バーチャタウンマップ表示の操作については、**「バーチャタウンマップを表示する」**（114ページ）を参照してください。

■ 市街図表示を解除する

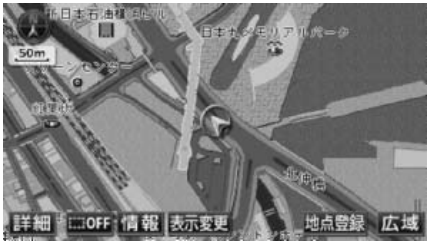
1 50mスケールの市街図を表示させているときに、**広域** にタッチします。



■ 施設の内容を表示する（ビルディングクイックサーチ）

1 市街図を表示させているときに、**情報** にタッチします。

- 3D表示（バーチャタウンマップ含む）・2画面表示の場合は解除され、通常の市街図になります。



2 ⇧ にタッチして、内容を表示させる施設がある建物の位置に地図を動かします。



3 **施設情報** にタッチします。

- 選んだ建物の建物名称・建物形状（建物が立ち上がります。）・施設の件数・階数・店名・会社名などが表示されます。
- 選んだ建物に複数の施設がないときは、施設の内容が表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 選んだ施設の内容が表示されます。
- リスト最上段の施設位置を建物に表示します。



走行軌跡の表示

走行した道路の軌跡（約1000km）を自動で保存し、表示することができます。

- 保存できる距離をこえて走行したときは、古い軌跡は消去して、新しい軌跡を保存します。



走行軌跡表示

■走行軌跡を表示する

チェック

- ●25m～50kmスケール図で表示させることができます。
- ●バーチャタウンマップ（114 ページ参照）、または高速路線マップ（110 ページ参照）を表示させているときは、走行軌跡を表示することはできません。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **走行軌跡表示** にタッチします。



■走行軌跡の消去・表示解除をする

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

次ページに続く

3. 地図の表示

2 走行軌跡解除 にタッチします。



3 はい 、または いいえ にタッチします。

- はい 保存してある軌跡を消去して、表示も解除します。
- いいえ 保存してある軌跡はそのままで、表示を消去します。



地図向きの切り替え

表示させている地図の向きを切り替えることができます。

- ノースアップ表示
  車の進行方向に関係なく、つねに北が上になるように地図が表示されます。



● ノースアップ表示

- ヘディングアップ表示 北を示します（赤色）
  車の進行方向がつねに上向きになるように地図が表示されます。



● ヘディングアップ表示

■地図の向きを切り替える

チェック

3D表示（113 ページ参照）にしているときは、地図向きを切り替えることはできません。

1 （または ）にタッチします。

- ノースアップ表示とヘディングアップ表示が切り替わります。



ワンポイント

ヘディングアップ表示のとき、目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、ノースアップ表示になりますが、現在地画面にすると、ヘディングアップ表示にもどります。

フロントワイド表示の切り替え

画面の中心に表示される自車マーク を、中心からずれて表示させることにより、進行方向の地図を広く表示させることができます。

次のそれぞれの条件で、フロントワイド表示にさせることができます。

① ノースアップ表示（1 画面表示）のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。

② 2画面表示（106 ページ参照）の右画面が、ノースアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。

③ ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。

④ 2画面表示（106 ページ参照）の右画面が、ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示させる。



● フロントワイド表示



● 通常の表示

■ フロントワイド表示を設定する

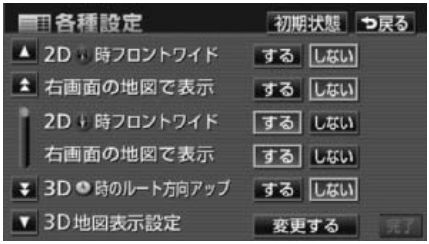
①～④の条件それぞれで、フロントワイド表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 各フロントワイドの項目の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

3. 地図の表示

2画面表示の切り替え（Wサイトナビ）

地図を表示させているときに、画面を左右に2分割して次のような表示をさせることができます。

[例]

左右異なる縮尺・ヘディングアップ表示とノースアップ表示・施設表示のONとOFF・3D表示のONとOFFに分割して表示できます。



● 2画面表示

■2画面表示に切り替える

チェック

シティドライブモード画面（108 ページ参照）、ターンリスト図（201 ページ参照）などの案内図表示中は2画面に切り替えることができません。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。



2 **地図表示** にタッチします。



3 **2Dツイン**（通常の2画面表示）、または **3Dツイン**（左画面を3D表示した2画面表示）にタッチします。

● 2画面表示に切り替わります。

● 左側の画面は 1 画面表示のときと同じ方法で操作できます。



ワンポイント

目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、2画面表示が解除されますが、現在地画面にすると、2画面表示にもどります。

■右画面を操作する

1 右画面内の地図にタッチします。

2 各タッチスイッチにタッチすると次の操作ができます。



■ **地図縮尺を切り替える（99 ページ参照）**

詳細 、または 広域 にタッチします。

■ **地図の向きを切り替える（104 ページ参照）**

（または ）にタッチします。（2画面表示でも操作できます。）

■ **3D表示に切り替える（113 ページ参照）**

3D表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。3D表示 にタッチします。

■ **施設の表示を設定する（124 ページ参照）**

左画面に施設を表示させているとき、施設をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。周辺施設表示 にタッチします。

■ **VICS情報の表示を設定する（244 ページ参照）、（246 ページ参照）**

左画面にVICS情報を表示させているとき、VICS情報をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。VICS表示 にタッチします。

3 地図縮尺、または地図の向きを切り替えた場合、戻る にタッチします。

ワンポイント

- 2画面にしたときの右画面については、前回に設定した表示方法が記憶されています。
- 施設の表示・VICS情報の表示は、左画面と同じ表示設定で、右画面にも表示されます。また、左画面に表示させていないときは、右画面に表示できません。

■2画面表示を解除する

1 地図を表示させているときに、表示変更 にタッチします。

2 地図表示 にタッチします。

3 2D （通常の表示）、または 3D （通常の3D表示）にタッチします。



3. 地図の表示

シティドライブモード画面

高速道路走行中（東名高速道路、名神高速道路など）、自動的に画面を左右に2分割して右側にシティドライブモード画面を表示します。また、目的地案内中は都市高速、有料道路でも自動でシティドライブモード画面が表示されます。



① 道路名称表示
走行中、または選んだ施設（SA・PA・IC）のある道路名称が表示されます。

② 施設名称表示
施設（SA・PA・IC）の名称が表示されます。

③ 距離表示
現在地からの距離が表示されます。

④ 通過予想時刻表示
選んだ施設（SA・PA・IC）の通過予想時刻が表示されます。

⑤ VICSマーク・表示
VICS情報が受信されたとき、表示されます。（VICSマークについては、**「地図に表示されるVICS表示マークについて」**（251ページ）、VICS表示については**「VICS情報表示の設定」**（244ページ）、**「VICS情報の表示」**（246ページ）を参照してください。）

⑥ 設備マーク表示
選んだ施設［サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）］にある設備が最大7つまで表示されます。（ガソリンスタンドは常に先頭に表示されます。設備が多い場合、表示されないマークもあります。）

■シティドライブモード画面を操作する

1 ▲ ・ ▼ 、または施設（SA・PA・IC）名称にタッチします。

- 選んだ施設（SA・PA・IC）に切り替わります。
- 施設(SA･PA･IC)を選んだとき、**現区間** にタッチすると、現在地からのシティドライブモード画面にもどります。



■シティドライブモード画面を解除する

チェック

案内図替の **分岐図** は目的地案内中で分岐点[出口インターチェンジ(IC)、ジャンクション（JCT）]が近いとき、**ターンリスト** は目的地案内中に表示されます。

1 **案内図替** にタッチします。

- 選択する画面（ **2** 参照）がないときは、タッチするごとに通常の地図とシティドライブモード画面が切り替わります。

2 通常の地図にするときは **地図** 、高速分岐模式図（203 ページ参照）にするときは **分岐図** 、ターンリスト図（201 ページ参照）にするときは **ターンリスト** にタッチします。

- 再度、シティドライブモード画面を表示するときは、案内図替で、**高速略図** にタッチします。



■ 設備マーク表示

マーク	内容
	レストラン
	ドラッグストア
	仮眠施設
	お風呂
	キャッシュコーナー
	ハイウェイ情報ターミナル
	郵便局・ポスト
	ＦＡＸ
	ショッピングコーナー
	休憩所
	スナックコーナー
	トイレ

次ページに続く

3. 地図の表示

マーク	内容
	ハイウェイオアシス
IC	スマートインターチェンジ

● ガソリンスタンドは、ロゴマークが表示されます。

ワンポイント

●目的地案内をしていないときの施設名称表示は、最大10カ所までになります。

●反対車線の施設情報は表示されません。

●通過予想時刻※は設定した平均車速（195ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

※ 通過予想時刻（ ④ ）には、VICS情報および渋滞統計データは考慮されません。

●サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）にはいるなど、高速道路の本線からはずれたときは、シティドライブモードが解除されることがあります。

●目的地案内中、出口インターチェンジ（IC）、分岐するジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の手前では、高速分岐模式図（203ページ参照）が自動的に表示され、シティドライブモードが解除されます。（高速分岐模式図自動表示が **しない** に設定されているときは切り替わりません。）ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）のときは、高速分岐模式図が終了すると、自動的にシティドライブモードにもどります。

●ターンリスト図（201 ページ参照）は、同時に表示することができません。

高速路線マップ

高速道路や一般道路を走行中に、画面に高速道路を表示して案内することができます。

■高速道路を走行中の場合

高速道路を走行すると、自動的に右画面がシティドライブモードに切り替わり、左画面に高速路線マップを表示することができます。

高速路線マップのみで表示したいときは、**案内図替** にタッチします。

● **案内図替** にタッチし、次に表示された画面で **地図** にタッチします。



● **高速路線マップ表示**

高速路線マップの縮尺を切り替える

チェック

走行中はスケールバーにタッチして縮尺を切り替えることができません。

1 表示範囲を広くするときは **広域** 、狭くするときは **詳細** にタッチします。（4段階に切り替えることができます）

● タッチスイッチにタッチするごとに、1段階ずつ切り替わります。

● **広域** 、または **詳細** にタッチしたあと、スケールバーにタッチすると、タッチした縮尺に切り替わります。



ワンポイント

目的地案内中、出口インターチェンジ（IC）、分岐するジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）の手前では、地図の右側に高速分岐模式図が自動的に表示されます。（高速分岐模式図自動表示を **しない** に設定しているときは表示されません。（203 ページ参照）ジャンクション（JCT）、サービスエリア（SA）、またはパーキングエリア（PA）のときは、高速分岐模式図が終了すると、自動的にもとの画面にもどります。

高速路線マップの自動表示を設定する

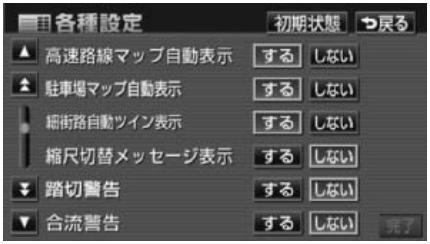
高速路線マップを自動でON（自動で切り替える）にするか、OFF（切り替えない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



3 高速路線マップ自動表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 高速路線マップ自動表示が **しない** に設定されているときは、**表示変更** から高速路線マップを表示することができます。
- **「都市高速マップ」**（205 ページ参照）は、同時に表示することができません。

高速路線マップ表示を解除する

1 高速路線マップを表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **高速路線マップ解除** にタッチします。

- 表示するときは、再度この画面で、**高速路線マップ表示** にタッチします。



3. 地図の表示

■ 一般道路を走行中の場合

一般道路を走行中、現在地付近の高速路線マップを表示させることができます。



● 高速路線マップ表示

高速路線マップに表示を切り替える

1 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **高速路線マップ** にタッチします。

● 解除するときは、高速路線マップ画面で、**戻る** にタッチ、または **MAP** を押します。

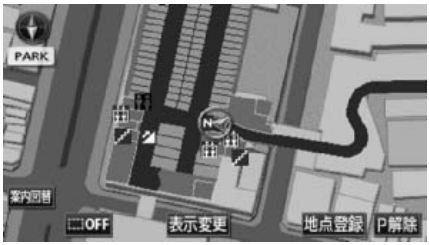


ワンポイント

高速路線マップは地図向きを切り替えることができません。

駐車場マップ

地図データに情報が収録されている立体駐車場や地下駐車場に入ったときに、駐車場マップを自動で表示させることができます。



● 駐車場マップ表示

■ 駐車場マップの自動表示を設定する

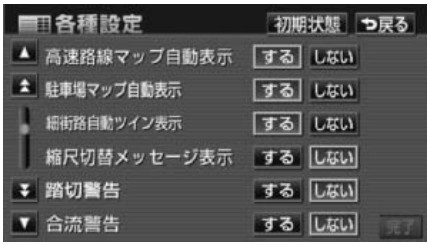
駐車場マップ自動表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 自動表示切替設定 にタッチします。



3 駐車場マップ自動表示の する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

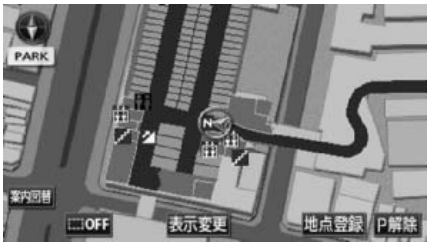
ワンポイント

駐車場マップ自動表示が しない に設定されているときは、案内図替 から駐車場マップを表示することができます。

■駐車場マップを解除する

1 P解除 にタッチします。

- 再度、駐車場マップを表示させるには、MAP を押します。
- 案内図替 にタッチするごとに通常の地図と駐車場マップを切り替えることができます。



3D表示の設定

地図を立体的に表示させることができます。

■3D表示に切り替える

1 地図を表示させているときに、表示変更 にタッチします。

2 地図表示 にタッチします。



次ページに続く

3. 地図の表示

3 3D （通常の3D表示）、または 3Dツイン （左画面を3D表示した2画面表示）にタッチします。

● 3D表示に切り替わります。

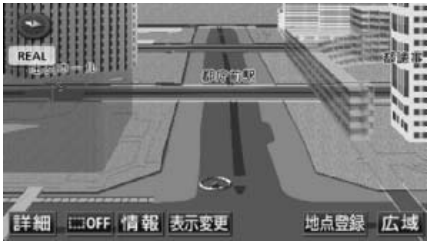


ワンポイント

- 3D表示は、ヘディングアップ・フロントワイド表示になります。
- 目的地の設定で呼び出した地図・全ルート図表示画面などは、3D表示が解除されますが、現在地画面にすると、3D表示にもどります。

■バーチャタウンマップを表示する

3D表示にさせていたとき、25mスケールの市街図表示に切り替えると、自動的にバーチャタウンマップ表示になります。



● バーチャタウンマップ表示

1 50mスケールの3D市街図表示で、詳細 にタッチします。

● 市街図表示については、**「市街図の表示」**（101ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 25mスケールの市街図表示中に3D表示に切り替えてもバーチャタウンマップ表示になります。
- バーチャタウンマップにすると一方通行の表示が ⊖ にかわります。

■バーチャタウンマップの視点を調整する

バーチャタウンマップの視点（角度と高さ）を切り替えることができます。

1 視点を上げるときは 広域 、下げるときは 詳細 にタッチします。

● タッチするたびに低←→中←→高の3段階に切り替わります。

● スケールバーにタッチすると、低 ←→ 中 ←→高の3段階に切り替わります。

● 広域 、または 詳細 を約1秒以上タッチし続けると、9段階に切り替わります。



ワンポイント

- バーチャタウンマップの視点（角度と高さ）が最大（高）のとき、**広域** にタッチすると、バーチャタウンマップを解除することができます。
- バーチャタウンマップの視点（角度と高さ）が最小（低）のとき、**詳細** は表示されません。

■見下ろす角度を調整する

チェック

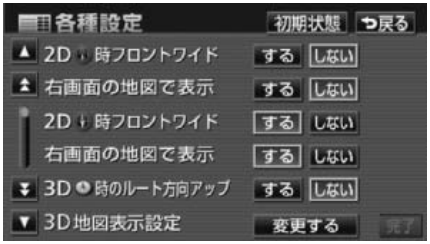
走行中は、見下ろす角度の調整は操作できません。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 3D地図表示設定の **変更する** にタッチします。



4 角度を上げるときは ▦ 、下げるときは ▱ にタッチして角度を設定します。

- **初期状態** にタッチすると、角度が初期設定の状態（約23°）にもどります。



5 **セット** にタッチします。

■バーチャタウンマップのビル表示を設定する

ビル表示をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

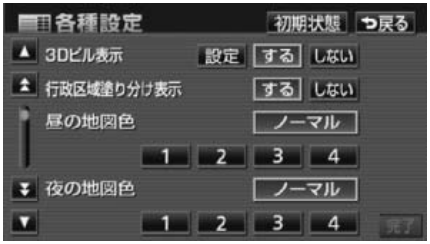
2 **地図表示設定** にタッチします。



次ページに続く

3. 地図の表示

3 3Dビル表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

■バーチャタウンマップのビル表示の高さを設定する

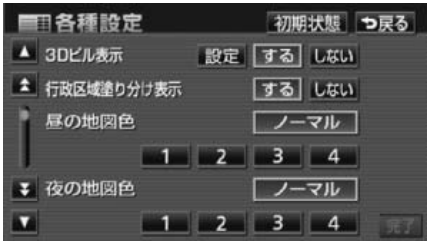
設定した高さ（階数）以上のビルのみを、画面に表示することができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。

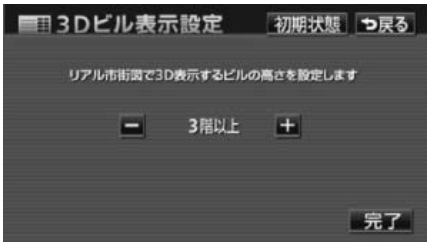


3 3Dビル表示の **設定** にタッチします。



4 表示する高さ（階数）を上げるときは **＋** 、下げるときは **－** にタッチして高さを設定します。

- 最大高さ（20階以上）にすると **＋** 、最小高さ（全て）にすると **－** の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。
  高さ：全て、3階以上～20階以上（1階単位）
- **初期状態** にタッチすると、高さが初期設定の状態（3階以上）にもどります。



5 **完了** にタッチします。

■地図向きを回転する

チェック

走行中は、地図向きを回転することができません。

1 3D表示させているときに、地図にタッチします。

2 にタッチすると時計まわり、にタッチすると反時計まわりに回転します。

● MAP を押すと、もとの表示状態（回転前の状態）にもどります。



■ルート方向アップ表示を設定する

3D表示画面で目的地案内中は、ルートが表示されている方向の地図を広く表示させることができます。

● ONのときは、方位マークが になります。



● ルート方向アップ表示

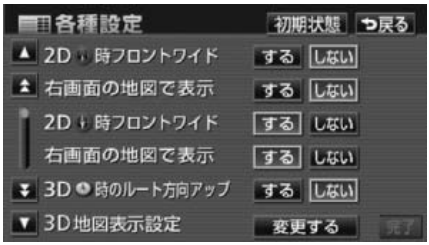
ルート方向アップをON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **地図表示設定** にタッチします。



3 3D 時のルート方向アップの **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

■3D表示、バーチャタウンマップを解除する

1 3D表示、バーチャタウンマップを表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

次ページに続く

3. 地図の表示

2 地図表示 にタッチします。



3 2D （通常の表示）、または 2Dツイン （通常の2画面表示）にタッチします。



リアルワイドマップ

リアルワイドマップでは表示する地図を行政区域ごとに塗り分け、地図マークをイラスト的に表示します。また、道路の太さをより実際に近づけて表示します。（初期状態は表示する設定になっています。）



● リアルワイドマップ表示



● 通常地図表示

■ リアルワイドマップ表示を設定する

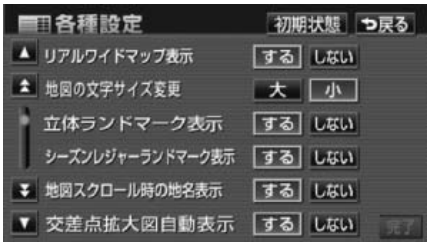
リアルワイドマップ表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、各種設定 にタッチします。

2 地図表示設定 にタッチします。



3 リアルワイドマップ表示の する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

■行政区域塗り分け表示を設定する

行政区域塗り分け表示をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

チェック

行政区域塗り分け表示は、リアルワイドマップでのみ表示することができます。

1 ナビメニュー画面で、各種設定 にタッチします。

2 地図表示設定 にタッチします。



3 行政区域塗り分け表示の する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

シーズンレジャーランドマークの表示

桜の名所など、季節や場所（名所）に応じたシーズンレジャーランドマークを表示させることができます。

[例]

マーク	内容
	桜の名所
	紅葉の名所



● シーズンレジャーランドマーク表示

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面、バーチャタウンマップを除く）

■シーズンレジャーランドマーク表示を設定する

シーズンレジャーランドマークをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、各種設定 にタッチします。

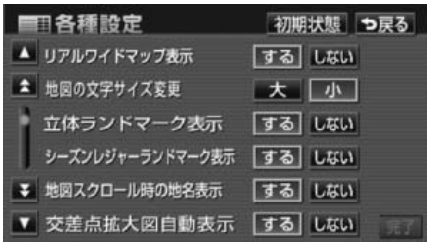
次ページに続く

3. 地図の表示

2 地図表示設定 にタッチします。



3 シーズンレジャーランドマーク表示の する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

3Dランドマークの表示

地図に立体的な施設マーク（3Dランドマーク）を表示させることができます。



● 3Dランドマーク表示

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。（全ルート図表示画面、バーチャタウンマップを除く）

■ 3Dランドマークの表示を設定する

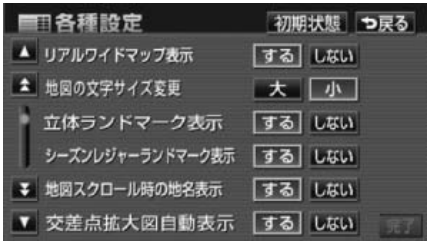
3DランドマークをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、各種設定 にタッチします。

2 地図表示設定 にタッチします。



3 立体ランドマーク表示の する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

■ 3Dランドマークの内容を表示する

1 3Dランドマークにタッチします。

● 3 D ランドマークの名称と現在地からの直線距離が表示されます。

2 **情報** にタッチします。

● 3Dランドマークの内容が表示されます。

● スポットインフォメーション（情報付施設）が検索されたときの操作は、**「ブラウザ画面を操作する」**（271ページ）を参照してください。



直線距離表示

交通事故多発区間警告の設定

交通事故が多発している地点を案内させることができます。

● 一般道路上では交通事故が多発している地点に、警告マークを表示します。

● 高速道路上では交通事故が多発している地点に近づくと、地図右上に警告マークを表示し、音声案内します。

警告マーク	内容
 （一般道路上：橙）	交通事故多発区間警告
 （高速道路上：黄）	

交通事故多発区間警告マーク



● **交通事故多発区間警告表示**

チェック

地図上に表示するマークは、50m～800mスケール図の地図で表示させることができます。（バーチャタウンマップ、全ルート図表示画面を除く）

■ 交通事故多発区間警告を設定する

交通事故多発区間警告をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

次ページに続く

3. 地図の表示

2 案内表示設定 にタッチします。



3 交通事故多発区間警告の する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

道路形状警告（踏切警告・合流警告・カーブ警告・レーン警告）の設定

道路形状警告（下図参照）がある場所に近づくと、地図右上にマークを表示します。

- 警告マーク（カーブ警告を除く）が表示される地点は地図上に ● （黄色）で表示されます。（高速路線マップを除く）

[例]

形状	警告マーク
踏切	
合流道路	
カーブ	
レーン※	

※ 都市高速道路走行中のみ表示されます。一般道路は音声のみの案内になります。



● 道路形状警告表示

■道路形状警告を設定する

道路形状警告をON（警告する）にするか、OFF（警告しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、各種設定 にタッチします。

2 案内表示設定 にタッチします。



3 道路形状警告の項目の する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

ワンポイント

合流警告の案内は、直前の分岐から距離が短い場合は案内されないことがあります。また、次のようなときは、道路形状警告が行われないことがあります。

・目的地案内開始直後
・目的地周辺

県境案内の設定

都道府県境をこえたとき、地図右上にその都道府県のマークを表示させ音声で案内することができます。



● 県境案内表示

■県境案内表示を設定する

県境案内をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、各種設定 にタッチします。

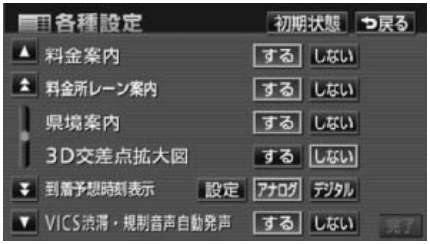
2 案内表示設定 にタッチします。



次ページに続く

3. 地図の表示

3 県境案内の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

施設の表示

地図に ⓐ 、または ⊹ から半径約10km以内にある施設のマークを最大200件表示することができます。

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。(全ルート図表示画面を除く)



● **施設表示**

ワンポイント

ⓐ または ⊹ が移動すると施設ランドマークの表示も切り替わります。

■走行中に簡易操作で表示する

走行中に簡易操作で施設ランドマークを表示することができます。

チェック

高速路線マップ、または駐車場マップを表示させているときは、施設ランドマークを表示させることはできません。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。



3 表示させる施設 **GS** 、**コンビニ** 、**レストラン** 、**駐車場** 、**銀行** 、**郵便局** にタッチします。

- タッチした施設ランドマークが表示されます。
- **1** ～ **3** を繰り返すと、5つまで選択することができます。
- もう一度タッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。



ワンポイント

走行中に表示することができる施設ランドマークを変更することができます。**「周辺施設走行中呼び出しジャンルの変更」**(128ページ参照)

■施設ランドマークを消去する

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。



3 **表示解除** にタッチします。



■複数ジャンルを表示する

複数（5ジャンルまで）の施設ランドマークを表示させることができます。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。



3 **全ジャンル** にタッチします。



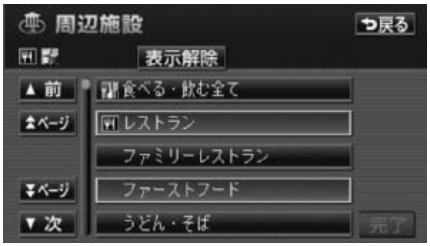
4 施設のジャンルにタッチします。



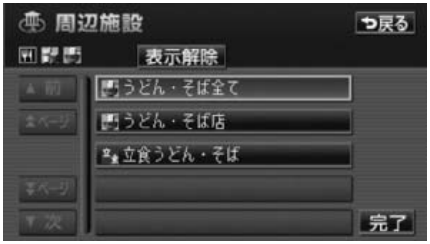
3. 地図の表示

5 表示させる詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチしたときは、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。
- 5 ジャンルまでの施設ランドマークを同時に表示させることができます。
- **○○全て** にタッチすると、その項目のすべてのジャンルが選択されます。
- 間違えたときは **表示解除** にタッチすると、1ジャンルずつ解除されます。
- もう一度タッチすると、選んだ施設ランドマークが解除されます。

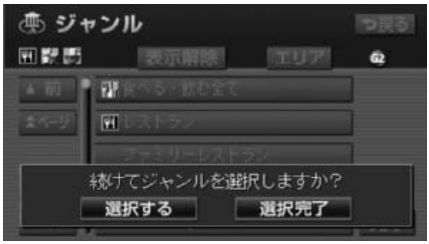


6 **完了** にタッチします。



7 **選択完了** にタッチします。

- 選んだ施設ランドマークが表示されます。
- **選択する** にタッチすると、**3** の画面が表示され、続けて設定のジャンルを選択することができます。



ワンポイント

各ジャンルの **○○全て** を複数選択すると、より多くの施設ランドマークを表示させることができます。

■周辺の施設を検索する

施設ランドマークを表示しているときに、または の10km以内にある施設を検索することができます。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **周辺施設** にタッチします。



3 施設検索 にタッチします。

● 選択されている施設のリストが表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

● 選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。

● ▲ のとき前方に施設がある場合は ● （矢印上）で表示されます。（車の進行方向から見える位置）

● 種類順 にタッチすると、施設のマークの種類順に並びかわります。

● 距離順 にタッチすると、▲ 、または ⊹ から近い施設の距離順に並びかわります。

● 目的地が設定されているときは、ルートに沿ったリストを表示することができます。**「ルートを考慮したリストを表示する」**（127ページ参照）



5 情報 が表示されたときは、情報 にタッチします。

● 施設の内容が表示されます。

● スポットインフォメーション（情報付施設）が検索されたときの操作は、**「ブラウザ画面を操作する」**（271ページ）を参照してください。



■ルートを考慮したリストを表示する

目的地が設定されているとき、距離・方向をルートに連動したリストにすることができます。（距離の表示は道なり距離、マークの表示は施設がルートの左右どちらか、または現在地より後方を表示しています。）

次ページに続く

3. 地図の表示

1 **ルート沿い考慮** にタッチします。

- 施設名称にタッチすると、選んだ施設を中心にした地図が表示され、施設名称と現在地からの道なり距離が表示されます。
- **距離順** にタッチすると、Ⓐ から近い施設の距離順に並びかわります。
- **種類順** にタッチすると、施設のマークの種類順に並びかわります。



■施設の情報を表示する（クイックサーチ）

1 施設ランドマークにタッチします。

- 施設の名称と現在地からの直線距離が表示されます。
- 同じ建物に複数の施設がある場合、施設ランドマークにタッチするごとに、施設名称が切り替わります。

2 **情報** が表示されたときは、**情報** にタッチします。

- 施設の内容が表示されます。
- スポットインフォメーション（情報付施設）が検索されたときの操作は、**「ブラウザ画面を操作する」**（271ページ）を参照してください。



周辺施設走行中呼び出しジャンルの変更

走行中に簡易操作で表示することができる施設ランドマーク（124 ページ参照）を設定することができます。

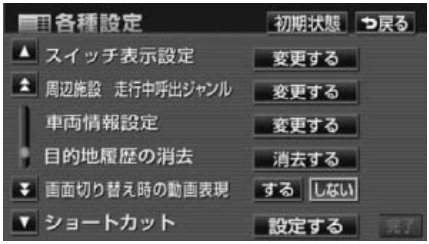
- 初期状態は **GS** 、 **コンビニ** 、 **レストラン** 、 **駐車場** 、 **銀行** 、 **郵便局** が設定されています。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

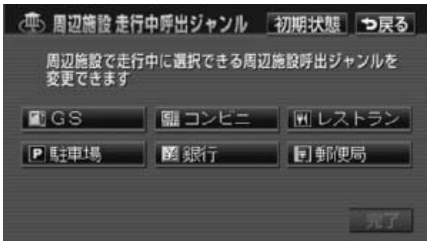


3 周辺施設走行中呼出ジャンルの **変更する** にタッチします。



4 変更したい施設のジャンルにタッチします。

- **初期状態** にタッチすると、すべての周辺施設走行中呼出ジャンルの項目が初期設定の状態にもどります。

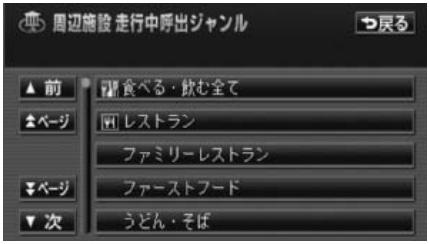


5 施設のジャンルにタッチします。



6 表示させる詳細な施設のジャンルにタッチします。

- マークが表示されていないジャンルにタッチしたときは、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。



7 **完了** にタッチします。

4. ロケーションサーチについて

ロケーションサーチは、表示している地図の位置情報を2次元バーコード（QRコード）に変換する機能です。

2次元バーコードを携帯電話で読み取ってモクテキチネットにアクセスすることで、表示している地図周辺の様々な情報を簡単に検索することができます。

周辺情報の検索

⚠ 警告

走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

チェック

- 2 次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。
- 2次元バーコードは800mスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。（市街図を除く）

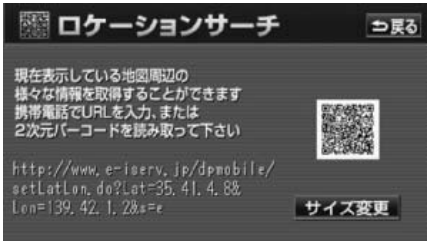
1 地図を表示させているときに、**サーチ** にタッチします。

- 2次元バーコードおよび URL が表示されます。



2 携帯電話に2次元バーコードを読み込む、またはURLを入力してモクテキチネットにアクセスしてください。

- **サイズ変更** にタッチすると、2次元バーコードが拡大されます。



ワンポイント

- MUSIC　JUKEに音楽を録音している場合は、2次元バーコードを表示することができません。**「MUSIC JUKEへの録音」**（398ページ参照）
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- 2 次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- 携帯電話の通信料金はお客様のご負担になります。
- QR　コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

5. 地図の呼び出し方法

目的地の設定・目的地の追加・自宅の登録・メモリ地点の登録・特別メモリ地点の登録・迂回メモリ地点の登録・販売店の設定・目的地予約の設定のときには、設定・登録する場所を、さまざまな方法により呼び出し、表示させることができます。

地図の呼び出し方法を選ぶまでの手順については、各項目を参照してください。

● **目的地の設定のとき**



● **目的地の追加のとき**



● **メモリ地点の登録のとき**



- 目的地の設定（158 ページ参照）
- 目的地の追加（172 ページ参照）
- 目的地予約の設定（218 ページ参照）
- メモリ地点の登録（222 ページ参照）
- 迂回メモリ地点の登録（233 ページ参照）
- 販売店の設定（268 ページ参照）

上の画面は、目的地設定／追加・メモリ地点登録のときの画面を代表として記載しています。

表示された画面で、地図の呼び出し方法にタッチして項目を選択します。

次ページに続く

5. 地図の呼び出し方法

項目（タッチスイッチ）	機　能
50音・名称	施設の名称を入力することで、その施設周辺の地図を表示させることができます。また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を表示させることができます。（133 ページ参照）
主要施設	さまざまなジャンルから施設を選び、その施設周辺の地図を表示させることができます。（141 ページ参照）
住所	住所を入力することで、その地点（または地域）の地図を表示させることができます。（143 ページ参照）
メモリ地点	メモリ地点周辺の地図を表示させることができます。（144 ページ参照）［メモリ地点が登録されているときのみ。メモリ地点については、**「地点の登録とは」**（220ページ）を参照してください。］
履歴	過去に設定された目的地、または前回の出発地から、その地点周辺の地図を表示させることができます。（145 ページ参照）［目的地履歴が登録されているときのみ。目的地履歴については、**「目的地履歴（ラストゴールメモリー）について」**（184ページ）を参照してください。］
電話番号	電話番号を入力することで、その番号の施設周辺の地図を表示させることができます。また、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（145 ページ参照）
郵便番号	郵便番号を入力することで、その番号が使用されている地域の地図を表示させることができます。（147 ページ参照）
ジャンル	現在地、目的地などの周辺施設を選ぶことで、その施設がある地図を表示させることができます。（147 ページ参照）
マップコード	マップコードを入力することで、その場所を特定し、地図を表示させることができます。（150 ページ参照）
先程の地図	最後に表示していた地図を表示させることができます。
現在地周辺	現在地周辺の地図を表示させることができます。
自宅へ帰る※	登録されている地点を目的地としてルート探索が開始されます。［それぞれの地点が登録されているときのみ。自宅および特別メモリ地点については、**「地点の登録とは」**（220ページ）を参照してください。］
特別メモリ 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5	
自宅周辺	登録されている地点の地図を表示させることができます。［それぞれの地点が登録されているときのみ。自宅および特別メモリ地点については、**「地点の登録とは」**（220ページ）を参照してください。］
特別メモリ周辺 1 ／ 2 ／ 3 ／ 4 ／ 5	

※ 自宅が登録されていないときは自宅を登録するメッセージが表示されます。 **はい** にタッチすると自宅を登録する画面に切り替わります。**「メモリ地点の登録」**（222ページ参照）

ワンポイント

赤外線通信、またはBluetooth通信を使用して、地図を呼び出すこともできます。**「赤外線通信で地図を呼び出す」**（150ページ参照）、**「Bluetooth通信で地図を呼び出す」**（152ページ参照）

50音・名称で地図を呼び出す

部分的にわかっている施設の名称をひらがな、カタカナ、英数、または漢字で入力し、ジャンル・地域や市区町村名などで候補を絞り込んで地図を呼び出すことができます。また、住所の名称を入力すると、その地域の地図を呼び出すことができます。

候補数が少ないときは、リスト画面から直接選びます。

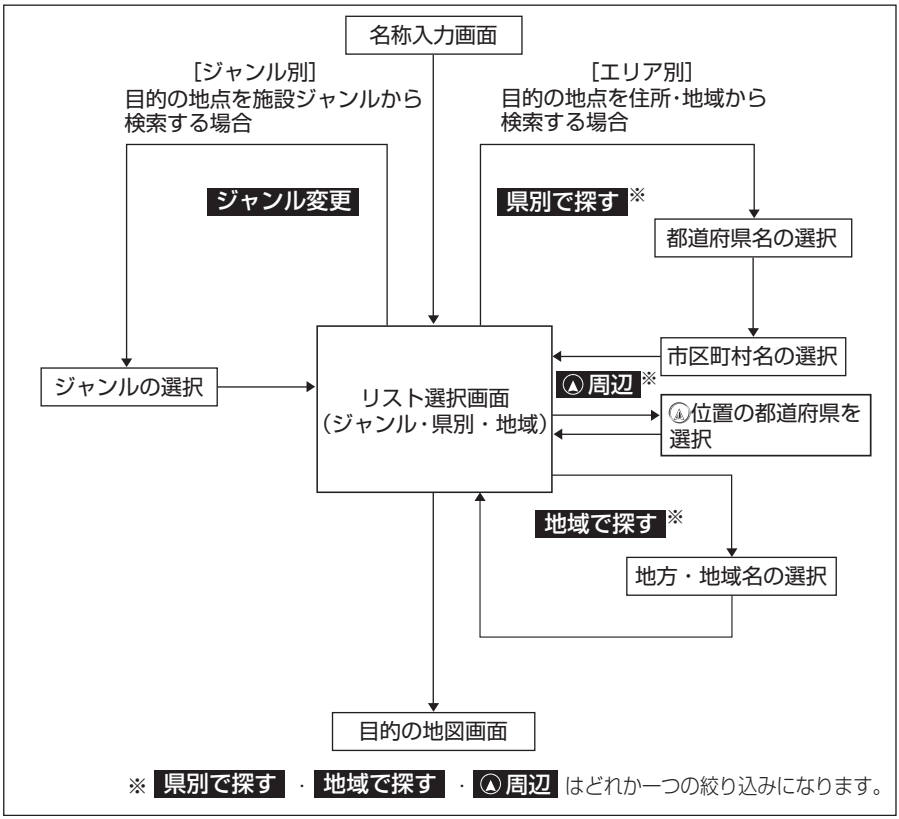
● 目的の地点をエリアから絞り込む **エリア変更**

- **県別で探す** から、都道府県、市区町村の順に絞り込み、リストを呼び出します。
- **地域で探す** から、地方および地域を絞り込み、リストを呼び出します。
- **周辺** から、現在地のある都道府県に絞り込み、リストを呼び出します。

● 目的の地点を施設ジャンルから絞り込む **ジャンル変更**

- **ジャンル変更** から、施設ジャンルを絞り込み、リストを呼び出します。

[操作の流れ]



5. 地図の呼び出し方法

1 施設の名称（または住所）を1文字ずつタッチして入力します。

- 漢字・カタカナ・英数字で入力することにより、検索項目を絞り込むことができます。漢字・カタカナ・英数字で入力するには、**文字入力** にタッチします。入力方法は**「漢字・カタカナ・英数字を入力する」**（135ページ）を参照してください。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- 1文字タッチするごとに、検索される施設名称の件数が表示されます。



2 **完了** にタッチします。

- 入力した文字から検索された施設名称（または住所）の全国リスト画面が表示されます。

3 表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- 候補数が多いときは**「[操作の流れ]」**（133ページ参照）にしたがって［エリア別］、または［ジャンル別］で絞り込みます。

  全国リスト画面に表示させる施設のエリアを指定するときは **周辺** 、または **エリア変更** にタッチします。（137 ページ参照）

  施設のジャンルを指定するときは **ジャンル変更** にタッチします。（140 ページ参照）
- 住所を入力したときは、表示させる住所にタッチすると、地図が表示されます。

  住所一覧 にタッチすると住所を検索することができます。（155 ページ参照）
- **読み修正** （ **文字修正** ）にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。



4 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。
- **名称順** にタッチすると、施設・店舗の名称、または都道府県名の50音順に並びかわります。
- **距離順** にタッチすると、現在地から近い施設の順に並びかわります。



ワンポイント

- 35 文字まで入力でき、12 文字まで表示します。
- 入力中に検索先の候補が5件以下になり、約10秒以上操作しなかったときは、自動的にその時点で入力した文字から検索された施設名称の全国リスト画面が表示されます。

■漢字・カタカナ・英数字を入力する

ひらがな入力に比べ、検索中の施設名称（または住所）の件数を絞り込むことができます。

1 **「50音・名称で地図を呼び出す」**（133ページ参照）の **1** で表示された画面で、**文字入力** にタッチします。



2 漢字以外を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、または **英数字**（アルファベット・数字）にタッチして入力画面を切り替えます。

- 漢字入力については**「漢字を入力するには」**（136ページ）を参照してください。
- **読み入力** にタッチすると、ひらがなで施設名称（または住所）を入力することができます。**「50音・名称で地図を呼び出す」**（133ページ参照）の **1** の画面にもどります。



次ページに続く

5. 地図の呼び出し方法

3 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。
- 未確定状態での最大入力文字数をこえると、入力ができなくなります。また、確定しても入力制限文字数をこえる文字は削除されます。



4 **完了** にタッチします。

- 入力した文字から検索された施設名称（または住所）の全国リスト画面が表示されます。（**「50 音・名称で地図を呼び出す」**（133ページ）の **3** 参照）

ワンポイント

未確定状態で入力可能な文字数は最大20文字です。

漢字を入力するには

1 **「漢字・カタカナ・英数字を入力する」**（135ページ参照）の **2** で表示された画面で、かな入力状態にします。

2 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1文字ずつ消去されます。

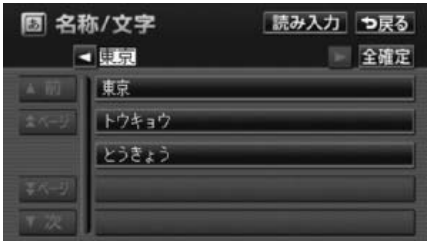


3 **変換** にタッチします。

- 漢字変換候補が表示されます。
- 入力したままの状態で確定したいときは、**無変換** にタッチします。



4 入力する熟語、または漢字にタッチします。



- 変換する文字の範囲を変換するときは、◀ ・ ▶ にタッチして、範囲を変更します。
- **全確定** にタッチすると、表示されている状態で確定されます。
- **読み入力** にタッチすると、ひらがなで施設名称（または住所）を入力することができます。**「50音・名称で地図を呼び出す」**（133ページ参照）の **1** の画面にもどります。



5 **完了** にタッチします。

- 入力した文字から検索された施設名称（または住所）の画面が表示されます。（**「50音・名称で地図を呼び出す」**（133ページ）の **3** 参照）

ワンポイント

未確定状態で入力可能な文字数は最大20文字です。

■エリア別で絞り込みする場合

県別から絞り込むとき

1 全国リスト画面で、**エリア変更** にタッチします。

- **周辺** にタッチすると、現在地の都道府県がエリアに指定されます。

2 **県別で探す** にタッチします。

3 施設のある都道府県（一部市）名にタッチします。

- **全エリア** にタッチすると、**「50音・名称で地図を呼び出す」**（133ページ参照）の **3** の画面にもどります。



4 表示させる施設の市区町村名にタッチします。

- **○○全域** にタッチすると、指定した都道府県（一部市）別施設リスト画面が表示されます。

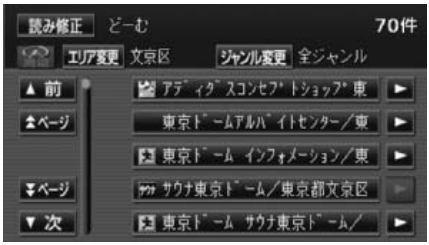


次ページに続く

5. 地図の呼び出し方法

5 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、OK にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- 読み修正 （ 文字修正 ）にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。
- ジャンル変更 にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。（140 ページ参照）
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



6 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、OK にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ参照）を参照してください。



ワンポイント

エリアを選択する場合は、 Ⓐ周辺 、県別で探す 、または 地域で探す のどれか1つのみの設定になります。

地域から絞り込むとき

1 全国リスト画面で、**エリア変更** にタッチします。

- **周辺** にタッチすると、現在地の都道府県がエリアに指定されます。

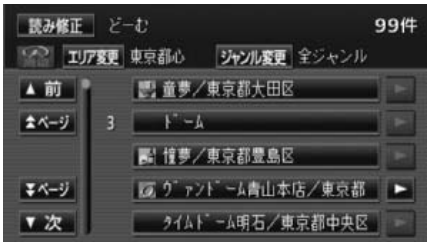
2 **地域で探す** にタッチします。

3 施設のある地域名にタッチします。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- **読み修正**（**文字修正**）にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。
- **ジャンル変更** にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設のジャンルを指定することができます。（140 ページ参照）
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



5. 地図の呼び出し方法

5 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、**OK** にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



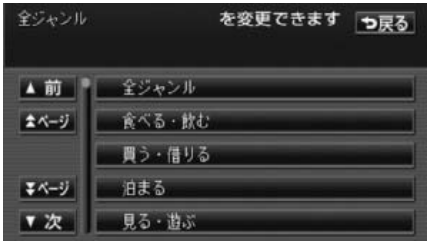
■施設ジャンル別で絞り込みする場合

施設ジャンルの中から絞り込む方法です。目的の地点の施設でジャンルがわかっている場合に便利です。候補数が多いときは **エリア変更** による絞り込みで候補数を減らしてから検索します。

1 全国リスト画面で、**ジャンル変更** にタッチします。

2 表示させる施設のジャンルにタッチします。

- **全ジャンル** にタッチすると、**「50音・名称で地図を呼び出す」**（133ページ参照）の **3** の画面にもどります。
- 地名だけを表示させるときは、その他の **住所** にタッチします。



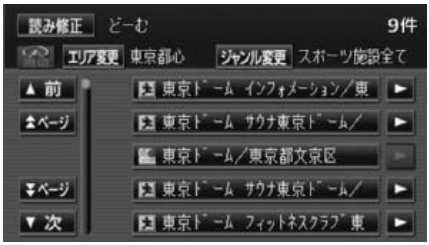
3 詳細な施設のジャンルにタッチします。

- **○○全て** にタッチすると、その項目のすべての施設が設定されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、OK にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 施設名称に複数の店舗（チェーン店など）があるときは、グループ化されてリストに表示されます。施設名称の右側に検索された施設の店舗数が表示されます。
- 読み修正 （ 文字修正 ）にタッチすると、入力した画面が表示され、名称を修正することができます。
- Ⓐ周辺 、または エリア変更 にタッチすると、施設リスト画面に表示させる施設（または住所）のエリアを指定することができます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



5 グループ化されたリストにタッチしたときは、表示させる施設名称（または住所）にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 施設が特定できなかったときは、次に表示された画面で、OK にタッチすると、周辺の地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 施設ジャンルの選択は、1ジャンルの設定になります。また、ジャンル変更 で設定後、エリア変更 でエリア別で絞り込みができます。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限らず、所在地の住所を代表する地点が表示されることがあります。

主要施設で地図を呼び出す

さまざまなジャンルから施設を選択して地図を呼び出すことができます。

施設ジャンル

項目	ジャンル
店	デパート
	ショッピングモール
	アウトレットモール
宿泊	ホテル

次ページに続く

5. 地図の呼び出し方法

項目	ジャンル
遊び	ゴルフ場
	温泉
	遊園地
	動植物園
	水族館
	スキー場
	キャンプ場
	マリーナ
	競技場
	公営娯楽
公共	役所
	警察署
	公園
医療	病院
交通	駅
	空港
	港
	高速IC・SA・PA
	有料IC・SA・PA
	道の駅
	交差点
文化	名所・旧跡
	城・城跡
	神社・寺
	美術・博物館
	資料館
	ホール
	国際展示場
その他	式場

ゴルフ場・駅・ホテル・役所・空港・式場・病院以外の項目は、**その他** にタッチすると選択できます。

1 表示させる施設のジャンルにタッチします。

● **その他** にタッチするとタッチスイッチ以外のジャンルが選択できます。



2 **その他** にタッチしたときは、表示させる施設のジャンルにタッチします。

● **車** 項目はデータが収録されていません。



3 施設のある都道府県名（路線名）にタッチします。

- さらに市区町村名（路線名）が表示されることがあります。このとき、同様に市区町村名（路線名）にタッチします。
- 施設のジャンルによっては、全国施設リストがあります。
  このとき、全国施設リスト画面から、施設名称を選び、地図を表示させることができます。
  全国の○○ にタッチすると、全国施設リスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

- 地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 施設名称の中でも、登録されていない施設があります。その際は、50音・名称、住所、電話番号もしくはジャンルによる検索で周辺の地図を呼び出すことができます。（133ページ参照）、（143 ページ参照）、（145 ページ参照）、（147 ページ参照）
- 高速インターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）は、路線別のリストがあります。
- 高速インターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）以外は、都道府県別のリストがあります。
- 駅、有料インターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）は、都道府県別のリストのあとに路線別のリストがあります。
- 交差点は、都道府県別のリストのあとに市区町村別のリストがあります。

住所で地図を呼び出す

住所がわかっている場合は、住所から選んで地図を呼び出すことができます。

1 都道府県名・市区町村名・町名・丁目（字）の順で、表示させる地名にタッチします。



次ページに続く

5. 地図の呼び出し方法

2 地名を選んだあと、詳細がわからないときは **○○主要部** にタッチします。

- タッチした地名の広域図が表示されます。
- **○○主要部** にタッチして地図を表示した場合、**周辺住所** は表示されません。

3 丁目にタッチしたあと、**番地指定** にタッチします。

- 番地・号数を入力することができます。



4 **番地指定** にタッチしたときは、数字、または「ー」を1つずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



5 **完了** にタッチします。

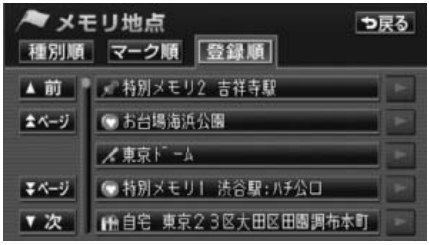
- 入力した番地から検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。
- 入力した番地に該当する住所があるときは、その住所付近の地図が表示されます。
- 入力した番地に該当する住所がないときは、その丁目（字）の広域図が表示されます。**周辺住所** にタッチすると周辺住所を検索することができます。（155 ページ参照）

メモリ地点で地図を呼び出す

メモリ地点をあらかじめいくつか登録しておけば**「メモリ地点の登録」**（222ページ）、メモリ地点から地図を呼び出すことができます。

1 リストから表示させるメモリ地点にタッチします。

- メモリ地点の地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。

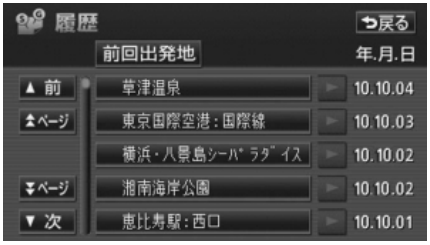


履歴で地図を呼び出す

以前に設定した目的地を最新100件まで自動的に記憶し、簡単に同じ地点の地図を呼び出すことができます。

1 リストから表示させる目的地履歴にタッチします。

- 以前に設定した目的地の地図が表示されます。
- 目的地履歴には、以前、目的地に設定した日付が表示されます。
- **前回出発地** にタッチすると、前回、ルート案内をした出発地の地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 自宅および特別メモリ地点は、目的地履歴に記憶されません。
- 目的地履歴を消去するには、**「目的地履歴（ラストゴールメモリー）の消去」**（184ページ）を参照してください。

電話番号で地図を呼び出す

電話番号がわかっている場合、電話番号を入力すると、登録されている施設や個人宅（ピンポイント検索）の場合は、周辺の地図をそれ以外はその局番を使用している周辺の地図を呼び出すことができます。また、メモリ地点に電話番号が設定してある場合**「メモリ地点の電話番号を入力する」**（231ページ参照）は、メモリ地点や特別メモリ地点が呼び出せます。

1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 市内局番までで検索する場合は、6桁（一部地域は5桁）入力した後、**完了** にタッチします。
- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



次ページに続く

5. 地図の呼び出し方法

2 完了 にタッチします。

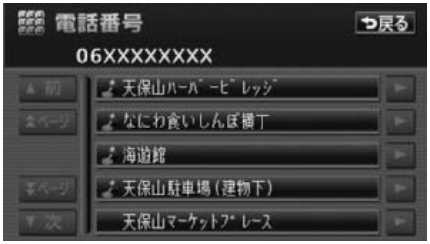
- 入力した番号から検索された地図が表示されます。
- 入力した番号に該当する施設があるときは、その施設付近の地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。
- 入力した番号に該当する施設がないとき、市内局番まで入力したときは、入力した市外·市内局番が使用されている地域の地図が表示されます。

  住所一覧 にタッチすると住所を検索することができます。**「住所一覧から検索する」**（155ページ参照）
- 同じ電話番号で複数の地点があるときは、施設名称を選ぶ 3 の画面が表示されます。
- 地図データに収録された「個人宅」の電話番号を入力した場合、名字を入力する 4 の画面が表示されます。

  （個人宅ピンポイント検索）

3 表示させる施設名称にタッチします。

- 入力した番号から検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



4 個人宅の名称（名字）を１文字ずつタッチして入力します。



5 完了 にタッチします。

- 入力した名称（名字）から検索された地図が表示されます。
- 表示された地図については**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。

ワンポイント

- 局番が変更になった場合は検索できません。また、一部地域では検索できない場合があります。検索できない場合は、他の方法で地図を呼び出してください。
- 施設によっては、表示された地点が必ずしも正確な所在地となっているとは限りません。また、以下のようなケースで一般情報誌などとは異なった検索が行われることがあります。
  - デパートの美術館、アミューズメントパークなどでは、問い合わせ先の場所と所在地が離れていることがあります。このとき、電話番号を入力すると、問い合わせ先の所在地の地図が表示されます。
  - 一般情報誌などではホールなどの電話番号として、管理会社の電話番号を記載していることがあります。このとき、電話番号を入力すると、ホール名ではなく、管理会社名が検索され、その管理会社の所在地周辺の地図が表示されます。

●地図に表示される住所は、隣接する地名が表示されることがあります。
●収録されていない電話番号（全桁）を入力して表示させた地図の地点は、目的地の設定などをした時点で自動的に記憶されます。次回、同じ番号を入力すると記憶された地図が表示されます。
●収録されていない電話番号を入力して表示し、目的地・メモリ地点などに設定した地点は、最大 100 カ所まで記憶されます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されます。

郵便番号で地図を呼び出す

郵便番号がわかっている場合は、郵便番号を7桁入力して地図を呼び出すことができます。

1 数字を１番号ずつタッチして入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



2 **完了** にタッチします。

● 入力した郵便番号から検索された地図が表示されます。**住所一覧** にタッチすると住所を検索することができます。（155ページ参照）

● 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。

ジャンルで地図を呼び出す

現在地や目的地（目的地設定時）周辺、または指定した住所周辺の施設付近から地図を呼び出すことができます。

1 施設のジャンルにタッチします。



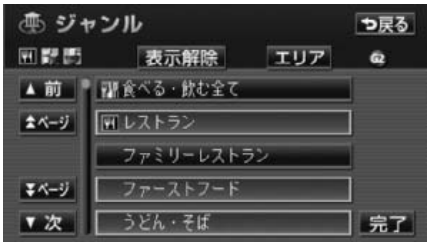
2 詳細な施設のジャンルにタッチします。

● マークが表示されていないジャンルにタッチすると、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。

● 5つまで選択することができます。

● 間違えたときは、**表示解除** にタッチすると１つずつ解除されます。

● もう一度タッチすると、選んだジャンルが解除されます。



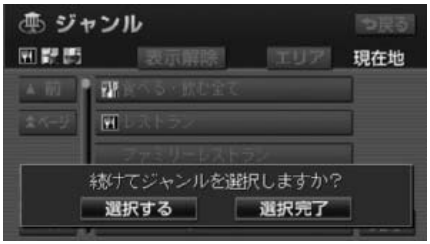
3 **完了** にタッチします。

次ページに続く

5. 地図の呼び出し方法

4 選択完了 にタッチします。

- 続けて施設のジャンルを選択したいときは、選択する にタッチすると、続けて選択することができます。
- エリアを指定（148 ページ参照）していないときは、現在地周辺のリストが表示されます。



5 施設名にタッチします。

- タッチした施設の地図が表示されます。
- 距離順 、 種類順 、または ルート沿い考慮 にタッチするとリストを切り替えることができます。**「周辺の施設を検索する」**（126ページ）、または **「ルートを考慮したリストを表示する」**（127ページ）を参照してください。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



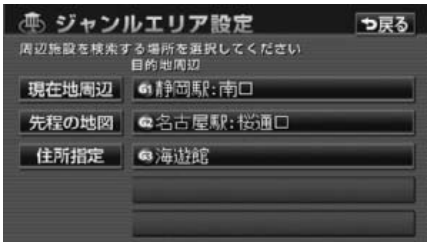
■エリアを指定して施設を表示する

1 エリア にタッチします。



2 周辺施設を表示させたい地域にタッチします。

- 現在地周辺 にタッチすると、現在地周辺の地図が表示されます。
- 先程の地図 にタッチすると、最後に表示していた地図が表示されます。
- 住所指定 にタッチすると、住所から周辺施設を表示させたい地域を選択することができます。**「住所で地図を呼び出す」**（143ページ）を参照してください。
- 目的地周辺の名称にタッチすると、タッチした目的地周辺の地図が表示されます。



3 セット にタッチします。

● ⌂ にタッチして地図を移動することができます。



4 施設ジャンルにタッチします。



5 詳細な施設のジャンルにタッチします。

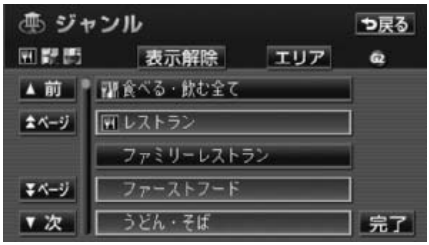
● マークが表示されていないジャンルにタッチすると、さらに詳細な施設のジャンルを選択することができます。

● 5つまで選択することができます。

● 間違えたときは、 表示解除 にタッチすると1つずつ解除されます。

● ○○全て にタッチすると、その項目のすべてのジャンルが選択されます。

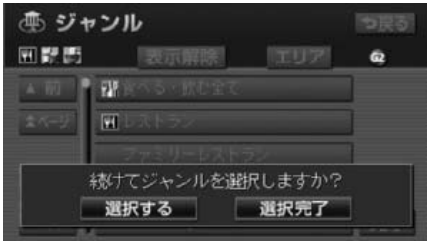
● もう一度タッチすると、選んだジャンルが解除されます。



6 完了 にタッチします。

7 選択完了 にタッチします。

● 選択する にタッチすると、続けて施設のジャンルを選択することができます。



次ページに続く

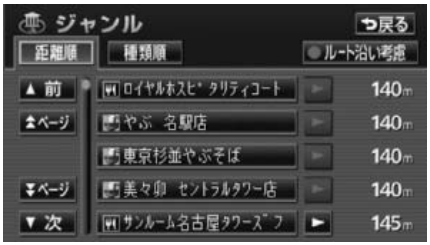
5. 地図の呼び出し方法

8 施設名にタッチします。

● タッチした施設の地図が表示されます。

● 距離順 、 種類順 、または ルート沿い考慮 にタッチするとリストを切り替えることができます。**「周辺の施設を検索する」**（126ページ）、または **「ルートを考慮したリストを表示する」**（127ページ）を参照してください。

● 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



マップコードで地図を呼び出す

マップコードから地図を呼び出すことができます。

1 数字を1番号ずつタッチして入力します。

● 間違えたときは 修正 にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



2 完了 にタッチします。

● 入力したマップコードから検索された地図が表示されます。

● 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。

ワンポイント

●マップコードとは、日本全国のすべての位置を数字としてコード化し、6～10桁の番号（標準マップコードの場合）でその場所を特定することができるものです。従来は、住所などを使って、場所を特定していましたが、住所では特定できないところ（景勝地や山、川、海など）もマップコードで位置を特定することができるようになります。

●標準マップコード（6～10桁）の後に＊を入力し、高分解能マップコード（1～2桁）を入力することで、より詳細な位置を特定することができます。

●マップコードについては、次のホームページで紹介されていますので、そちらをご覧ください。

http://www.e-mapcode.com

●マップコードは、メモリ地点（223 ページ参照）・迂回メモリ地点（234 ページ参照）を登録すると、修正画面に表示されます。

●「マップコード」は、株式会社デンソーの登録商標です。

赤外線通信で地図を呼び出す

E-iSERVから携帯電話にダウンロードした施設などの位置情報を、赤外線通信を使用して本機に読み込むことができます。読み込みが終わると該当する地図を呼び出すことができます。E-iSERVへのアクセスについては **「E-iSERVへのアクセスについて」**（49ページ）を参照してください。

⚠ 警告

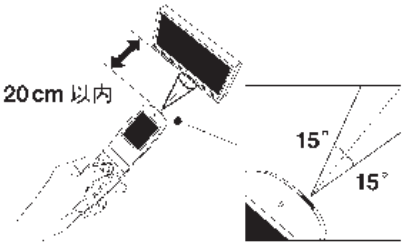
走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

チェック

- 赤外線通信を行うには、携帯電話と本機をそれぞれ操作する必要があります。また、携帯電話から位置情報を送信するには、専用のアプリケーションソフトが必要です。
- 通信の規格上、双方向の通信が必要なため、近づけて操作する必要があります。操作する時は携帯電話と本機の受光部をまっすぐ近づけて送信し、通信終了までそのままお待ちください。

■携帯電話の操作

1 専用のアプリケーションソフトから位置情報を送信します。



■本機の操作

1 ナビメニュー画面で **赤外線通信ケータイリンク** にタッチします。

- 画面にメッセージが表示され、読み込んだ位置情報に該当する地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。
- IrDAバージョン1.2に対応しています。
- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下、他の赤外線装置の近くでは正常に受信できない場合があります。
- 通信距離はあくまで目安です。携帯電話の機種や周囲の環境によって異なります。
- 赤外線受光部が汚れていると通信しにくくなります。汚れている時は傷つかないように柔らかい布でふき取ってください。
- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- データ受信中は電源を切らないでください。

5. 地図の呼び出し方法

Bluetooth通信で地図を呼び出す

別売のBluetoothユニットを接続した場合に、携帯電話にダウンロードした施設などの位置情報を、Bluetooth通信を使用して本機に読み込むことができます。読み込みが終わると該当する地図を呼び出すことができます。

⚠ 警告

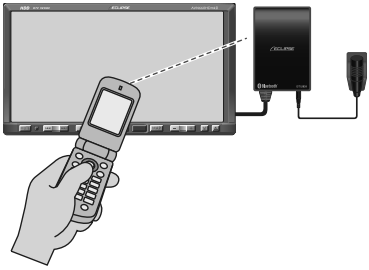
走行中に携帯電話を使用することは法律で禁止されています。安全のため、走行中の操作は絶対に行わないでください。

チェック

- あらかじめ使用する携帯電話を本機に登録してください。登録方法については、**「Bluetooth機器の登録（カンタンペアリング）」**（299ページ）、**「携帯電話画面から登録する」**（499ページ）を参照してください。
- Bluetooth 通信を行うには、携帯電話と本機をそれぞれ操作する必要があります。また、携帯電話から位置情報を送信するには、専用のアプリケーションソフトが必要です。

■携帯電話の操作

1 専用のアプリケーションソフトから位置情報を送信します。



■本機の操作

1 ナビメニュー画面で **Bluetooth ケータイリンク** にタッチします。

- 画面にメッセージが表示され、読み込んだ位置情報に該当する地図が表示されます。
- 表示された地図については、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 携帯電話の操作については携帯電話の取扱説明書をご覧ください。
- データ受信中は電源を切らないでください。

6. 呼び出した地図の操作

地図を呼び出すと、ピンポイントで検索できた地図、またはピンポイントで検索できない地図（周辺）のどちらかが表示されます。これらの呼び出した地図からさらに検索などをすることができます。

表示した地図の操作

ピンポイントで地図を表示するには次の条件になります。

①「名称で地図を呼び出す」で施設名称を入力したとき

②「主要施設で地図を呼び出す」とき

③「電話番号で地図を呼び出す」で該当する施設のとき

④「ジャンルで地図を呼び出す」とき



● ピンポイントで検索できたとき



● ピンポイントで検索できないとき

■ピンポイントで検索できたとき

■ 位置の変更

⇧ にタッチして位置を変更します。

■ 施設内容の表示

①～④の条件で表示した施設の情報を表示します。

● ピンポイント検索した施設に情報があるときは、情報 が表示されます。また、呼び出した地図に マークが表示されたときは、詳細な情報を表示することができます。

■ 提携駐車場の検索

①～④の条件で表示した施設の提携駐車場を検索します。

■ピンポイントで検索できないとき

■ 位置の変更

⇧ にタッチして位置を変更します。

■ 周辺の住所検索

呼び出した地図周辺（ピンポイントで該当しない）の住所から検索します。

●「名称で地図を呼び出す」で住所を入力したときは 住所一覧 が表示されます。

●「電話番号で地図を呼び出す」から呼び出したときは 住所一覧 が表示されます。

●「郵便番号で地図を呼び出す」から呼び出したときは 住所一覧 が表示されます。

●「住所で地図を呼び出す」および 住所一覧 から番地入力で検索できないときは 周辺住所 が表示されます。

ワンポイント

地点登録 にタッチするとメモリ地点に登録することができます。（222 ページ参照）

6. 呼び出した地図の操作

位置の変更

1 ⇧ にタッチして地図を動かします。



施設内容の表示

1 情報 にタッチします。

- 施設の内容が表示されます。
- 地図に マークが表示されている場合は、詳細な施設の内容が表示されます。
- スポットインフォメーション（情報付施設）が検索されたときの操作は、**「ブラウザ画面を操作する」**（271ページ）を参照してください。



ワンポイント

施設の内容を表示させることができるのは、**「表示した地図の操作」**（153ページ参照）の①・②・③・④の方法で、地図を呼び出したときのみです。

提携駐車場の検索

検索した施設（デパート・ホテルなど）と提携している駐車場を表示させることができます。

1 提携P にタッチします。

- 専用・提携別の距離順にリストが表示されます。



2 表示させる駐車場名称にタッチします。

- 施設の内容（情報）が表示されます。また、駐車場名称の右にある 地図 にタッチすると、地図が表示されます。
- スポットインフォメーション（情報付施設）が検索されたときの操作は、**「ブラウザ画面を操作する」**（271ページ）を参照してください。



ワンポイント

- 提携駐車場を表示させることができるのは、**「表示した地図の操作」**（153ページ参照）の①・②・③・④の方法で、地図を呼び出したときのみです。また、**提携P** が表示されても検索できない場合があります。
- 提携駐車場は車両情報の設定によって検索される駐車場が異なります。車両寸法が入力されていないときは、車両寸法を考慮せずに、駐車場が検索されます。**「車両情報を設定する」**（197ページ参照）

住所の検索

■住所一覧から検索する

■「名称で地図を呼び出す」から住所を入力したとき。

■「郵便番号で地図を呼び出す」から検索したとき。

■「電話番号で地図を呼び出す」から施設が検索できなかったとき。

1 **住所一覧** にタッチします。



2 表示させる住所にタッチします。

- 住所の地図が表示されます。
- 詳細がわからないときは、 **○○主要部** にタッチすると、タッチした地名の広域図が表示されます。
- **住所一覧** から番地を入力して検索できないときは **周辺住所** が表示されます。



■周辺住所から検索する

■「住所で地図を呼び出す」から番地入力で検索できないとき。

■「住所一覧から検索する」（155 ページ参照）の 住所一覧 から番地を入力して検索できないとき。

チェック

○○主要部 にタッチして表示した地図の場合、**周辺住所** は表示されません。

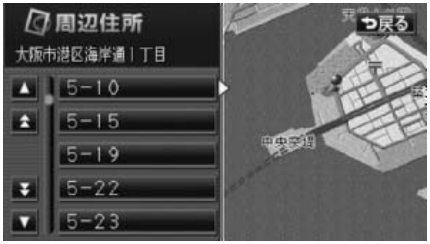
1 **周辺住所** にタッチします。



6. 呼び出した地図の操作

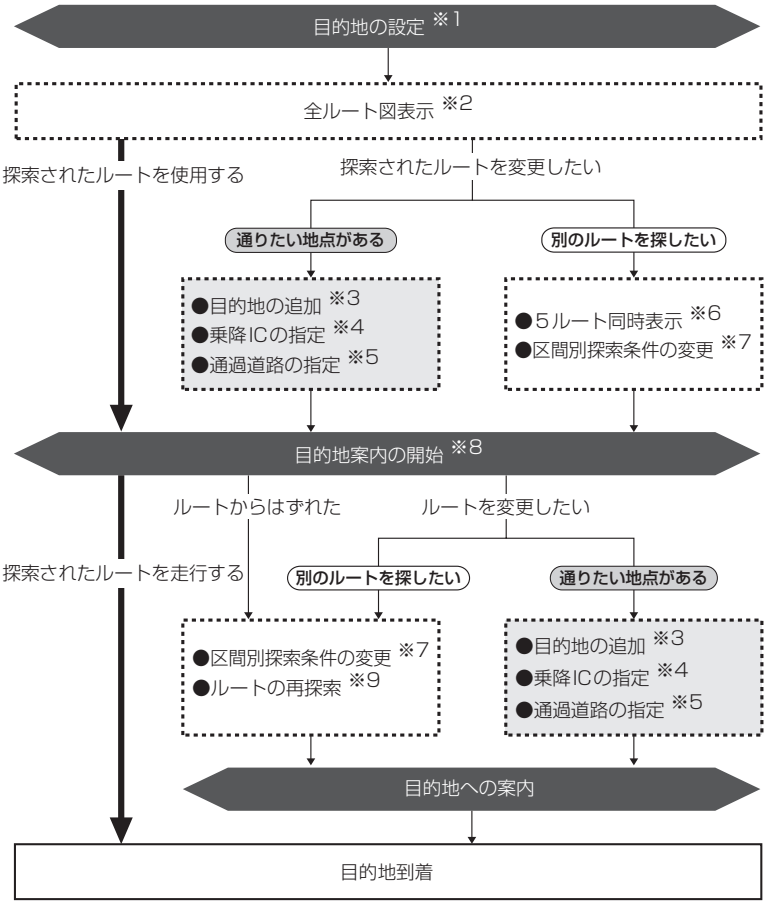
2 表示させる住所にタッチします。

- 住所の地図が表示されます。
- リストの最上段の住所を で表示します。



1. 目的地設定・ルート探索について

目的地へ案内するまでのルート探索には、目的地の追加や通過道路、インターチェンジ（IC）の指定、ルートの探索条件などの設定をすることができます。



※1**「目的地の設定」**（158ページ参照）
※2**「全ルート図表示」**（164ページ参照）
※3**「目的地の追加」**（172ページ参照）
※4**「乗降インターチェンジ（IC）の指定」**（178ページ参照）
※5**「通過道路の指定」**（180ページ参照）
※6**「5ルート同時表示（5ルート探索機能）」**（169ページ参照）
※7**「区間別探索条件の変更」**（174ページ参照）
※8**「案内の開始」**（185ページ参照）
※9**「ルートの再探索」**（216ページ参照）

2. 目的地を設定してルート探索

目的地案内（ルート案内）を行うには、目的地を設定することから始めます。

目的地を設定するには以下の方法があります。

- 地図スクロールから設定
- 登録地点（自宅、特別メモリ地点）から設定
- 地図の呼び出し方法から設定
- 目的地予約から設定

項目	設定方法
地図スクロールから設定	地図をスクロールさせて **目的地セット** にタッチして設定します。
登録地点から設定	自宅を登録してある地点を設定します。自宅を登録していないと使用できません。自宅が登録されていないときは、自宅を登録するメッセージが表示されます。**はい** にタッチすると自宅を登録する画面に切り替わります。**「メモリ地点の登録」**（222ページ参照）
	特別メモリ地点（5カ所）に登録してある地点を設定します。特別メモリを登録していないと使用できません。**「メモリ地点の登録」**（222ページ参照）
地図の呼び出し方法から設定	地図の呼び出し方法から検索して設定します。**「地図の呼び出し方法」**（131ページ参照）
目的地予約から設定	目的地を予約して設定します。**「目的地の予約」**（218ページ参照）

目的地を設定すると、自動的に推奨ルートの探索が始まります。

推奨ルート以外のルートや目的地を追加したり、インターチェンジ（IC）・通過道路を設定するときは、ルート探索後に設定します。

ワンポイント

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶（最大100カ所まで）され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は消去することもできます。**「目的地履歴（ラストゴールメモリー）の消去」**（184ページ参照）

目的地の設定

チェック

目的地を設定する場合は800mスケール図以下の詳細な地図で設定してください。

■地図スクロールから設定する

地図（タッチスイッチ以外の場所）にタッチして地図を移動します。

1 タッチスイッチがある以外の場所にタッチします。

2 **目的地セット** にタッチします。

- 800m スケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。



3 にタッチして、目的地を設定する位置に地図を動かします。

4 目的地セット にタッチします。

● の位置に目的地が マークで表示され、ルート探索が開始されます。



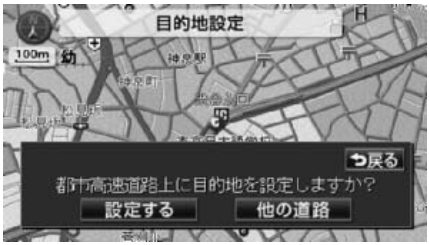
5 すでに目的地が設定されているときは、新規目的地 にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● 追加目的地 にタッチすると、目的地が追加されます。



6 目的地セット （ 新規目的地 、追加目的地 ）にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

● 設定する 、または 他の道路 にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



ワンポイント

すでに目的地が設定されているときに地図スクロールから追加した目的地は、一番手前の目的地になります。

■登録地点から設定する

1 ナビメニュー画面で、目的地 にタッチします。

2. 目的地を設定してルート探索

2 自宅へ帰る 、または 1 ～ 5 にタッチします。

● 自宅が登録されていないときは、自宅へ帰る にタッチすると、自宅を登録するメッセージが表示されます。はい にタッチすると自宅を登録することができます。



● 自宅、または特別メモリ地点の位置に目的地が マークで表示され、ルート探索が開始されます。



3 すでに目的地が設定されているときは、新規目的地 にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● 追加目的地 にタッチすると、目的地が追加されます。[**「目的地の追加」**（172ページ）の 4 ～ 7 参照]



■地図の呼び出し方法から設定する

1 ナビメニュー画面で、目的地 、赤外線通信ケータイリンク 、Bluetooth ケータイリンク のいずれかにタッチします。

2 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

● **「地図の呼び出し方法」**（131ページ）、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



3 目的地セット にタッチします。

● ⌖ の位置に目的地が マークで表示され、ルート探索が開始されます。



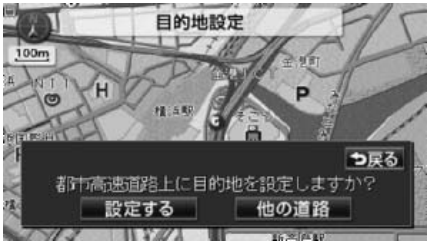
4 すでに目的地が設定されているときは、**新規目的地** にタッチすると、設定されていた目的地を消去して、新しく目的地が設定されます。

● **追加目的地** にタッチすると、目的地が追加されます。以降の設定方法は**「目的地の追加」**（172ページ）の **4** ～ **7** を参照してください。



5 **目的地セット**（**新規目的地**、**追加目的地**）にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

● **設定する**、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



ルート探索

目的地を設定すると自動でルート探索を開始します。

● ルート探索中に、ほかの画面に切り替えても探索は続けられています。

● 目的地までの距離が近すぎるときは、ルートは表示されません。

● 5000kmをこえるルートは探索することができません。

● 学習した道路を考慮したルートを探索することができます。**「ルート学習探索」**（162ページ参照）

● ビーコンから受信した VICS 情報（279ページ参照）や収録されている渋滞統計データから渋滞などの交通状況を考慮したルートを探索することができます。**「渋滞考慮ルート探索」**（163ページ参照）

● 目的地や出発地の周辺は、細街路（165ページ参照）を探索することがあります。

● ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面（現在地から目的地までの全体ルート）になります。**「全ルート図表示」**（164ページ参照）

ワンポイント

●ルートの探索は、原則として道幅が5.5m以上の道路を対象としています。ただし、5.5m未満の主要道路でもルートを探索することがあります。

●高速道路や有料道路のインターチェンジ（IC）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）内などでルート探索が行われると、その周辺の一般道から開始するルートが探索されることがあります。このときは、ルートの再探索（216 ページ参照）を行ってください。

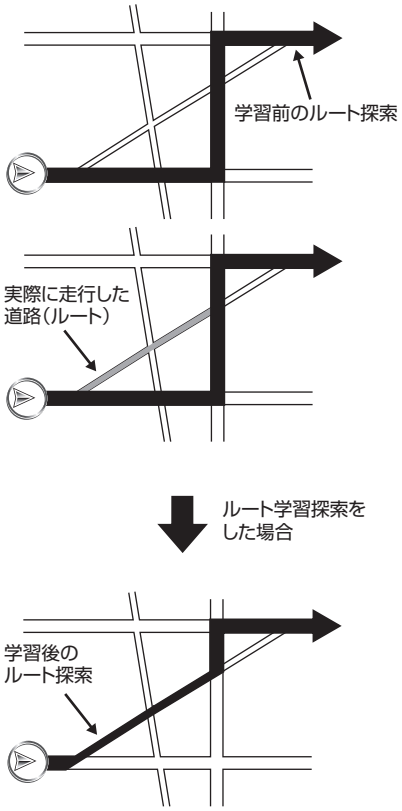
●VICS は、財団法人道路交通情報通信システムセンターの商標です。
道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報通信センターから提供されます。また、データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICS センター）の技術が用いられています。

2. 目的地を設定してルート探索

ルート学習探索

ルート探索時に、いつも通る道を考慮したルートで案内させることができます。

目的地案内中に、ルートとは異なる道路を走行した場合にそのルートを学習します。何度か同じように走行し、学習が完了すると次のルート探索時に学習したルートで案内させることができます。



チェック

- 幅5.5m以下の道路では、ルート学習をすることはできません。(自宅登録時の自宅周辺除く)
- ルート学習で学習した道路は、推奨(169ページ参照)にのみ反映されます。

■ルート学習を設定する

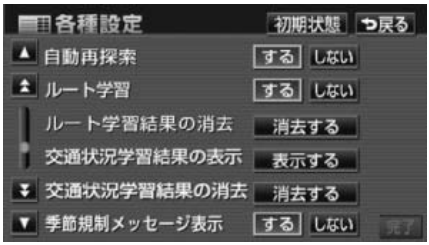
ルート学習をON(する)にするか、OFF(しない)にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。



3 ルート学習の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 学習した道路が使われない場合もあります。
- 自車マーク が実際の道路と異なる場所に表示されているときは、ルート学習ができない場合があります。(高速道路、または高架道路と並行している道路がある場合など。)
- 地図データを更新した場合、道路の改良、新規開通などの変化により、ルート学習が反映されない場合があります。

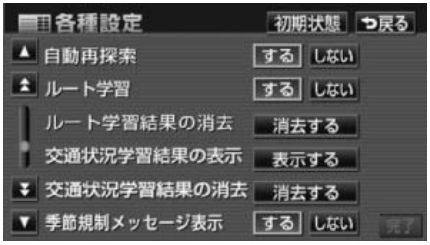
■ルート学習結果を消去する

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

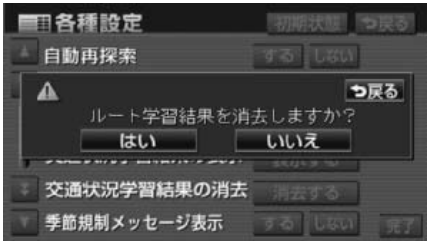
2 **ルート系設定** にタッチします。



3 ルート学習結果の消去の **消去する** にタッチします。



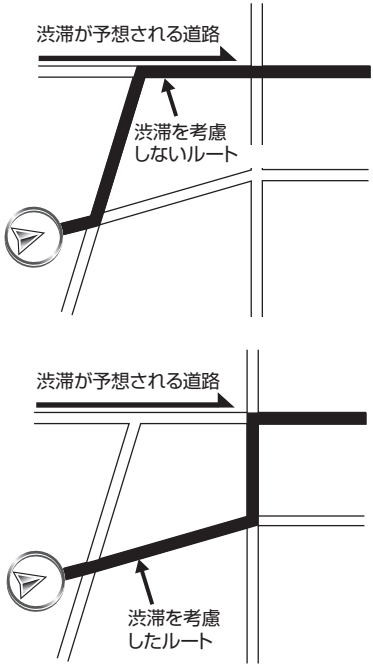
4 **はい** にタッチします。



渋滞考慮ルート探索

受信したVICS情報（236 ページ参照）、（279 ページ参照）や渋滞統計データなどから探索した曜日、時間帯の交通状況を考慮（253 ページ参照）して、ルートを探索することができます。

また、5ルート同時表示（169 ページ参照）やルートの探索条件などが渋滞考慮ルートになります。



■渋滞考慮探索を設定する

渋滞統計データを考慮をON（する）にするか、OFF（しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

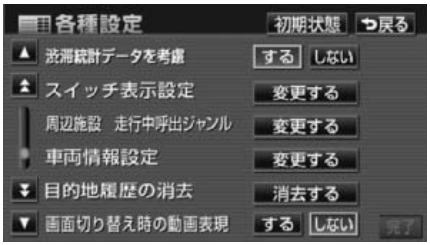
次ページに続く

2. 目的地を設定してルート探索

2 ルート系設定 にタッチします。



3 渋滞統計データを考慮の する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

ワンポイント

別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットを接続した場合は、渋滞統計データを考慮を する にすると、ビーコンからのVICS情報を受信するたびに、受信された渋滞・規制情報が考慮されたルートを探索、表示をさせることができます。（282 ページ参照）

全ルート図表示

ルート探索が終了すると、全ルート図表示画面になります。

- 全ルート図が表示されたあと、MAP を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときは、自動的に目的地案内が開始されます。



● ルート探索終了（全ルート図）画面

■ルートの表示について

ルートの表示色は、以下の4種類あります。

- **青色**
  目的地が一つのとき、または複数設定されているときは現区間（次の目的地まで）の表示
- **青枠の白色**
  目的地が複数設定されているときの現区間（次の目的地まで）以外の表示
- **水色**
  細街路の表示（165 ページ参照）
- **青枠の橙色**
  季節規制区間の表示（167 ページ参照）



ワンポイント

高速路線マップのルート表示色は青色のみになります。

■細街路の表示について

現在地周辺・目的地周辺では、細街路（幅5.5m未満の道路）もルートが探索されます。



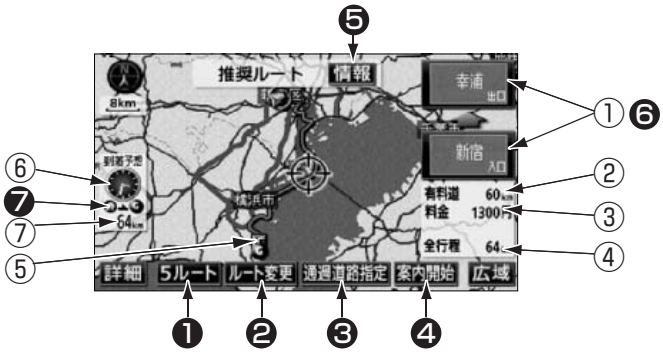
ワンポイント

細街路では、音声案内と画面表示（交差点案内など）による目的地案内はされません。また、交通規制（一方通行など）により、通行できないルートが探索されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがってください。

2. 目的地を設定してルート探索

全ルート図の表示・タッチスイッチについて

全ルート図では、現在地から目的地までの到着予想時刻や距離などが表示されます。また、画面のタッチスイッチから探索されたルートを変更したり、案内の情報を表示することができます。



■表示について

最終目的地までの表示になります。

① **インターチェンジ（IC）名称表示**
有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ（IC）の名称が下に、一番最後に出るインターチェンジ（IC）の名称が上に表示されます。

② **有料道路距離表示**
目的地までに通るすべての有料道路の距離が表示されます。

③ **料金案内**
目的地までに通るすべての有料道路の料金が表示されます

- 料金が特定できないときは、「不明」または「○○○円以上」と表示されます。
- 全ルート図を再表示したときは、残りの料金が表示されます。全ルート図の再表示については**「全ルート図の再表示」**（210ページ）を参照してください。

④ **距離表示**
目的地（複数のときは最終目的地）までの距離が表示されます。

⑤ **ICマーク**
有料道路を通るときは、一番最初に入るインターチェンジ（IC）と、一番最後に出るインターチェンジ（IC）の位置に表示されます。

⑥ **到着予想時刻表示**
目的地への到着予想時刻が表示されます。

⑦ **残距離表示**
目的地まで、表示されているルートを通っての距離が表示されます。（目的地案内開始後でルートからはずれたときは、目的地までの直線距離が表示されます。）

■タッチスイッチについて

全ルート図表示画面で、タッチスイッチにタッチすると、次のことができます。

❶ **5ルート**
別のルートを表示させ、選ぶことができます。（169 ページ参照）

❷ **ルート変更**

ルート変更の画面を表示して、探索条件の変更をすることができます。また、目的地の追加、インターチェンジ（IC）・通過道路の指定などをすることができます。（171 ページ参照）

❸ **通過道路指定**

地図にタッチすると表示されます。

通過道路指定 にタッチすると通過道路が指定できます。（180 ページ参照）

❹ **案内開始**
（**目的地案内開始後は、案内に戻る**）

目的地案内、またはデモンストレーションを開始させることができます。（185 ページ参照）目的地案内開始後は、現在地画面にもどります。

❺ **情報**

ルート情報（案内道路情報）を表示させることができます。（168 ページ参照）

❻ **インターチェンジ（IC）名称**

インターチェンジ（IC）名称表示にタッチすると、表示されている乗降インターチェンジ（IC）を指定（すでに指定されている場合は変更）することができます。（178 ページ参照）

❼ **到着予想時刻/残距離表示**

目的地が2カ所以上設定されているときは、到着予想時刻/残距離表示にタッチすると、表示される目的地を切り替えることができます。（210 ページ参照）

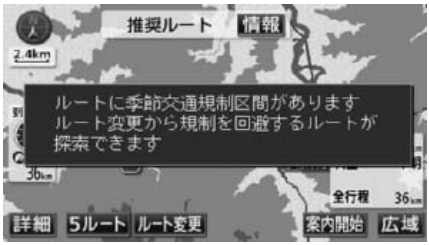
ワンポイント

- 到着予想時刻は設定した平均車速（195 ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。
- 交通規制（常時進入禁止、時間による進入禁止など）区間を通らないと目的地に行けないようなときは、ルート上の規制箇所に ✖ が表示されることがあります。
- 目的地案内開始後にも全ルート図を表示させることができます。（210 ページ参照）
- 料金は設定した車両情報（197　ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは、料金案内は行いません。

季節規制区間の表示・回避

長期間に渡り規制される区間（冬期通行止めになる道路など）を含むルートが探索されたときは、全ルート図表示画面にルートが青枠の橙色で表示されます。

このとき、画面にメッセージを表示させることができます。



● **季節規制区間メッセージ表示**

■季節規制区間を回避する

チェック

季節規制回避（または **季節規制通過**）は、季節規制区間を通るルートが探索されたときのみ表示されます。

1 全ルート図表示画面で、**ルート変更** にタッチ、または現在地画面で、**再探索**、**ルート変更** の順にタッチします。

次ページに続く

2. 目的地を設定してルート探索

2 季節規制回避 にタッチします。

- ルート探索が開始されます。
- 季節規制区間を再度通るルートを探索する場合は 季節規制通過 にタッチします。



ワンポイント

規制区間を通らないと目的地などに行けないようなときは、季節規制回避 にタッチしても、規制区間を利用するルートが探索されることがあります。

■季節規制区間メッセージ表示を設定する

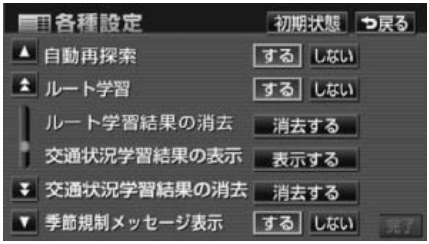
季節規制区間を含むルートが探索されたときに表示されるメッセージをON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、各種設定 にタッチします。

2 ルート系設定 にタッチします。



3 季節規制メッセージ表示の する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

ルート情報（案内道路情報）の表示

目的地までのルートを、設定した地点、乗降インターチェンジ（IC）、道路の種類別などに区分し、区間の距離、高速道路などの料金、または目的地や乗降インターチェンジ（IC）の通過予想時刻を一覧で表示することができます。また、出発した地点・目的地などの周辺地図を表示することもできます。

1 全ルート図表示画面で、情報 にタッチします。



2 ▲、または ▼ にタッチします。

- 現在地がルート上にあるときは、ルート情報画面の区間に自車位置 ⓐ が表示されます。
- 現在地がルート上にない（ルートからはずれた）ときは、ルートが表示されている地点からの情報が表示されます。
- 乗降インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）・目的地・通過道路・道路の種別の変わり目でルート情報を分割して表示します。
- 分割されたそれぞれのルート情報は、道路名称・距離・有料道路の料金・分割された地点への通過予想時刻が表示されます。



3 地図 にタッチします。

- 設定したそれぞれの地点の地図が表示されます。

ワンポイント

- ルート案内中にも 表示変更 から全ルート図を表示してルート情報を表示することができます。
- 料金は設定した車両情報（197　ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 通過予想時刻は設定した平均車速（195 ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

5ルート同時表示（5ルート探索機能）

目的地を設定すると推奨ルートが探索され、現在地から目的地までの全ルート図が表示されます。推奨ルート以外に有料道路優先ルート、一般道路優先ルート、距離優先ルート、別ルートの合計5ルートを同時表示させて選ぶことができます。探索が終了したルートから順に表示されます。

チェック

次のときは、5ルート同時表示はできません。

- 目的地が2カ所以上設定されているとき。
- 通過する地点［乗降インターチェンジ（IC）・通過道路］が指定されているとき。
- 目的地案内が開始されたあと。

1 全ルート図表示画面で、5ルート にタッチします。

- 5　つのルートが色分けされて表示されます。



次ページに続く

2. 目的地を設定してルート探索

2 全行程一覧表 にタッチします。

- 5つのルートの距離・料金・所要時間が表示されます。
- ルート名称にタッチすると、タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。



3 ルート名称にタッチします。

- タッチしたルートが表示された全ルート図表示画面になります。



ワンポイント

- 渋滞統計データを考慮（163 ページ参照）が **する** に設定されているときは、5ルートで渋滞を考慮したルートが探索され、画面上部に"渋滞考慮探索5ルート"と表示されます。
- ルートの特長については、**「タッチスイッチ一覧」**（214ページ）を参照してください。
- 料金は設定した車両情報（197 ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。
- 所要時間は設定した平均車速（195 ページ参照）から計算しているため、走行条件などにより、多少の誤差が生じることがあります。

3. 探索ルートの変更

目的地を設定し、ルートを探索した後、目的地を追加したり、インターチェンジ（IC）、通過道路の指定など、ルートを変更することができます。ルートを変更するには次の方法があります。

- 全ルート図表示画面から **ルート変更** にタッチすると、ルート変更画面になります。
- 案内中の現在地画面から **再探索** にタッチした後、**ルート変更** にタッチすると、ルート変更画面になります。

ルート変更画面から各設定を行います。

●全ルート図表示画面



●現在地画面



ルート変更

再探索



ルート変更



●ルート変更画面

●再探索画面

- 目的地の追加（172 ページ参照）
- 区間別探索条件の変更（174 ページ参照）
- 目的地の並び替え（175 ページ参照）
- 目的地の消去（176 ページ参照）
- 乗降インターチェンジ（IC）の指定（178 ページ参照）
- インターチェンジ（IC）指定の解除（179 ページ参照）
- 通過道路の指定（180 ページ参照）
- 通過道路指定の修正（182 ページ参照）
- 通過道路指定の解除（183 ページ参照）

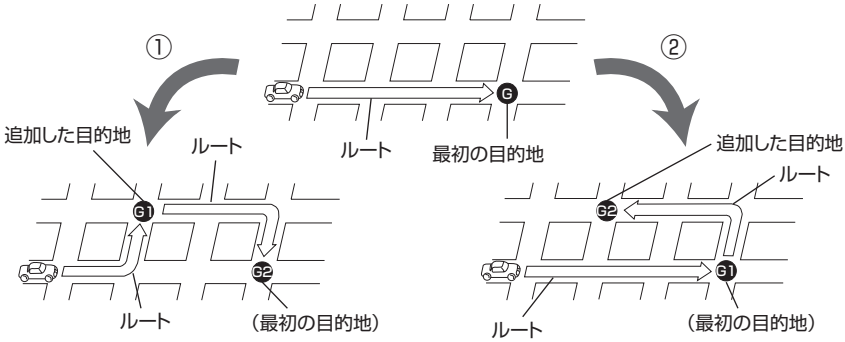
3. 探索ルートの変更

目的地の追加

目的地を設定したあと、さらに追加して最大5ヵ所まで目的地を設定することができます。
以下のようなときに、追加して目的地を設定します。

① 設定した目的地と現在地の間で、立ち寄る地点を設定するとき。

② 設定した目的地を立ち寄る地点に変更し、新しく目的地を設定するとき。



チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で、目的地の設定をすることができます。

1 **ルート変更** にタッチします。

2 目的地・通過目的地の **追加** にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

● **「地図の呼び出し方法」**（131ページ）、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



4 **目的地セット** にタッチします。

● ⊕ の位置に目的地が マークで表示されます。



5 **目的地セット** にタッチしたとき、高速道路や橋、トンネルなどの付近では、目的地を設定する道路の種類を選ぶ画面が表示されることがあります。

● **設定する** 、または **他の道路** にタッチして、目的地を設定する道路の種類を選びます。



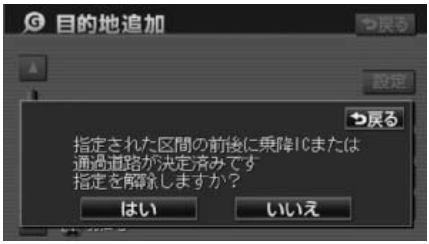
6 設定する区間の **設定** にタッチします。



7 インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、解除する画面が表示されることがあります。

● **はい** にタッチすると、解除されます。

● **いいえ** にタッチすると、解除せず設定します。



次ページに続く

3. 探索ルートの変更

8 探索開始 にタッチします。

- ルート探索が開始されます。
- 目的地を設定したあと、この画面から、次のことができます。
  - ・区間別探索条件の変更（174 ページ参照）
  - ・目的地の並び替え（175 ページ参照）
  - ・目的地の消去（176 ページ参照）
  - ・乗降インターチェンジ(IC)の指定(178 ページ参照)
  - ・インターチェンジ(IC)指定の解除(179 ページ参照)
  - ・通過道路の指定（180 ページ参照）
  - ・通過道路指定の修正（182 ページ参照）
  - ・通過道路指定の解除（183 ページ参照）



- さらに追加して、目的地を設定するときは、追加 にタッチすると、3 の画面（172 ページ参照）が表示されますので、3 ～ 7 を繰り返します。

ワンポイント

- 目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます（最大100カ所まで）。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。**「目的地履歴(ラストゴールメモリー)の消去」**(184 ページ参照)
- インターチェンジ（IC）や通過道路（178 ページ参照）、（180 ページ参照）が指定されているとき、目的地を追加すると、指定されている地点によっては、インターチェンジ（IC）・通過道路の指定が解除されることがあります。
- 目的地の設定と同じ方法で 追加目的地 にタッチして、追加することもできます。**「地図スクロールから設定する」**（158ページ参照）、**「登録地点から設定する」**（159 ページ参照）、**「地図の呼び出し方法から設定する」**（160ページ参照）

区間別探索条件の変更

区間別に探索条件を変更して、再探索することができます。

1 ルート変更 にタッチします。

2 探索条件変更 にタッチします。



3 それぞれの区間の探索条件（ルート名称）にタッチします。

- 現在地から次の目的地までの区間は、別ルート が表示されます。



4 探索開始 にタッチします。

- ルート探索が開始されます。

ワンポイント

- 渋滞統計データを考慮したルートが探索されるのは、現在地から次の目的地までの区間のみになります。
- 探索条件の特長については、**「タッチスイッチ一覧」**(214ページ)を参照してください。

目的地の並び替え

複数設定した目的地を並び替えて再探索することができます。

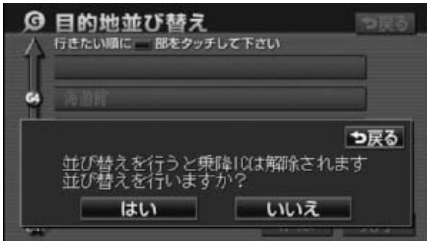
1 ルート変更 にタッチします。

2 目的地・通過目的地の 並び替え にタッチします。



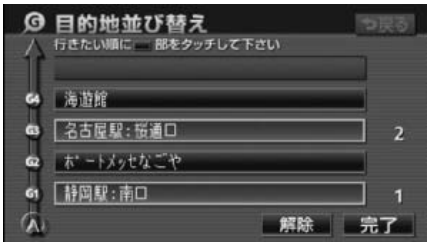
3 インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、解除して、並び替えを行う確認画面が表示されます。

- はい にタッチすると、解除して、並び替えを行います。
- いいえ にタッチすると、並び替えを中止してもとの画面にもどります。



4 現在地から次に行く目的地の順に、目的地名称にタッチします。

- タッチした目的地名称の右側に、新しい順番が表示されます。
- 間違えたときに 解除 にタッチすると、選ばれていた順番が解除されます。
- すでに選ばれている目的地名称にタッチすると、その目的地の順番が解除され、以降の順番が繰り上げられます。



5 完了 にタッチします。

- 最終目的地の１つ手前の目的地を選択すると、完了 にタッチしなくても、約3秒後、自動的に 探索開始 （下記 6 ）が表示されます。
- すべての目的地名称にタッチしないで、並び替えたい目的地のみにタッチしてから 完了 にタッチしたときは、タッチした目的地のみが手前になった順番になります。

6 探索開始 にタッチします。

- ルート探索が開始されます。

ワンポイント

インターチェンジ(IC)・通過道路が指定(178ページ参照)、(180 ページ参照) されているときに並び替えをすると、インターチェンジ(IC)・通過道路の指定が解除されることがあります。

3. 探索ルートの変更

目的地の消去

複数設定した目的地の1つを消去することができます。また、すべての目的地を同時に消去することもできます。

■ルート変更スイッチから消去する

1 ルート変更 にタッチします。

2 目的地・通過目的地の 消去 にタッチします。

● 1カ所のみ設定されていたときは、4 の画面が表示されます。



3 目的地名称にタッチします。

● すべての目的地を消去するときは、全消去 にタッチします。



4 はい にタッチします。

● すべての目的地を消去したとき、1カ所のみ設定されていたときは、現在地画面になります。



5 探索開始 にタッチします。

● ルート探索が開始されます。

■MENUスイッチから消去する

1 MENU を押します。

2 ナビメニュー画面で、目的地 にタッチします。

3 目的地消去 にタッチします。

● 1カ所のみ設定されていたときは、5 の画面が表示されます。



4 目的地名称にタッチします。

● すべての目的地を消去するときは、**全消去** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。

● すべての目的地を消去したとき、1カ所のみ設定されていたときは、現在地画面になります。



6 **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。

■地図画面から消去する

1 地図を表示させているときに、消去したい目的地にタッチします。

2 **情報** にタッチします。



3 **消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● 目的地が 1 カ所のみ設定されていたときは、現在地画面になります。

● ルート探索が開始されます。



3. 探索ルートの変更

乗降インターチェンジ（IC）の指定

目的地を設定したあと、全ルート図表示画面に表示されている乗降インターチェンジ（IC）を指定することができます。

チェック

目的地（現在地）が高速道路上の場合は、出口（入口）の指定はできません。

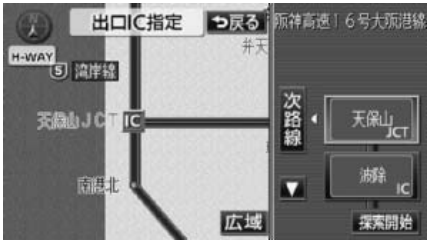
1 全ルート図表示画面で、変更するインターチェンジ（IC）名称表示にタッチします。

- ルート変更 にタッチしても指定することができます。ルート変更画面で スマートIC考慮 にタッチした場合、スマートIC（ETC専用インターチェンジ）を考慮したルートを探索することができます。



2 左画面で地図を移動し、ICマークにタッチする、または右画面でインターチェンジ（IC）名称にタッチします。

- 選択しているインターチェンジ（IC）は IC マークが表示されます。
- 同じインターチェンジ（IC）に複数の出入口があるときは、複数のICマークが選択されます。
- 右画面でインターチェンジ名称を選ぶときは、▲ ・ ▼ ・ 次路線 にタッチして、表示されているICを切り替えます。（ 次路線 はジャンクションがあり分岐するときのみ表示されます。）
- 右画面でインターチェンジ名称にタッチすると、左画面中央にインターチェンジ（IC）の位置が表示されます。
- 左画面の高速路線マップの縮尺は、4段階に切り替えることができます。
- インターチェンジ（IC）の道路名が画面右上に表示されます。



3 探索開始 にタッチします。

- すでに指定されているインターチェンジ（IC）があるときは解除して設定します。
- 全ルート図表示画面から操作を行ったときは、ルート探索が開始されます。

4 指定したインターチェンジ（IC）に出口（または入口）が2カ所以上あるときは、**次候補** にタッチして、出口（または入口）を選びます。

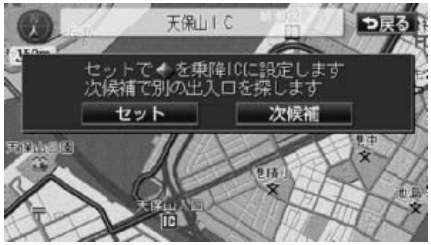
● 表示されている出口（または入口）を指定するときは、**セット** にタッチします。



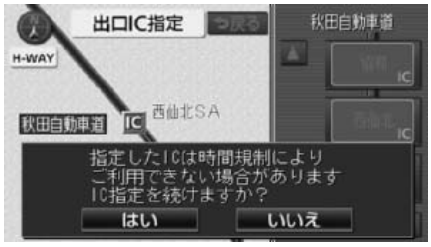
5 **セット** にタッチします。

● インターチェンジ（IC）が IC マークで指定されます。

● 全ルート図表示画面から設定したときは、ルートが探索され全ルート図表示画面になります。



6 時間規制があるインターチェンジ（IC）を選んだときにインターチェンジ（IC）指定を続けたいときは、**はい** にタッチします。



7 ルート変更画面から操作を行ったときは **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。

ワンポイント

- 指定できるインターチェンジ（IC）は入口、出口とも各1カ所になります。
- ルート案内中からでも乗降インターチェンジ（IC）を指定することができます。詳しくは**「タッチスイッチ一覧」**（214ページ）を参照してください。
- スマートICを選択することもできます。このとき、ETC車載器の取付有無、規制情報などは考慮されません。事前に国土交通省のホームページで、ご確認の上、注意して走行してください。

インターチェンジ（IC）指定の解除

1 全ルート図表示画面で、解除するインターチェンジ（IC）名称表示にタッチします。

● **ルート変更** にタッチしても解除することができます。

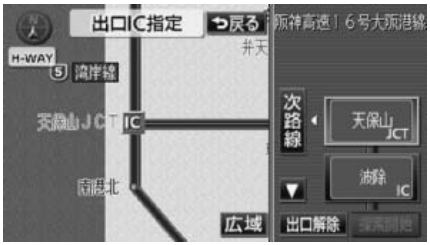


次ページに続く

3. 探索ルートの変更

2 出口解除 （または 入口解除 ）にタッチします。

● インターチェンジ（IC）の指定が解除され、ルート探索が開始されます。



ワンポイント

案内開始後の現在地画面からインターチェンジ(IC)指定を解除することができます。(214ページ参照)

通過道路の指定

■全ルート図画面から指定する

1 全ルート図表示画面で、地図にタッチします。

2 通過道路指定 にタッチします。

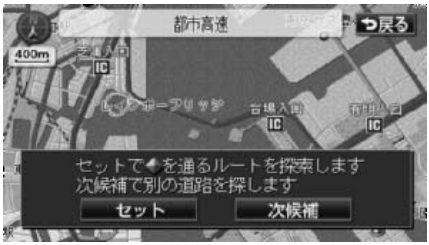
● 800m スケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。



3 次候補 にタッチします。

● 別の通過道路を選びます。

● 表示されている道路を指定するときは、セット にタッチします。



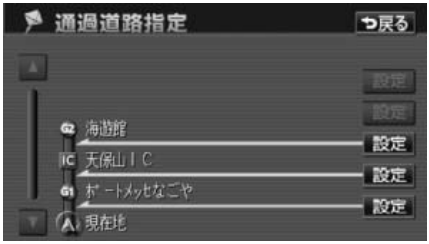
4 セット にタッチします。

● 通過道路が ◆ マークで指定されます。

● 目的地が１カ所のみ設定されていて、インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されていなかったときは、ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。

5 目的地が２カ所以上設定されているとき、またはインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、指定する区間の 設定 にタッチします。

● ルートが探索され、全ルート図表示画面になります。



■ルート変更スイッチから指定する

1 **ルート変更** にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の **指定** にタッチします。



3 通過道路を指定する位置に地図を動かします。

4 **通過道路セット** にタッチします。

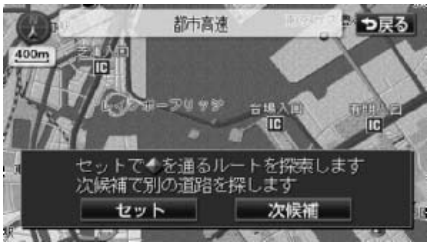
● 800m スケール図より広域な地図を表示させていたときは、800mスケール図に切り替わります。



5 **次候補** にタッチします。

● 別の通過道路を選びます。

● 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。

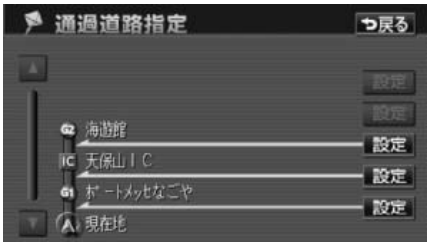


6 **セット** にタッチします。

● 通過道路が ◆ マークで指定されます。

● 目的地が１カ所のみ設定されていて、インターチェンジ（IC）・通過道路が指定されていなかったときは、**8** の画面になります。

7 目的地が２カ所以上設定されているとき、またはインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、指定する区間の **設定** にタッチします。



次ページに続く

3. 探索ルートの変更

8 **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。



ワンポイント

- 最大2カ所まで指定することができます。
- インターチェンジ（IC）が指定（178 ページ参照）されているとき、通過道路を指定すると、指定されている地点によっては、インターチェンジ（IC）の指定が解除されることがあります。
- 表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選択できないことがあります。

通過道路指定の修正

1 **ルート変更** にタッチします。

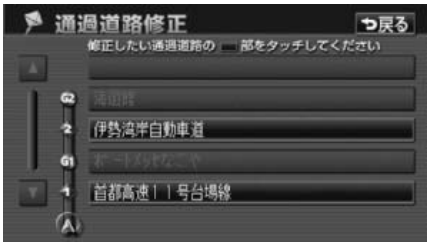
2 通過点（通過道路指定）の **修正** にタッチします。

● 1カ所のみ設定されていたときは、**4** になります。



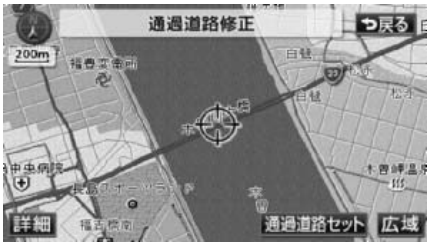
3 道路名称などにタッチします。

● 地図が表示されます。



4 通過道路を修正する位置に地図を動かします。

5 **通過道路セット** にタッチします。



6 **次候補** にタッチします。

● 別の通過道路を選びます。

● 表示されている道路を指定するときは、**セット** にタッチします。



7 **セット** にタッチします。

● 通過道路が ◆ マークで指定されます。

8 **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。



ワンポイント

表示されている地図に道路情報が少ないときは、**次候補** にタッチしても、道路が選択できないことがあります。

通過道路指定の解除

1 **ルート変更** にタッチします。

2 通過点（通過道路指定）の **解除** にタッチします。

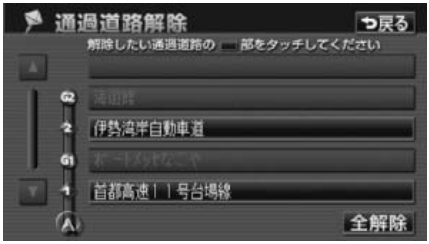
● 1カ所のみ設定されていたときは、**4** の画面になります。



3 道路名称などにタッチします。

● 地図が表示されます。

● すべての通過道路を解除するときは、**全解除** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。



5 **探索開始** にタッチします。

● ルート探索が開始されます。



ワンポイント

案内開始後の現在地画面から通過道路指定を解除することができます。（214 ページ参照）

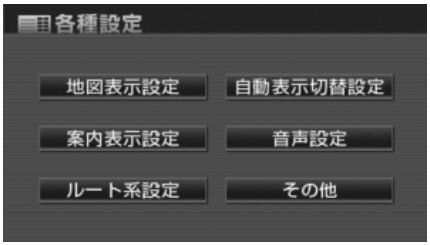
4. 目的地履歴（ラストゴールメモリー）について

目的地を設定した地図の地点は、自動的に記憶され、目的地の設定のときなどに、地図を呼び出すことができます（最大100カ所まで）。100カ所をこえたときは、古いものから自動的に消去されますが、不要な目的地は、消去することもできます。

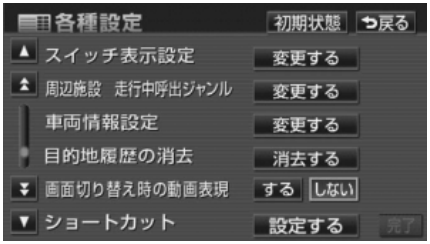
目的地履歴（ラストゴールメモリー）の消去

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

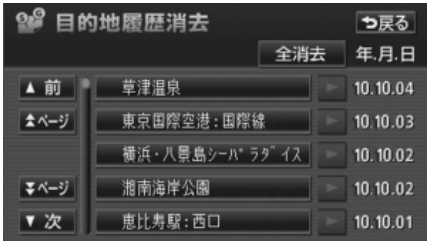


3 目的地履歴の消去の **消去する** にタッチします。

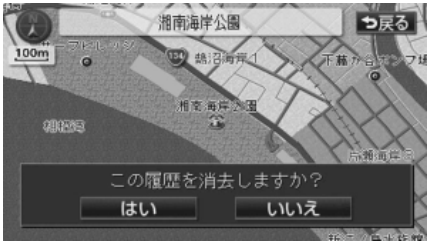


4 地点名称にタッチします。

● すべての目的地履歴を消去するときは、**全消去** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。



5. 目的地案内の開始・中止・再開

案内の開始

ルートの探索が終了すると、全ルート図が表示されます。全ルート図表示画面で 案内開始 にタッチすると目的地案内が始まります。

また、目的地案内を途中で中止したり、再開することができます。

1 全ルート図表示画面で、案内開始 にタッチします。

- 目的地案内が開始されます。
- 全ルート図が表示されたあと、MAP を押したとき、または走行して約3秒以上操作しなかったときも、自動的に目的地案内が開始されます。



案内の中止・再開

1 ナビメニュー画面で、案内中止 にタッチします。

- 目的地案内を中止しても、目的地は消去されません。
- 中止した目的地案内を再開させるときは、再度ナビメニュー画面で、案内再開 にタッチします。



デモンストレーション（デモ）

ルート探索終了後、目的地案内が開始される前に、目的地案内のデモ走行を見ることができます。

チェック

デモンストレーション（デモ）は、目的地設定後のルート探索終了時（案内開始前）に表示される全ルート図画面で行うことができます。また、走行中はデモンストレーション機能は使用できません。

1 全ルート図表示画面で、案内開始 に約3秒以上タッチし続けます。

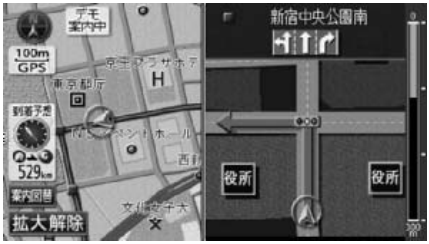
- デモが始まります。
- デモンストレーションの速度を速くしたいときは、縮尺を広域に、遅くしたいときは、縮尺を詳細にしてください。**「地図縮尺の切り替え」**（99ページ参照）

次ページに続く

5. 目的地案内の開始・中止・再開

2 デモ中に MAP を押します。

- デモが終了します。
- デモ中に走行したときも、デモが終了し、目的地案内が開始されます。



● **デモ案内中画面**

ワンポイント

オンルートスクロール（210 ページ参照）を使っても、探索されたルートの確認ができます。

6. 目的地案内について

ルート探索が終了すると、希望ルートの案内を開始することができます。

目的地に向かって走行すると、目的地までのルートを案内します。（ルート案内の音声は、安全を考慮しているため、目的地の周辺で終了します。）

交差点・側道・レーン（車線）案内

走行中、交差点が近づくと、交差点の案内が行われます。目的地案内中は分岐する交差点が近づく（約300m以内）と、交差点拡大図が自動的に表示されます。

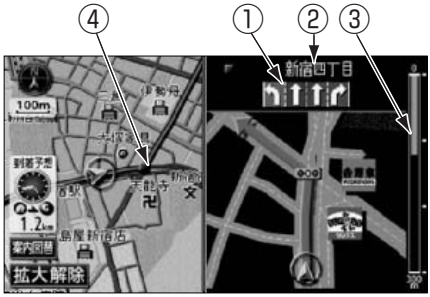
チェック

細街路等のルート（目的地および出発地周辺の水色ルート）を走行している場合は、交差点案内を行いません。

■分岐しない交差点について



■分岐する交差点（交差点拡大図）について



① **レーン（車線）表示**
通過・分岐する交差点の車線が表示されます。走行を推奨する車線は青色で表示されます。

② **交差点名称表示**
通過・分岐する交差点の名称が表示されます。

③ **残距離表示**
交差点までの距離が表示されます。
（交差点に近づくとともに ▮ が短くなります。）

④ **案内ポイント**
交差点案内が表示されます。

6. 目的地案内について

■交差点拡大図の自動表示を設定する

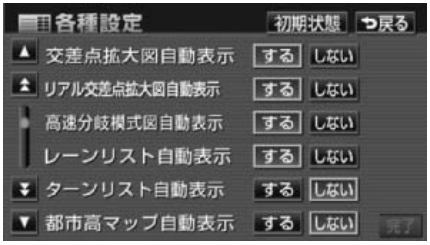
交差点拡大図を自動でON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



3 交差点拡大図自動表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

交差点拡大図自動表示が **しない** に設定されているときは、**案内図替** から交差点拡大図を表示することができます。

■交差点拡大図を解除する

拡大解除スイッチから解除する

1 **拡大解除** にタッチします。

● 再度、交差点拡大図を表示させるには、MAP を押します。



案内図替スイッチから解除する

1 **案内図替** にタッチします。

● 選択する画面（ **レーンリスト** ・ **ターンリスト** ）がないときは、タッチするごとに通常の地図と交差点拡大図が切り替わります。



2 通常の地図にするときは **地図** 、レーンリスト図（192 ページ参照）にするときは **レーンリスト** 、ターンリスト図（201 ページ参照）にするときは **ターンリスト** にタッチします。

● 再度、交差点拡大図を表示させるには、この画面で **拡大図** にタッチします。また、MAP を押しても表示させることができます。



■3Dイラスト拡大図について

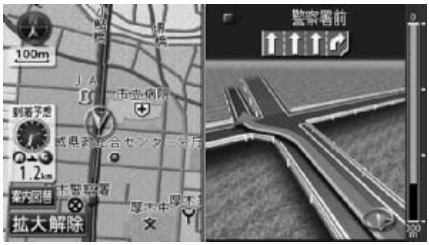
都市高速のIC入口などでは、立体的な案内画面が表示されます。



● 3Dイラスト拡大図

■立体交差点拡大図について

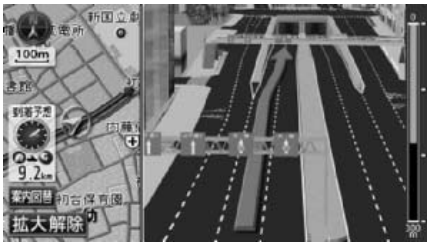
立体交差点情報のある交差点では、立体的な案内画面を表示させることができます。



● 立体交差点拡大図

■難交差点拡大図について

複雑な形状の交差点では、立体的な案内画面が表示されます。



● 難交差点拡大図

■リアル交差点拡大図について

リアル交差点情報のある交差点では、リアルな案内画面を表示させることができます。



● リアル交差点拡大図

6. 目的地案内について

リアル交差点拡大図の自動表示を設定する

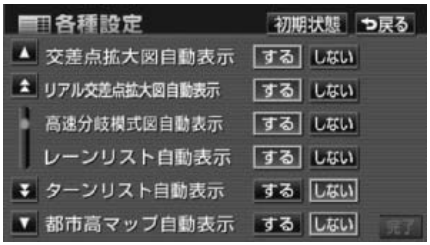
リアル交差点拡大図をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



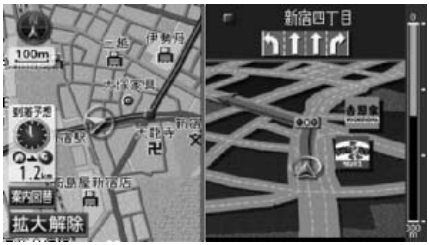
3 リアル交差点拡大図自動表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

■3D交差点拡大図について

交差点拡大図を3D表示させることができます。



● 3D交差点拡大図

3D交差点拡大図を設定する

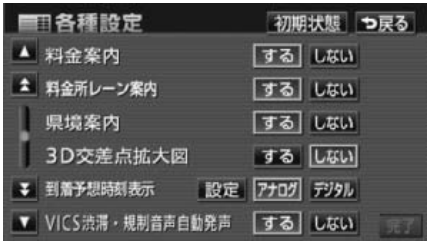
3D交差点拡大図をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 3D交差点拡大図の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

■側道案内拡大図について

本線から側道、または側道から本線を通るルートが探索されている場合、側道の手前（約300m以内）では、側道案内拡大図が自動的に表示されます。



● 側道案内拡大図

■側道案内拡大図を解除する

拡大解除スイッチから解除する

1 **拡大解除** にタッチします。

● 再度、側道案内拡大図を表示させるには、MAP を押します。



案内図替スイッチから解除する

1 **案内図替** にタッチします。



次ページに続く

6. 目的地案内について

2 通常の地図にするときは **地図** 、レーンリスト図（192 ページ参照）にするときは、**レーンリスト** 、ターンリスト図（201 ページ参照）にするときは、**ターンリスト** にタッチします。

● 再度、側道案内拡大図を表示させるには、この画面で **拡大図** にタッチします。
また、MAP を押しても表示させることができます。



■レーン（車線）リスト図表示（ハイパーレーンアシスト）について

分岐する交差点の手前（約700m以内）では、走行する交差点の名称と車線のレーンリスト図を表示させることができます。

● 交差点拡大図案内…赤色

● 案内ポイント…緑色、桃色、橙色

● 地図上の案内ポイント ● とレーンリストの ● は同じ色で表示されます。



● レーンリスト図表示

ワンポイント

レーンリスト図が表示されていても、分岐する交差点の約300m手前では交差点拡大図が自動的に表示されます。（交差点拡大図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。）

レーンリスト自動表示を設定する

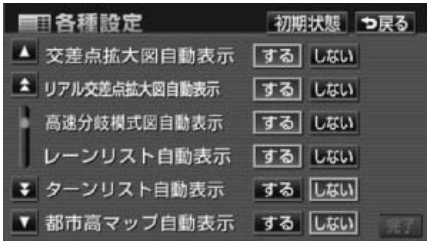
レーンリスト図を自動でON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



3 レーンリスト自動表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

レーンリスト自動表示が **しない** に設定されているときは、**案内図替** からレーンリスト図を表示することができます。

■ レーンリスト図を解除する

チェック

拡大図 は分岐する交差点の300m以内に近づくと表示されます。

1 **案内図替** にタッチします。

● 選択する画面（ **拡大図** 、**ターンリスト** ）がないときは、タッチするごとに通常の地図とレーンリスト図が切り替わります。



2 通常の地図にするときは **地図** 、交差点拡大図にするときは **拡大図** 、ターンリスト図（201 ページ参照）にするときは **ターンリスト** にタッチします。

● 再度、レーンリスト図を表示させるには、この画面で、**レーンリスト** にタッチします。



ワンポイント

●案内ポイントの種類により、表示される画面は異なります。
- ■（赤）…交差点拡大図が表示されます。
- ◎◎◎…信号機がある交差点の名称・レーンが表示されます。
- ■（灰）…レーンが表示されます。

●次のようなときは、交差点案内が行われないことがあります。
- 目的地案内開始直後
- 目的地周辺

●交差点拡大図が表示されているとき、交差点名称・レーンは分岐する交差点のものが表示され、分岐する交差点より手前の交差点案内は行われません。

細街路の案内

細街路に入ると、自動的に2画面表示に切り替わり、右画面に25mスケールの市街図を表示します。

● 現在地、または目的地周辺では、細街路（幅5.5m未満の道路）のルート（水色）が探索される場合があります。

● **案内図替** にタッチすると、2画面表示が解除されます。



ワンポイント

●細街路案内中は、右画面のワンタッチスクロールができません。ただし、右画面の地図向き切り替えや左画面のワンタッチスクロールは行えます。

次ページに続く

6. 目的地案内について

●細街路では、音声案内と画面表示（交差点案内など）による目的地案内はされません。また、交通規制（一方通行など）により、通行できないルートで案内されることがあります。必ず、実際の交通規制にしたがって走行してください。

■細街路での自動2画面表示を設定する

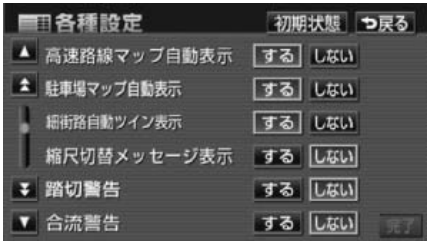
細街路での自動2画面表示を自動でON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **自動表示切替設定** にタッチします。



3 細街路自動ツイン表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

フェリー航路の案内

フェリーの航路は ――― （破線）で表示されます。

- フェリーターミナルまで音声案内が行われます。
- フェリー利用後、しばらく走行すると目的地案内が再開されます。



ワンポイント

フェリー航路を使用する全ルート図表示画面では、フェリー料金を表示しません。ただし、到着予想時刻は、フェリー時間を含んでいます。

到着予想時刻表示の設定

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、画面左に到着予想時刻が表示されます。到着予想時刻は、アナログ／デジタル表示を切り替えることができます。



● **到着予想時刻表示（アナログ表示）**



● 到着予想時刻表示（デジタル表示）

ワンポイント

到着予想時刻は、ルートからはずれたとき目的地方向マークになります。

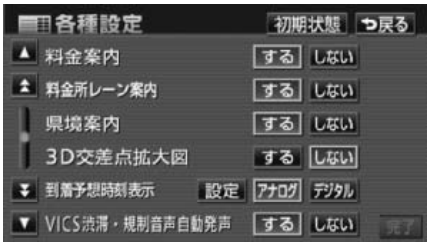
■アナログ／デジタル表示を切り替える

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 到着予想時刻表示の **アナログ**、または **デジタル** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

■平均車速を設定する

以下の時刻・時間を計算する基準として平均車速を設定することができます。

- シティドライブモード画面の通過予想時刻（108 ページ参照）
- 全ルート図表示画面の到着予想時刻（166 ページ参照）
- ルート情報の通過予想時刻（168 ページ参照）
- 全行程一覧表（5ルート同時表示）の所要時間（169 ページ参照）
- 現在地画面の到着予想時刻（80 ページ参照）

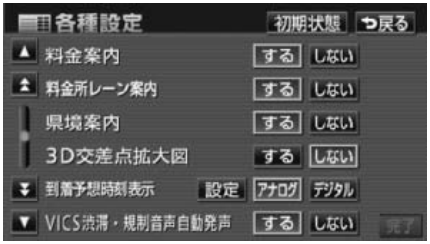
1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



6. 目的地案内について

3 到着予想時刻表示の **設定** にタッチします。



4 それぞれの道路の設定速度を入力します。

- 速度を上げるときは ▶ 、下げるときは ◀ にタッチします。（タッチするたびに、5km/hずつ変更されます。）
- **初期状態** にタッチすると、初期設定の状態（高速道80km/h・有料道60km/h・一般道30km/h）にもどります。



5 VICS情報・交通データ（236 ページ参照）、（254 ページ参照）をもとに渋滞や交通規制を考慮した到着予想時刻を表示するには、**VICS情報・交通データ考慮** にタッチします。



6 **完了** にタッチします。

料金案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくと、画面左上に料金を表示し、音声で案内することができます。



● 料金案内表示

■料金案内表示を設定する

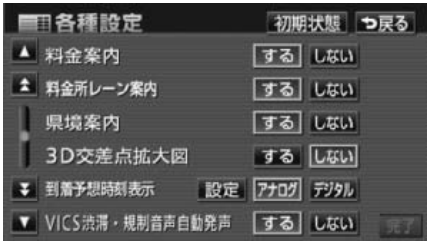
料金案内をON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 料金案内の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- ●料金は設定した車両情報（197　ページ参照）から計算していますが、通行料金の変更などにより、実際の料金と異なることがあります。また、ETCによる割引は考慮されません。
- ●有料道路と一般道が並行している場合などは、有料道路上の自車位置が一般道へずれることがあります。このときは再探索が行われると、実際と異なる料金を案内することがあります。
- ●出発した地点がわからないとき（有料道路内で再探索したときなど）、または有料道路内に目的地を設定したときなどは**「○○○円以上」**と表示されます。
- ●高速道路上に目的地を設定したとき、および高速道路走行中にルートを変更したときは料金案内は行いません。

車両情報を設定する

以下のときの検索および料金を計算する基準として車両情報を設定することができます。

- ● 提携駐車場の検索（154 ページ参照）
- ● 全ルート図表示画面の料金表示（166 ページ参照）
- ● ルート情報の料金表示（168 ページ参照）
- ● 全行程一覧表（5ルート同時表示）の料金表示（169 ページ参照）
- ● 現在地（目的地案内中）画面の料金案内（196 ページ参照）

チェック

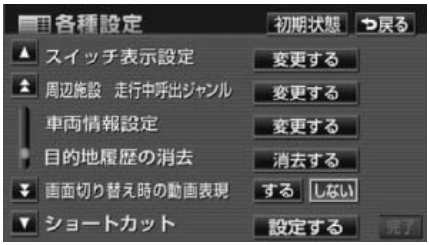
目的地が設定されているときは、車両情報の設定ができません。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。



3 車両情報設定の **変更する** にタッチします。



次ページに続く

6. 目的地案内について

4 お車のナンバープレートの分類番号（ 1 ・ 3 ・ 5・7 ・ 軽 ）にタッチします。



5 車両寸法（長さ・幅・高さ）を入力します。

- 寸法を大きくするときは ＋ 、小さくするときは － にタッチします。
- 初期状態 にタッチすると、初期設定の状態（寸法が入力されていない状態）にもどります。



6 完了 にタッチします。

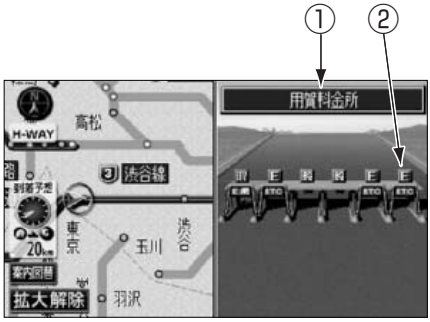
ワンポイント

最大寸法（長さ600cm以上・幅250cm以上・高さ300cm以上）にすると ＋ 、最小寸法（長さ450cm以下・幅160cm以下・高さ150cm以下）にすると － の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

- 長さ　450～500cm（5cm単位）、500～600cm（10cm単位）
- 幅　160～200cm（5cm単位）、200～250cm（10cm単位）
- 高さ　150～200cm（5cm単位）、200～300cm（10cm単位）

料金所レーン案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、料金所に近づくと料金所のレーン図を表示することができます。ETCレーンの位置を画面表示で案内します。



① **料金所名称表示**
料金所の名称が表示されます。

② **レーンの種別表示**
各レーンの種別がマークで表示されます。

- E ：ETC専用の場合
- 混 ：ETC／一般料金所混在の場合
- 般 ：一般料金所の場合
- … ：同じ内容のレーンが４つ以上続く場合
- ■ ：続くレーン数が 10 レーンを越える場合
- ? ：不明／閉鎖

ワンポイント

次の場合、料金所レーンの前に大きく“×”が表示されます。

・閉鎖されている場合

・料金所を通過すると案内ルートから外れる場合

■料金所レーン案内図の自動表示を設定する

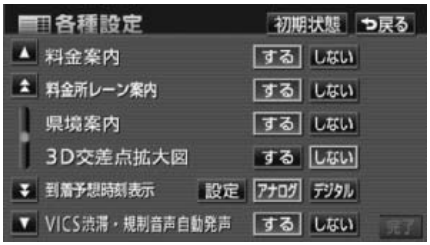
料金所レーン案内図を自動でON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **案内表示設定** にタッチします。



3 料金所レーン案内の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- ●料金所、ETC レーンの車線運用は変更される場合があります。案内表示板や標識などにしたがってください。
- ●地図データに情報のない料金所では、料金所レーン案内図は表示されません。また、料金所レーン案内図が表示されても、料金所名称表示が表示されないことがあります。
- ●料金所の名称、レーン数が実際の料金所と異なることがあります。

■料金所レーン案内図を解除する

拡大解除スイッチから解除する

1 **拡大解除** にタッチします。

● 再度、料金所レーン案内図を表示させるには、[MAP] を押します。



案内図替スイッチから解除する

1 **案内図替** にタッチします。

6. 目的地案内について

2 高速路線マップ（または通常の地図）にするときは **地図** 、シティドライブモード画面にするときは **高速略図** 、ターンリスト図にするときは **ターンリスト** にタッチします。

- 再度、料金所レーン案内図を表示させるには、この画面で、**料金所レーン** にタッチします。

  また、MAP を押しても表示させることができます。



ワンポイント

料金所レーン案内が **しない** に設定されているときは、**案内図替** から料金所レーン案内図を表示することができます。

ターンリスト図案内

ターンリスト図案内画面は、現在地から3つ先までの分岐する交差点・インターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)などの名称、案内方向、距離、路線名、路線番号が表示されます。



① **案内ポイント**
分岐する交差点・インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）名称が表示されます。
現在地から次に分岐する交差点・インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）までは路線名が表示されます。

② **距離表示**
案内ポイントの区間の距離、路線番号が表示されます。

③ **案内方向**
案内ポイントで案内する方向が表示されます。

■ターンリスト自動表示を設定する

ターンリスト図を自動でON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

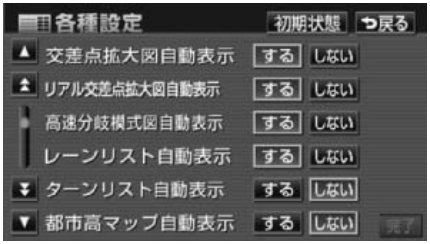
2 **自動表示切替設定** にタッチします。



次ページに続く

6. 目的地案内について

3 ターンリスト自動表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

■ ターンリスト図を解除する

一般道路走行中に解除する

チェック

レーンリスト は分岐する交差点の700m以内、**拡大図** は分岐する交差点の300m以内に近づくと表示されます。

1 **案内図替** にタッチします。

- 選択する画面がないときは、タッチするごとに通常の地図とターンリスト図が切り替わります。



2 分岐する交差点に近いときは、切り替える画面を選択する画面が表示されます。
通常の地図にするときは **地図** 、交差点拡大図にするときは **拡大図** 、レーンリスト図にするときは **レーンリスト** にタッチします。

- 再度、ターンリスト図を表示させるには、この画面で、**ターンリスト** にタッチします。



ワンポイント

ターンリスト自動表示が **しない** に設定されているときは、**案内図替** からターンリスト図を表示することができます。

高速道路走行中に解除する

チェック

- **分岐図** は分岐点[出口インターチェンジ(IC)・ジャンクション(JCT)]が近いときに表示されます。
- **料金所レーン** は料金所が近いときに表示されます。

1 **案内図替** にタッチします。

2 高速路線マップ（または通常の地図）にするときは **地図** 、高速分岐案内画面にするときは **分岐図** 、シティドライブモード画面にするときは **高速略図** 、料金所レーン案内図にするときは **料金所レーン** にタッチします。

● 再度、ターンリスト図を表示させたいときは、この画面で、**ターンリスト** にタッチします。



ワンポイント

●一般道路走行中は、ターンリスト図が表示されていても、交差点の約700m手前ではレーンリスト図、300m手前では交差点拡大図が自動的に表示されます。（レーンリスト自動表示、または交差点拡大図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。）
また、高速道路走行中は、分岐点に近づくと高速分岐案内が表示されます。（高速分岐模式図自動表示を **しない** に設定しているときは切り替わりません。）

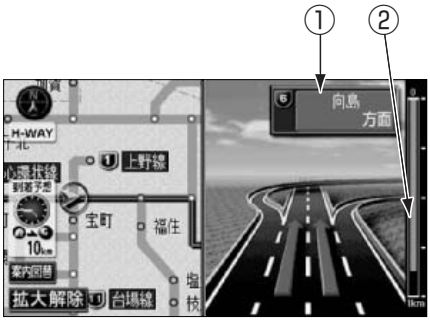
●ターンリスト図表示中は、2画面表示が解除されます。（2画面表示にするときは、ターンリスト図を解除してください。）

●シティドライブモード画面（108 ページ参照）は、同時に表示することができません。

●ターンリスト自動表示が **しない** に設定されているときは、**案内図替** からターンリスト図を表示することができます。

高速分岐案内（ジャンクションレーンアシスト）

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、高速道路を走行しているとき、分岐点［出口インターチェンジ（IC）・ジャンクション（JCT）・サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）］が近づくと、高速分岐模式図が自動的に表示されます。



① **分岐点名称表示**
インターチェンジ（IC）の出口名称、ジャンクション(JCT)、サービスエリア(SA)、またはパーキングエリア（PA）の方面名称が表示されます。

② **残距離表示**
分岐点までの距離が表示されます。（分岐点に近づくとともに ▮ が短くなります。）

■ 高速分岐模式図の自動表示を設定する

高速分岐模式図を自動でON（表示する）にするか、OFF（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

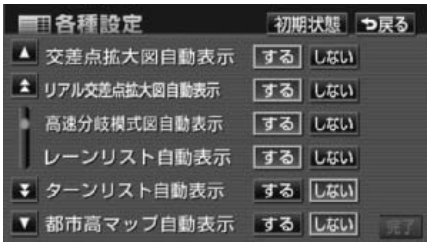
次ページに続く

6. 目的地案内について

2 自動表示切替設定 にタッチします。



3 高速分岐模式図自動表示の する 、または しない にタッチします。



4 完了 にタッチします。

ワンポイント

- 高速分岐模式図が表示されても、分岐点名称表示が表示されないことがあります。
- 次のようなときは、高速分岐模式図が表示されないことがあります。
  - ・目的地案内開始直後
  - ・目的地周辺

■高速分岐模式図を解除する

拡大解除スイッチから解除する

1 拡大解除 にタッチします。

- 再度、高速分岐模式図を表示させるには、MAP を押します。



ワンポイント

高速分岐模式図自動表示が しない に設定されているときは、案内図替 から高速分岐模式図を表示することができます。

案内図替スイッチから解除する

1 案内図替 にタッチします。

2 高速路線マップ（または通常の地図）にするときは 地図 、シティドライブモード画面にするときは 高速略図 、ターンリスト図にするときは ターンリスト にタッチします。

● 再度、高速分岐模式図を表示させるには、この画面で、分岐図 にタッチします。
また、MAP を押しても表示させることができます。



ワンポイント

高速分岐模式図自動表示が しない に設定されているときは、案内図替 から高速分岐模式図を表示することができます。

都市高速マップ

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、都市高速にはいると、自動的に都市高速マップを表示させることができます。



● 都市高速マップ表示

チェック

●200m ～ 1.6km スケール図の地図で表示することができます。

●各種設定の高速路線マップ自動表示が する に設定されているときは、都市高速マップを自動で表示することができません。

ワンポイント

●サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）にはいるなど、都市高速道路の本線からはずれたときは、都市高速マップが解除されることがあります。

●都市高マップは、2 画面表示しているとき、左画面に表示されます。

●高速路線マップ（110 ページ参照）は、同時に表示することができません。

■都市高速マップの自動表示を設定する

都市高速マップを自動でON（自動で切り替える）にするか、OFF（切り替えない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、各種設定 にタッチします。

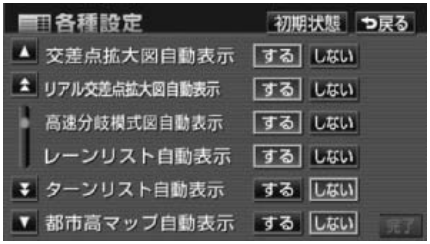
2 自動表示切替設定 にタッチします。



次ページに続く

6. 目的地案内について

3 都市高マップ自動表示の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

都市高マップ自動表示が **しない** に設定されているときは、**表示変更** から都市高速マップを表示することができます。

■都市高速マップ表示を解除する

1 地図を表示させているときに **表示変更** にタッチします。

2 **地図表示** にタッチします。



3 **都市高マップ解除** にタッチします。

● 表示するときは、再度この画面で、**都市高マップ表示** にタッチします。



音声案内

目的地案内中は、交差点、分岐点、通過点、インターチェンジ（IC）・パーキングエリア（PA）・サービスエリア（SA）の入口、出口、ジャンクション（JCT）、目的地に近づくと、自動で残りの道のりと曲がる方向を10方向（右、左、ナナメ右、ナナメ左、右にもどる、左にもどる、右手前、左手前、もどる、直進）で音声案内します。音声案内はPCM音声（肉声）で案内します。

チェック

- 音声案内は、自動音声案内が **する** に設定されているときに出力されます。（208ページ参照）また、目印の音声案内は、交差点目印案内が **する** に設定されているときに出力されます。（208 ページ参照）
- カーブ・合流・踏切・レーンの音声案内は各道路形状警告が **する** に設定されているときに出力されます。（122 ページ参照）
- 高速道路の料金案内は、料金案内が **する** に設定されているときに出力されます。（196 ページ参照）

1 MAP を押します。

● 分岐交差点までの距離に応じた音声案内が行われます。



[目的地案内中の音声案内の例]

● **一般道音声機能**

交差点などで交差点名や残りの距離、方向および目印（案内できる目印ジャンルは、ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフードの４種類です。）などを案内します。

また、分岐点の直前でチャイム「ポンポーン」が鳴ります。（ジャスト案内）

音声案内例は、下記のようになります。

・およそ700m先、○○を右方向です。○○が目印です。

・まもなく右方向です。

● **カーブ・合流・踏切・レーンの音声案内**

カーブ・踏切などや推奨レーンを事前に音声で案内します。（ただし、分岐案内と重なった場合は、分岐案内が優先されます。カーブによっては案内しない場合もあります。）また、高速道路のルート走行中に合流点がある場合、音声にて合流を知らせます。（合流手前１ｋｍ以内に分岐点などがある場合では案内しません。）

音声案内例は、下記のようになります。

・この先、カーブがあります。

・この先、踏切です。

・この先、右からの合流があります。

・この先、左折専用レーンがあります。

・この先、右側車線が減少します。

● 高速分岐音声案内

高速道路のルート走行中は、分岐点で拡大表示を行い、音声で進行方向を案内します。

音声案内例は、下記のようになります。

・およそ○○km先、○○方向、○○方面です。

● 高速料金音声案内

ルート走行中に高速道路料金所手前で高速道路の料金を案内します。

音声案内例は、下記のようになります。

・この先○○mで料金所です。料金は○○です。

[目的地に到着したときの音声案内の例]

音声案内例は、下記のようになります。

・目的地周辺です。この先注意して走行してください。

ワンポイント

●音声案内は目的地周辺までの案内をします。また、安全のために細街路（水色ルート）での音声案内はされません。実際の道路状況および交通規制にしたがって走行してください。細街路については**「細街路の表示について」**（165ページ）を参照してください。

●目的地に到着する直前でルートからはずれ再探索された後、目的地に近づくと再度、音声案内されることがあります。

次ページに続く

6. 目的地案内について

●音声案内の音量は調節することができます。(91 ページ参照) ただし、**消音** を選んでいると、音声案内されません。

■ 自動音声案内を設定する

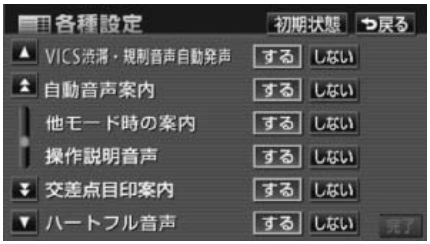
自動音声案内をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **音声設定** にタッチします。



3 自動音声案内の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

■ 交差点目印案内を設定する

目的地案内中、分岐する交差点付近に目印（ガソリンスタンド、コンビニエンスストア、ファミリーレストラン、ファーストフード）がある場合は、音声で案内します。

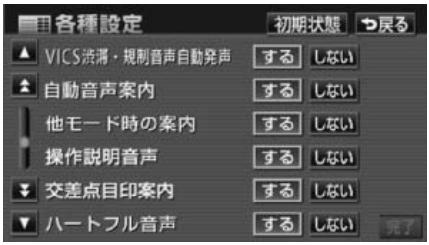
● 交差点拡大図に目印のマークが表示されても、目印案内を行わない場合があります。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **音声設定** にタッチします。



3 交差点目印案内の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

他モードでの案内

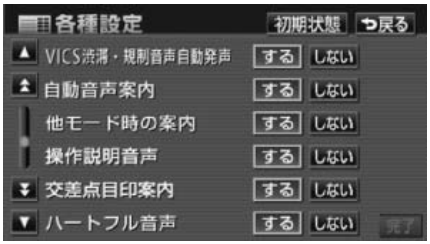
ナビゲーション以外の画面を表示しているときに、ナビゲーションの音声案内をするか、しないか選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **音声設定** にタッチします。



3 他モード時の案内の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

7. 案内ルートの操作

全ルート図の再表示

出発地から目的地までの全ルート図を表示することができます。

1 地図表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **全ルート** にタッチします。

- 全ルート図表示画面になります。
- 再表示された全ルート図には、残り料金、全料金が表示されます。



- 全ルート図表示画面の詳しい内容については、**「全ルート図の表示・タッチスイッチについて」**（166ページ）を参照してください。
- **案内に戻る** にタッチすると、現在地画面になります。

ワンポイント

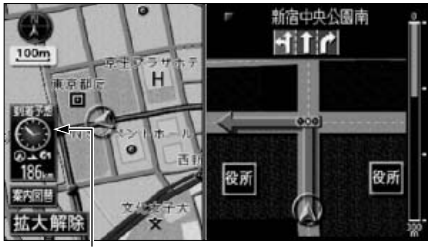
設定しているルートによっては、ルート全体を表示できないことがあります。

到着予想時刻／残距離表示の切り替え

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、目的地が2カ所以上設定されているとき、残距離表示を切り替えることができます。また、到着予想時刻も同時に切り替えることができます。

1 到着予想時刻／残距離表示にタッチします。

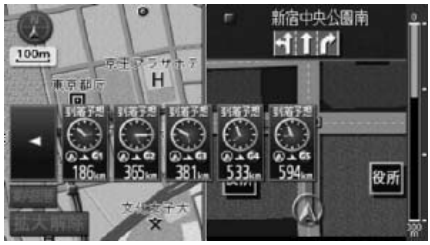
- 目的地が2ヵ所のときは、タッチするごとに到着予想時刻／残距離表示の目的地が切り替わります。
- ルートからはずれたときは目的地の方向と直線距離を表示します。



到着予想時刻／残距離表示

2 表示させたい目的地までの到着予想時刻／残距離表示にタッチします。

- ◀ にタッチすると、もとにもどります。



ワンポイント

状況により目的地までの残距離表示が異なります。

- 現在地がルート上にあるとき…表示されているルートを通っての距離
- ルートからはずれたとき…直線距離

オンルートスクロール

表示している画面に案内ルートが表示されているとき、目的地、または出発した地点および設定されている施設までルートにそって、地図を移動し、確認することができます。

■オンルートスクロールを開始する

チェック

- 高速路線マップでは、オンルートスクロールを行うことができません。
- 表示している地図にルートが表示されていないときは、オンルートスクロールをさせることができません。
- 800m スケール図より広域の地図を表示させたときは、「次の施設まで」のオンルートスクロールをさせることはできません。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **オンルートスクロール** にタッチします。



3 スクロールのタッチスイッチ（ ・ ・ ・ ）にタッチします。

- **設定** にタッチすると目的地、またはルート沿いの施設までの移動を設定することができます。

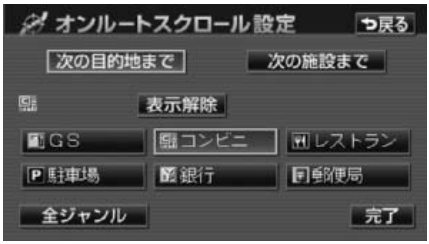


■オンルートスクロールの施設を設定する

1 オンルートスクロール画面で、**設定** にタッチします。

2 オンルートスクロール画面に表示させたい施設にタッチします。

- 5つまで選択することができます。
- **全ジャンル** にタッチすると、タッチスイッチに表示されている以外の施設を設定することができます。**「複数ジャンルを表示する」**（125ページ参照）
- **表示解除** にタッチすると、選択されているジャンルをすべて解除して、**次の目的地まで** が選択されます。
- もう一度タッチすると、そのジャンルが解除されます。



3 **次の目的地まで** 、または **次の施設まで** にタッチします。

4 **完了** にタッチします。

■オンルートスクロール画面の操作について

チェック

走行中は操作できません。オンルートスクロール中に走行すると ・ のみ操作することができます。

7. 案内ルートの操作

次の目的地までの場合

- ▶● … 次の目的地まで、地図が移動されます。
- ●◀ … 出発した地点（前の目的地）まで、地図が移動されます。
- ▶|● … 次の目的地の地図が表示されます。
- ●|◀ … 出発した地点（前の目的地）の地図が表示されます。
- ❚❚ にタッチすると、地図の移動が一時停止されます。
- MAP を押すとオンルートスクロールが終了します。
- ▶▶● ・ ●◀◀ にタッチすると、移動が早送りされます。

次の施設までの場合

施設が選ばれているときのみタッチすることができます。

- ▶● … 目的地方向で、ルート沿いの次の施設ランドマークまで地図が移動されます。
- ●◀ … 出発した地点の方向で、ルート沿いの手前の施設ランドマークまで地図が移動されます。
- ▶|● … 目的地方向で、ルート沿いの次の施設ランドマークの地図が表示されます。
- ●|◀ … 出発した地点の方向で、ルート沿いの手前の施設ランドマークの地図が表示されます。

- ❚❚ にタッチすると、地図の移動が一時停止されます。
- MAP を押すとオンルートスクロールが終了します。
- ▶▶● ・ ●◀◀ にタッチすると、移動が早送りされます。



ワンポイント

- 次の表示中は、オンルートスクロールを行うと表示が解除されますが、MAP を押すともどります。
  - ・2画面表示をしているとき
  - ・シティドライブモード画面を表示しているとき
  - ・都市高速マップを表示しているとき
  - ・3D表示をしているとき
- オンルートスクロールで設定した施設は周辺施設で設定した施設とは異なります。
- 施設ランドマークまで移動したときは、施設の情報を表示することができます。（128ページ参照）
- 表示される地図によってオンルートスクロールが止まることがあります。

8. ルートの再探索

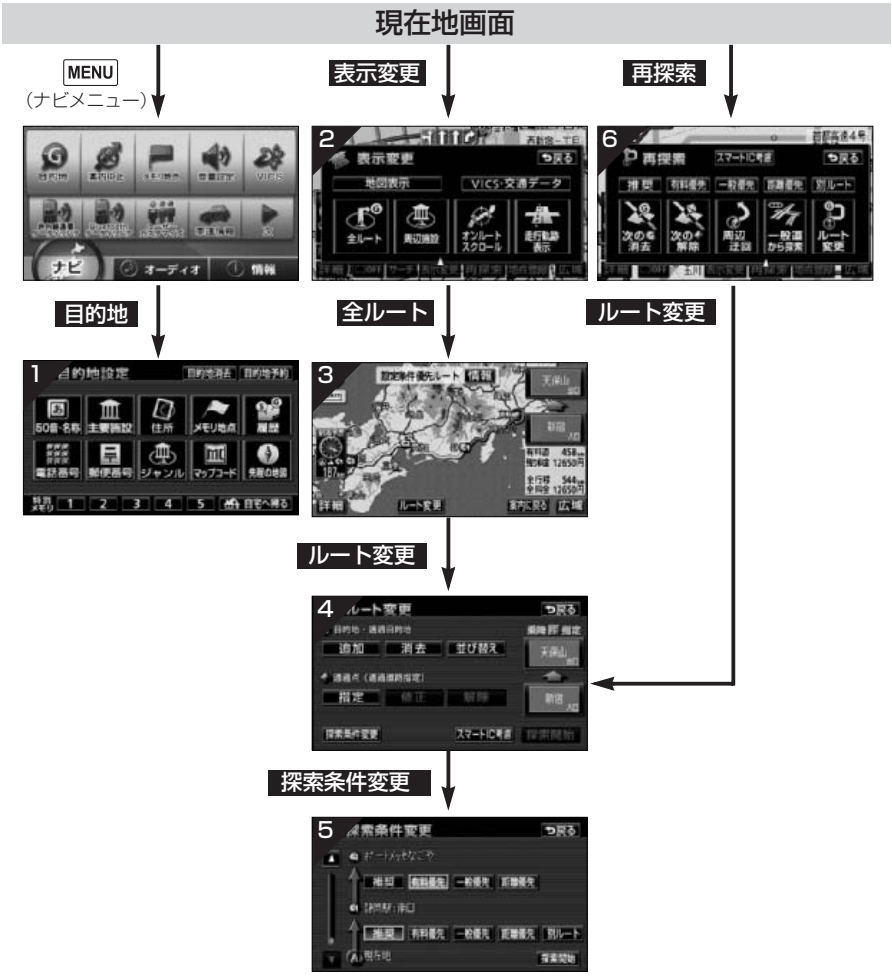
ルートの再探索について

案内中のルートに目的地の追加などを設定したり、探索条件を変更して、ルートを再探索することができます。

ルートを変更するには、「 MENU （ナビメニュー）の 目的地 から変更する方法」、「 表示変更 の 全ルート から変更する方法」、または「案内中の 再探索 から簡易に変更する方法」があります。

以下の画面でルートを再探索することができます。

● 各画面のタッチスイッチについては**「タッチスイッチ一覧」**（214 ページ）を参照してください。



8. ルートの再探索

タッチスイッチ一覧

画面No.	タッチスイッチ	機　能	ページ
1	地図の呼び出し方法	目的の地図を呼び出します。 目的地を設定・追加します。	131
2	全ルート	全ルート図を表示します。	210
3	インターチェンジ名称	入口・出口のインターチェンジ（IC）を指定・解除します。	178 179
	ルート変更	ルート変更画面を表示します。	171
4	目的地・通過目的地 追加 ・ 並び替え 消去	目的地を追加・並び替え・消去します。	172 175 176
	通過点（通過道路指定） 指定 ・ 修正 ・ 解除	通過道路を指定・修正・解除します。	180 182 183
	インターチェンジ名称	入口・出口のインターチェンジ（IC）を指定・解除します。	178 179
	探索条件変更	探索条件設定画面を表示します。	174
	スマートIC考慮	スマートICを考慮したルートを探索します。	178
5	推奨	現在地から次の目的地※1の間で、一般的なルートが探索されます。	174
	有料優先	現在地から次の目的地※1の間で、有料道路を優先してルートが探索されます。	
	一般優先	現在地から次の目的地※1の間で、一般道路を優先してルートが探索されます。	
	距離優先	現在地から次の目的地※1の間で、距離の短いルートが探索されます。	
	別ルート ※2	現在地から次の目的地※1の間で、他のルートとは別のルートが探索されます。	

※1 現在地と次の目的地の間にインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路の間で、ルートが探索されます。

※2 5ルート同時表示（169 ページ参照）から選んだときは、推奨ルートとは別のルートが探索されます。

画面No.	タッチスイッチ	機　能	ページ
6	スマートIC考慮	スマートICを考慮したルートを探索します。	216
	推奨	現在地から次の目的地※1の間で、一般的なルートが探索されます。	
	有料優先	現在地から次の目的地※1の間で、有料道路を優先してルートが探索されます。	
	一般優先	現在地から次の目的地※1の間で、一般道路を優先してルートが探索されます。	
	距離優先	現在地から次の目的地※1の間で、距離の短いルートが探索されます。	
	別ルート ※2	現在地から次の目的地※1の間で、他のルートとは別のルートが探索されます。	
	ルート変更	ルート変更画面を表示します。	171
	周辺迂回 ※3	前方の案内道路周辺を迂回するルートを探索します。	216
	有料道から探索 ※4 一般道から探索 ※4	高架道路の上下で並走している道路など間違ったルートの表示を訂正して探索します。	216
	次の● 消去 指定IC 解除 次の◆ 解除	次の目的地を消去・インターチェンジ（IC）の指定を解除・通過道路指定を解除して探索します。	216

※1 現在地と次の目的地の間にインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路の間で、ルートが探索されます。

※2 5ルート同時表示（169 ページ参照）から選んだときは、推奨ルートとは別のルートが探索されます。

※3 ルートからはずれたときは、表示されません。

※4 有料道路と一般道が並行している場所のように、案内可能な別の道路があるときのみ表示されます。また、ルートからはずれたときは、表示されません。

8. ルートの再探索

■ルートの再探索

1 現在地画面で、再探索 にタッチします。



2 再探索させる項目（214 ページ参照）にタッチします。

- ルート探索が開始されます。
- スマートIC考慮 にタッチすると、スマートICを考慮したルートを再探索することができます。
- 次の● 消去 ・ 指定IC 解除（ 次の◆ 解除 ）にタッチすると、現在地の次の目的地を消去、またはインターチェンジ（IC）の指定を解除（次の通過道路を解除）して、再探索をさせることができます。
- 一般道から探索 （有料道を走行中に一般道の案内がされているときは 有料道から探索 ）にタッチすることで、高架道路の上下や並行している道路でルートを訂正してルートを再探索することができます。
- ルート変更 にタッチしたときは、ルート変更画面が表示されます。



📖ワンポイント

- 道路形状により再探索されないことや条件を変更しても同じルートを再探索することがあります。
- スマートIC考慮 にタッチしても、スマートICを通るルートが探索できないことがあります。
- ルートを大きくはずれて走行したときは、走行していたルートへもどるルートではなく、設定されている目的地［インターチェンジ（IC）・通過道路］に向かうルートが再探索されます。
- 「○○○優先」というのは、ルート探索のひとつの条件にすぎません。大きく遠まわりになるようなときは、有料優先 にタッチしても有料道路を利用しないルートが探索されたり、有料道路を通らないと目的地に行けないようなときは、一般優先 にタッチしても有料道路を利用するルートが探索されることがあります。
- 高架道路の下や並行している一般道路上で、ルート探索を行うと、高架有料道路や並行している有料道路上のルート案内をしてしまうことがあります。（都市高速道路下の道路を走行または駐車しているのに、高速道路のルート案内をしてしまう場合など）また、逆のケースもあります。

自動再探索（ハイパーリルート）

ルートからはずれ、案内可能な道路を走行しているときに、自動的に再探索（周辺探索、または全ルート探索）させることができます。

再探索されるルートは、ルートからはずれたときの状況により異なります。

- 周辺探索…もとのルートへ復帰するルートが探索されます。
- 全ルート探索…現在地から目的地※の間で、選ばれている条件でルートが探索されます。

※ 現在地と次の目的地の間にインターチェンジ（IC）・通過道路が指定されているときは、現在地から指定されているインターチェンジ（IC）・通過道路の間で、ルートが探索されます。

■自動再探索を設定する

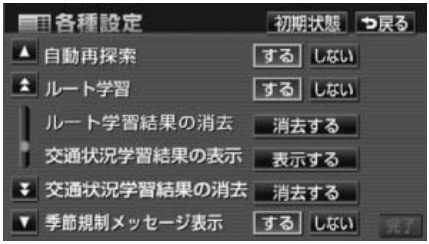
自動再探索をON（させる）にするか、OFF（させない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。



3 自動再探索の **する** 、または **しない** にタッチします。



4 **完了** にタッチします。

9. 目的地の予約

カレンダー機能を使用して、事前に目的地を予約設定しておき、設定日になったらワンタッチでルート探索を始める機能です。

目的地予約の設定

1 目的地設定画面で、**目的地予約** にタッチします。

● 目的地予約リスト画面になります。



2 予約する項目にタッチします。

● すでに予約設定されている項目にタッチすると **6** の画面になります。



3 予約する日付にタッチします。

● すでに予約設定されている日付は G が表示され、設定できません。



4 地図の呼び出し方法を選び、目的地を設定する地点の地図を表示させます。

● **「地図の呼び出し方法」**（131ページ）、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。

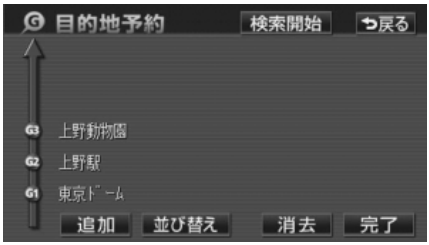


5 **セット** にタッチします。

6 **完了** にタッチします。

● **追加** にタッチすると目的地を追加できます。（172 ページ参照）

● **並び替え** にタッチすると複数設定した目的地を並び替えることができます。（175 ページ参照）



ワンポイント

- メンテナンス機能のお知らせがあるときは、メンテナンス案内の次に予約案内を表示します。
- 予約日の設定は、最大5件（1件／日）まで設定することができます。

●予約日の過ぎた目的地の設定は、消去されます。

目的地予約の案内

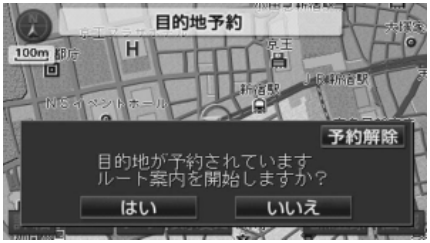
目的地を予約した日は、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、目的地の予約が案内されます。

1 **はい** にタッチします。

● ルートの探索が開始されます。

● **いいえ** にタッチすると、現在地画面になります。（ルートの探索はされません。）ルート探索を開始したいときは、目的地予約リスト画面（218 ページ参照）で案内された項目にタッチし、**検索開始** にタッチします。

● **予約解除** にタッチすると、予約設定した目的地を解除します。



目的地予約の消去

1 目的地設定画面で、**目的地予約** にタッチします。

● 目的地予約リスト画面になります。



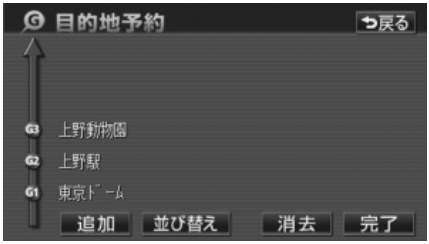
2 消去する項目にタッチします。



3 **消去** にタッチします。

● 目的地の消去については**「目的地の消去」**（176ページ）を参照してください。

● 全ての目的地を消去した場合は **2** の画面になります。



4 **完了** にタッチします。

1. 地点の登録とは

地図上に覚えておきたい地点を自宅、メモリ地点、または特別メモリ地点に分けて400カ所までメモリ地点として登録することができます。（自宅1カ所、特別メモリ地点5カ所を含みます。）また、迂回メモリ地点を登録（10カ所まで）するとルート探索時には、その地点を迂回するルートを探索することができます。

メモリ地点には、70種類のマーク、7種類の音声付きマークや約500種類の施設マークから選択して地点ごとに登録することができ、すべての地点には、名称、名称読み、電話番号を設定することができます。（迂回メモリ地点を除く）

登録したメモリ地点は、地図上に呼び出したり、ルート探索時に呼び出したりできるので、有効にご利用ください。

間違って登録した場合は、修正および消去することができます。

（すでにメモリ地点が400カ所、迂回メモリ地点が10カ所登録されているときは、不要な地点を消去してから登録してください。）

■ 自宅

自宅は1カ所登録でき、1回の操作で自宅に帰るルートを探索することができますので、**最初に登録することをおすすめします。**

■ 特別メモリ地点

特別メモリ地点は5カ所まで登録でき、地点検索時などにはタッチスイッチに割り当てることができます。また、目的地の設定のときは1回の操作でルートを探索することができます。

■ メモリ地点

メモリ地点（自宅および特別メモリ地点を含む）は、登録した種別、マーク、または登録順に並びかえて表示することができ、地点検索時などにリストから選択することができます。

- 音声付きマーク

  音声付きメモリ地点には、次のような機能を持たせることができます。

  - **近づくと音、または音声で知らせる設定**

    ベル、チャイム、オルゴール、注意、スピード注意、登録地点接近

  - **近づく方向を限定して知らせる設定**

    方向付きメモリ

- 施設マーク

  施設マークには、周辺施設（施設ランドマーク）表示と同じマークを登録することができますので、地図データに収録されていない施設を地図上に表示することができます。

■ 迂回メモリ地点

迂回メモリ地点は10カ所まで登録でき、地点ごとに迂回範囲を設定することができます。また、迂回メモリ地点には名称を設定することができます。

ワンポイント

- 表示されるメモリ地点の住所は、登録の方法により異なります。
- 登録したメモリ地点は、付近の住所およびマップコードが表示されます。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称、電話番号が自動で入力されることがあります。

●メモリ地点の施設マークは、周辺施設の表示やジャンルからの地図の呼び出しができません。
●迂回メモリ地点は、マークを変更することはできません。

2. メモリ地点の登録・修正・消去

メモリ地点の登録

赤外線通信で呼び出した地図（150 ページ参照）、またはBluetooth通信で呼び出した地図（152 ページ参照）をメモリ地点に登録したい場合は、**「表示した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。

■ワンタッチで登録する

現在、表示させている地図にメモリ地点を登録することができます。

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で登録することができます。（現在地でのワンタッチ登録を除く）

1 メモリ地点を登録する位置に地図を動かし、**地点登録** にタッチします。

- ◉（または ✛）の位置にメモリ地点が マークで表示されます。
- 高速道路を走行中（現在地）に **地点登録** にタッチすると、マーク（進行方向の方向付音声付きメモリ地点）で登録されます。



■離れた場所を登録する

1 ナビメニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。



2 メモリ地点の **登録** にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

- **「地図の呼び出し方法」**（131ページ）、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。

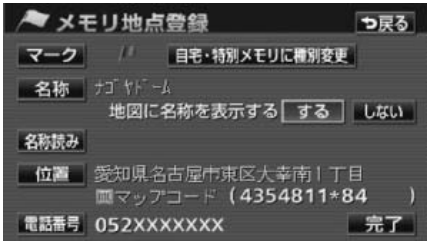


4 **セット** にタッチします。



5 入力、修正をしたいときは、それぞれの項目にタッチします。

- 入力、修正方法は以降を参照してください。
  - ·**「メモリ地点のマークを変更する」**(225ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の名称を入力する」**(227ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の名称を表示する」**(229ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の名称読みを入力する」**(229ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の位置を修正する」**(230ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の電話番号を入力する」**(231ページ参照)
- **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチすると、自宅や特別メモリ地点に変更することができます。**「メモリ地点の種別(自宅・特別メモリ)を変更する」**(224ページ参照)



6 **完了** にタッチします。

メモリ地点の修正・入力

登録したメモリ地点は、メモリ地点修正画面から種別を変更したり、マーク、名称、名称読みなどを修正、入力することができます。

■MENUスイッチからメモリ地点修正画面を表示する

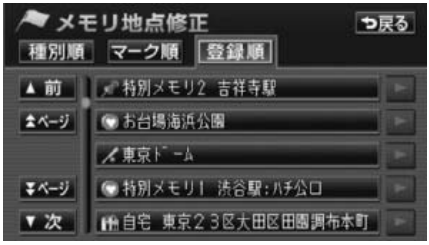
1 MENU を押します。

2 ナビメニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

3 メモリ地点の **修正** にタッチします。

4 修正するメモリ地点にタッチします。

- **種別順** にタッチすると、自宅、特別メモリ地点、メモリ地点の順に並びかわります。
- **マーク順** にタッチすると、マークの種類別に並びかわります。
- **登録順** にタッチすると、メモリ地点の登録順に並びかわります。

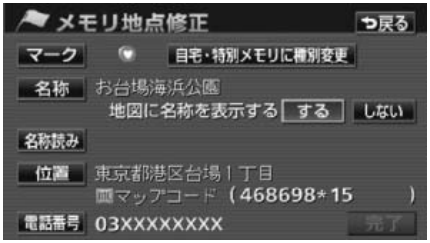


次ページに続く

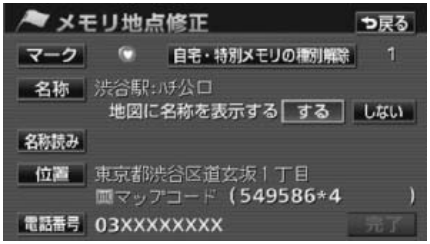
2. メモリ地点の登録・修正・消去

5 修正、入力する項目にタッチします。

- 入力、修正方法は以降を参照してください。
  - ·**「メモリ地点のマークを変更する」**(225ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の名称を入力する」**(227ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の名称を表示する」**(229ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の名称読みを入力する」**(229ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の位置を修正する」**(230ページ参照)
  - ·**「メモリ地点の電話番号を入力する」**(231ページ参照)
- **自宅・特別メモリに種別変更** にタッチすると、自宅や特別メモリ地点に変更することができます。**「メモリ地点の種別(自宅・特別メモリ)を変更する」**(224ページ参照)



- **自宅・特別メモリの種別解除** にタッチすると、自宅や特別メモリ地点をメモリ地点に変更することができます。**「自宅、特別メモリ地点を解除する」**(225ページ参照)



■地図画面からメモリ地点修正画面を表示する

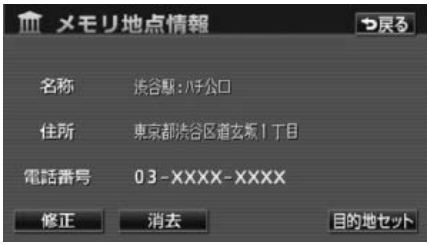
1 地図を表示させているときに、修正したいメモリ地点にタッチします。

2 **情報** にタッチします。



3 **修正** にタッチします。

- **修正** にタッチすると、メモリ地点修正画面が表示されます。
- **目的地セット** (**新規目的地**、**追加目的地**)にタッチすると、目的地に設定することができます。

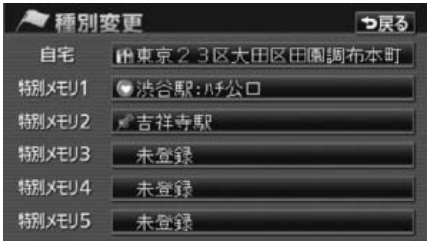


■メモリ地点の種別(自宅・特別メモリ)を変更する

メモリ地点に登録されている地点を自宅や特別メモリ地点に変更することができます。

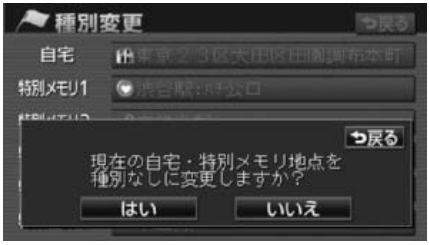
1 メモリ地点修正画面で、**自宅・特別メモリに種別変更** にタッチします。

2 自宅、または特別メモリ1～5のいずれかにタッチします。



3 すでに自宅、または特別メモリ地点が登録されているときは、次に表示された画面で、**はい** にタッチします。

● 登録されていた地点はメモリ地点になります。



4 **完了** にタッチします。

■自宅、特別メモリ地点を解除する

自宅、または特別メモリ地点に登録されている地点をメモリ地点に変更することができます。

1 メモリ地点修正画面で、**自宅・特別メモリの種別解除** にタッチします。

2 **はい** にタッチします。

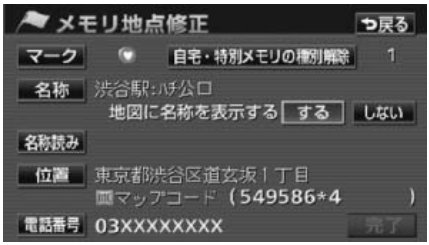
● 登録されていた地点はメモリ地点になります。



3 **完了** にタッチします。

■メモリ地点のマークを変更する

1 メモリ地点修正画面で、**マーク** にタッチします。



2. メモリ地点の登録・修正・消去

2 変更するマークにタッチします。

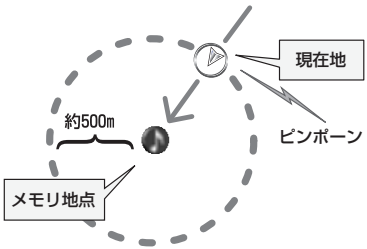
● メモリ地点のマークは、 **マーク1** ・ **マーク2** ・ **マーク3** ・ **音声付き** ・ **施設マーク** にタッチして、マークの種類を変更します。



● マーク1

● **マーク無し** にタッチすると、登録したメモリ地点のマークを地図に表示されないようにすることができます。

● 音声付きのマークを選ぶと、メモリ地点に約500mまで近づくと音が鳴るようにすることができます。



● **音確認** にタッチすると、それぞれのマークに近づいたときに鳴る音が出力されます。

● **施設マーク** にタッチしたときは、ジャンルから施設マークにタッチします。

ワンポイント

マーク2 ・ **マーク3** ・ **音声付き** ・ **施設マーク** のいずれかにタッチした場合は、下記のマーク変更画面が表示されます。



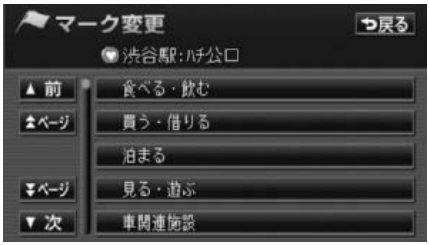
● マーク2



● マーク3



● 音声付き

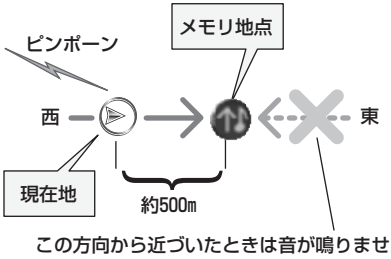


● 施設マーク

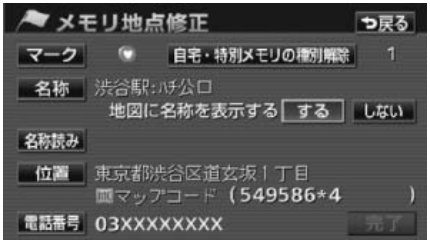
方向付きを設定する場合

方向付きメモリ にタッチすると、設定した方向からメモリ地点に約500mまで近づいたときのみ音が鳴るようにすることができます。

例えば、東西に走る道路では、西側からメモリ地点に近づいたときには音が鳴り、東側から近づいたときには音が鳴らないようにすることができます。



1 メモリ地点修正画面で、**マーク** にタッチします。



2 **音声付き** にタッチします。

3 **方向付きメモリ** にタッチします。



4 方向を設定します。

- 方向を反時計まわりに動かすときは ◀ 、時計まわりに動かすときは ▶ にタッチします。
- メモリ地点が ⇧ マークで表示されます。



5 **セット** にタッチします。

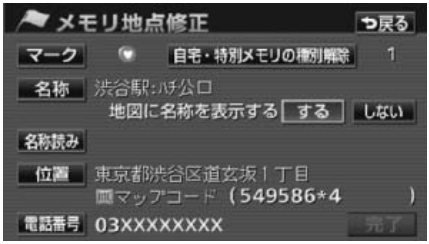
6 **完了** にタッチします。

ワンポイント

施設マークに変更しても、施設としては認識されません。

■ メモリ地点の名称を入力する

1 メモリ地点修正画面で、**名称** にタッチします。



次ページに続く

2. メモリ地点の登録・修正・消去

2 すでに名称が表示されているときは、**修正** にタッチして名称を消去します。



3 ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）・**英数字**（アルファベット・数字）・**数記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。

- **スペース** にタッチすると、スペースを入力することができます。
- 数字・記号入力画面では ▲ 、または ▼ でページを切り替えることができます。
- ひらがな入力と漢字入力については**「ひらがな・漢字を入力するには」**(228ページ)を参照してください。



4 **半角**（または **全角**）にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

- **英数字** にタッチしてアルファベット・数字を入力するときは、さらに **大文字**（または **小文字**）にタッチして、入力する文字の書体を切り替えます。

5 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた（または入力されている）ときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



6 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- 入力することができる文字数は最大 35 文字（半角文字は70文字）までです。
- 未確定状態で入力可能な文字数は最大 20 文字です。
- 登録した地点によっては、すでにメモリ地点の名称が入力されていることがあります。

ひらがな・漢字を入力するには

1 **かな** にタッチして、入力画面を切り替えます。

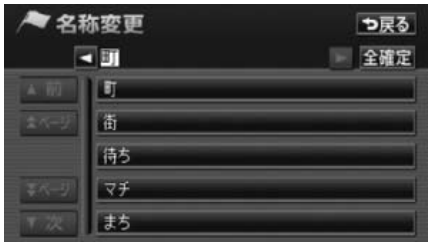
2 文字（ひらがな）を1文字ずつタッチして入力します。

- 未確定状態での最大入力文字数をこえると、入力ができなくなります。また、確定しても入力制限文字数をこえる文字は削除されます。

3 ひらがなを入力するときは、**無変換**、漢字を入力するときは、**変換** にタッチします。



4 **変換** にタッチしたときは、次に表示された画面（変換するリスト）で、入力する漢字、または熟語にタッチします。



- 変換する文字の範囲を変更するときは、◀ ・ ▶ にタッチして、範囲を変更します。
- **全確定** にタッチすると、表示されている状態で登録されます。



5 **完了** にタッチします。

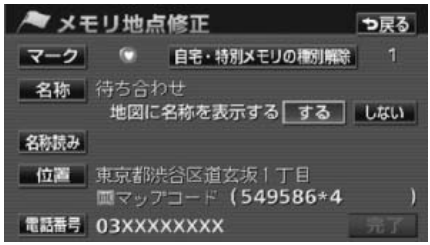
■ メモリ地点の名称を表示する

入力したメモリ地点の名称を地図に表示させることができます。

名称表示



1 メモリ地点修正画面で、地図に名称を表示するの **する**、または **しない** にタッチします。



2 **完了** にタッチします。

ワンポイント

地図に名称を表示できる文字数は、最大15文字（半角30文字）までです。

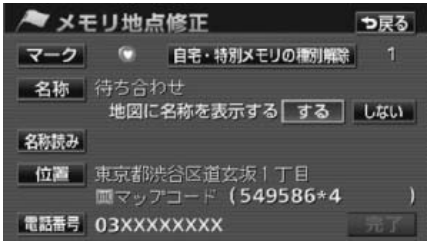
■ メモリ地点の名称読みを入力する

メモリ地点に名称読みを入力することができます。

次ページに続く

2. メモリ地点の登録・修正・消去

1 メモリ地点修正画面で、**名称読み** にタッチします。



2 名称を1文字ずつタッチして入力します。

- 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。



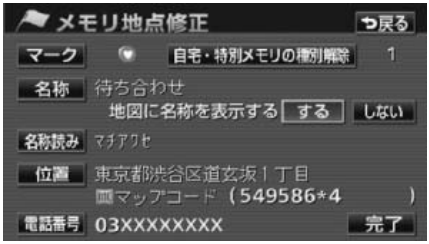
3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

入力することができる名称読みの文字数は、最大24文字（半角のみ）までです。

■ メモリ地点の位置を修正する

1 メモリ地点修正画面で、**位置** にタッチします。



2 ⇧ にタッチして、メモリ地点を修正する位置に地図を動かします。



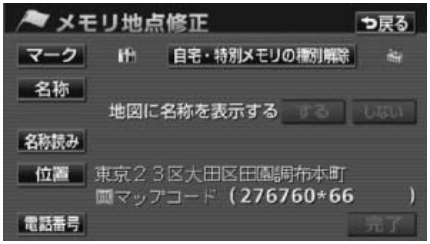
3 **セット** にタッチします。

- ⌖ の位置にメモリ地点が **1** で表示されているマークで表示されます。
- 位置を修正すると、**1** で表示されている住所とマップコードも修正されます。

4 **完了** にタッチします。

■ メモリ地点の電話番号を入力する

1 メモリ地点修正画面で、**電話番号** にタッチします。



2 数字を１番号ずつタッチして入力します。

- 市外局番から入力します。
- 間違えた（または入力されている）ときは **修正** にタッチすると、１番号ずつ消去されます。



3 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- メモリ地点に電話番号を入力しておくと、そのメモリ地点は、電話番号で地図を呼び出すことができます。（145 ページ参照）
- 登録した地点によってはすでに電話番号が入力されていることがあります。

メモリ地点の消去

■ MENUスイッチから消去する

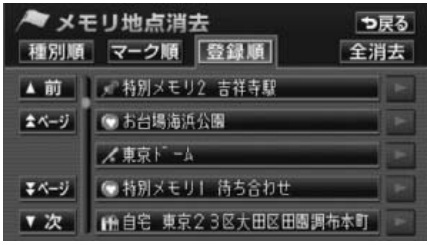
1 MENU を押します。

2 ナビメニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

3 メモリ地点の **消去** にタッチします。

4 消去するメモリ地点にタッチします。

- すべてのメモリ地点を消去するときは、**全消去** にタッチします。



5 **はい** にタッチします。



2. メモリ地点の登録・修正・消去

■地図画面から消去する

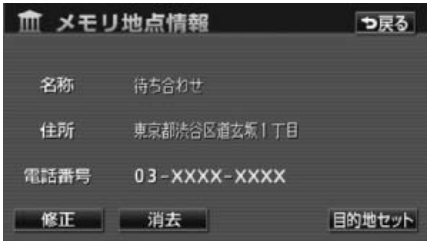
1 地図を表示させているときに、消去したいメモリ地点のマークにタッチします。

2 情報 にタッチします。



3 消去 にタッチします。

● 目的地セット にタッチすると、目的地に設定できます。



4 はい にタッチします。



3. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去

迂回メモリ地点は、地図に10カ所まで登録することができます。(10カ所をこえて登録するときは、不要な迂回メモリ地点を消去してから登録してください。)

迂回メモリ地点を登録しておくと、ルートを探索させるとき、登録したエリアを迂回するルートを探索させることができます。

工事や事故による通行止め・渋滞地点がわかっているときなどに便利です。

迂回メモリ地点の登録

チェック

800mスケール図以下の詳細な地図で登録することができます。

1 ナビメニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 迂回メモリの **登録** にタッチします。



3 地図の呼び出し方法を選び、迂回メモリ地点を登録する地点の地図を表示させます。

● **「地図の呼び出し方法」**(131ページ)、**「呼び出した地図の操作」**(153ページ)を参照してください。



4 **セット** にタッチします。

● ⊕ の位置に迂回メモリ地点が ▣ マーク、または □ (範囲)で表示されます。



5 ▲、または ▼ にタッチして迂回させる範囲を設定します。

● 範囲を広くするときは ▲、狭くするときは ▼ にタッチします。

● 最大範囲にすると ▲、最小範囲にすると ▼ の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

● 矢印中央の数値が範囲の長さ(縦・横)になります。



次ページに続く

3. 迂回メモリ地点の登録・修正・消去

6 セット にタッチします。



7 完了 にタッチします。

- 無効 にタッチすると、迂回メモリ地点を登録しても、迂回するルートは探索されなくなります。
  有効 にタッチすると、迂回するルートを探索させることができます。
- 登録した迂回メモリ地点は、付近の住所およびマップコードが表示されます。



ワンポイント

- 表示される迂回メモリ地点の住所は、登録の方法により異なります。
- 登録する場所、地図の呼び出し方法によっては名称が同時に入力されることがあります。
- 高速道路（都市高速・有料道路を含む）およびフェリー航路は、迂回させる範囲内に設定しても迂回させることはできません。
  迂回させたいときは、迂回地点（最小範囲：▣）を地図上に設定してください。
- 目的地などを設定した位置、および現在地の位置などにより迂回しない場合があります。

迂回メモリ地点の修正

1 ナビメニュー画面で、メモリ地点 にタッチします。

2 迂回メモリの 修正 にタッチします。

3 修正・入力する迂回メモリ地点にタッチします。



4 修正・入力する項目にタッチします。

- 修正方法は、メモリ地点の修正・入力方法と同じです。
  - ·**「メモリ地点の名称を入力する」**（227 ページ参照）
  - ·**「メモリ地点の名称を表示する」**（229 ページ参照）
  - ·**「メモリ地点の位置を修正する」**（230 ページ参照）
- **迂回エリア変更** にタッチすると、迂回させる範囲を変更することができます。（233 ページ参照）
- **無効** にタッチすると、迂回メモリ地点を登録しても、迂回するルートは探索されなくなります。
  有効 にタッチすると、迂回するルートを探索させることができます。



5 **完了** にタッチします。

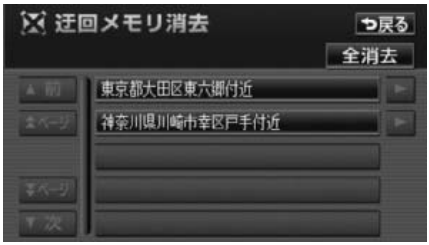
迂回メモリ地点の消去

1 ナビメニュー画面で、**メモリ地点** にタッチします。

2 迂回メモリの **消去** にタッチします。

3 消去する迂回メモリ地点にタッチします。

- すべての迂回メモリ地点を消去するときは、**全消去** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

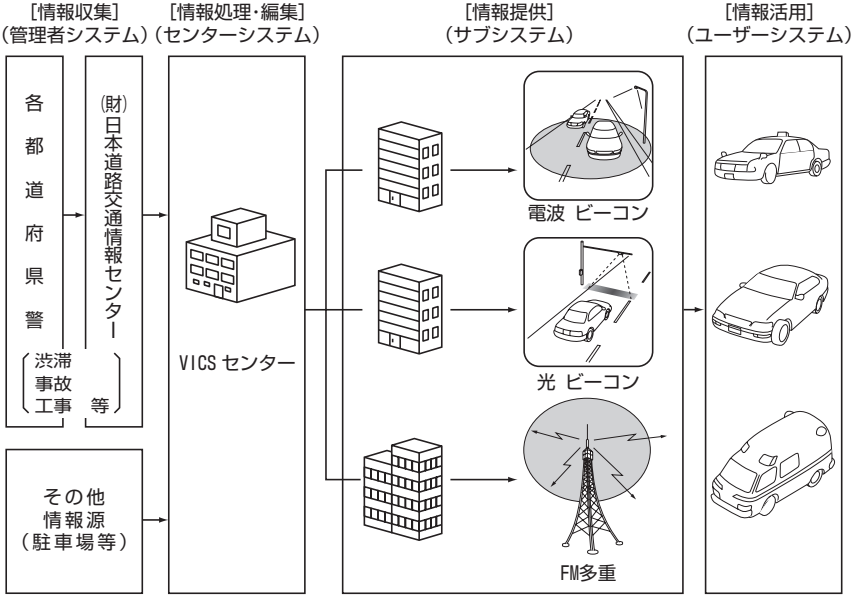


1. VICS情報について

VICSとは

道路交通情報通信システム（VICS：Vehicle Information and Communication System）は渋滞や事故、工事、所要時間、駐車場の道路交通情報をリアルタイムに送信し、地図画面等に表示するシステムです。また、道路交通情報の提供をとおして、安全性の向上、交通の円滑による環境の保全等を促進することを目的としています。

VICSは大きく分けて、「情報収集」「情報処理・編集」「情報提供」「情報活用」の4つのブロックからなります。



VICSリンクデータベースの著作権は（財）日本デジタル道路地図協会、（財）日本交通管理技術協会が有しています。

VICSおよび本機に付与された VICS のマーク・ロゴタイプは財団法人道路交通情報通信システムセンターの登録商標です。

VICSのメディア概要

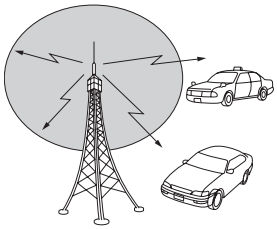
VICSは、それぞれ特性の異なる3つのメディアがあります。

本機では、内蔵のFM多重チューナーでFM多重放送を受信することができます。（VICS情報の受信については**「VICS提供放送局の選択」**（241ページ）を参照してください。）

また、別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットを接続することによって、電波ビーコン、光ビーコンを受信することができます。

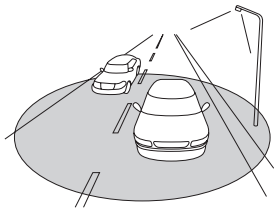
● **FM多重**

FM多重は、放送局から広く電波の届く範囲の車両に情報の提供を行います。



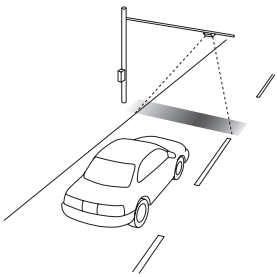
● **電波ビーコン（別売の2メディア/3レベル対応VICSユニット接続時に対応）**

※ 電波ビーコンは、主に高速道路の路側に設置され、その地点を通過する車両に情報の提供を行います。



● **光ビーコン（別売の2メディア/3レベル対応VICSユニット接続時に対応）**

※ 光ビーコンは、主に一般道路上の各レーンに設置され、そのレーンを通過する車両に情報の提供を行います。



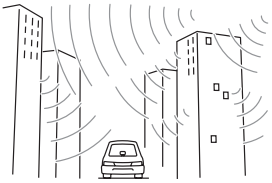
※ 別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットについては、**「2メディア/3レベル対応VICSユニットの操作」**（279ページ）を参照してください。

1. VICS情報について

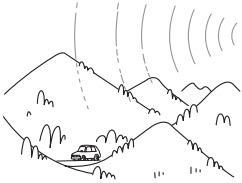
■VICS特有の事項

- 提供情報はあくまで参考情報としてご利用ください。
  （提供される情報は最新でない場合があります。）
- VICS の表示内容は、VICS センターが提供していますので、本取扱説明書の画面表示は、実際の表示内容とは異なる場合があります。
- 電波や光の信号がうまく受信できないときに一部表示が乱れる場合があります。新しい電波が正しく受信されれば正しい表示に更新されます。

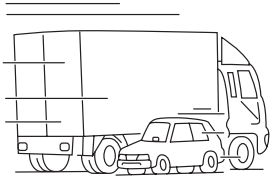
FM多重放送特有の事項



①高層ビルの間では電波が乱反射してうまく受信できないことがあります。

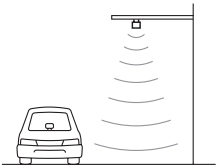


②盆地のような所では、うまく受信できないことがあります。

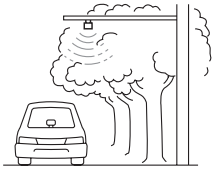


③トラックとすれちがったりするとうまく受信できないことがあります。

電波ビーコン特有の事項



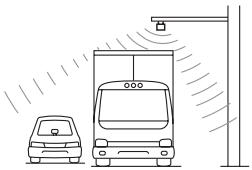
①直線的にしか電波は届きません。



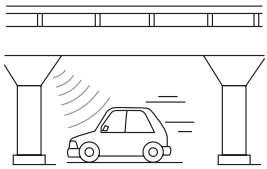
②水に吸収される性質があるので、街路樹が繁っているとうまく受信できないことがあります。



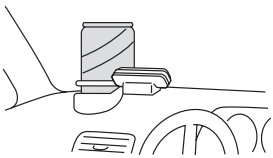
③トンネルの中や高架道路の所では乱反射して、うまく受信できないことがあります。



④トラックの陰に入ると、うまく受信できないことがあります。

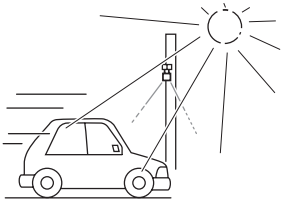


⑤高架道路の下で電波を受信すると誤った位置を判断することがあります。

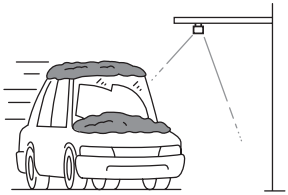


⑥VICSのアンテナの上や近くに金属を置かないでください。

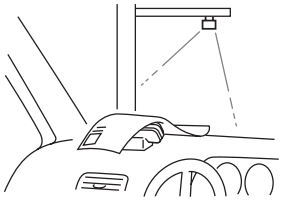
光ビーコン特有の事項



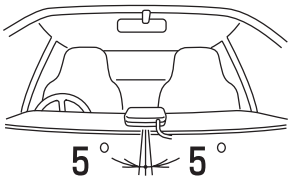
①太陽と光ビーコンからの信号が重なると、うまく受信できないことがあります。



②雪が積もっていたり、ウインドガラスが汚れていると、うまく受信できないことがあります。



③VICSのアンテナの上や近くに紙類等光を受信するのを妨げる物を置かないでください。



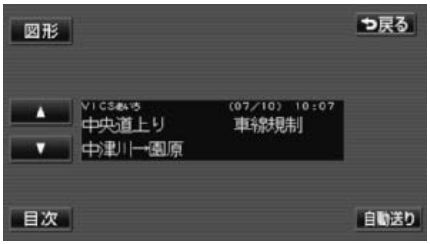
④VICSのアンテナの取り付け方向は、±5°でセットしてください。ずれた場合は、うまく受信できないことがあります。

VICS情報提供内容と表示について

- VICS情報は文字表示、簡易図形表示または地図表示から渋滞・交通規制等を表示します。
- VICS情報は、FM多重放送局から送信された情報の提供時刻が表示されます。

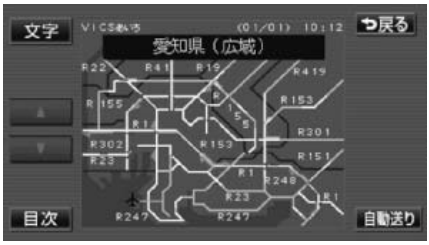
■レベル1

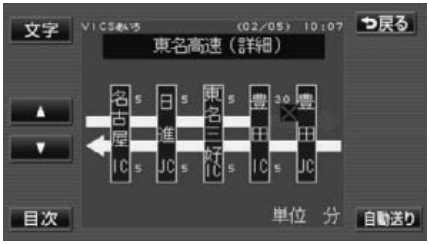
- 文字表示



■レベル2

- 簡易図形表示





1. VICS情報について

■ レベル3

● 地図表示





🕮 ワンポイント

- 情報が受信できない場合など、VICS情報が表示できないことがあります。
- 情報提供エリアの違いなどによって情報内容が異なります。

2. 放送局の受信

VICS提供放送局の選択

VICS情報を提供しているFM放送局を選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**VICS** にタッチします。

2 FM多重チューナー設定の **VICS** にタッチします。

- オーディオOFFまたはVICS放送局以外のラジオを受信しているときに **CD情報** を選択するとVICS情報を受信できない場合があります。

3 **VICS選局** にタッチします。



4 **オート** 、または **マニュアル** にタッチします。

- **オート**…自動で選択します。
- **マニュアル**…手動(エリアまたは周波数)で選択します。
- 初期設定は、 **オート** が選択されています。「オート」で受信されないときのみ、**マニュアル** で放送局（または放送エリア）を選択してください。



ワンポイント

CD情報 が選択されているときは、タイトル情報の受信が完了すると、次回のCD情報配信までVICS情報を受信することができます。

■自動で選択する

現在地がある都道府県の放送局が受信され、現在地を移動させると、自動的に受信可能な放送局に切り替わります。

次ページに続く

2. 放送局の受信

1 オート にタッチします。

- 放送局が受信されると、**「受信中」**が表示されます。
- 自動選択中は、タッチスイッチの色が明るくなります。



■エリアで選選択する

選んだ都道府県の放送局が受信されます。受信状態がかわると、選んだ都道府県内で、自動的に受信可能な放送局に切り替わります。

1 マニュアル にタッチします。

2 受信させる放送局のある都道府県名にタッチします。

- 放送局が受信されると、**「受信中」**が表示されます。



3 完了 にタッチします。

■周波数を手動で選択する

選んだ周波数の放送局が受信されます。受信状態がかわっても自動的に放送局は切り替わりません。

1 マニュアル にタッチします。

2 TUNE▲ 、または TUNE▼ にタッチして、放送局の周波数を選びます。

- 放送局が受信されると、**「受信中」**が表示されます。



3 完了 にタッチします。

ワンポイント

●通常は **オート** でご使用ください。

●VICS情報が受信できる代表的な周波数（2010年3月現在）

北海道（旭川地区　85.8MHz）（函館地区　87.0MHz）（札幌地区　85.2MHz）
（室蘭地区　88.0MHz）（釧路地区　88.5MHz）（帯広地区　87.5MHz）
（北見地区　86.0MHz）

青森県	86.0MHz	秋田県	86.7MHz	岩手県	83.1MHz
山形県	82.1MHz	宮城県	82.5MHz	福島県	85.3MHz
茨城県	83.2MHz	栃木県	80.3MHz	群馬県	81.6MHz
埼玉県	85.1MHz	千葉県	80.7MHz	東京都	82.5MHz
神奈川県	81.9MHz	山梨県	85.6MHz	静岡県	88.8MHz
長野県	84.0MHz	岐阜県	83.6MHz	愛知県	82.5MHz
三重県	81.8MHz	新潟県	82.3MHz	石川県	82.2MHz
富山県	81.5MHz	福井県	83.4MHz	滋賀県	84.0MHz
京都府	82.8MHz	大阪府	88.1MHz	兵庫県	86.5MHz
奈良県	87.4MHz	和歌山県	84.7MHz	岡山県	88.7MHz
広島県	88.3MHz	鳥取県	85.8MHz	島根県	84.5MHz
山口県	85.3MHz	香川県	86.0MHz	徳島県	83.4MHz
高知県	87.5MHz	愛媛県	87.7MHz	福岡県	84.8MHz
大分県	88.9MHz	佐賀県	81.6MHz	長崎県	84.5MHz
熊本県	85.4MHz	宮崎県	86.2MHz	鹿児島県	85.6MHz
沖縄県	88.1MHz				

●新規エリアについては周波数を手動で選択しないと受信できない場合があります。

●VICS情報のサービスエリアについては、**「VICS情報有料放送サービス契約約款」**（554ページ）を参照してください。

●VICSシステムでは、あらかじめ地図データに情報提供される道路単位（VICSリンク）を設定しています。これは毎年追加・更新・削除されるため、データベースの更新を行わない場合、本機の発売から経年でVICS地図情報（レベル3）（渋滞や混雑の矢印など）の一部が表示されなくなることがあります。

最新の情報に対応するためには、地図データの更新を行う必要があります。

情報提供サービス維持のため、変更前のVICSリンクにも変更後3年間は、従来通り情報を提供する仕組みになっています。

●VICS FM多重放送の運用時間は24時間です。休止時間については、VICS FM多重放送の「気象警報他」でご案内します。運用時間は予告なく変更されることがあります。

3. VICS情報の表示・案内

VICS情報表示の設定

地図（レベル3）に表示するVICS情報を設定することができます。また、VICS情報を表示する道路の色を切り替えることができます。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通データ** にタッチします。



3 **表示設定** にタッチします。



4 VICS情報を表示させる項目のタッチスイッチにタッチします。

- **渋滞・混雑**…渋滞・混雑情報の表示
  空き道…空いている道の情報の表示
  規制情報…事象・規制情報の表示
  駐車場…駐車場情報の表示
  道路種別表示…VICS表示道路色の切り替え
- VICSマーク(251 ページ参照)は、**駐車場**、または **規制情報** を設定していないと表示されません。



5 **完了** にタッチします。

■VICS表示道路色を切り替える

道路の種別を通常の色分けと、VICS対象道路（緑・紫）との色分けに切り替えることができます。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 VICS・交通データ にタッチします。



3 表示設定 にタッチします。



4 道路種別表示 にタッチします。

● 設定時の道路色：高速道・有料道は紫、国道は赤、主要地方道路は緑、県道は橙色、それ以外の道路を灰色で表示

非設定時の道路色：VICS対象一般道を緑、VICS対象高速道を紫、それ以外の道路を灰色で表示



5 完了 にタッチします。

ワンポイント

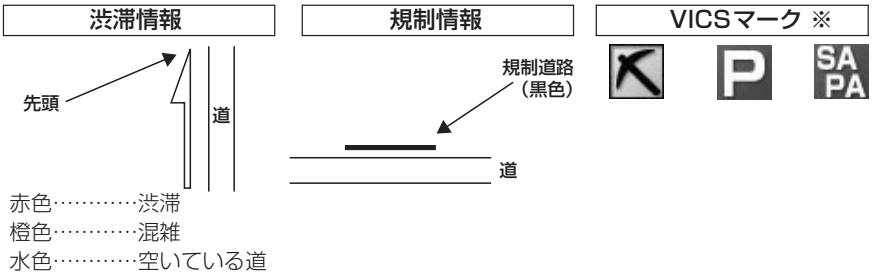
VICS対象道路は将来の計画も含めた情報提供の可能性のある道路です。したがって、現時点では情報提供されていない道路もあります。

3. VICS情報の表示・案内

VICS情報の表示

地図にVICS情報（渋滞・規制情報、VICSマーク）を表示させることができます。

- VICS 情報が受信されると、タイムスタンプに VICS 情報が提供された時刻が表示され、VICS情報が表示されます。
- タイムスタンプの表示は下記になります。
  - VICS 表示中の地図にVICS情報（レベル3）がある場合
  - VICS VICS情報を受信しているが、表示中の地図にVICS情報（レベル3）がない場合
  - VICS VICS情報を受信していない場合
- ルート上（約10km以内）にVICS情報があるときは、タイムスタンプの色が以下のように変わります。また、タッチスイッチに替わったときは、タッチすると音声案内を聞くことができます。
  - ・赤色（渋滞情報）、橙色（混雑情報）、黄色（交通規制情報）
  - ・タッチスイッチ（ VICS ）…渋滞・規制音声案内があるとき



※ 規制情報、駐車場、サービスエリア（SA）・パーキングエリア（PA）情報の詳細については**「地図に表示されるVICS表示マークについて」**（251ページ）を参照してください。



●VICS 情報表示



●VICS 情報表示（シティドライブモード・高速路線マップ画面）

チェック

- 1.6kmスケール図以下の詳細な地図で表示させることができます。
- VICS情報が表示されているときは、シティドライブモード、高速路線マップ、都市高速マップにVICS情報を表示させることができます。

ワンポイント

●渋滞情報は、800mスケール図以上の地図では ＿＿ （矢印なし）で表示されます。
●VICSマークによっては、200mスケール図以下の詳細な地図で表示するマークもあります。

■VICS情報を地図表示する

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通データ** にタッチします。

3 **全て** （一般道・有料道路）・**高速道のみ** （有料道路のみ）・**一般道のみ** （一般道のみ）のいずれかにタッチします。

● **一般道のみ** に設定している場合でも、シティドライブモードにVICS情報が表示されます。



ワンポイント

交通データ情報を設定（254 ページ参照）しているときは、交通データ情報も同時に表示します。VICS 情報のみを表示するときは、VICS表示設定画面（244 ページ参照）の交通データ情報の項目をOFFにします。

■VICSマークの内容表示について

規制情報、または駐車場情報の内容を表示することができます。

1 VICSマークにタッチします。

● VICSマークの内容と現在地からの直線距離が表示されます。



ワンポイント

●タイムスタンプは、VICS情報が提供された時刻を示しています。VICSが受信された時刻ではありません。
●VICS情報は継続して受信されないと、提供時刻の約30分後に自動的に消去されます。
●VICSマークによっては、内容が表示されないVICSマークもあります。

■VICS情報を消去する

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通データ** にタッチします。

次ページに続く

3. VICS情報の表示・案内

3 非表示 にタッチします。

- VICS情報が表示されなくなります。
- タイムスタンプが表示されなくなります。



渋滞・規制音声案内

目的地案内中の現在地画面（現在地がルート上にあるとき）で、約10km以内のルート上のVICS情報を音声でお知らせします。

また、音声を聞き逃したときは、もう一度音声を聞くことができます。

[音声案内の例]

- VICS 渋滞表示がある地点では、「およそ1km先、渋滞があります。」
- VICS　マークのある地点では、「およそ5km先、電気工事のため車線規制中です。」

音声案内はあくまでも参考としてください。

■渋滞・規制の音声自動発声を設定する

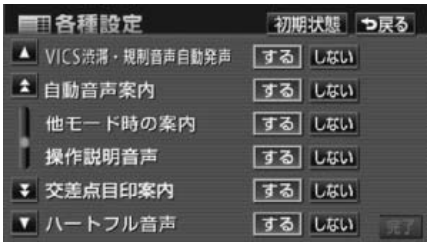
VICS渋滞・規制音声自動発声をON（出力する）にするか、OFF（出力しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、各種設定 にタッチします。

2 音声設定 にタッチします。



3 VICS渋滞・規制音声自動発声の する 、または しない にタッチします。



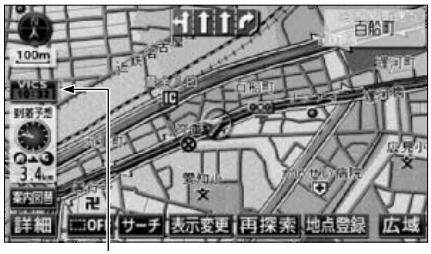
4 完了 にタッチします。

■渋滞・規制を音声で案内する

渋滞・規制音声案内を聞くことができます。ルート上にVICSの渋滞・規制案内がある場合は、タイムスタンプがタッチスイッチ（ VICS ）に切り替わります。

1 地図を表示させているときに、タイムスタンプにタッチします。

● 渋滞・規制案内情報が音声で案内されます。



タイムスタンプ

VICS図形情報の表示

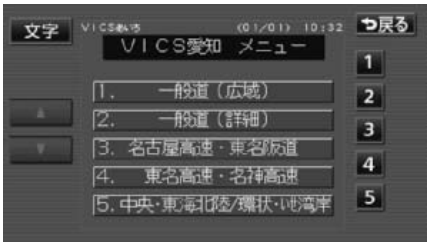
1 ナビメニュー画面で、**VICS** にタッチします。

2 **FM図形** にタッチします。



3 表示させる図形情報の番号にタッチします。

● **文字** にタッチすると、VICS文字情報が表示されます。



4 ▲、または ▼ にタッチするか、**自動送り** にタッチします。

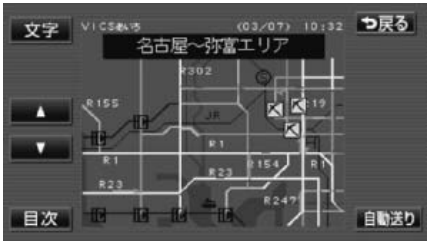
● ▲、または ▼ にタッチすると、図形情報のページを1ページずつ送ることができます。

● **自動送り** にタッチすると（タッチスイッチが **停止** になります。）、図形情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
（走行中は自動送りできません。）

● 図形情報の自動送りを停止するときは **停止** にタッチします。
また、自動送り中に ▲、または ▼ にタッチして、図形情報を送ったときは、自動送りは終了します。

● **文字** にタッチすると、VICS文字情報が表示されます。

● **目次** にタッチすると、目次にもどります。



次ページに続く

3. VICS情報の表示・案内

ワンポイント

緊急情報を受信したときは、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は 割込情報 から再表示することができます。

VICS文字情報の表示

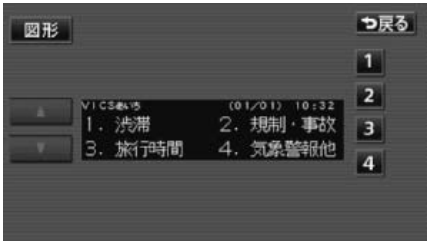
1 ナビメニュー画面で、VICS にタッチします。

2 FM文字 にタッチします。



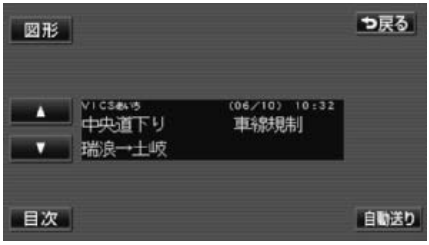
3 表示させる文字情報の番号にタッチします。

- 図形 にタッチすると、VICS図形情報が表示されます。



4 ▲、または ▼ にタッチするか、自動送り にタッチします。

- ▲、または ▼ にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。
- 自動送り にタッチすると（タッチスイッチが 停止 になります。）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。
  （走行中は自動送りできません。）
- 文字情報の自動送りを停止するときは 停止 にタッチします。
  また、自動送り中に ▲、または ▼ にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。
- 図形 にタッチすると、VICS図形情報が表示されます。
- 目次 にタッチすると、目次にもどります。



ワンポイント

緊急情報を受信したときは、他の情報より優先して割込表示されます。割込んだ情報は 割込情報 から再表示することができます。

地図に表示されるVICS表示マークについて

VICS情報の中で使用されるマークの代表的な例を示します。

表示	情報内容
	事故
	故障車
	路上障害
 （青色）	注意
 （黒色）	注意（地震警戒宣言）
	工事
	火災
	雨
	凍結
	雪
	作業
	通行止め
	右折禁止
	左折禁止
	直進禁止
	片側交互通行
	チェーン規制
	進入禁止

表示	情報内容
 （青色）	駐車場 空
 （赤色）	駐車場 満
 （橙色）	駐車場 混雑
 （黒色）	駐車場 不明
	駐車場 閉鎖
	対面通行
	車線規制
	徐行
	入り口閉鎖
	大型通行止め
	入り口規制
	出口規制
	速度規制 30km/h
 （青色）	SA PA情報 空
 （赤色）	SA PA情報 満
 （橙色）	SA PA情報 混雑
 （黒色）	SA PA情報 不明
	イベント

表示されるマークは実際と異なることがあります。また、複数の規制を代表して１つのマークで表示することがあります。

3. VICS情報の表示・案内

VICSの用語説明

より正しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

■ 緊急情報

津波情報等の緊急に伝達される必要のある情報の場合、本機では、他の情報より優先して表示提供されます。

■ 交通情報関連の用語

- 渋滞：交通の流れが非常に悪い状態をいいます。
- 混雑：交通の流れがやや悪い状態をいいます。

■ 駐車場情報関連の用語

- 満車：駐車場において、ほぼ満車の状態をいいます。
- 混雑：駐車場において、利用率が高い状態をいいます。
- 空車：駐車場の利用が可能な状態をいいます。
- 不明：駐車場の情報が無い状態をいいます。
- 閉鎖：駐車場が閉鎖されている状態をいいます。

VICSの問い合わせ先

- VICS車載機の調子や使用方法、受信の可否に関して
- 地図表示（レベル3）の内容に関して
- VICS情報の受信エリアや内容の概略に関して

これらの内容のお問い合わせは、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

- 文字表示（レベル1）の内容に関して
- 簡易図形表示（レベル2）の内容に関して
- VICSの概念、サービス提供エリアに関して

これらの内容のお問い合わせは、（財）VICSセンター（東京）までご連絡ください。

電話受付	＜受付時間　09:30～17:45 土曜、日曜、祝日を除く＞
電話番号	0570-00-8831（全国） （全国どこからでも市内通話料金でご利用になれます。） ※PHS、IP電話等からはご利用できません。
FAX受付	＜受付時間　24時間＞
FAX番号	03-3592-5494（全国）

VICSの最新情報やFM多重放送局の周波数の情報などは、下記のホームページでご覧いただけます。

URL：http://www.vics.or.jp/

なお、お問い合せ先の判断に迷うようなときには、まずお買い上げいただいた販売店までご連絡ください。

4. 渋滞考慮機能について

渋滞考慮とは

収録された渋滞統計データとVICS情報から、走行した道路、曜日・時間帯から渋滞を考慮し、所要時間が少なくなるようなルートを探索することができます。

また、走行した道路、曜日・時間帯などを学習し、収録された渋滞統計データを更新することができます。**「交通状況学習機能とは」**（256ページ参照）









渋滞考慮機能では、以下の機能に反映されます。

- 渋滞考慮ルートの探索（163 ページ参照）
- ルート探索時の到着予想時刻の計算（194 ページ参照）
- ルートの再探索（216 ページ参照）

5. 交通データ情報の表示

交通データ情報表示の設定

地図に表示する交通データ情報を設定することができます。

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通データ** にタッチします。



3 **表示設定** にタッチします。



4 交通データ情報を表示させる項目のタッチスイッチにタッチします。

- **渋滞・混雑**…渋滞・混雑情報の表示
- **空き道**…空いている道の情報の表示



5 **完了** にタッチします。

交通データ情報の表示

収録された渋滞統計データと走行した道路情報から渋滞を予想し、地図上に ーーー（破線）で表示することができます。

破線の色は下記を表しています。

- 赤色…渋滞
- 橙色…混雑
- 水色…空いている道

VICS情報の表示が設定されているときは、受信したVICS情報と交通データ情報を同時に表示することができます。



● **交通データ情報表示**



● VICS情報および交通データ情報表示

チェック

交通データ情報は800mスケール以下の地図に表示されます。（バーチャタウンマップを除く）

1 地図を表示させているときに、**表示変更** にタッチします。

2 **VICS・交通データ** にタッチします。



3 **全て**（一般道・有料道路）・
高速道のみ（有料道路のみ）・
一般道のみ（一般道のみ）・
非表示 のいずれかにタッチします。



ワンポイント

- VICS情報を設定（244 ページ参照）しているときは、VICS情報も同時に表示します。
- 交通データ情報のみを表示するときは、VICS表示設定画面（254 ページ参照）のVICS情報の項目をOFFにします。

6. 交通状況学習機能

交通状況学習機能とは

日時、曜日に応じて走行した道路の交通状況を学習し、学習結果を地図上に表示することができます。

また、学習した情報を考慮したルート探索や目的地までの所要時間を算出することができます。学習した情報を考慮したルート探索や所要時間については、**「渋滞考慮ルート探索」**（163ページ）、**「到着予想時刻表示の設定」**（194ページ）を参照してください。



● **交通状況学習結果画面**

チェック

交通状況学習機能は幅5.5m以上の道路を対象にしています。そのため細街路は学習することができません。

交通状況学習結果の表示

曜日、時間の情報と交通状況を学習した結果を地図上に表示することができます。

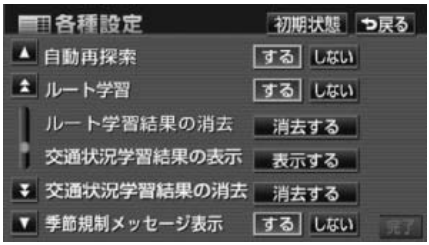
● 学習する回数により、表示が変わります。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **ルート系設定** にタッチします。



3 交通状況学習結果の表示の **表示する** にタッチします。



交通状況学習結果の消去

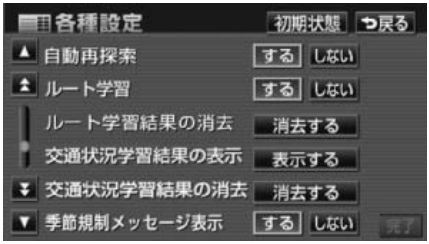
交通状況の学習結果を消去することができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

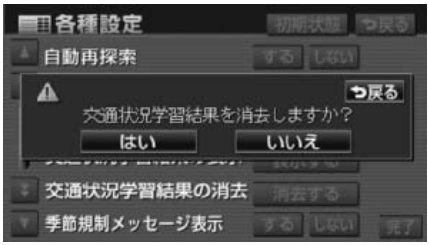
2 **ルート系設定** にタッチします。



3 交通状況学習結果の消去の
消去する にタッチします。



4 **はい** にタッチします。



1. 情報メニュー画面について

情報機能には、**「E-iSERV」**、**「タイトルチェック」**、**「新譜情報」**、**「FM多重」**、**「画像データ」**、**「ESN」**、**「設定」**、**「データ管理」**、**「メンテナンス」**、**「SYSTEM CHECK」**、**「情報付施設」**、**「カレンダー」**、**「個人情報初期化」**があります。

※ 別売のETC車載器を接続すると、**「ETC」**が表示され、ETCの設定などを行うことができます。

※ 別売の Bluetooth ユニットを接続すると、**「携帯電話」**と**「カンタンペアリング」**が表示され、携帯電話の登録やハンズフリー機能を設定することができます。

情報メニュー画面

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されます。
- 情報メニュー画面が表示されない場合、**情報** にタッチします。
- MENU を押すごとに、下図の順にメニュー画面を切り替えることができます。

ナビメニュー画面→オーディオメニュー画面
↑ 情報メニュー画面 ←

2 **次** にタッチしてページを切り替えます。

- **前** にタッチすると1ページ目にもどります。



● 1ページ目



● 2ページ目

3 タッチスイッチにタッチして、**「タッチスイッチ一覧」**（259ページ参照）の操作を行うことができます。

タッチスイッチ一覧

表示順序／項目（タッチスイッチ）		機　能	ページ
1	E-iSERV	E-iSERVにアクセスするための2次元バーコード、URLの表示	49
2	携帯電話 ※1	ハンズフリー機能の操作	496
3	カンタンペアリング ※1	Bluetooth機器の登録	299
4	タイトルチェック	受信タイトルの表示・更新	386、391
5	新譜情報	新譜情報の表示・更新	388、392
6	ETC ※1	ETCの設定	285
7	FM多重	FM多重放送の表示	260
8	画像データ	Pic-CLIP、オープニング画の設定と画像データの保存・消去	53、58、60
9	ESN	セキュリティ機能の設定	70
10	設定	CD情報インジケータ、新譜情報受信メッセージの設定	388、390
		操作音の設定	52
		ラジオアンテナの設定	68
		ナビゲーション音声の出力位置の切り替え	52
		バックアイカメラのガイド線の設定・調整	289
		フロントアイカメラの自動表示の設定	296
11	データ管理	バージョン情報の表示、タイトルデータベースの更新	382、383
		ハードディスク容量の表示	392
12	メンテナンス	メンテナンス時期の設定・更新・消去	264、267、268
		販売店の設定・修正・消去	268、269
13	SYSTEM CHECK	車速パルス、GPS信号の受信感度、距離補正の学習状態などの表示	270
14	情報付施設	情報付施設の検索・表示	271
15	カレンダー	カレンダーの表示	278
16	個人情報初期化	登録した個人情報の初期化	76
17	販売店デモ ※2	販売店専用の機能	―

※1 機器が接続されていないときは、表示されません。

※2 販売店専用の機能です。販売店以外では使用しないでください。ナビゲーションなどの操作をする場合は、必ず デモOFF にタッチして販売店デモ機能をOFFにしてください。走行中は表示されません。

2. FM多重放送

FM多重放送の番組について

ＦＭ多重放送は１つの放送局から同時に複数の番組が放送されています。番組は連動情報番組と独立情報番組に区別され、それぞれの番組は表示の切り替え方が異なります。

● **連動情報番組**

ＦＭ音声放送と連動した番組です。放送中の曲名やリクエストの受け付け番号など放送中の音声放送に合わせた内容で放送される番組です。

● **独立情報番組**

ＦＭ音声放送とは関連のないニュースや天気予報などの独立した内容で放送される番組です。

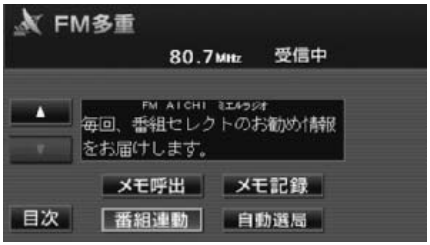
FM多重放送の表示

チェック

オーディオの電源がＯＦＦのとき、またはＡＭ放送（交通情報放送を含む）を受信しているときやFM放送の電波が遮断されたり、受信できないときは、ＦＭ多重放送を表示させることはできません。

1 情報メニュー画面で、**FM多重** にタッチします。

● FM多重放送画面（FMモードで選ばれている放送局の連動情報番組）が表示されます。



● FM多重放送画面

ワンポイント

●走行中は表示させることができない番組もあります。また、ＦＭ多重放送局によっては、走行中、すべての番組を表示させることができない放送局があります。

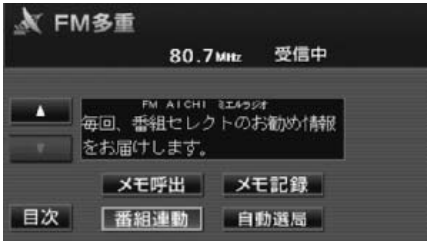
●ＦＭ　　多重放送を表示させているときに、ＦＭ多重放送の緊急情報を受信したときは、自動的に緊急情報に番組が切り替わります。

●ＦＭ 多重放送を表示させているときは、そのＦＭ多重放送を放送している放送局の番組の音声のみ聞くことができます。（文字情報を表示させているＦＭ多重放送局とは別のＦＭ放送局の番組の音声を聞くことはできません。）

放送局の切り替え

1 **自動選局** にタッチします。

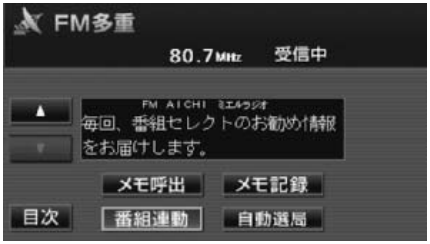
● FM　音声を聞いているときは、パネルスイッチでも、切り替えることができます。**「聞きたい放送局を選ぶ」**（343ページ参照）



番組の切り替え

1 目次 にタッチします。

● 番組連動 にタッチすると、連動情報番組に切り替わります。（連動情報番組を受信しているときは、タッチスイッチの色が明るくなります。）



2 表示させる番組の番号にタッチします。



独立情報番組のページ送り

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに切り替わりますが、ニュース・天気予報など1回の発信で何ページにもわたる情報（ ▲ ・ ▼ が表示されます。）が送られる独立情報番組は受信側でページを送ることが必要です。

チェック

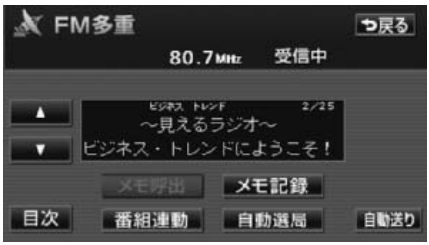
緊急情報を受信しているときは、自動送りできません。

1 ▲ 、または ▼ にタッチするか、自動送り にタッチします。

● ▲ 、または ▼ にタッチすると、文字情報のページを1ページずつ送ることができます。

● 自動送り にタッチすると（タッチスイッチが 停止 になります。）、文字情報が自動で送られます。すべての情報が表示されたあとは、最初のページにもどります。

● 文字情報の自動送りを停止するときは 停止 にタッチします。
また、自動送り中に ▲ 、または ▼ にタッチして、文字情報を送ったときは、自動送りは終了します。



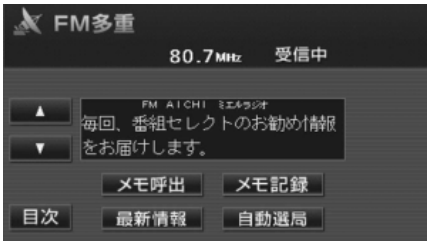
2. FM多重放送

連動情報番組の文字情報を繰り返し見る

連動情報番組の文字情報のページは情報が発信されるたびに自動的に切り替わります。情報を見逃したときやもう一度見たいときは ▲ にタッチすると、過去に発信された情報を見ることができます。

1 ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。

- タッチすると、文字情報の自動切り替えが中断されます。
- 自動切り替えを中断したとき、**最新情報** にタッチすると、最新の文字情報にもどり、もとの状態（文字情報が発信されるたびに自動的に切り替わる）になります。



文字情報の記録・呼び出し・消去

■記録する

1 記録する文字情報を表示させ **メモ記録** にタッチします。



ワンポイント

記録項目は最大20件です。

■呼び出す

1 **メモ呼出** にタッチします。

- 記録されている文字情報が新しいものから表示されます。

2 ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる文字情報を切り替えます。



■消去する

1 **メモ呼出** にタッチして文字情報を呼び出します。

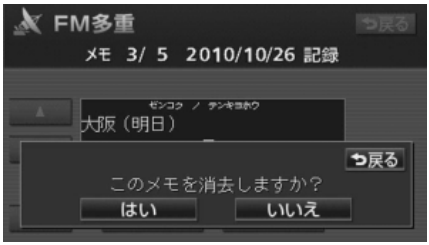
2 ▲ 、または ▼ にタッチして、消去する文字情報を表示させます。



3 **消去** にタッチします。

● すべての文字情報を消去するときは、
全消去 にタッチします。

4 **はい** にタッチします。



3. メンテナンス機能

メンテナンス機能は、ナビゲーションのカレンダー機能と車速信号を使用して、車のオイルや消耗部品の交換、各種点検などの時期がきたことをナビゲーションの画面と初回に音声でお知らせします。

メンテナンスメニュー画面

1 情報メニュー画面で、**メンテナンス** にタッチします。

- メンテナンスメニュー画面になります。
- 未設定の項目は、（灰色）・すでに設定されている項目は、（黄緑色）・メンテナンス案内が行われる時期の項目は（赤色）で表示します。



- メンテナンス項目

項目	内容
エンジンオイル交換	エンジンオイル交換
オイルフィルター交換	オイルフィルター交換
タイヤローテイション	タイヤローテイション（タイヤ位置交換）
タイヤ交換	タイヤ交換
エアクリーナー	エアクリーナー交換
ブレーキパッド交換	ブレーキパッド交換
Vベルト	Vベルト交換
冷却水交換	冷却水交換
ブレーキフルード交換	ブレーキフルード交換
ATF交換	ＡＴＦ（オートマチックトランスミッションフルード）交換
任意入力	任意入力 （その他の項目を5つまで設定することができます。）

ワンポイント

- メンテナンス内容および時期の設定はお買い上げいただきました販売店へご相談ください。
- お知らせするメンテナンス時期は、事前に走行距離や年月日をもとに設定した項目をお知らせするものです。お車の使用状況により、お知らせするメンテナンス時期と実際に必要なメンテナンス時期に誤差が生じる場合があります。
- メンテナンス機能で計測される走行距離と実際の走行距離で誤差が生じることがあります。

メンテナンス時期の設定

チェック

メンテナンス時期の設定をしても自動通知の **する** に設定していないときは、メンテナンス案内が行われません。

1 メンテナンスメニュー画面で、設定する項目にタッチします。

- （任意入力未設定）にタッチすると、任意で項目を設定することができます。
- （任意入力未設定）以外にタッチしたときは、**5** の画面が表示されます。
- 設定済の項目にタッチすると、設定内容を修正することができます。



2 （任意入力未設定）にタッチしたときは、マークにタッチします。



3 名称を１文字ずつタッチして入力します。

- 文字の入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**（227ページ）を参照してください。



4 完了 にタッチします。

5 お知らせ日 、または お知らせ距離 にタッチします。

- 日付・距離の両方、または日付のみ・距離のみを設定します。
- マーク にタッチすると、マークを変更することができます。（任意入力を設定したときのみ）
- 修正 にタッチすると、タイトル名称を変更することができます。（任意入力を設定したときのみ）



次ページに続く

3. メンテナンス機能

6 数字を１つずつタッチして入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1つずつ消去されます。

● 一桁の日付を入力するときは、 **年** 、 **月** 、 **日** にタッチして入力することができます。（2～9月と、4～9日は、 **月** 、 **日** にタッチする必要はありません。）



● **日付入力画面**



● **距離入力画面**

7 **完了** にタッチします。

8 **設定完了** にタッチします。

● 複数のメンテナンス項目を設定するときは、**1** ～ **8** を繰り返し操作してください。



メンテナンス案内の設定

自動案内通知を設定すると、時期を設定した項目の案内が行われます。

1 メンテナンスメニュー画面で、自動通知の **する** にタッチします。

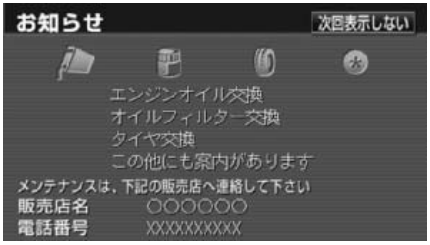
● 案内をさせないときには、再度この画面で、**しない** にタッチします。



メンテナンスの案内

設定した日に到達する、または設定をした距離を走行すると、ナビゲーション画面が表示される（立ち上がる）とき、同時に4つまで案内されます。

- 販売店を設定しているときは販売店名、電話番号を表示します。（268 ページ参照）
- 5つ以上の項目があるときは、メンテナンスメニュー画面で確認してください。
- **次回表示しない** にタッチすると、次にナビゲーション画面が立ち上がるときは、案内されません。



ワンポイント

- 案内する項目が5つ以上あるときは ✱ を表示します。
- メンテナンス時期に到達した後、最初にナビゲーションを立ち上げたときには、画面と音声（初回）で案内します。

メンテナンス設定の更新

1 メンテナンスメニュー画面で、設定を更新する項目にタッチします。

- すべての項目を更新するときは、**自動全更新** にタッチします。（ **はい** 、**いいえ** の選択画面が表示されます。）

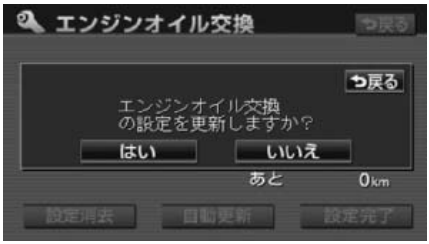


2 **自動更新** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。

- 残されていた日数・距離が更新され、新しい日付・設定した距離に変更されます。



次ページに続く

3. メンテナンス機能

4 2 の画面にもどったときは、**設定完了** にタッチします。

メンテナンス設定の消去

1 メンテナンスメニュー画面で、設定を消去する項目にタッチします。

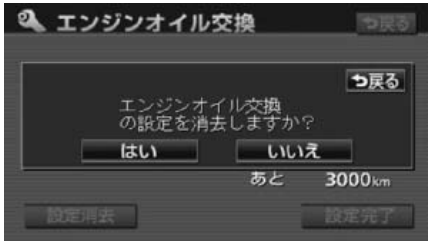
- すべての項目を消去するときは、**設定全消去** にタッチします。（ **はい** 、**いいえ** の選択画面が表示されます。）



2 **設定消去** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。



販売店の設定

1 メンテナンスメニュー画面で、**販売店設定** にタッチします。



2 地図の呼び出し方法を選び、販売店を設定する地点の地図を表示させます。

- **「地図の呼び出し方法」**（131ページ）、**「呼び出した地図の操作」**（153ページ）を参照してください。



3 **セット** にタッチします。

- ⊹ の位置に販売店が設定されます。



4 完了 にタッチします。

● 販売店に行く にタッチすると、販売店の地図が表示されます。



販売店の修正・消去

1 メンテナンスメニュー画面で、販売店設定 にタッチします。



2 修正する項目にタッチします。



● 販売店名の修正・入力は、**「メモリ地点の名称を入力する」**（227ページ）、位置の修正は、**「メモリ地点の位置を修正する」**（230ページ）、電話番号の修正・入力は、**「メモリ地点の電話番号を入力する」**（231ページ）を参照してください。

● 販売店の消去 にタッチすると、販売店が消去されます。

3 完了 にタッチします。

4 販売店の消去 にタッチしたときは、はい にタッチします。



4. SYSTEM CHECK機能

SYSTEM CHECK機能は、車速パルス、GPS信号の受信感度、距離補正の学習状態の表示やパーキングおよびリバース信号の接続を確認することができます。

SYSTEM CHECK画面の表示

1 情報メニュー画面で、SYSTEM CHECK にタッチします。

- SYSTEM CHECK画面になります。
- 各項目は、下記の内容を表しています。表示が実際の状態と異なる場合は販売店にお問い合わせください。



● SYSTEM CHECK画面

項　目		内　容
GPS受信感度		GPS衛星からの電波の受信状態。
距離補正学習状態		距離の補正を自動で行っているとき（306 ページ参照）の学習度合い。
車速パルス	あり	走行している状態。
	なし	停車している状態。
パーキング信号	あり	パーキングブレーキがかかっている状態。
	なし	パーキングブレーキがかかっていない状態。
リバース信号	あり	バックギアにシフトしている状態。
	なし	バックギア以外にシフトしている状態。

※ ナビゲーションの取り付けが正しく行われていないと、正確な情報を表示することができません。

5. スポットインフォメーション（情報付施設）の検索

主要施設の情報（情報・住所・料金・写真など）をブラウザ画面に表示することができる機能です。

情報付施設の検索・表示・編集

1 情報メニュー画面で、**情報付施設** にタッチします。

2 表示させる施設のジャンルにタッチします。

● **車** 、**医療** 、**他** 項目は、データが収録されていません。



3 施設のある都道府県名（路線名）にタッチします。

● **全国の○○** にタッチすると、全国の施設のリスト画面になり、全国の施設名称が50音順に表示されます。



4 表示させる施設名称にタッチします。

● 施設の内容がブラウザ画面に表示されます。



■ ブラウザ画面を操作する

コンテンツの閲覧中は、タッチスイッチにタッチすると、以下のことができます。

● **○○** （ **住所** ・ **写真** など）にタッチすると、表示されている項目の情報が表示されます。



① **登録スイッチ**
表示中ページのタイトルをブックマークに登録します。ブックマークは最大50件まで登録できます。

② **呼出スイッチ**
ブックマークリスト画面を表示します。

次ページに続く

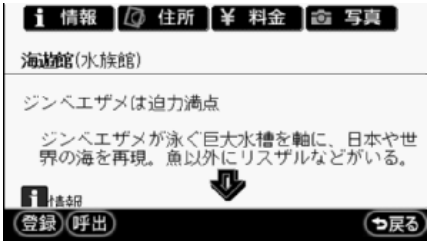
5. スポットインフォメーション（情報付施設）の検索

③ **戻るスイッチ**
前の画面にもどります。

④ **スクロールスイッチ**
表示中のページが画面に収まらないとき、⬆ にタッチすると画面が移動して、隠れていた部分を見ることができます。

■ ブラウザ画面をブックマークに登録する

1 登録する情報を表示させ、**登録** にタッチします。

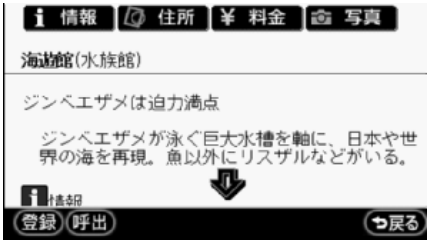


ワンポイント

記録項目は最大50件です。

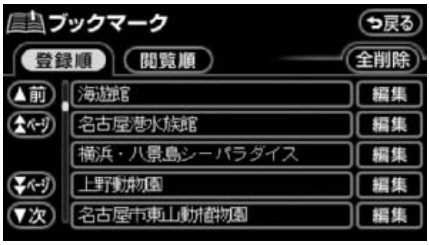
■ ブックマークを呼び出す

1 **呼出** にタッチします。



2 表示させるブックマークのタイトルにタッチします。

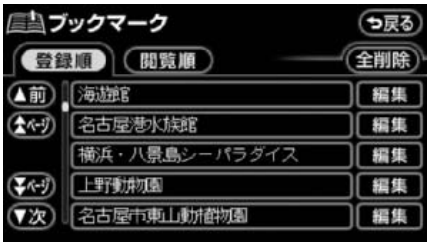
- **登録順** にタッチすると、ブックマークに登録した順に並びかわります。
- **閲覧順** にタッチすると、ブラウザ画面を表示した順に並びかわります。



■ ブックマークを編集する

ブックマークのタイトルをお好みのタイトルに変更できます。

1 ブックマークリスト画面で、編集したいブックマークの **編集** にタッチします。



2 **タイトル** にタッチします。



3 文字を一文字ずつタッチして入力します。

● 文字の入力方法は、**「ソフトウェアキーボードの使い方」**（273ページ）を参照してください。



4 **完了** にタッチします。

■ ブックマークを削除する

ブックマークは最大50件まで登録できます。50件をこえて登録しようとした場合はメッセージが表示されますので、不要なブックマークを削除してから登録してください。

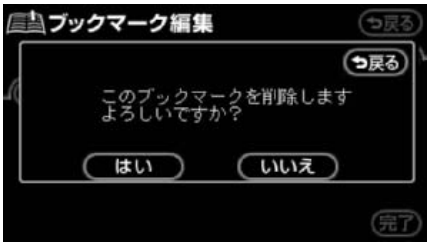
1 ブックマークリスト画面で、削除したいブックマークの **編集** にタッチします。

● すべてのブックマークを削除するときは、**全削除** にタッチします。（ **3** の画面が表示されます。）

2 **削除** にタッチします。



3 **はい** にタッチします。



ソフトウェアキーボードの使い方

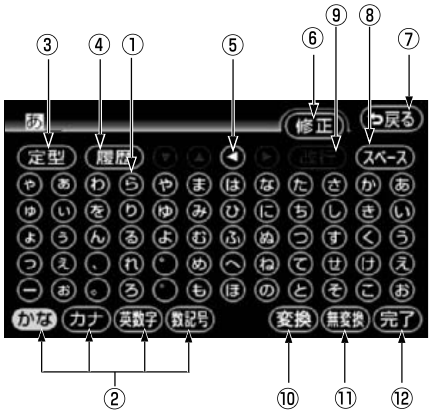
ブラウザなどで文字入力が必要になると、ソフトウェアキーボード画面が表示されます。

5. スポットインフォメーション（情報付施設）の検索

■ソフトウェアキーボード画面

ソフトウェアキーボード画面には、下記の入力画面があります。

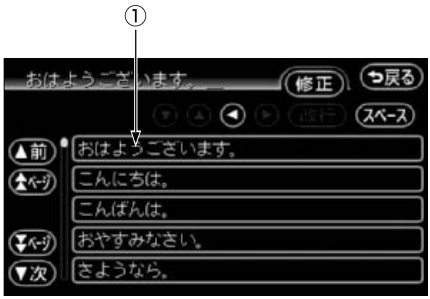
かな・漢字入力画面



英字・数字入力画面



定型文入力画面



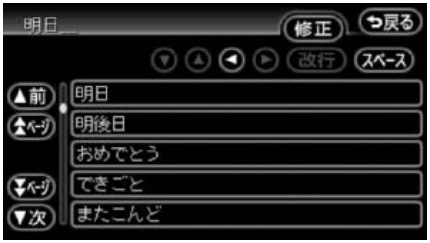
カタカナ入力画面



数字・記号入力画面



履歴入力画面



① **文字入力スイッチ**
文字を入力します。
定型文入力画面では、選んだ文を入力します。

② **入力モード切り替えスイッチ**
文字の入力モードを切り替えます。
- かな…ひらがな、漢字を入力します。
- カナ…カタカナを入力します。
- 英数字…アルファベット、数字を入力します。
- 数記号…数字、記号を入力します。

③ **定型スイッチ**
定型文を入力するときに使用します。

④ **履歴スイッチ**
前回までに入力した文字列の履歴から入力するときに使用します。

⑤ **カーソル移動スイッチ**
カーソルの移動ができます。
タッチし続けると、連続してカーソルが移動できます。
確定、未確定に関係なく、カーソルを移動した位置から文字を挿入できます。
なお、未確定の場合は、未確定の範囲内でカーソルが移動できます。

⑥ **修正スイッチ**
文字が消去できます。
タッチし続けると、すべての文字が消去できます。

⑦ **戻るスイッチ**
各入力画面を終了します。

⑧ **スペーススイッチ**
カーソル位置に空白が入力できます。

⑨ **改行スイッチ**
タッチスイッチがトーンダウンし、タッチしても操作できません。

⑩ **変換スイッチ**
かな文字入力後にタッチすると、漢字に変換します。

⑪ **無変換スイッチ**
かな文字入力後にタッチすると、ひらがなで入力します。

⑫ **完了スイッチ**
すべての文字を入力後にタッチします。
前の画面（ブラウザ画面）にもどり、文字が入力されます。

⑬ **全角／半角スイッチ**
タッチするたびに、半角入力と全角入力が切り替わります。

⑭ **大文字／小文字スイッチ**
タッチするたびに、大文字と小文字が切り替わります。

5. スポットインフォメーション（情報付施設）の検索

■漢字に変換するには

1 かな入力状態で、文字を入力します。

● 未確定状態での最大入力文字数をこえると、入力ができなくなります。この場合は、**完了** 、または **無変換** にタッチして、文字を確定するか、**変換** にタッチして文字列を変換してください。

なお、確定しても入力制限文字数をこえる文字は削除されます。



2 **変換** にタッチします。



3 すべての文字が変換されたままの状態でよければ、**全確定** にタッチします。入力したい文字でないときは、漢字変換候補リストから、希望の候補を選択しタッチします。

● 変換する文字の範囲を変更するときは、◀ ・ ▶ にタッチすると、漢字変換候補リストが自動的に更新されます。



ワンポイント

●最大入力文字数は、48文字（全角）です。

●確定されていない状態で入力可能な文字は、最大20文字です。

入力したい漢字に変換されないときは

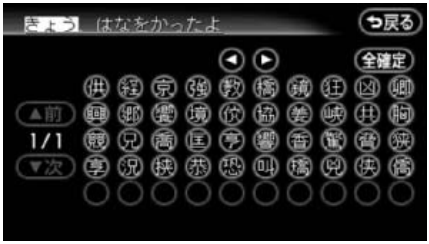
漢字変換候補リストに入力したい漢字が表示されないときは、漢字を一つずつ変換してください。

1 漢字変換候補リストで、**単漢字** にタッチします。



2 単漢字変換候補から、希望の候補を選択しタッチします。

- 単漢字変換候補には、音読み、訓読みに対応した単漢字を表示します。
- 変換する文字の範囲を変更するときは、◀ ・ ▶ にタッチすると、単漢字変換候補リストが自動的に更新されます。



6. カレンダー機能

カレンダー機能は、GPSの時刻情報を利用して、カレンダー画面や日時を表示します。
時刻情報受信中は GPS が表示されます。

カレンダー画面の表示

1 情報メニュー画面で、**カレンダー** にタッチします。

- **▲月** ・ **▼月** にタッチすると、表示される月が切り替わります。
- **▲▲年** ・ **▼▼年** にタッチすると、表示される年が切り替わります。
- 月、または年を切り替えたとき、**今月** にタッチすると、今月のカレンダーが表示されます。



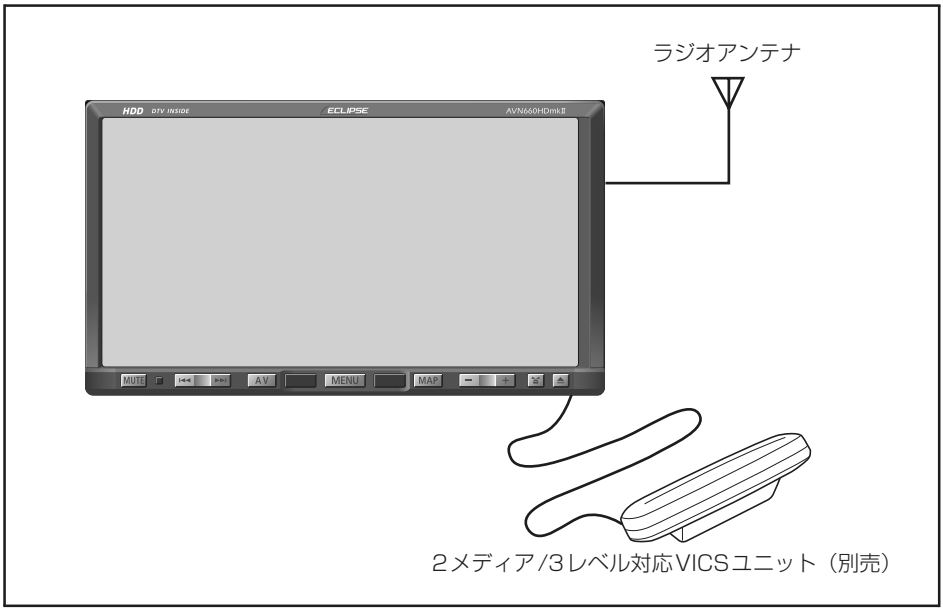
1．2メディア/3レベル対応VICSユニットの操作

内蔵のFM多重機能とは別に、別売の2メディア/3レベル対応VICSユニットを接続した場合は、FM多重放送に加え電波・光ビーコンの受信が可能になります。

- ビーコンが設置されている付近の道路交通情報が提供されます。
- ビーコンから受信した最新の渋滞情報を考慮した経路探索が可能になります。
- ビーコンからの割り込み情報を受信できます。

2メディア/3レベル対応VICSユニットの構成

VICSの電波／光ビーコンを受信するシステム



1．2メディア/3レベル対応VICSユニットの操作

割り込み情報（ビーコン即時案内）の表示

ビーコンからVICS情報が受信されたとき、VICS図形情報（または文字情報）を自動的に表示させることができます。

- ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる割り込み情報を切り替えます。
- 文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、**文字**（文字情報を表示させているときは **図形** ）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。
- **表示消** にタッチする、または設定時間以上操作しなかったときは、もとの画面にもどります。表示時間は、調整することができます。**「割り込み情報の表示時間を調整する」**（281ページ参照）



● 割り込み情報の表示

■割り込み情報の表示を設定する

割り込み情報をＯＮ（表示する）にするか、ＯＦＦ（表示しない）にするか、選ぶことができます。

1 ナビメニュー画面で、**VICS** にタッチします。

2 **割込設定** にタッチします。



3 割り込み情報の項目の **する** 、または **しない** にタッチします。

・注意警戒情報…注意警戒情報の表示
・ビーコン文字情報…文字情報の表示
・ビーコン図形情報…図形情報の表示



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

- **割込設定** は、2メディア／3レベル対応VICSユニットを接続した場合に表示されます。
- FM多重放送のみのVICS情報では、ビーコンからの割り込み情報の表示は行われません。
- ビーコンの運用時間は24時間です。運用時間は予告なく変更されることがあります。
- 割り込み情報を **しない** に設定していても、緊急情報が受信されたときは、自動的に文字情報（または図形情報）が表示されます。

■割り込み情報の表示時間を調整する

割り込み情報が表示されてから、もとの画面にもどるまでの時間を調整することができます。

1 ナビメニュー画面で、VICS にタッチします。

2 割込設定 にタッチします。

3 自動割込みの表示時間の ＋ 、または － にタッチして調整します。

● 表示時間を長くするときは ＋ 、短くするときは － にタッチします。（タッチするたびに、5秒ずつ変更されます。）



4 完了 にタッチします。

■割り込み情報を呼び出す

割り込み情報をOFF（表示しない）にしているときに、受信された割り込み情報を表示させることができます。また、一度表示された割り込み情報を再度表示させることもできます。

チェック

提供時刻より約30分以上経過した割り込み情報は表示させることができません。

1 ナビメニュー画面で、VICS にタッチします。

2 割込情報 にタッチします。



3 ▲ 、または ▼ にタッチして、表示させる割り込み情報を切り替えます。

● 文字情報と図形情報の両方の割り込み情報があるときは、文字 （文字情報を表示させているときは 図形 ）にタッチして、表示させる情報を切り替えます。

● 再表示した割り込み情報画面は自動的に地図画面にはもどりません。

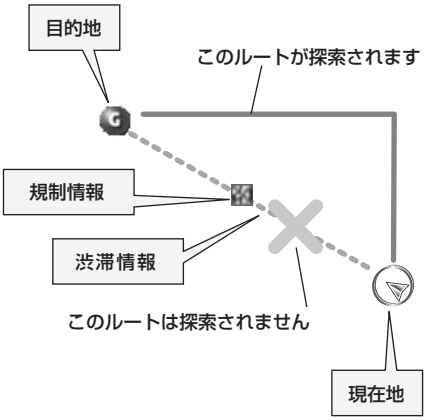
戻る にタッチすると割り込み情報画面を解除します。



1．2メディア/3レベル対応VICSユニットの操作

渋滞考慮探索

ビーコンからのVICS情報を受信するたびに、現在地から約10km以内の渋滞・規制情報が考慮されたルート探索をさせることができます。



ワンポイント

渋滞考慮探索は各種設定の渋滞統計データを考慮が **する** になっているとき、探索します。（163 ページ参照）

2. ETCシステムの操作

本機能は別売のナビゲーション対応のETC車載器を接続した場合に表示・操作できます。

ETC車載器を初めて使う

チェック

ETC車載器の取り扱い、ご利用の方法は、ETC車載器の取扱説明書をお読みください。

■車両情報などをETC車載器に登録する（セットアップ）

ETC車載器のご利用には、取り付けられる車両情報などをETC車載器に登録する「セットアップ」が必要になります。

また、車両を変更する場合には、新しい車両の情報などをETC車載器に登録する「再セットアップ」が必要となります。詳しくは、ETC車載器を購入された販売店へお問い合わせください。

■ETCカードを入手する

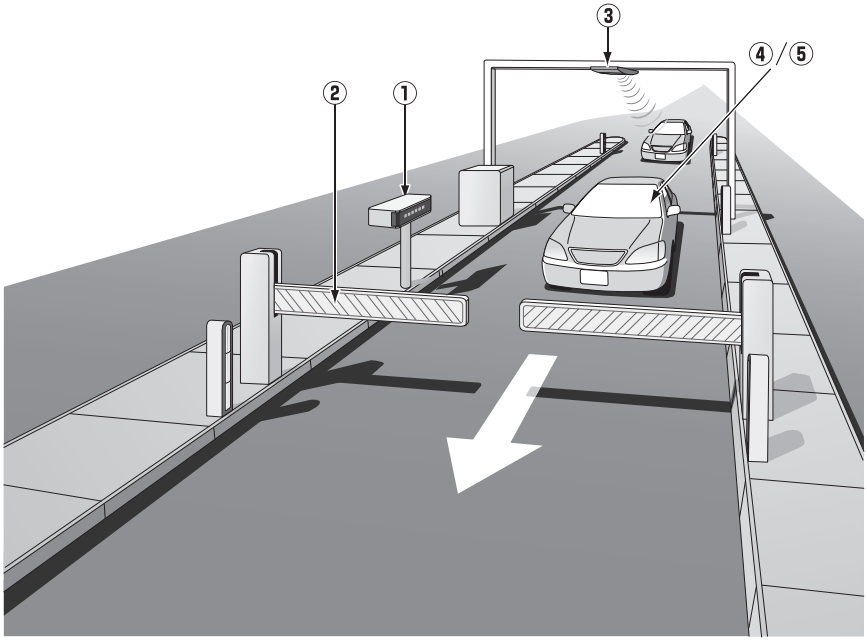
ETC車載器のご利用には、ETC車載器に挿入して使用するETCカードが必要となります。クレジット会社が発行するETCカードを利用する場合は、別途発行手続きに伴う審査・条件が必要となります。詳しくは、各ETCカード発行会社へお問い合わせください。

2. ETCシステムの操作

ETCとは

ETC（Electronic Toll Collection）システムは、有料道路の利用時に料金所、検札所の通過をスムーズに行うために、自動で料金を精算するシステムです。

路側無線装置とETC車載器との間で通信を行い、料金はお客様が登録した銀行口座から後日引き落とされます。



①	路側表示器	料金所のETCレーンに設置されています。進入車両に対し、通行の可否などのメッセージが表示されます。
②	発進制御装置（開閉バー）	料金精算を確実にするために、料金所のETCレーンに必要に応じて設置されています。通過車両の発進を制御するもので、踏み切りの遮断機のようなものです。通信が正常に行われると開きます。
③	路側無線装置	料金所のETCレーンに設置されています。料金精算のため、車両のETC車載器との通信を行うためのアンテナです。
④	ETC車載器	車両に装着されています。ETCカードに格納されている料金精算に必要なデータを路側無線装置と通信するための機器です。
⑤	ETCカード※	ETC車載器に挿入します。ICチップを搭載した、ETC車載器用カードのことです。ETCカードでは、このICチップに料金精算に必要なデータが保持されています。

※ ETCカードには有効期限があります。あらかじめETCカードの有効期限をご確認ください。

ETCメニュー画面

1 情報メニュー画面（258 ページ参照）で、**ETC** にタッチします。

● ETCメニュー画面になります。



① **ETCカードメッセージ※**

現在のETCユニットの状態が表示されます。

- 「ETCカード認証完了」…ETCがカードが挿入されたことを確認した状態です。
- 「ETCカード未挿入」…ETCカードが挿入されていません。
- 「認証中」…ETC カードを読み込んでいます。
- 「ETCカード異常」…ETCカードを読み込むことができません。
- 「システム異常」…ETC システムに何らかの異常が発生しています。（ETCアンテナはずれ検知含む）
- 「未セットアップ」…ETC がセットアップされていない状態
- 「セットアップ完了」…ETC　がセットアップ完了している状態

② **登録情報表示**

登録情報表示 にタッチすると、お客様の車のETC車載器に登録された情報が表示されます。

※ ETCカードの有効期限について
ETC車載器に有効期限切れのETCカードを挿入してもエラー表示などはされません。有効期限切れのETCカードでは、開閉バーが開きませんので、ETCレーンを通行できません。お手持ちのETCカードに記載された有効期限をあらかじめご確認ください。

ワンポイント

統一エラーコードについては**「ETC統一エラーコード一覧」**（536ページ）を参照してください。（エラーコードは、最後に発生したコードを保持表示しています。）

走行中の表示

重要

- ETCレーンに進入する場合は、発進制御装置（開閉バー）の手前で十分止まれる速度まで減速し、開閉バーが開いて安全であることを確認してから通過してください。万一、開閉バーが開かないときには衝突するおそれがあります。また、前走車がいる場合は、前走車が急停車しても十分止まることができる車間距離を確保してください。万一、前走車が急停車したときに追突するおそれがあります。
- 走行中は、交通事故防止のためETC車載器からETCカードの抜き差しをしないでください。
- 走行中にETC車載器からETCカードの抜き差しを行うとETCカード内のデータが破損する恐れがあります。

ワンポイント

- ETCレーン通過時にはETCレーン周辺に表示されている案内表示板や標識などにしたがって走行してください。
- ETC レーンを通行する場合は、路側表示器の表示にしたがって走行してください。路側表示器に停止の表示があった場合は車を停止し、係員の指示にしたがってください。
- ETC ユニットを用いたサービス（スマートICなど）があります。サービス提供者から案内される利用方法をご確認ください。

次ページに続く

2. ETCシステムの操作

●ETC カードは必ず、入口料金所で使用したETCカードを使用して出口料金所を通過してください。他のETCカードに差し替えると入口料金所情報がETCカードに保持されていないため、出口料金所を通過できなくなります。

●出口に ETC レーンが無い場合は、係員にETCカードを渡し精算処理を行ってください。

●ETC レーンを通過しても本機が無反応だった場合は、通信が正常に行われておりません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合にはお近くのインターホンにてお問い合わせください。

●ETCを利用するには、ETCカードをETC車載器に差し込んでおく必要があります。ETCカードが差し込まれていない状態ではETCを利用できません。

■ETCレーンの通過案内

ETCレーン（精算用）通過時

ETCによる料金徴収が行われた時に、「支払い料金は○○円です」と音声および画面表示で案内します。

ワンポイント

●走行中、ETCゲートを通過する手前で、ETCゲートの通行の可否を音声と画面表示で案内します。
※ センターからの情報がない場合は通行可の案内は行われません。

●予告アンテナおよび経路チェックアンテナを通過したときも料金所・検札所のETCレーンを通過した場合と同様の表示になります。

●予告アンテナを通過したときにエラーが表示された場合は、その先の料金所ではETCを利用できません。ETC混在レーンまたは一般レーンへ進入し、係員の指示にしたがってください。なお、予告アンテナが設置されていない料金所もあります。

●払い戻しアンテナを通過したときに払い戻しを受ける場合も、精算用のETCレーンを通過した場合と同様の表示になります。

●ETC の利用料金は路側表示器に表示される場合があります。

●ETC　の利用料金および利用履歴は、クレジットカード会社から発行される利用明細にてご確認ください。

●エラーコードについては**「ETC 統一エラーコード一覧」**（536ページ）を参照してください。

履歴の表示

重要

走行中は安全のため、運転者は利用履歴の確認を行わないでください。わき見や前方不注意により交通事故の原因になります。

チェック

利用履歴の確認は利用料金支払に使用したETCカードをETC車載器に差し込んでいないとできません。

1 ETCメニュー画面で、**履歴情報表示** にタッチします。

2 **▲前**、または **▼次** にタッチして、表示させる履歴を切り替えます。

● 履歴を切り替えたとき、**最新** にタッチすると、最も新しい履歴にもどります。

● **詳細** にタッチすると、履歴の内容を表示します。



ワンポイント

●ETC ゲート付近で履歴を表示させると、路側アンテナとの通信ができないことがあります。

●表示させることができる履歴は、最大 100 件までです。

登録情報の表示

1 ETCメニュー画面で、**登録情報表示** にタッチします。

- ETC車載器の機器情報が表示されます。
- エラーコードは、最後に発生したコードを保持表示しています。



ワンポイント

- ETC 登録情報画面のセットアップカード情報有効年月日は、現在使用されていないため表示されません。
- 統一エラーコードについては**「ETC 統一エラーコード一覧」**（536ページ）を参照してください。

ETCの設定

■ETCの各項目を設定する

1 ETCメニュー画面で、**設定** にタッチします。

2 ETCの項目の **する** 、または **しない** にタッチして設定します。

- ETC割込表示
  ETCを利用するときに通行の可否や利用料金を画面に表示して案内します。
  - ・ゲート通過案内
    ETCゲートの通行可、または通行不可の案内
  - ・予告レーン案内
    この先のETCゲートの通行可、または通行不可の案内
  - ・料金徴収案内
    料金徴収の案内
- ETC音声案内
  ETCを利用するときに、通行の可否や利用料金を音声の出力で案内します。
- ACCオン時警告表示
  エンジンスイッチをLOCKからACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETCの異常を画面に表示して警告します。
- ACCオン時警告音声案内
  エンジンスイッチをLOCKからACCの位置にしたとき、ETCカード認識時の異常やETCの異常をお知らせします。
- カード抜き忘れ警告
  エンジンスイッチをACCからLOCKの位置にしたとき、カードの抜き忘れをお知らせします。



3 **完了** にタッチします。

3. バックアイカメラの操作

別売のバックアイカメラを装着した場合、バックギアにシフトすると、ディスプレイに後方のカメラ映像を映すことができます。また、BEC308／BEC309を接続している場合、カメラ映像の視点を切り替えることができます。

⚠ 注 意

バックアイカメラの映像はバックミラーやサイドミラーで見るのと同じ左右反転させた映像です。また、車種により見え方が異なります。十分にご注意ください。

⚠ 重 要

高圧洗車機を使用する場合、カメラ、またはカメラの周囲に直接ノズルを向けることは避けてください。カメラが脱落する恐れがあります。

🕮ワンポイント

- ●バックアイカメラを過信しないでください。
- ●バックアイカメラは、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。
- ●雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。
- ●モニター画面だけを見ながら後退することは絶対にしないでください。必ずルームミラー、ドアミラーを併用し、後方および周囲の安全を十分確認してください。
- ●以下のような状況では使用しないでください。
  - ・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
  - ・坂道など平坦でない道路
  - ・バックドアが完全に閉まっていないとき
  - ・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
- ●ディスプレイが冷えているときに、映像が尾を引いたり、通常より暗くなり認識しにくくなる場合があります。必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。
- ●カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。
- ●カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取りつけ角度がずれてバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ●カメラ部は防水構造となっていますので、取りはずし・分解・改造をしないでください。バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ●カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷つき、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。
- ●カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。
- ●寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、バックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。
- ●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりバックアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。
- ●太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。
- ●写真は一例です。ディスプレイに写る範囲は車種によって異なります。
- ●バックギアにシフトした瞬間は、一端白画面になりますが、その後次第に安定します。
- ●太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。
- ●長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。

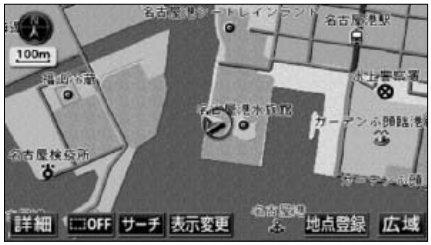
●50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。
●バックアイカメラのカメラは特殊なレンズを使用しているため、画面に映る映像の距離感覚は実際の距離とは異なります。

バックアイカメラの映像を映す

1 バックギアにシフトします。

● バックアイカメラの画面に切り替わります。

● バックギア以外にシフトするとナビゲーション画面にもどります。



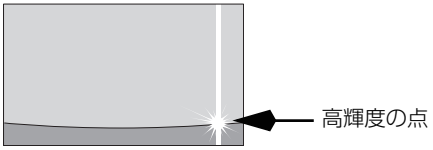


ワンポイント

●車や路面の状況により、映る範囲は異なることがあります。
●カメラに映る範囲には限度があり、バンパーの両端付近やバンパーの下にあるものは映りません。
●後方の映像は実際の色合いと異なる場合があります。
●画面の明るさ・コントラストを調整することができます。**「画面の調整・設定」**（66ページ参照）

●バックアイカメラ映像の表示中は、フロントアイカメラ映像を表示することができません。
●次のようなときは、画面が見づらくなることがありますが、異常ではありません。
・暗いところ（夜間など）。
・レンズ付近の温度が高い、または低いとき。
・カメラに水滴がついたときや、湿度が高いとき（雨天時など）。
・カメラ付近に異物（泥など）がついたとき。
・太陽やヘッドランプの光が直接カメラのレンズに当たったとき。
・高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映ると、CCDカメラ特有のスミヤ現象※が発生することがあります。

＜画面の状況＞



※ スミヤ現象：高輝度の点（車体に反射した太陽等）がカメラに映るとその点の上下（縦方向）に尾を引く現象。

ガイド線の設定・調整

⚠ 警告

●車を降りて目印をつけるときは、必ずエンジンを切ってください。
●ガイド線を調整するときは、安全な場所に停車してください。

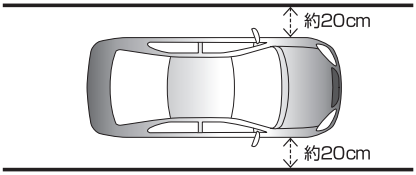
次ページに続く

3. バックアイカメラの操作

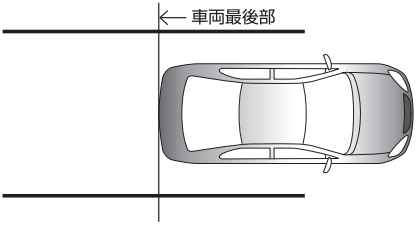
チェック

- ガイド線を表示する場合は、必ず車両に合わせた調整をしてください。
- BEC308／BEC309を接続している場合、ガイド線の設定は通常モード、または俯瞰（ふかん）モードのどちらかに合わせた設定になります。ガイド線の設定をしていないモードを表示するときは、ガイド線の表示を解除してください。（291 ページ参照）

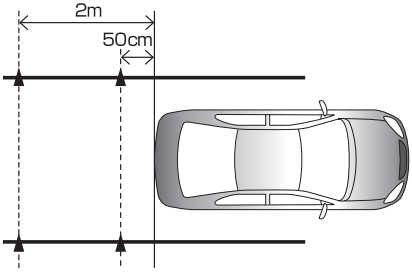
1 車両の幅＋両側約20cmの位置に、直線の目印をガムテープなどでつけます。



2 車両を約2.5m直進させ、車両最後部に直線の目印をつけます。



3 車両最後部から50cmおよび2m離れた左右4ヵ所をマーキングします。

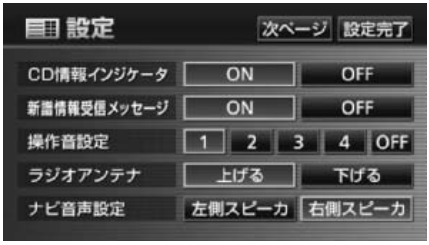


4 情報メニュー画面（258 ページ参照）で、**設定** にタッチします。

- **設定** が表示されていないときは、**次** にタッチします。



5 **次ページ** にタッチします。



6 バックカメラガイド線表示の **調整** にタッチします。



7 **ポイント切替** にタッチします。

- 選択する ■（ポイント）は、**ポイント切替** にタッチするごとに切り替わります。
- 選択した ■（ポイント）が緑色になります。

8 調整する ■（ポイント）にタッチします。



9 ↓、↑、←、→ にタッチし、マーキングした4点と合わせます。

● 矢印（↓、↑、←、→）を約1秒押すと、連続してポイントが移動します。

10 完了 にタッチします。

ワンポイント

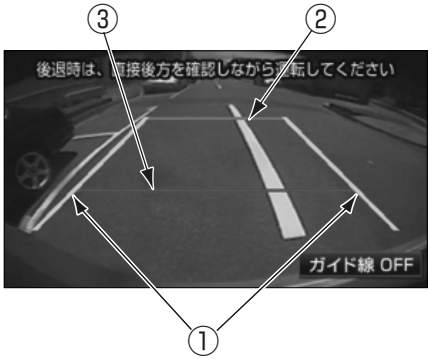
- 初期値 にタッチした後、はい にタッチすると初期設定にもどります。
- ポイント調整時、各ポイントの最大調整可能範囲にすると、矢印の色がトーンダウンし、タッチしても操作できません。

画面の見方について

カメラの位置や表示ガイド線の位置により、車と立体物の距離が異なります。

■ガイド線の見方

バックギアにシフトすると、バックアイカメラの映像に切り替わり、車幅や距離感覚を補うガイド線が表示されます。



① 黄色
車幅＋約20cmの目安を示します。

② 橙色
車両後端より約2mの位置を示します。

③ 赤色
車両後端より約50cmの位置を示します。

ガイド線表示の解除

1 ガイド線 OFF にタッチします。

● ガイド線の表示が解除されます。

● 再度、ガイド線を表示するときは、ガイド線 ON にタッチします。



3. バックアイカメラの操作

視点の切り替え

※ 別売の BEC308 ／ BEC309 を装着している場合のみ操作することができます。

ディスプレイに表示する映像を、上から見た俯瞰（ふかん）モードに切り替えることができます。

● 通常モード
車両後方を全体的に映す映像です。主に車両後方を全体的に確認したいときにご利用ください。

● 俯瞰（ふかん）モード
車両上方から真下方向を映す映像です。主に車両後方の段差、縁石、車両輪止めなどを確認したいときにご利用ください。



● 通常モード



● 俯瞰（ふかん）モード

■ バックアイカメラの初期設定をする

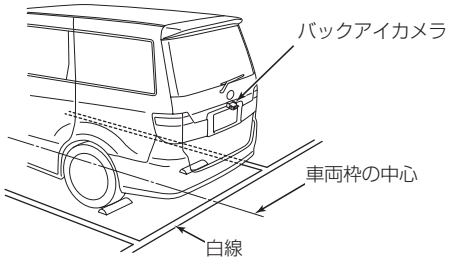
⚠ 注意

初期設定するときは、安全な場所に停車してください。

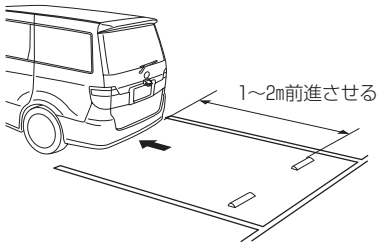
チェック

バックアイカメラの初期設定は必ず駐車車両枠（白線など）と車両輪止めのある駐車場で行ってください。

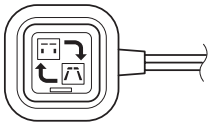
1 駐車車両枠（白線）の中央に車両を止めます。



2 車両を１～２ｍ前進させます。

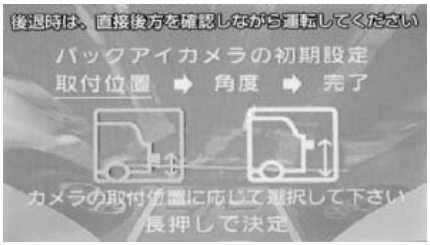


3 カメラ映像を表示させているときに、画像切り替えスイッチを５秒以上押します。



4 画像切り替えスイッチを押して、視点の高さを切り替えます。

● 画像切り替えスイッチを押すごとに、視点の高さが切り替わります。

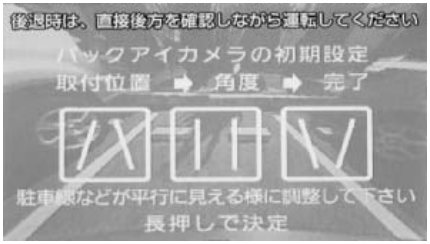


5 画像切り替えスイッチを3秒以上押します。

6 画像切り替えスイッチを押して、角度を切り替えます。

● 画像切り替えスイッチを押すごとに、角度が切り替わります。

● 駐車車両枠などが平行に見える画面をおすすめします。



7 画像切り替えスイッチを3秒以上押します。

● 画像切り替えスイッチを 3 秒以上押します。

ワンポイント

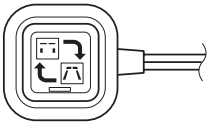
●設定中にバックギア以外にシフトすると、設定が保存されません。

●設定できる角度は6段階です。

■視点を切り替える

1 カメラ映像を表示させているときに、画像切り替えスイッチを押します。

● 画像切り替えスイッチを押すごとに、通常モードと俯瞰（ふかん）モードが切り替わります。



4. フロントアイカメラの操作

別売のフロントアイカメラを装着した場合、本機のディスプレイに自動、または手動で、車両の左右の映像を映すことができます。

● 見通しの悪い交差点やT字路等でも、車両先端部に取り付けられたカメラで状況を容易に確認でき、安全な運転をサポートします。

フロントアイカメラの映像について

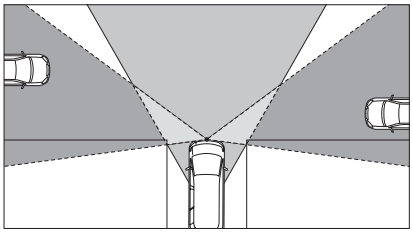
フロントアイカメラの映像は下記の方法で表示することができます。

● 低速走行時にスイッチ操作で表示する

● 高速走行から低速走行に減速した時に自動で表示する



● フロントアイカメラの映像



運転手からの視野範囲
フロントアイカメラによる視野範囲
（視野範囲は車両、取り付け位置によって異なります）

📖 ワンポイント

●高速走行時は安全のためフロントアイカメラ映像を表示できません。低速走行時にのみ表示することができます。

●フロントアイカメラを過信しないでください。

●本機（フロントアイカメラ）は、障害物等の確認のための補助手段として使用してください。

●雨滴などがカメラ部に付着すると、映りが悪くなる恐れがあります。

●必ず、前方および周囲の安全を直接確認しながら運転してください。

●フロントアイカメラで映し出す範囲は限られていますので、ディスプレイだけを見ながら移動することは絶対にしないでください。前方および周囲の安全を十分確認してください。

●以下のような状況では使用しないでください。
・凍結したり、すべりやすい路面、または雪道
・タイヤチェーン、応急タイヤを使用しているとき
・坂道など平坦でない道路

●外気温が低い場合、画面が暗くなったり、映像が薄れることがあります。特に動いているものの映像が歪む、または画面から見えなくなることがあるため、必ず周囲の安全を直接目で確認しながら運転してください。

●カメラのレンズの特性により、画面に映る人や障害物は、実際の位置や距離と異なります。

●カメラ部を強くたたいたり、物をぶつけるなど、強い衝撃を与えないでください。カメラの位置、取り付け角度がずれてフロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。

●カメラ本体は、レンズの結露防止のため防滴密閉構造となっています。カメラ本体のネジを緩めたり、分解することは絶対にしないでください。防滴性能の劣化をまねき故障等の原因となります。

●レンズ前面のカバーが汚れていると鮮明な画像が得られません。水滴、雪、泥などが付着したときは水を含ませた柔らかい布等で拭き取ってください。ゴミ等が付いた状態で、乾いた布等で強くこするとレンズカバーにキズが付くことがあります。

●カメラのカバーを強くこすったり、硬いブラシや研磨剤などでみがいたりすると、カバーが傷付き、映像に悪影響をおよぼすおそれがあります。

●カメラのカバーは樹脂ですので、有機溶剤・ボディワックス・油膜取り剤・ガラスコート剤などを付着させないでください。付着したときは、すぐにふき取ってください。

●寒いときにお湯をかけるなどして急激な温度変化をあたえると、フロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。

●カメラ部をぶつけたときは、カメラの故障などによりフロントアイカメラが正常に作動しなくなるおそれがあります。早めに販売店で点検を受けてください。

●太陽光を直接長時間撮像しないでください。焼き付け現象が残ることがあります。

●太陽光、ヘッドライトなど強い光が当たると上下に白帯が出ることがあります。

●フロントアイカメラの表面に飛び石などで傷がつくことがあります。

●フロントアイカメラは、受像素子に固体撮像素子（CCD素子）を使用したカメラの場合、カメラに強い光が入ると、光源を中心に縦に白い光の線が出ますが、故障ではありません。

●長時間使用した場合、温度上昇により白キズや縦線が出ますが、CCDの特性によるものです。

●50Hz電源地域の蛍光灯下では、画面のちらつき（フリッカー現象）が起こりますが故障ではありません。

●湿度の高いとき（雨の日など）は、カメラが曇り、映像が見づらくなることがあります。

●夜間または暗所ではフロントアイカメラの映像が見えない、または見にくいことがあります。

●カメラの映像は、広角レンズを使用しているため、実際の距離と感覚が異なります。

4. フロントアイカメラの操作

フロントアイカメラ映像の切り替え

低速走行時に手動、または自動で表示することができます。自動表示モードでは減速度や状況に応じて最適な速度でフロントアイカメラ映像を表示します。

フロントアイカメラ映像の表示、解除の条件は下記の通りです。

表示モード	表示/解除条件
自動表示モード	15km/h以上から13km/h以下になったとき映像を表示。 10km/h未満から10km/h以上になったとき映像を解除。
手動表示モード	[📷] を押すと映像を表示。再度押すと映像を解除（15km/h以上で強制解除）。

ワンポイント

バックアイカメラ映像の表示中は、フロントアイカメラ映像を表示することができません。

■手動で表示する

1 [📷] を押します。

● 押すたびに、ナビゲーションとフロントアイカメラの画面が切り替わります。

ワンポイント

高速走行時は安全のためフロントアイカメラ映像を表示できません。低速走行時にのみ表示することができます。

■自動で表示する

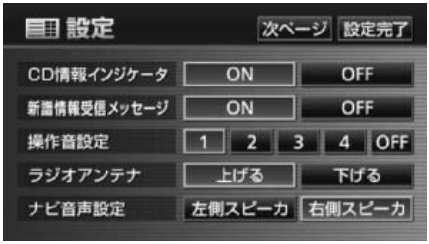
高速走行から低速走行に減速した時に自動で表示することができます。

見通しの悪い交差点や、駐車場の出入り口など、低速になると自動でカメラ映像を表示するので便利です。

1 情報メニュー画面（258 ページ参照）で、**設定** にタッチします。

● **設定** が表示されていないときは、**次** にタッチします。

2 **次ページ** にタッチします。



3 フロントカメラ自動表示の **する**、または **しない** にタッチします。



4 **設定完了** にタッチします。

ワンポイント

高速走行時は安全のためフロントアイカメラ映像を表示できません。低速走行時にのみ表示することができます。

5. Bluetoothユニットの操作

⚠ 注 意

- Bluetoothユニットの使用周波数帯では、電子レンジ等の産業・化学・医療用機器のほか、工場製造ライン等で使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。（上記3種の無線局を以下「他の無線局」と略します。）
  Bluetoothユニットを使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。万一Bluetoothユニットから「他の無線局」に対して有害な電波干渉事例が発生した場合は、速やかに場所を変更して電波干渉を回避してください。
- Bluetoothユニットの使用周波数は2.4GHz帯です。
- 変調方式としてFH-SS変調方式を採用しています。
- 想定与干渉距離は10m以下です。
- Bluetoothユニットは全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能です。
- Bluetoothユニットは、電波法および電気通信事業法の基準に適合しています。製品に貼り付けてあるシールはその証明です。シールをはがさないでください。
- Bluetoothユニットを分解・改造すると、法律により罰せられることがあります。

別売のBluetoothユニットを接続した場合は、本機で以下の機能を使用することができます。

- Bluetooth携帯電話※で検索した位置情報を本機に転送して地図を呼び出す（152 ページ参照）
- Bluetooth携帯電話※を直接操作しないで使用するハンズフリー機能（496 ページ参照）
- Bluetooth無線技術を搭載した機器（携帯電話など）に収録されている音楽の再生（481 ページ参照）

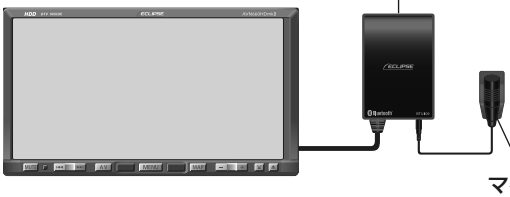
※ 動作確認済の携帯電話の機種については、ECLIPSEホームページを確認してください。

ワンポイント

Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Incが所有する商標であり、富士通テン株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。

Bluetoothユニットの構成

Bluetoothユニットは、次の部品で構成されています。



Bluetooth機器の登録（カンタンペアリング）

カンタンペアリング機能を使うと、周辺にあるBluetooth機器を本機側で探して、ハンズフリー機器およびBluetoothオーディオ機器として登録することができます。ハンズフリー機器およびBluetoothオーディオ機器は、本機に最大5台ずつ登録することができます。

チェック

Bluetooth機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。Bluetooth機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されていないときは、情報 にタッチします。

2 カンタンペアリング にタッチします。

- メッセージが表示され、Bluetooth機器の探索が始まります。
- 探索が完了すると、Bluetooth接続機器画面に、探索されたBluetooth機器が表示されます。
- キャンセル にタッチすると、機器の探索を中止します。



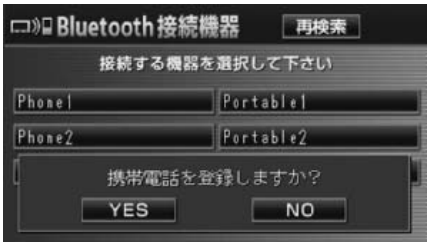
3 登録するBluetooth機器にタッチします。

- 選択したBluetooth機器に対して、携帯電話登録の確認メッセージが表示されます。



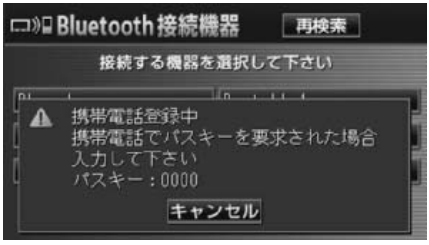
4 ハンズフリー機器として登録するときは、YES にタッチします。

- Bluetooth接続中画面が表示されます。
- Bluetooth機器本体には、パスキー入力画面が表示されます。
- NO にタッチすると、ハンズフリー機器としての登録は行いません。



5 画面に表示されているパスキーを、登録するBluetooth機器に入力します。

- 登録が完了すると、メッセージが表示されます。



次ページに続く

5. Bluetoothユニットの操作

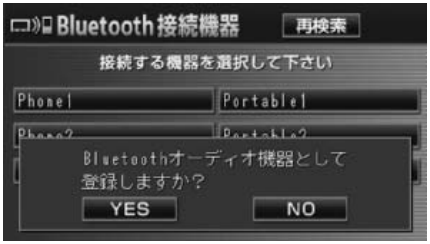
6 OK にタッチします。

● 選択した Bluetooth 機器に対して、Bluetooth オーディオ機器登録の確認メッセージが表示されます。

7 Bluetoothオーディオ機器として登録するときは、YES にタッチします。

● Bluetooth接続中画面が表示されます。

● Bluetooth 機器により、機器本体にパスキー入力画面が表示されます。



8 Bluetooth機器本体にパスキー入力画面が表示された場合、本機に表示されているパスキーを、登録するBluetooth機器に入力します。

● 登録が完了するとメッセージが表示されます。

9 OK にタッチします。

● 情報メニュー画面にもどります。

ワンポイント

●Bluetooth 機器によっては、カンタンペアリング機能で登録できないことがあります。オーディオ操作画面（482 ページ参照）、または携帯電話画面（499 ページ参照）から登録してください。

●パスキーとは、Bluetooth 機器を本機に登録するための番号です。4～8桁の任意の数字に変更することができます。**「パスキーを変更する」**（486ページ）、**「パスキーを変更する」**（521ページ参照）

●Bluetooth 機器を登録すると、最後に登録した機器が使用する機器として選択されます。複数登録している場合は、使用する機器を選択することができます。**「Bluetooth機器を切り替える」**（486ページ）、**「使用する携帯電話を選択する」**（513ページ参照）

●Bluetooth機器を5台登録していると、それ以上登録することができません。Bluetooth機器を削除してから登録してください。**「Bluetooth 機器の登録を削除する」**（488ページ参照）、**「携帯電話の登録を削除する」**（514ページ）

●携帯電話の設定によっては、Bluetooth 接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。

Bluetooth接続中の表示について

■受信レベル表示

携帯電話の電波受信レベルの目安を表示します。

- “圏外”の表示が出ているときは、電波の届かない場所にいます。この場合は、携帯電話本体も使用できません。“圏外”の表示が消えるところまで移動してください。
- 受信レベルは携帯電話の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、受信レベルの表示ができないことがあります。



表示	圏外				
レベル	圏外	弱	←→		強

5. Bluetoothユニットの操作

■ 電池残量表示

Bluetooth機器の電池残量の目安を表示します。

● 電池残量表示はBluetooth機器の表示と一致しないことがあります。また、機種によっては、電池残量の表示ができないことがあります。

電池残量表示



●ハンズフリー機能使用時



●Bluetooth AUDIO使用時

表示				
残量	無	少 ←→		多

ワンポイント

●Bluetooth接続により、Bluetooth機器の電池が早く消耗します。

●Bluetooth機器を充電中は、電池残量が最大で表示されます。

●Bluetooth機器をBluetooth接続しても充電されません。

■ Bluetooth接続状態表示

Bluetooth機器のBluetooth接続状態を表示します。

Bluetooth接続状態表示



●ハンズフリー機能使用時



●Bluetooth AUDIO使用時

● 白色表示 BT
Bluetooth接続の状態が良好であることを示しています。この状態でBluetooth機器をご使用ください。

● 灰色表示 BT
Bluetooth接続状態が悪化しているため、通話時や音楽再生時に音質が劣化することがあります。表示が白色になる位置まで、Bluetooth機器を移動してご使用ください。

● 切断表示 BT
本機とBluetooth機器がBluetooth接続されていないか、接続範囲外に離れています。本機とBluetooth機器をBluetooth接続するか、表示が消える距離までBluetoothユニットとBluetooth機器を近づけてください。

ワンポイント

●次のような場所や状態でBluetooth機器を使用すると、Bluetooth接続状態表示が灰色になることや、Bluetooth接続ができないことがあります。Bluetooth機器を使用するときは、白色の表示が出るように、Bluetooth機器の場所を移動させてください。
- Bluetooth機器がBluetoothユニットから隠れる場所にあるとき
（シートのうしろや下にあるとき、またはグローブボックス内やコンソールボックス内にあるときなど）
- Bluetooth機器が金属製のものに接していたり、覆われているとき

●携帯電話を省電力モードに設定していると、自動的にBluetooth接続が切断されてしまうことがあります。この場合は、携帯電話の省電力モードを解除してください。

●Bluetooth 機器と他の無線機器を同時に使用すると、それぞれの通信に悪影響をおよぼすことがあります。

お車を手放すとき

Bluetooth AUDIO やハンズフリー機能を使用すると、多数の個人情報が登録されます。
お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（76 ページ参照）
なお、個人情報の初期化を行うと、二度ともとの状態にもどることはできません。間違えて初期化してしまわないよう、ご注意ください。

1. 補正が必要なとき

次のようなときは補正を行うことが必要です。

- タイヤを交換したとき…自動補正を行ってください。（距離の補正）

また、次のようなときも補正を行うことができます。

- 実際の現在地と異なる場所に自車マーク が表示されている（自車マーク がずれている）とき…自車マーク の位置と向いている方向を修正することができます。（現在地の修正）
- 走行中、ナビゲーションの自車マーク の進み方と、実際の車の進み方が違っているとき…自車マーク の進み方を修正することができます。（距離の補正）

  ただし、地図の自車マーク がずれても、しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）

  GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。

現在地の修正

チェック

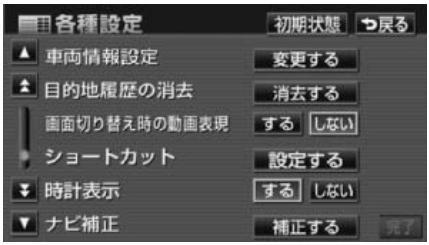
800mスケール図以下の詳細な地図で補正することができます。

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

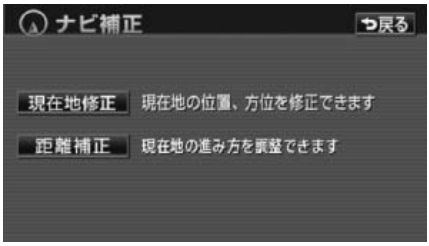
2 **その他** にタッチします。



3 ナビ補正の **補正する** にタッチします。



4 **現在地修正** にタッチします。



5 ⇧ にタッチして、実際の現在地に地図を動かします。



6 **セット** にタッチします。

7 方向を設定します。

● 方向を反時計まわりに動かすときは ↺ 、時計まわりに動かすときは ↻ にタッチします。



8 **セット** にタッチします。

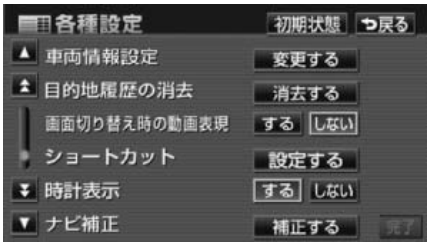
距離の補正

1 ナビメニュー画面で、**各種設定** にタッチします。

2 **その他** にタッチします。

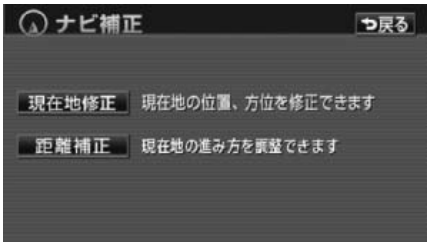


3 ナビ補正の **補正する** にタッチします。



4 **距離補正** にタッチします。

● 自動補正、または手動補正を行います。

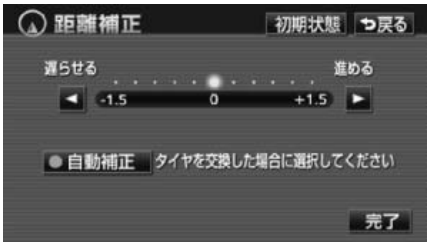


1. 補正が必要なとき

■自動補正するとき

1 自動補正 にタッチします。

- 自動補正中は距離補正を操作することはできません。
- GPS 情報を利用しながら、しばらく走行すると、自動的に補正が終了し、作動表示灯がもとにもどります。

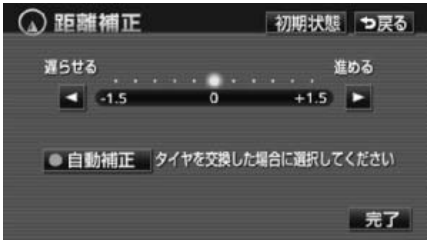


ワンポイント

- 本機は、GPSと車速信号により、自動で距離の補正（自動補正）をしていますが、自動補正を上回る急激な変化（タイヤを新品に交換したり、本機を別のお車に取り付けたときなど）には、距離の補正が遅れることがあります。
  この場合は、GPS電波の受信状態が良好な道路を約30km走行してください。
- 補正できないときは、販売店で点検を受けてください。
- 自動補正中は自車位置がずれることがあります。
- 初期設定は、自動補正モードになっており、走行することにより自動で補正されます。
- 自動補正が終了しても距離補正の学習機能を持っているため、自車マークの進み方が走行状態により、変化することがあります。

■手動補正するとき

1 自車マークの進み方が実際の車の進み方より遅く進むときは ▶（進める）、早く進むときは ◀（遅らせる）にタッチします。



2 完了 にタッチします。

ワンポイント

補正できないときは、販売店で点検を受けてください。

2. ナビゲーションの設定を記憶したいとき

各種設定の設定状態を3パターンまで記憶させておくことができます。

バッテリーの交換や地図データの更新などをして各種設定が初期状態に戻った場合でも、記憶されている中から、ご希望の各種ナビ設定を呼び出すことにより、その設定状態でナビゲーションを使用することができます。

記憶することのできる設定項目

項目	ページ
地図向きの設定	104
地図表示モードの設定	106、113
地図表示縮尺の設定	99
音量設定	91
メニュー画面の各種設定項目の設定※	83
ショートカットスイッチ表示の設定	97
走行軌跡	103
メンテナンス自動通知の設定	266
VICS地図表示の設定	244
VICS道路表示内容の設定	247
VICS割り込み設定	280
ETCの設定	287

※ 車両情報設定は、記憶することができません。

ナビゲーション設定の記憶

1 記憶したい状態に設定します。

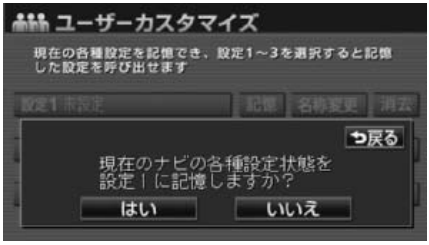
2 ナビメニュー画面で、**ユーザーカスタマイズ** にタッチします。

3 設定1～3の右側にある **記憶** にタッチします。



4 **はい** にタッチします。

● すでに記憶されている設定にタッチしたときは、**はい** にタッチすると上書きします。



5 新規で記憶するときは、次に表示された画面で、名称を入力します。

● 入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**（227ページ）を参照してください。



次ページに続く

2. ナビゲーションの設定を記憶したいとき

6 完了 にタッチします。

記憶の呼び出し

1 ナビメニュー画面で、
ユーザーカスタマイズ にタッチします。

2 設定1～3のいずれかにタッチします。

● タッチしたタッチスイッチに記憶されている各種ナビ設定の状態に設定を変更します。



名称の変更

1 ナビメニュー画面で、
ユーザーカスタマイズ にタッチします。

2 設定1～3の右側にある 名称変更 にタッチします。



3 修正、入力します。

● 修正、入力方法は、**「メモリ地点の名称を入力する」**（227ページ）を参照してください。



4 完了 にタッチします。

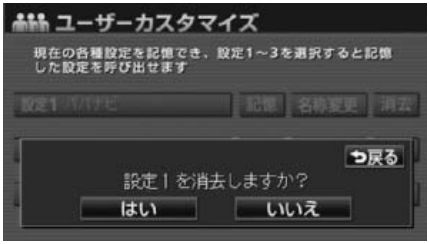
ナビゲーション設定の記憶の消去

1 ナビメニュー画面で、
ユーザーカスタマイズ にタッチします。

2 設定1～3の右側にある 消去 にタッチします。



3 **はい** にタッチします。


ユーザーカスタマイズ
現在の各種設定を記憶でき、設定1～3を選択すると記憶した設定を呼び出せます
設定1
記憶
名称変更
消去
戻る
設定1を消去しますか?
はい
いいえ

3. 地図データの情報

地図データの情報表示

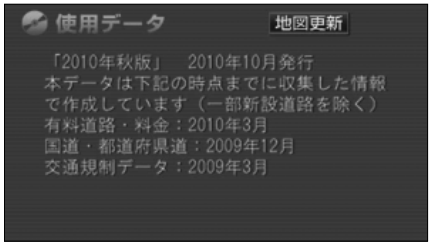
本機に収納されている地図データなどの情報を見ることができます。

下の画面は表示例であり、地図データの作成時期・種類によって表示内容が異なります。

1 ナビメニュー画面で、**使用データ** にタッチします。

● **使用データ** が表示されていないときは、**次** にタッチします。





ワンポイント

地図更新 は地図データ更新時に使用します。地図データの更新については、販売店にご相談ください。

4. 車速情報の表示

車両の車速パルス（スピード信号）の入力を確認することができます。

車速情報の表示

1 ナビメニュー画面で、**車速情報** にタッチします。

● 車速情報画面で走行すると車速パルスが “なし”から“あり”に表示が変わります。



5. 精度と誤差

測位精度について

GPS衛星は米国国防総省によって管理されている非常に精度の高いものですが、建物などの反射によるマルチパスがあると誤差が生じることがあります。

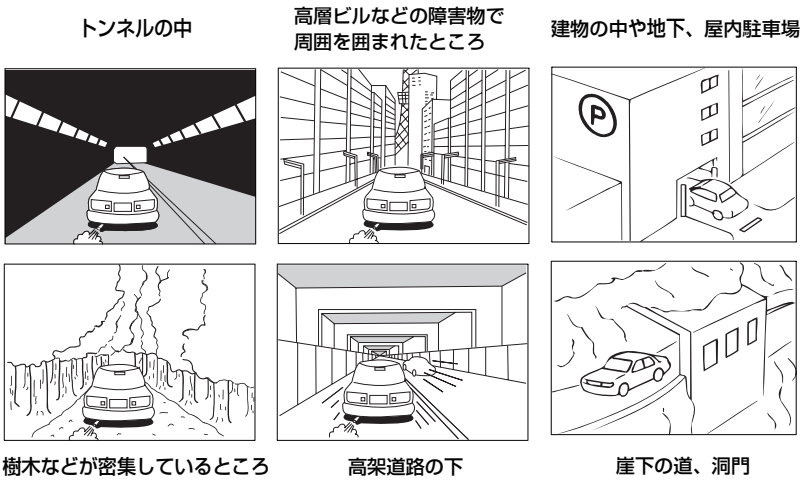
GPS衛星の電波の性質と受信状態について

GPSアンテナとGPS衛星の間に障害物があると、衛星からの電波を受信できなくなります。また、測位するには3個以上の電波を同時に受信する必要がありますので、下記のような場所ではGPSによる測位ができなくなることがあります。

さらに、GPSアンテナの上または周囲に障害物（積載物など）がある場合も、衛星からの電波を受信できなくなることがあります。

チェック

- GPS衛星は地球を周回していますので、同じ場所でもその時の位置によって電波の受信状態が変化します。また、水平線に近い衛星の電波は障害物の影響を受けやすくなります。
- GPS衛星は米国国防総省によって管理されており、故意に測位精度を落とすことがあります。



現在地表示の誤差について

本機は現在地を測位するために、GPS衛星電波、車速センサーおよび振動ジャイロセンサーからの情報を使用していますが、それぞれには誤差が含まれているため、表示している現在地が実際の位置と一致しないことがあります。

チェック

実際の位置と一致しない場合は、表示している現在地を修正することができます。安全な場所に停車してから行ってください。

タイヤによる誤差について

本機では自車の移動した距離をスピードセンサーで測定（タイヤの回転数に比例）しているので、次の場合には誤差が大きくなって現在地を正しく測定できなくなることがあります。

- 規格外のタイヤを使用したとき。
- 雪道や砂利道などのスリップしやすい道を走行しているとき。
- タイヤの空気圧が適正圧でないとき。
- 新品のタイヤを装着したとき。(距離補正係数の設定を変えて調整できます。)

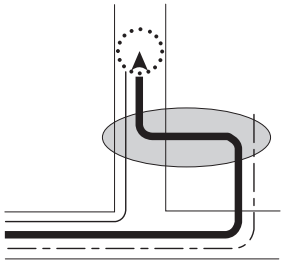
マップマッチングによる自車位置検出の補正について

マップマッチングとは、GPSなどで得られた現在地の情報と今までに走行してきた道路を比較して、最も適切な道路上に現在地を補正させるシステムです。

本機では、自立航法と衛星航法を組み合わせて得られた現在地の情報を、道路形状に合わせて補正させています。

しかし、現在地の誤差はどうしても避けられない為、マップマッチングで補正しても現在地が実際の位置からずれる場合があります。

また、地図データと実際の道路形状が異なる道路を走行すると自車マークがずれる場合があります。



実際の走行軌跡

各センサーにより得られた走行軌跡

画面上の表示、マップマッチングにより補正

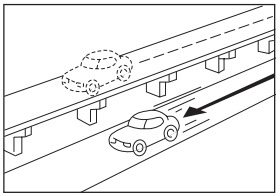
ワンポイント

本機の電源を入れた直後は、動作が安定していないため、お車を動かすと、自車マークが実際と異なる動きをする場合があります。しばらく走行すると、動作が安定するため、通常の動きに戻ります。

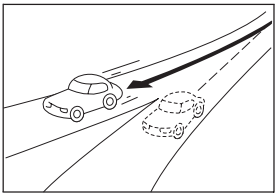
5. 精度と誤差

現在地表示、ルート案内の精度について

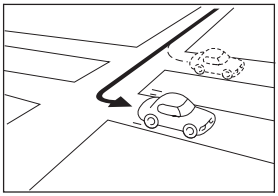
次にあげるように、本機の故障ではありませんが、道路条件や走行状態によっては、正確な現在地表示やルート案内が行われない場合があります。



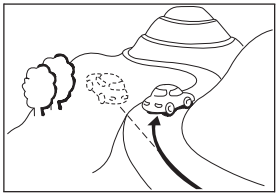
並走している道路に現在地が表示される。



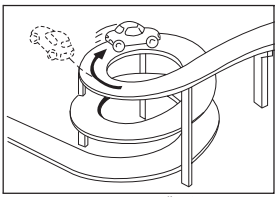
角度の小さなY字路を曲がったとき、他方の道路に現在地が表示される。



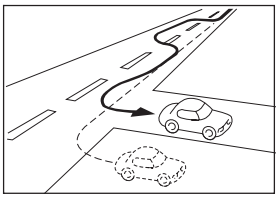
右左折のとき、手前または先の道路に現在地が表示される。



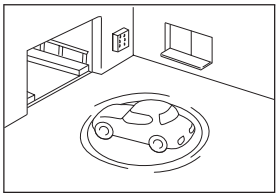
急勾配の道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



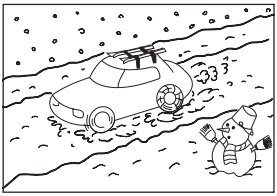
同一方向のカーブが連続する道路を走行したとき、現在地がずれて表示される。



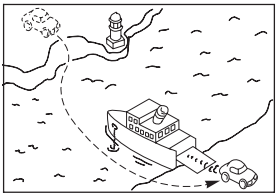
車線変更など蛇行運転をしたとき、現在地がずれて表示される。



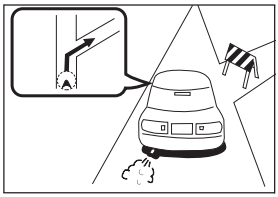
駐車場のターンテーブルなどで、ACC OFFの状態で旋回したとき、現在方位がずれて表示される。



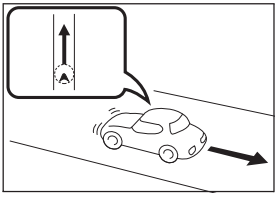
雪道などの滑りやすい路面を走行しているときや、タイヤチェーンなどを装着して走行しているとき、現在地がずれて表示される。



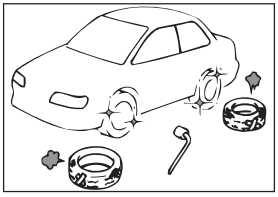
フェリーなど、自車走行以外で移動したとき、GPSによる測位ができるまで移動前の場所に現在地が表示される。



実際には通行できない道路(進入禁止など)を案内する。



後退時に現在地がずれて表示される。

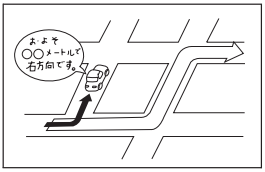


タイヤを交換した場合、自車マークがずれて表示される。

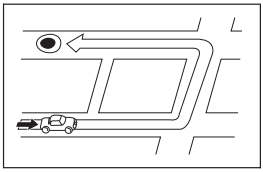
道路、地名データについて

道路や地名は、地図データ作成後に変更される場合がありますので、実態と合わない場合があります。

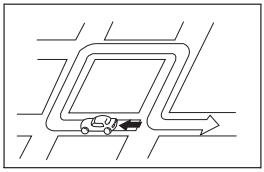
ルート案内について



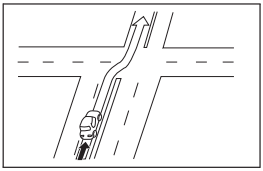
案内ルートをはずれて手前の交差点などで曲がったときなど音声案内が誤ってでる場合があります。



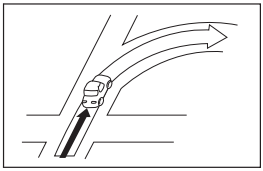
ルート探索時に、ルートが遠回りになる場合があります。



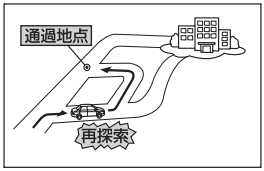
Uターンするルートを案内する場合があります。



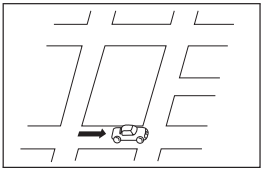
直線道路を走行中に、直進の案内が出る場合があります。(交差点の形状がわかりにくい場合など)



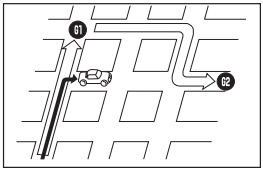
交差点で曲がるのに案内のでない場合があります。



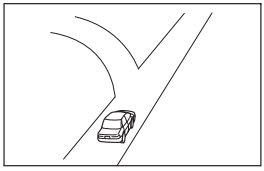
通過地点を通らずに目的地に向かうとき、再探索すると通過地点へもどるルートが出る場合があります。



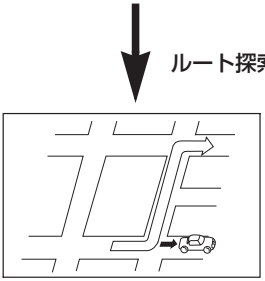
ルート探索時のルート表示が、次の右左折までに間に合わない場合があります。

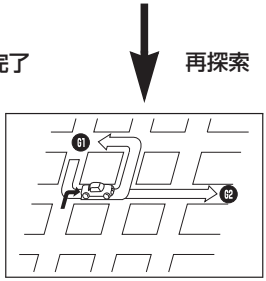


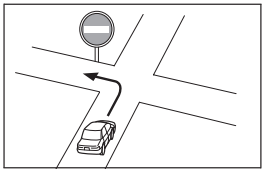
複数目的地の場合、次の目的地を通らずに、再探索するともどるルートになります。



方面の案内で、いくつもの地名を表示する場合があります。







実際の交通規則にしたがって運転してください。

次ページに続く

5. 精度と誤差

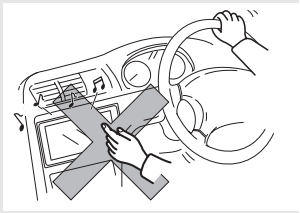
- 高速走行時の再探索時間が長い場合があります。
- 自車マークを手動で修正したときに、正しい位置に修正しない状態で走行すると、その後正しく位置を表示しません。
- 再探索しても、ルートが変わらない場合があります。
- 離島や周囲に案内可能な道路がないところが現在地・目的地・通過道路として設定されている場合に、ルートが探索されないことがあります。
- 現在地と目的地が近い場合にルートが表示されない場合があります。
- 有料優先を選択しても必ず有料道路を通るわけではありません。
  同様に優先しない条件でも有料道路を使うルートが表示されることがあります。
  （「有料道路を優先する、しない」とは、有料道路と一般道路のいずれの道を選ぶことも可能な場合、どちらを優先するかを設定するものです）

オーディオ・ビジュアル

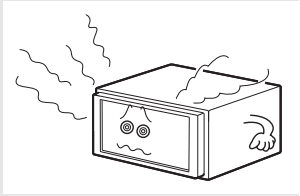
1. ご使用になる前に

⚠ 注 意

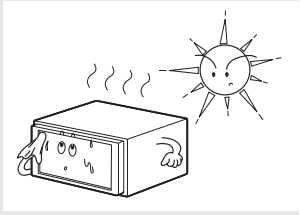
●走行中のオーディオ操作は安全運転に支障がないように十分注意して行ってください。また、車外の音が十分聞こえる音量でお楽しみください。
交通事故の原因となります。



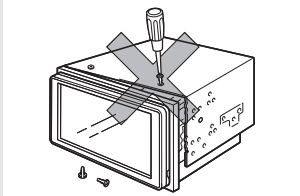
●故障したままの使用は絶対しないでください。
煙、変な音、変なにおいがした場合、すぐに電源をOFFにしてください。



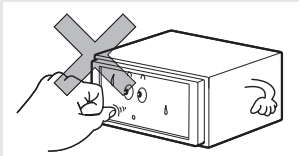
●車内温度には注意してください。
夏期は車内温度が高くなりますので、車内の温度を下げてからお使いください。
故障の原因となります。



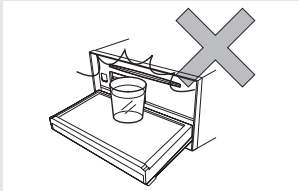
●分解、改造はしないでください。
本機内部は、精密な構造になっていますので、万一不具合が生じた場合にはお買い上げの販売店にご相談ください。



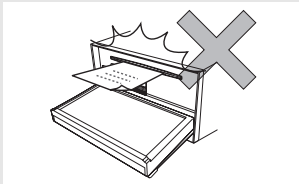
●モニターに強い力を加えたりしないでください。
故障の原因となります。



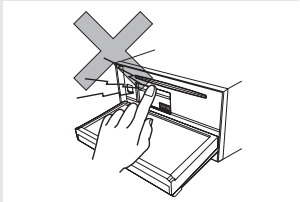
●モニターの上にコップや缶など異物を置かないでください。
また、モニターを倒したままにしないでください。
故障の原因となります。



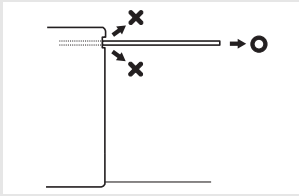
●差し込み口にはディスク以外のものを絶対に入れないでください。
故障の原因となります。



●モニター収納時指などを差し込まないよう注意してください。
ケガをしたり、故障の原因となります。



●本機からディスクを取り出すときは水平方向に引き出してください。
上側に強く引き出さないでください。また、下側にも強く押しながら引き出さないでください。
ディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。



ディスクについて

⚠ 重要

本機は8cm CDおよび8cm DVDを再生することができます。故障の原因となるため、アダプタ等は使用せず、そのまま差し込んでください。

ワンポイント

●寒いときや雨降りのときは、車内のガラスが曇るように、本機内部にも露（水滴）が生ずることがあります。（結露現象）この場合、音がとんだり、再生が停止したりしますので、しばらくの間、換気または除湿してからご使用ください。

●プレーヤー内部を保護するため、異常が生じたときは自動的にプレーヤーの機能が止まります。画面に出たメッセージにしたがって操作しても動かないときは、故障の恐れがありますのでお買い上げの販売店にご相談ください。

●悪路走行などで激しく振動した場合、音とびをすることがあります。

次ページに続く

1. ご使用になる前に

■ 使用できるディスクについて

- 音楽用CD・映像用DVDは下記のマークのついたディスクが使用できます。また、DVDビデオフォーマットに準じて記録されたDVD±R/RWディスクや、DVDビデオレコーディング（VR）フォーマットに準じて記録されたCPRM対応のDVD-R/RWディスクも再生することができます。



- DualDisc には対応していません。機器の故障の原因、およびディスクの出し入れの際にディスクに傷がつく原因になることがあるため、使用しないでください。
- Dolby Digitalに対応しており下記のマークのついたディスクが使用できます。



ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー及びダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。

- CD-R（CD-Recordable）、CD-RW（CD-ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、キズ、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。また、ファイナライズ処理されていないCD-R/RW（MP3/WMAは除く）やUDFフォーマットで書き込みされたCD-R/RWは再生できません。
- DVD±R/RW（DVD±Recordable/ReWritable）は、記録状態やディスクの特性、傷、汚れ、長時間の車室内環境における劣化により再生できない場合があります。またファイナライズ処理されていないDVD±R/RWは再生できません。パソコンで記録したディスクは、アプリケーションの設定や環境により再生できない場合があります。
- CD-TEXT機能は市販のCD-TEXT対応CDのみ対応しています。CD-RやCD-RWでは文字が正常に表示されない場合があります。
- 記録部分に透明または半透明部分があるCD、C-thru Discは、正常に出し入れや再生ができなくなるおそれがありますので使用しないでください。
- スーパーオーディオCD（SACD）はハイブリッドディスクのCD層のみ再生できます。



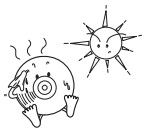
- CCCD（Copy Control CD）は正式なCD規格に準拠していないため再生できない場合があります。



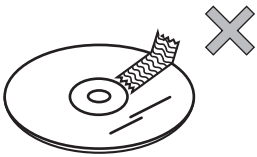
- CD-EXTRAは音楽CDとして再生することができます。
- Mixed Mode CDのデータトラックの音声は再生されません。音楽トラックのみの再生となります。また、DTSトラックが混在したCDは正常に再生されません。
- Video-CDは再生できません。

■ ディスクの取扱いについて

● ディスクは直射日光をさけ、必ずケースにいれて保管してください。ディスクがそり、使用できなくなるおそれがあります。



● 記録面はもちろん、レーベル面にも紙テープを貼らないでください。故障の原因となります。



● ひびがはいったディスクやそりが大きいディスクは、使用しないでください。故障の原因となります。



● 記録面に触れないように持ってください。（虹色に光っている面）ディスクが汚れ、音とびをすることがあります。

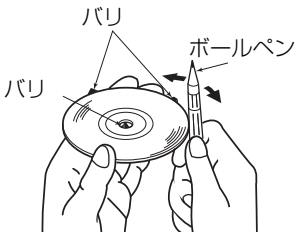


● 汚れたディスクを使用するとディスクに傷がつき、音とびをするおそれがあります。ディスクが汚れたときは、市販のディスク・クリーナでディスクの内側中心から外側方向へ軽く拭きとってください。



■ 新しいディスクについて

● 新しいディスクをご使用になると、ディスクのセンターホールや外周部に“バリ”があることがあります。“バリ”がついているときは、ボールペンなどで取り除いてからご使用ください。“バリ”がついているディスクを使用すると、ディスクを正しく認識できないなど、正常に動作しない場合があります。

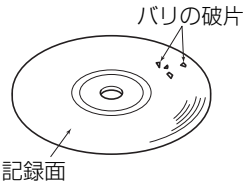


次ページに続く

1. ご使用になる前に

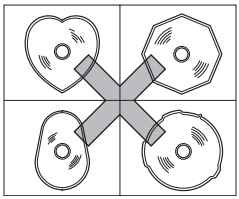
■ レンタルディスクについて

● ディスクにセロハンテープやレンタルディスクのラベルなどの糊がはみ出したり、剥がした痕があるものはお使いにならないでください。そのままプレーヤーにかけると、ディスクが取り出せなくなったり、故障する原因となることがあります。



■ 特殊形状のディスクについて

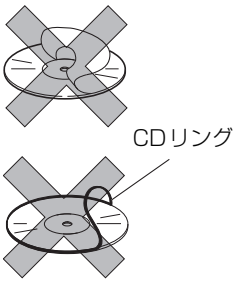
● ハート型や八角形など特殊形状のディスクは、演奏できません。機器の故障の原因となりますので、ご使用にならないでください。



■ ディスクのアクセサリーについて

● 音質向上やディスク保護用として市販されているアクセサリー（スタビライザー、保護シールなど）、CDラベルなどは使用しないでください。ディスクの厚さや外形寸法が変わるため、故障の原因となる場合があります。

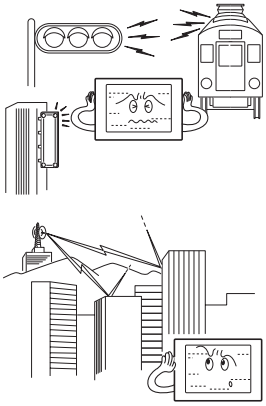
● 音質向上や防振効果を高めるCDの保護用として市販されているアクセサリー（CDリング・プロテクター）は使用しないでください。内部ではずれて再生できなかったり取り出せなくなるため、故障の原因となる場合があります。



地上デジタルTV放送について

ワンポイント

- バッテリー交換やヒューズ交換などでバッテリーとの接続が断たれたときは、セットしたチャンネルの記憶は全て消去されます。
- 車載器での地上デジタルTV放送の受信は受信場所によって、電波の強さがかわったり、障害物などの影響により最良な受信状態を維持することが困難な場合もあります。この関係の主な例を以下に説明します。
  - 電車の架線、高圧線、信号機、ネオンサインなどの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - 電波の特性上、建物や山などが障害物となって受信状態が悪くなることがあります。
  - ラジオ放送やアマチュア無線の送信用アンテナの近くで受信すると、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。
  - トンネル内にはいると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 放送局から遠ざかると電波が微弱になり受信状態が悪くなります。
  - 一部の地域において、地上アナログTV、ラジオなどの送信アンテナ塔付近では、受信している周波数以外の電波の影響により、画像が静止したり音声がとぎれる場合があります。



1. ソースの切り替え方

ソースを切り替える

チェック

ハンズフリー通話中およびUSBメモリに収録されている音楽データの転送中は、ソースを切り替えることができません。

■パネルスイッチから切り替える

1 MENU を押します。

- オーディオメニュー画面が表示されないときは、**オーディオ** にタッチします。
- MENU を押すごとに、下図の順にメニュー画面を切り替えることができます。

ナビメニュー画面→オーディオメニュー画面
↑ 情報メニュー画面 ←



● オーディオメニュー画面

2 オーディオメニュー画面のオーディオソース切り替えスイッチにタッチします。

- タッチしたソースがスクリーン表示（オンスクリーン表示）されます。
- 切り替えたいソースが表示されないときは、**次** にタッチします。

オーディオソース切り替えスイッチ



● オンスクリーン画面

■タッチスイッチから切り替える

1 オーディオ操作画面などで、図の位置のSOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチします。

● 操作画面の表示については、**「操作画面の表示」**（325ページ参照）を参照してください。



2 SOURCE MENUのタッチスイッチにタッチします。

● タッチしたソースの操作画面が表示されます。

● 切り替えたいソースが表示されないときは、次 にタッチします。

● ▲ にタッチすると、もとの画面にもどります。



■操作画面の表示

1 AV を押します。



2. 各ソースの操作画面

各ソースの操作画面は、次のように表示されます。

● DTV操作画面



● CDプレーヤー操作画面



● MP3/WMAプレーヤー操作画面



● DVDプレーヤー操作画面



● MUSIC JUKE操作画面



● USB AUDIO操作画面（別売）



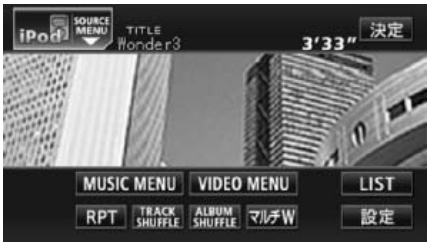
● MUSIC JUKE plus操作画面



● iPod（Music）操作画面（別売）



● iPod（Video）操作画面（別売）



● Bluetooth AUDIO操作画面（別売）



● AM操作画面



● FM操作画面



● AUX操作画面



● VTR操作画面

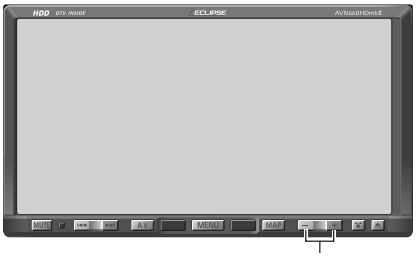


3. 音の調整

主音量の調整

1 VOLスイッチを押します。

- ＋（右側）：音量UP（大きくなる）
  －（左側）：音量DOWN（小さくなる）
- MUTE を押すと、音を一時的に消すことができます。もう一度押す、または ＋ を押すと解除されます。
- 音が消えている間は、音量表示が点滅します。



VOLスイッチ

ワンポイント

- 安全運転に支障のないように適度な音量でお聞きください。
- 調整レベルは0～80です。
- ソースを切り替えたとき、音量に違いが生じることがあります。音量は、お使いになるソースに合わせて調整してください。
- ソースを DVD プレーヤーや AUX、Bluetooth AUDIO※に切り替えたときに音量を調整すると、各ソースの音量レベルとして記憶させることができます。調整した音量レベルは、他のソースでは反映されません。

※ 別売の Bluetooth ユニットが接続されているとき。

4. 音質の調整

音場の設定やイコライザ、音量バランスなどを調整することにより、最適な音響空間を創り出すことができます。

音質調整画面の表示

音質の調整は各オーディオの操作画面から行います。

タッチスイッチ・項目	機　能	ページ
SFC	お聞きになる音楽のジャンルやソースに合わせて音場を調整することができます。	330
LOUDNESS	小音量時の低・高音を強調することができます。	330
HARMONIZER	圧縮された音楽データをできるだけ原音に戻して再生する音質補正レベルを設定することができます。	331
EQ	あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整したり、お好みのイコライザカーブを作成することができます。	332
POS	乗車人数や乗車位置、お車のボデータイプ、ツィーターの有無に合わせて音像定位を切り替えることができます。また、前後、左右の音量バランスを調整することができます。	335
WOOFER	サブウーファ接続時の出力方式・位相の設定や、出力レベル・X-OVER（クロスオーバ）を調整することができます。	337

1 各オーディオ操作画面などで、SOUND にタッチします。

● DTV操作画面では エリア 、VTR操作画面、iPod（映像再生時）操作画面では 設定 、DVD操作画面では NEXT 、設定 の順にタッチすると、SOUND が表示されます。



4. 音質の調整

SFC（音場）の設定

再生する音楽に残響音を加え、さまざまな環境の臨場感を擬似的に再現できます。

チェック

SFC（音場）レベルを調整中に、別のSFC（音場）モードに切り替えた場合、設定しても調整レベルは記憶されません。

1 音質調整画面で SFC にタッチします。



2 タッチスイッチにタッチすると、表のような音場モードになります。

● 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	音場モードの種類
CONCERT	コンサートホール
LIVE	ライブハウス
CATHEDRAL	残響音の多い教会
STADIUM	野外スタジアム
CLUB	ディスコ、クラブ
OFF	SFC OFF

■SFC（音場）の調整、記憶

あらかじめ設定されている各モードのSFC（音場）をお好みのレベルに調整、記憶することができます。

1 お好みの音場モードで、▲、または ▼ にタッチします。

2 調整した音場モードを“ピーッ”と音がするまでタッチします。



ワンポイント

調整レベルは-5～+5の11段階です。

■SFC（音場）レベルをリセットする

現在、記憶されているSFC（音場）レベルをメーカー調整値（初期値）にもどすことができます。

1 OFF を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● 音場レベルが初期値にリセットされます。

LOUDNESSの設定

オーディオを小音量で聞いているときなどの、低・高音の不足感を補正して、メリハリのある音にすることができます。

1 音質調整画面でLOUDNESSの ON 、または OFF にタッチします。

● 設定完了後、 戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



音質補正の設定（ハーモナイザー）

圧縮時に失われた音の響きや奥行き感、音色などの倍音を自動生成する音質補強レベルが設定できます。クリアなサウンドを楽しむことができます。

チェック

ハーモナイザー機能は、MP3/WMA音楽データを再生しているときおよびソースがiPodのときに効果があります。

1 音質調整画面でHARMONIZERの LOW 、 HI 、または OFF にタッチします。

● LOW ：補正効果が小さい
HI ：補正効果が大きい
OFF ：補正なし

● 設定完了後、 戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



4. 音質の調整

EQ（イコライザ）の調整

■イコライザカーブを選択する

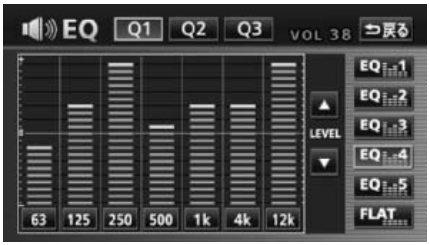
あらかじめ設定されているイコライザカーブを選択し、お好みの音質に設定できます。

1 音質調整画面で EQ にタッチします。

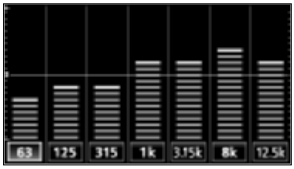


2 EQ1 ～ EQ5 、FLAT のいずれかにタッチすると、下記の音質モードになります。

● 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

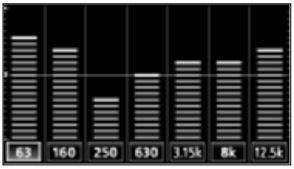


EQ1



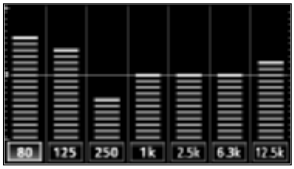
高域を強調したパターン

EQ2



低域高域を強調したパターン

EQ3



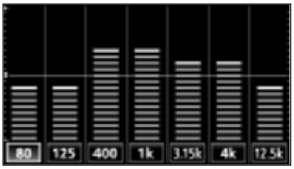
低域を強調したパターン

EQ4



低域高域を少し強調したパターン

EQ5



ボーカル帯域を強調したパターン

FLAT



EQ補正なし

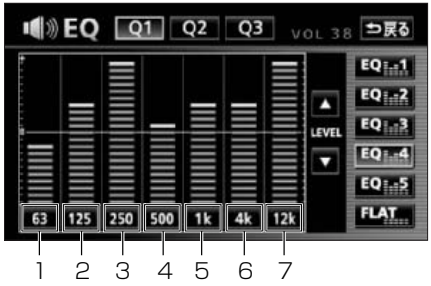
4. 音質の調整

■イコライザカーブの調整、記憶

あらかじめ設定されているイコライザカーブを調整し、記憶させることができます。本機は、7バンドのパラメトリックイコライザで、中心周波数や周波数レベル、Qカーブ（帯域幅）を調整することができます。

1 各バンドの周波数にタッチして、 調整したい周波数（中心周波数）を選択します。

- タッチするごとに中心周波数が切り替わります。
- 各バンドと選択できる中心周波数については下記を参照してください。



バンド	中心周波数（Hz）
1	63→80→100
2	125→160→200
3	250→315→400→500
4	630→800→1k→1.25k
5	1.6k→2k→2.5k→3.15k
6	4k→5k→6.3k→8k
7	10k→12.5k→16k

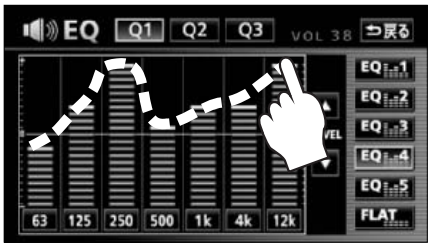
2 指で、調整したい周波数レベルの高さにタッチします。

- ▲、または ▼ にタッチして、微調整することができます。タッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 ▲ 、または ▼ にタッチしてください。
- FLAT にタッチすると、センター値にもどります。

3 Q1 、Q2 、Q3 のいずれかにタッチして、Qカーブパターンを選択します。

- 各バンドごとに Q カーブパターンを選択することができます。

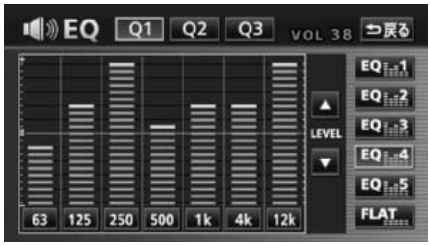
スイッチ	Qカーブパターン
Q1	緩い（帯域幅：広い）
Q2	中間（帯域幅：中間）
Q3	鋭い（帯域幅：狭い）



4 各バンドごとに 1 ～ 3 の操作を繰り返します。

5 記憶させたいスイッチ EQ1 ～ EQ5 を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- イコライザの調整値が記憶されます。
- 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



ワンポイント

- 周波数レベルは-10～+10の21段階です。
- 外部入力機器（iPod、ポータブルオーディオ機器、VTR機器など）を接続する場合、外部入力機器のEQ設定レベルを高くしていると音が割れることがあります。この場合は、EQ設定レベルを低くしてください。

■イコライザの調整値の呼び出し

記憶したイコライザの調整値を呼び出します。

1 記憶したスイッチ EQ1 ～ EQ5 EQ1 にタッチします。

- イコライザの調整値が呼び出されます。

■EQカーブをリセットする

現在、記憶されているイコライザの調整値を初期値にもどすことができます。

1 FLAT を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 記憶した EQ1 ～ EQ5 の調整値が初期値にリセットされます。

POS（ポジショニングセレクター）の調整

乗車人数や乗車位置、お車のボデータイプ、ツィーターの有無に合わせて音像定位を切り替えることができます。また、前後、左右の音量バランスを調整し、届きにくいスピーカーからの音を強調することができます。

チェック

POS（ポジショニングセレクター）は、FADER BALANCE（音量バランス）と同時に設定できません。

■ポジションを設定する

1 音質調整画面で POS にタッチします。



2 ポジション（シート）にタッチします。

- 設定されたポジションに黄色の枠が表示されます。再びタッチすると設定は解除されます。表のような4つのポジションに設定できます。
- OFF にタッチすると、全ての設定は解除されます。
- 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



次ページに続く

4. 音質の調整

表示	ポジション（位置）
	運転席を中心にした音場
	助手席を中心にした音場
	前席を中心にした音場
	後席を中心にした音場

■ ボデータイプとツィーターを設定する

チェック

POS（ポジショニングセレクター）がOFFのときは設定できません。

1 乗車人数や乗車位置に合わせてポジションを設定します。

- ポジションの設定については**「ポジションを設定する」**（335ページ）を参照してください。

2 CAR TYPE にタッチします。



3 車種およびツィーターの有無を設定します。

- ツィーター有りの場合は YES 、無しの場合は NO に設定してください。
- 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



タッチスイッチ	モードの種類
COMPACT	コンパクト車
SEDAN	セダン
WAGON	ワゴン車
MINI VAN S	小さいミニバン
MINI VAN L	大きいミニバン
SUV	スポーツ・ユーティリティ・ビークル
SMALL	軽自動車
OTHER	その他

■FADER BALANCE（音量バランス）の調整

チェック

FADER BALANCE（音量バランス）は、POS（ポジショニングセレクター）と同時に設定できません。

1 音質調整画面で POS にタッチします。

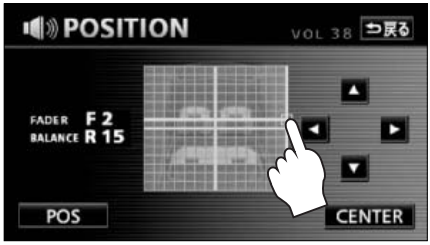


2 ポジション設定画面で、FADER BALANCE にタッチします。



3 お好みのバランスポイントにタッチします。

- 微調整するときは、▲、▼、◀、または ▶ にタッチします。タッチし続けると連続的に変化しますが、センター値で停止するので、再度 ▲、▼、◀、または ▶ にタッチしてください。
- 調整完了後、戻る にタッチすると、調整は記憶され、直前の画面にもどります。
- CENTER にタッチすると、音量バランスの設定がリセットされます。（設定値が0になります。）



ワンポイント

調整レベルはF（フロント）側、R（リヤ）側、L（左）側、R（右）側各15段階です。

サブウーファの設定

サブウーファを接続する場合は、別売のコードをお買い求めください。

■出力方式を設定する

サブウーファの出力方式を設定することができます。接続されているサブウーファの出力方式（ステレオ、またはモノラル）に合わせてください。

次ページに続く

4. 音質の調整

1 音質調整画面で WOOFER にタッチします。



2 WOOFER OUTPUTの STEREO 、またはに MONO タッチします。



- 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

■位相を切り替える

サブウーファから出力される音の中には、フロント/リヤスピーカーの音と同じ周波数帯域のものがあり、さまざまな車室内条件により打ち消しあってしまうことがあります。この現象を防ぐものがサブウーファの位相切り替えです。

車室内条件に合わせて位相を設定することができます。

1 音質調整画面で WOOFER にタッチします。



2 PHASE CONTROLの NORMAL 、または REVERSE にタッチします。

- NORMAL ：各スピーカーとサブウーファの出力タイミングを同じにする
  REVERSE ：各スピーカーとサブウーファの出力タイミングをずらす
- 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。



■サブウーファレベルを設定する

サブウーファの出力レベルを調整することができます。

1 音質調整画面で WOOFER にタッチします。



2 WOOFER LEVELの ▲ 、または ▼ にタッチします。



● 設定完了後、戻る にタッチすると、設定は記憶され、直前の画面にもどります。

ワンポイント

出力レベルは-6～+6の13段階です。

■X-OVER(クロスオーバ)を設定する

X-OVER（クロスオーバ）は、フロント/リヤスピーカー（中高域）とサブウーファ（低域）の再生する周波数帯域を分割して、音のつながりを改善することができます。

1 音質調整画面で WOOFER にタッチします。



2 周波数の ◀ 、または ▶ にタッチして、カットオフ周波数を選択します。

● カットオフ周波数は、63/80/100/125/160/200(Hz)の中から選択できます。



次ページに続く

4. 音質の調整

3 6dB/oct 、12dB/oct 、または PASS にタッチして、スロープを選択します。

- 数値が大きいほど、スロープの傾きが急になり、フロント/リヤスピーカーとサブウーファとの音の混ざりが少なくなります。
- PASS に設定すると、効果を得ることができません。
- サブウーファが接続されていないときは、スロープを PASS に設定してください。PASS 以外に設定すると、低域音が遮断されます。



5. 画面の設定

操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示させなくしたり、映像画面時の画面モードを設定することができます。

タッチスイッチの設定

■画面スイッチの表示切り替えについて

オーディオ操作画面や、設定画面でタッチスイッチを表示させないようにすることができます。

1 オーディオ操作画面や、設定画面で、**OFF** にタッチします。



● タッチスイッチを表示させるときは、画面にタッチします。



■機能スイッチの表示について

オーディオやDTV操作画面では、普段あまり使用されないタッチスイッチは画面に表示されません。下記の操作で表示させます。

1 **機能** にタッチします。

● DTV操作画面では **エリア** にタッチすると、**機能** が表示されます。



● ▼ にタッチする、または機能スイッチの枠以外の画面にタッチすると機能スイッチが消えます。



ワンポイント

機能スイッチを表示させているときは、機能スイッチ以外のタッチスイッチによる操作をすることができません。機能スイッチを消してから操作してください。

画面モード切り替え

チェック

DVD・VTR・iPod（映像再生時）設定画面で画面モードを切り替えることができます。

次ページに続く

5. 画面の設定

1 ワイドモード にタッチします。

● ワイドモード は、下記の操作で表示させることができます。

DVD：操作画面で、NEXT 、設定 の順にタッチ

VTR・iPod（映像再生時）：操作画面で、設定 にタッチ

2 標準 、ワイド1 または ワイド2 にタッチします。



● 標準画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）で両端が黒く表示されます。



● ワイド1画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を左右方向に均等に拡大して表示します。



● ワイド2画モード

たて3：よこ4の割合の画面（普通のTV画面の大きさ）を上下左右方向に均等に拡大して表示されます。

ワンポイント

お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。

1. ラジオの使い方



ラジオを聞く

1 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 AMラジオを受信するときは AM に、FMラジオを受信するときは FM にタッチします。

ワンポイント

ラジオアンテナがオートアンテナの場合、強制的にアンテナを下げることができます。詳しくは**「ラジオアンテナの設定」**（68ページ）を参照してください。

聞きたい放送局を選ぶ

■手動で選ぶ

1 ⏭、または ⏮ を押します。

● ⏭（右側）：1ステップずつ上がる
⏮（左側）：1ステップずつ下がる
（1ステップ：AM 9kHz、FM 0.1MHz）

■自動で選ぶ

1 ⏭、または ⏮ を“ピッ”と音がするまで押します。

● 現在、画面に表示されている周波数に一番近い放送局を、自動的に選局して受信したところで止まります。途中で解除したいときは、もう一度押すと解除します。

ワンポイント

受信電波の弱い地域では、自動選局ができないことがあります。

■プリセットスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

● 放送局の記憶は**「放送局を記憶する」**（343ページ）を参照してください。

放送局を記憶する

プリセットスイッチに放送局を記憶させるにはマニュアル（手動）とAUTO.P（自動）の2つのモードがあり、別々に記憶させることができます。

1. ラジオの使い方

■マニュアル（手動）で記憶する

チェック

“AUTO.P”、または“AREA.P”が画面表示されていないことを確認します。表示されているときは AUTO.P 、または エリア （345ページ参照）にタッチすると、表示が消えてマニュアルに切り替わります。

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- 放送局（周波数）が記憶されます。プリセットスイッチにタッチして選局できるようになります。

■AUTO.P（自動）で記憶する

1 機能 にタッチします。

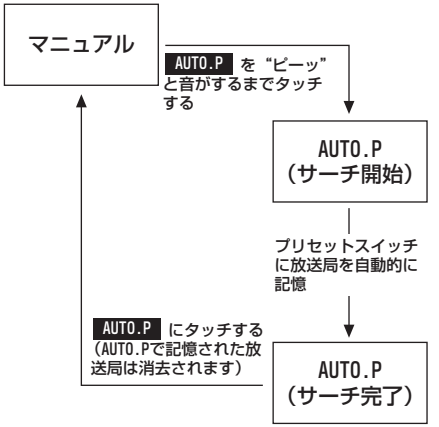
2 AUTO.P を“ピーッ”と音がするまでタッチします。

- AUTO.Pが点滅し、自動的に選局を始めます。“ピッピッ”と音がすると自動選局が終了し一時的に記憶されます。
- 受信感度の良い放送局を周波数の低い順に6局まで自動的に記憶します。
- もう一度 AUTO.P にタッチすると、マニュアルで記憶した放送局に表示が切り替わります。

■ AUTO.Pについて

AUTO.Pは一時的にプリセットスイッチに記憶させる機能のため、AUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶させた放送局は記憶されています。ふだんお聞きになる放送局をマニュアルで記憶しておけば、旅先などでAUTO.Pを使用してもマニュアルで記憶した放送局は呼び出すことができます。

AUTO.P　の動作中、または動作後に AUTO.P にタッチすると、プリセットメモリーはAUTO.P動作前の状態にもどります。（このときAUTO.Pで記憶した放送局は消去されます。）AUTO.Pからマニュアルへの切り替えは下記になります。



ワンポイント

- 受信電波の弱い地域では AUTO.P での自動受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、チューニングスイッチで記憶した放送局とAUTO.Pスイッチで記憶した放送局は一致しないことがあります。
- AUTO.P スイッチを同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶される放送局が異なることがあります。
- 受信できた放送局が6局未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。

■ AUTO.Pで記憶した放送局を変更する

1 手動選局、または自動選局で記憶させたい放送局を選びます。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

エリアスイッチについて

自分のいる地域の放送局名の受信周波数がわからないときに、その地域の放送局の表示・選局ができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **エリア** にタッチします。

- “AREA.P”の表示と、その地域で放送されている放送局名と周波数が表示されます。
- 表示されている放送局を選ぶときは、周波数の表示されているプリセットスイッチにタッチします。
- もう一度 **エリア** にタッチすると、もとの記憶されていた放送局に表示が切り替わります。



ワンポイント

放送が受信できても、放送局名を表示できない地域があります。

局名スイッチについて

複数の放送局が同じ周波数を使って放送している地域では、重複している放送局を切り替えることができます。

チェック

重複している放送局がある場合、局名重複インジケータが表示されます。

1 **機能** にタッチします。

2 **局名** にタッチします。

- 重複した放送局名が切り替わります。

局名重複インジケータ



ラジオを止める

1 オーディオのソースを切り替えます。

- **「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。

2. CDプレーヤーの使い方



CDを聞く

ディスク差し込み口にCDを差し込むと、再生を始めます。

1 CDが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 Disc にタッチします。

● 再生を始めます。

ワンポイント

●CD-TEXTやGracenote音楽認識サービスなど、タイトルや曲名などが記録されているときは表示することができます。
ジャケット写真を表示している場合の表示文字数は半角28文字、全角14文字、ジャケット写真を表示していない場合の表示文字数は半角32文字、全角16文字です。

●CD-R/RW の CD-TEXT は表示できない場合があります。

●再生している音楽 CD にタイトルや曲名などが収録されていなくても、本機のハードディスクにあるGracenoteメディアデータベースに該当する情報がある場合、タイトルを表示します。

●録音中は、本機のGracenoteメディアデータベースに収録されている情報のみ表示することができます。（CD-TEXTは表示できません）

●再生している音楽 CD に該当するジャケット写真データが、本機のハードディスクにある場合、ジャケット写真を表示します。（ただし表示が可能な期限内）

●MUSIC JUKEは、録音モードの初期設定がAUTOに設定されているので、再生が始まると同時に自動で録音を開始します。AV を1秒以上押すと録音を停止します。

●録音中は、録音マーク、録音トラック数確認マークおよび録音進捗バーを表示します。**「録音画面の見方」**（399ページ参照）

聞きたい曲を選ぶ

聞きたい曲の頭出しができます。

1 ⏭、または ⏮ を押します。

● ⏭ （右側）：次曲を選ぶとき
⏮ （左側）：頭出し・前曲を選ぶとき

早送り・早戻しする

1 ⏭、⏮ を“ピッ”と音がするまで押します。

● ⏭ （右側）：曲を進めるとき
⏮ （左側）：曲を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい曲を探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

● 全曲の始めの 10 秒間だけ順に再生します。希望曲になったら、もう一度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ曲を繰り返し聞く

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

● 再生中の曲を繰り返し再生します。

● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

曲の順番をランダムに聞く

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

● いま聞いているCDの全曲でランダム再生します。

● 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

ワンポイント

ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

携帯電話でアルバム情報を見る

2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取ると、再生中のアルバムに関連する携帯サイト（FLIP MOBILE）へ接続することができます。

チェック

2次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。

1 ジャケット写真が表示されているときに、 CD情報 にタッチします。



2 携帯電話で2次元バーコードを読み取ります。

サイズ変更 にタッチすると、バーコードの大きさを変更することができます。



次ページに続く

2. CDプレーヤーの使い方

ワンポイント

- 2次元バーコードの読み取り操作は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- 2 次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。
  また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- FLIP　MOBILEは株式会社メディアクリックのサービスです。
- 携帯電話の通信料金はお客様のご負担になります。
- QR　コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

CDを止める

1 オーディオのソースを切り替えます。

- **「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 OFF にタッチします。

ワンポイント

MUSIC JUKEへ録音中に、CDを止めても録音は継続されます。録音を停止する場合は、AV を1秒以上押します。

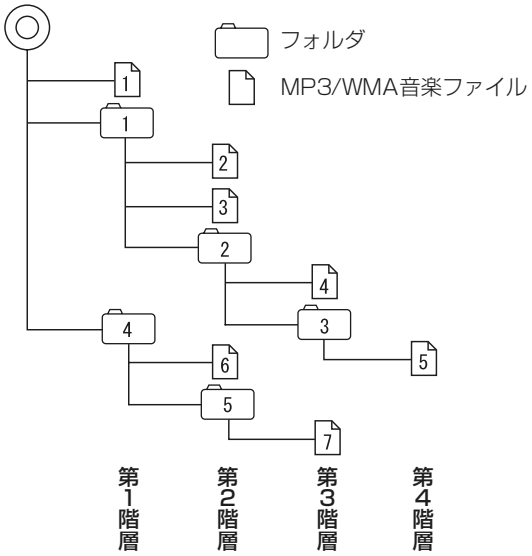
3. MP3/WMAプレーヤーの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



[MP3/WMAファイル作成例]

ここでの操作説明は、MP3/WMAファイル作成例をもとに説明しています。



ワンポイント

- 音楽ディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角12文字まで、ファイル名は半角14文字まで表示できます。TITLE にタッチすると、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字まで表示できます。WMAは半角、全角とも最大15文字まで表示できます。**「音楽ファイル情報などを表示する」**（352ページ）
- DRM（著作権管理Digital Rights Management）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。

3. MP3/WMAプレーヤーの使い方

MP3/WMAを聞く

ディスク差し込み口にMP3/WMAファイルが記録されたCD-R/RWを差し込むと、再生を始めます。

1 CD-R/RWが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 Disc にタッチします。

● 再生を始めます。

● 通常は、1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 の順に再生します。**「[MP3/WMAファイル作成例]」**（349ページ）

● 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に再生します。

聞きたいフォルダを選ぶ

ディスクの中から聞きたいフォルダを選ぶことができます。

1 フォルダ・ファイル選択スイッチのフォルダ名にタッチします。

● 選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

■フォルダ・ファイル選択スイッチから選ぶ

1 音楽ファイル名にタッチします。

● 表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。

● 同じフォルダ内に音楽ファイルが 9 個以上ある場合は、▲ 、▼ にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。（走行中は操作できません。）

■選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

1 ⏭ 、または ⏮ を押します。

● ⏭ （右側）：次の音楽ファイルを選ぶとき
⏮ （左側）：頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき

早送り・早戻しする

1 ⏭ 、または ⏮ を“ピッ”と音がするまで押します。

● ⏭ （右側）：曲を進めるとき
⏮ （左側）：曲を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

1つ上の階層を表示する

再生している階層よりも1つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。

1 にタッチします。

ワンポイント

MP3/WMA　ファイル作成例については**「[MP3/WMAファイル作成例]」**（349ページ）を参照してください。

画面に“ 2 ”、“ 3 ”、“ 2 ”の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されている時に にタッチすると、“ 1 ”、“ 1 ”、“ 4 ”の第1階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

現在の階層を表示する

再生しているファイルを表示します。

1 HOME にタッチします。

ワンポイント

MP3/WMA　ファイル作成例については**「[MP3/WMAファイル作成例]」**（349ページ）を参照してください。

第3階層の 4 を再生中、画面に“ 2 ”、“ 3 ”、“ 2 ”の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに HOME にタッチすると、“ 4 ”、“ 3 ”の第3階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

- 再生中のフォルダと同じ階層内の全ファイルを曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度 SCAN にタッチするとその曲で再生を続けます。

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

順番をランダムに聞く

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

- 現在再生中のフォルダを含め、その階層以下の全ファイルで、ランダム再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

ワンポイント

ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

3. MP3/WMAプレーヤーの使い方

音楽ファイル情報などを表示する

1 TITLE にタッチします。

● ファイルの情報を表示中は、TITLE が TITLE OFF に切り替わり、TITLE OFF にタッチするとフォルダ・ファイル選択スイッチに表示が切り替わります。

ワンポイント

再生している音楽ファイル情報の表示文字数は、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字です。WMAは半角、全角とも最大15文字です。

MP3/WMAを止める

1 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 OFF にタッチします。

MP3/WMAについて

MP3（MPEG Audio レイヤ3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media™ Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3同様、ファイルを小さいサイズに圧縮することができます。

本機で使用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

■再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格：
  MPEG Audio レイヤ3（＝MPEG1 Audio Layer Ⅲ、MPEG2 Audio Layer Ⅲ、MPEG2.5 Audio Layer Ⅲ）
- 対応サンプリング周波数：
  8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート：
  8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160、192、224、256、320 (kbps)
  ※ VBRに対応しています。
  ※ フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード：
  ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

■再生可能なWMAファイルの規格について

- 対応規格：
  WMA Ver.9 Standard Decoder Class3に準拠
- 対応サンプリング周波数：
  22.05、32、44.1、48（kHz）
- 対応ビットレート：
  20、22、32、36、40、44、48、64、80、96、128、160、192、256、320（kbps）
  ※ 2ch再生のみ対応しています。
  ※ VBRに対応しています。
  ※ 可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。
  ※ DRM（著作権保護）には対応していません。
- 対応チャンネルモード：ステレオ、モノラル

3. MP3/WMAプレーヤーの使い方

■ ID3タグ/WMAタグについて

MP3やWMAファイルには、ID3タグ/WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3タグは、ID3 Ver.1.0,1.1に対応しています。

WMAタグは、WMA Ver.9に対応しています。

■ ID3タグ/WMAタグ

		MP3		WMA
		Ver1.0	Ver1.1	ASF Revision 1.02.02
入力できる項目	TITLE	全角15文字 半角30文字		全角15文字 半角15文字
	ARTIST			
	ALBUM			
表示できる文字		英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）		英数字（ASCIIコード） 日本語（Unicode）

■ 使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアはCD-RおよびCD-RWです。DVD±RおよびDVD±RWに記録されたMP3/WMAは再生できません。

なお、CD-R、CD-RWは通常の音楽CDに使用されているディスクに比べ高温多湿環境に弱く、一部のCD-R、CD-RWは再生できない場合があります。また、ディスクに指紋やキズを付けた場合、再生できないことや音飛びすることがあります。

一部のCD-R、CD-RWは長時間の車内環境において劣化するものがあります。

なお、CD-R、CD-RWは紫外線に弱いため、光を通さないケースに保管することをおすすめします。

■使用できるディスクのフォーマットについて

使用できるメディアのフォーマットは下記になります。

● ディスクフォーマット：
CD-ROM MODE1、CD-ROM XA MODE2（Form1）

■ ファイルフォーマット

● ISO9660

	LEVEL 1	LEVEL 2
フォルダ名（最大文字数）	半角8文字	半角31文字
ファイル名（最大文字数）	8.3形式	半角31文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード）	

● 拡張フォーマット

	ROMEO形式	JOLIET形式
フォルダ名（最大文字数）	半角128文字	半角64文字※1
ファイル名（最大文字数）	半角128文字※2	半角64文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）	英数字（ASCIIコード） 日本語（Unicode）

※1 区切り文字“.”含む
※2 区切り文字“.”+拡張子含む

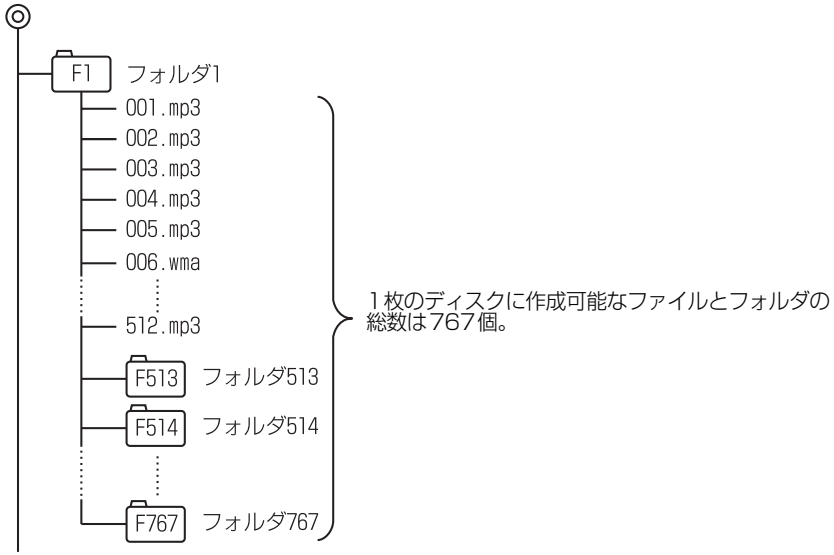
● 最大ディレクトリ階層：
8階層
● 1枚のディスクに書き込み可能なフォルダ数：
255個
● 1枚のディスクに書き込み可能なファイル数：
512個

ワンポイント

音楽ディスクにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角12文字まで、ファイル名は半角14文字まで表示できます。TITLE にタッチすると、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字まで表示できます。WMAは半角、全角とも最大15文字まで表示できます。**「音楽ファイル情報などを表示する」**（352ページ）

3. MP3/WMAプレーヤーの使い方

[MP3/WMA対応CDの構造例]



■ ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“mp3”/“wma”が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“mp3”/“wma”の拡張子を付けて保存してください。

拡張子名“mp3”/“wma”は大文字でも小文字でもかまいません。

ワンポイント

MP3/WMA以外のファイルに“mp3”/“wma”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、“mp3”/“wma”の拡張子を付けないでください。

■ CD-R、CD-RWについて

- マルチセッションに対応しており、MP3/WMAを追記したCD-Rや、CD-RWの再生が可能です。
- CD-RW を消去して使用する場合には、完全に消去したことを確認してからご使用ください。
  （消去方法はライティングソフトで異なりますので確認してください。また、クイックおよび高速消去は使用しないでください。）
- CD-R、CD-RWはディスクアットワンス、セッションアットワンス、トラックアットワンス記録ディスクのみ読み取り対応です。
- パケットライト記録ディスクには対応しておりません。（例えば、DirectCD等で作成したディスクには対応していません）。
- CD-R、CD-RWは、セッションクローズしている場合のみ再生可能です。ただし、CD-RWは書き込みの設定で、“CDを閉じる”や“CDの終了処理をする”ようにしてください。（設定の方法はライティングソフトで異なりますので確認してください）

■ MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているディスクを差し込むと、最初にディスク内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3/WMAファイルを再生します。

チェックが終わるまで“MP3/WMAデータを読み込み中です”が表示されます。（最大10分程度）なお、ディスク内のファイルをチェックしている間、音はでません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

■ MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※ VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

■ MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMAファイル、フォルダを次のように表示します。

1 MP3/WMAファイルを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示

2 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示

3 同一階層内に、同じファイル名でMP3とWMAが存在する場合はMP3を優先して表示

3. MP3/WMAプレーヤーの使い方

MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

■インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

■音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

ワンポイント

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- CD-R、CD-RWはディスクの特性により読み取れない場合があります。
- MP3/WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。

■CD-R/RWに書き込む場合

MP3/WMAファイルをパソコンに接続されているCD-R/RWドライブを介してCD-R/RWに書き込みます。この時、ライティングソフトでISO9660 レベル1 またはレベル2、ROMEO、JOLIETという記録フォーマットに設定して書き込みます。

ワンポイント

- ディスクにMP3/WMA以外のファイルを記録すると、ディスクの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

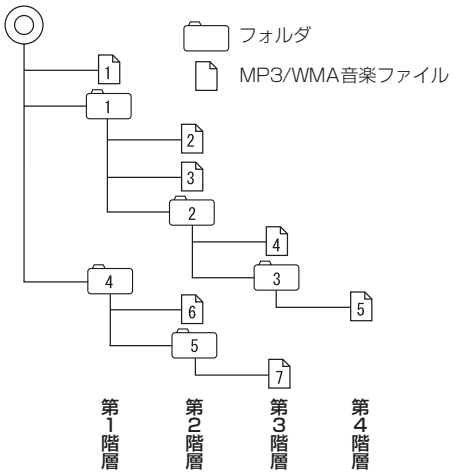
4. USB AUDIOの使い方

別売のUSBメモリ接続コードにUSBメモリを接続すると、収録されているMP3/WMAファイルを再生することができます。また、リストからの選曲やランダム再生の切り替えなどを本機で操作することができます。走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



[MP3/WMAファイル作成例]

ここでの操作説明は、MP3/WMAファイル作成例をもとに説明しています。



ワンポイント

- MP3/WMAファイルにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角12文字まで、ファイル名は半角14文字まで表示できます。TITLE にタッチすると、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字まで表示できます。WMAは半角、全角とも最大15文字まで表示できます。**「音楽ファイル情報などを表示する」**（362ページ）
- DRM（著作権管理Digital Rights Management）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。
- USBメモリにMP3/WMA以外のデータが収録されていたり、データ量が多いときは、再生の開始までに時間がかかる場合があります。

4. USB AUDIOの使い方

USB AUDIOを聞く

1 USBメモリを本機に接続します。

● **「USBメモリの接続（取りはずし）」**（44ページ）を参照してください。

2 オーディオのソースを切り替えます。

● **「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

3 USB Audio にタッチします。

● 再生を始めます。

● 通常は、1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 の順に再生します。**「[MP3/WMAファイル作成例]」**（359ページ）

● 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に再生します。

聞きたいフォルダを選ぶ

1 フォルダ・ファイル選択スイッチのフォルダ名にタッチします。

● 選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

■フォルダ・ファイル選択スイッチから選ぶ

1 音楽ファイル名にタッチします。

● 表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。

● 同じフォルダ内に音楽ファイルが 9 個以上ある場合は、▲、▼にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。（走行中は操作できません。）

■選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

1 ⏭、または ⏮ を押します。

● ⏭（右側）：次の音楽ファイルを選ぶとき
⏮（左側）：頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき

早送り・早戻しする

1 ⏭、または ⏮ を“ピッ”と音がするまで押します。

● ⏭（右側）：曲を進めるとき
⏮（左側）：曲を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

1つ上の階層を表示する

再生している階層よりも1つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。

1 にタッチします。

ワンポイント

MP3/WMA　ファイル作成例については**「[MP3/WMAファイル作成例]」**（359ページ）を参照してください。

画面に“ 2 ”、“ 3 ”、“ 2 ”の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されている時に にタッチすると、“ 1 ”、“ 1 ”、“ 4 ”の第1階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

現在の階層を表示する

再生しているファイルを表示します。

1 HOME にタッチします。

ワンポイント

MP3/WMA　ファイル作成例については**「[MP3/WMAファイル作成例]」**（359ページ）を参照してください。

第3階層の 4 を再生中、画面に“ 2 ”、“ 3 ”、“ 2 ”の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに HOME にタッチすると、“ 4 ”、“ 3 ”の第3階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを繰り返し聞く

■いま聞いているファイルを繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

■いま聞いているフォルダを繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 FOLDER RPT にタッチします。

- 再生中のフォルダ内の全ファイルを繰り返します。
- 一度 FOLDER RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 FOLDER RPT にタッチすると解除されます。

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

■いま聞いているフォルダの階層からランダムに再生する

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

- 現在再生中のフォルダを含め、その階層内の全ファイルで、ランダム再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

4. USB AUDIOの使い方

■全てのファイルをランダムに再生する

1 機能 にタッチします。

2 ALL RAND にタッチします。

- USB　メモリ内に収録されている全てのファイルでランダム再生します。
- 一度 ALL RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 ALL RAND にタッチすると解除されます。

ワンポイント

ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

音楽ファイル情報などを表示する

1 TITLE にタッチします。

- ファイルの情報を表示中は、 TITLE が TITLE OFF に切り替わります。TITLE OFF にタッチするとフォルダ・ファイル選択スイッチに表示が切り替わります。

ワンポイント

再生している音楽ファイル情報の表示文字数は、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字です。WMAは半角、全角とも最大15文字です。

USB AUDIOを止める

1 オーディオのソースを切り替えます。

- **「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 OFF にタッチします。

音楽ファイルを本機に転送する

USBメモリに収録されている音楽ファイルを本機のハードディスクに転送することができます。転送した音楽ファイルを聞くには、**「MUSIC JUKE plusを聞く」**（373ページ）を参照してください。

重要

- 転送中にUSBメモリを取りはずすとUSBメモリ内のデータが破損する恐れがあります。
- お客様がUSBメモリおよび本機に保存した音楽データは個人的に、または家庭内その他これに準ずる限られた範囲内でのみご使用ください。

チェック

- CD の録音中は音楽ファイルを転送することができません。録音を中止してから行ってください。**「CDを再生しながら自動で録音する」**（399ページ）、**「CDの中からお好みのトラック（曲）を録音する」**（399ページ参照）
- USBメモリに収録されている音楽ファイルの名称文字数が、画面に表示できる文字数より長い場合、その音楽ファイルは転送することができません。

1 **機能** にタッチします。

2 **転送** にタッチします。

- 音楽ファイル転送画面が表示され、オーディオが一時停止します。
- 音楽ファイル転送画面から下記の転送方法を選択することができます。

転送方法	内容	ページ
一括転送	全ての音楽ファイルを転送します。	364
カスタム転送	お好みのフォルダ、またはファイルのみを転送します。転送先を指定することができます。	364
先程の曲を転送	再生していた曲を転送します。転送先を指定することができます。	366

次ページに続く

4. USB AUDIOの使い方

ワンポイント

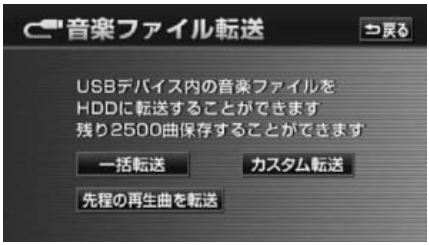
- すでに転送されている曲を再度転送すると、重複して保存されます。
- 転送中に地図画面など他の画面に切り替えた場合、画面に転送進捗インジケータが表示され、転送状況を確認することができます。 AV を押すと転送中画面にもどります。



- 転送中はオーディオソースを切り替えることができません。
- 転送中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、再度ACC、またはONにすると転送を続きから再開することができます。ただし、転送を再開するまでにUSBメモリを取りはずしたり、オーディオソースを切り替えると、再開できません。また、その他の状況によって転送が再開されない場合があります。

■全ての音楽ファイルを転送する（一括転送）

1 音楽ファイル転送画面で **一括転送** にタッチします。

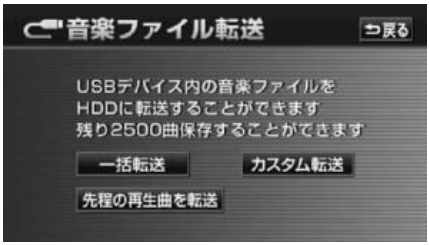


2 **転送開始** にタッチします。

- 転送を開始します。
- 転送が完了すると、転送結果が表示され、一時停止中の音楽を再生します。
- **転送中止** にタッチすると、中止するまでの転送結果が表示されます。

■曲を選んで転送する（カスタム転送）

1 音楽ファイル転送画面で **カスタム転送** にタッチします。



2 転送したいフォルダやファイルのリストを表示します。

- フォルダにタッチすると、1つ下の階層のフォルダおよびファイルのリストを表示します。
- [↑] にタッチすると、表示している階層よりも1つ上の階層のフォルダおよびファイルのリストを表示します。



3 現在のフォルダより選択 にタッチします。

4 転送したいフォルダ、またはファイルを選択します。

- 複数のフォルダ、またはファイルを同時に転送する場合は、転送するフォルダ、またはファイル全てにタッチしてください。
- 一度選んだフォルダ、またはファイルにもう一度タッチすると、キャンセルすることができます。
- 全選択 にタッチすると、現在の階層にある全フォルダおよび全ファイルを選択します。もう一度 全選択 にタッチすると、解除されます。
- [↑] にタッチすると、表示している階層よりも1つ上の階層のフォルダおよびファイルを表示します。



5 決定 にタッチします。

6 転送先を選択します。

- [↑] にタッチすると、表示している階層よりも1つ上の階層のフォルダおよびファイルを表示します。



次ページに続く

4. USB AUDIOの使い方

7 現在のフォルダへ転送 にタッチします。

8 転送開始 にタッチします。

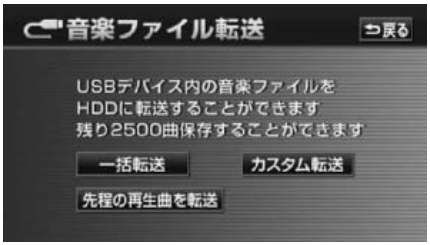
- 転送を開始します。
- 転送が完了すると、転送結果が表示され、一時停止中の音楽を再生します。
- 転送中止 にタッチすると、中止するまでの転送結果が表示されます。

ワンポイント

転送するフォルダやファイル、または転送先の選択時に保存できる上限を超えて選択すると、操作ができなくなる場合があります。保存できる曲数については、**「プレイモード・プレイリストについて」**（378ページ）を参照してください。

■再生していた曲を転送する（先程の再生曲を転送）

1 音楽ファイル転送画面で 先程の再生曲を転送 にタッチします。



2 転送先のフォルダを選択します。

- フォルダにタッチすると、1つ下の階層のフォルダおよびファイルのリストを表示します。
- にタッチすると、表示している階層よりも1つ上の階層のフォルダおよびファイルを表示します。



3 現在のフォルダへ転送 にタッチします。

4 転送開始 にタッチします。

- 転送を開始します。
- 転送が完了すると、転送結果が表示され、一時停止中の音楽を再生します。
- 転送中止 にタッチすると、転送を中止します。

MP3/WMAについて

MP3（MPEG Audio レイヤ3）は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3を使用すれば、元のファイルを約1/10のサイズに圧縮することができます。

WMA（Windows Media™ Audio）はマイクロソフト社の音声圧縮フォーマットです。MP3同様、ファイルを小さいサイズに圧縮することができます。

本機で使用できるMP3/WMAファイルの規格やそれを記録したメディア、フォーマットには制限があります。MP3/WMAファイルを書き込むときには以下のことに注意してください。

■再生可能なMP3ファイルの規格について

- 対応規格：
  MPEG Audio レイヤ3（＝MPEG1 Audio Layer Ⅲ、MPEG2 Audio Layer Ⅲ、MPEG2.5 Audio Layer Ⅲ）
- 対応サンプリング周波数：
  8、11.025、12、16、22.05、24、32、44.1、48 (kHz)
- 対応ビットレート：
  8、16、24、32、40、48、56、64、80、96、112、128、144、160、192、224、256、320 (kbps)
  ※ VBRに対応しています。
  ※ フリーフォーマットには対応していません。
- 対応チャンネルモード：
  ステレオ、ジョイントステレオ、デュアルチャンネル、モノラル

■再生可能なWMAファイルの規格について

- 対応規格：
  WMA Ver.9 Standard Decoder Class3に準拠
- 対応サンプリング周波数：
  22.05、32、44.1、48（kHz）
- 対応ビットレート：
  20、22、32、36、40、44、48、64、80、96、128、160、192、256、320（kbps）
  ※ 2ch再生のみ対応しています。
  ※ VBRに対応しています。
  ※ 可逆圧縮（ロスレス圧縮）には対応していません。
  ※ DRM（著作権保護）には対応していません。
- 対応チャンネルモード：ステレオ、モノラル

4. USB AUDIOの使い方

■ ID3タグ/WMAタグについて

MP3やWMAファイルには、ID3タグ/WMAタグと呼ばれる付属文字情報を入力することができ、曲のタイトル、アーティスト名などを保存することができます。

ID3タグは、ID3 Ver.1.0,1.1 に対応しています。

WMAタグは、WMA Ver.9に対応しています。

■ ID3タグ/WMAタグ

		MP3		WMA
		Ver1.0	Ver1.1	ASF Revision 1.02.02
入力できる項目	TITLE	全角15文字 半角30文字		全角15文字 半角15文字
	ARTIST			
	ALBUM			
表示できる文字		英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）		英数字（ASCIIコード） 日本語（Unicode）

■ 使用できるメディアについて

MP3/WMAの再生に使用できるメディアは下記の条件にあてはまるUSBメモリです。

- 対応クラス：
  マスストレージクラス
- 対応USB Ver.：
  USB2.0／1.1
- 最大消費電流：
  500mA未満

■使用できるメディアのファイルフォーマットについて

● ISO9660

	LEVEL 1	LEVEL 2
フォルダ名（最大文字数）	半角8文字	半角31文字
ファイル名（最大文字数）	8.3形式	半角31文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード）	

● 拡張フォーマット

	ROMEO形式	JOLIET形式
フォルダ名（最大文字数）	半角128文字	半角64文字※1
ファイル名（最大文字数）	半角128文字※2	半角64文字
表示できる文字	英数字（ASCIIコード） 日本語（S-JISコード）	英数字（ASCIIコード） 日本語（Unicode）

※1 区切り文字“.”含む
※2 区切り文字“.”+拡張子含む

● 対応ファイルシステム：
FAT16、FAT32

● 最大ディレクトリ階層：
8階層（Rootフォルダ含む）

● USBメモリに保存可能なフォルダ数：
1000個

● USBメモリに保存可能なファイル数：
3000個

● 1つのフォルダ内に保存可能なフォルダ数：
512個

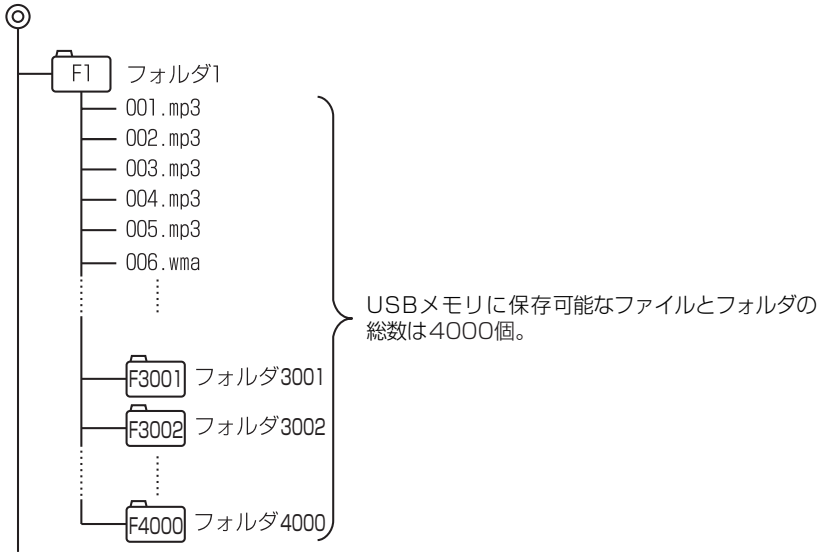
● 1つのフォルダ内に保存可能なファイル数：
1024個

ワンポイント

メディアにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角12文字まで、ファイル名は半角14文字まで表示できます。TITLE にタッチすると、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字まで表示できます。WMAは半角、全角とも最大15文字まで表示できます。**「音楽ファイル情報などを表示する」**（352ページ）

4. USB AUDIOの使い方

[MP3/WMA対応メディアの構造例]



■ ファイル名について

MP3/WMAと認識し再生するファイルはMP3/WMAの拡張子“mp3”/“wma”が付いたものだけです。MP3/WMAファイルには、“mp3”/“wma”の拡張子を付けて保存してください。

拡張子名“mp3”/“wma”は大文字でも小文字でもかまいません。

ワンポイント

MP3/WMA以外のファイルに“mp3”/“wma”の拡張子を付けると、MP3/WMAファイルと誤認識して再生してしまい、大きな雑音が出てスピーカを破損する場合があります。MP3/WMA以外のファイルに、“mp3”/“wma”の拡張子を付けないでください。

■ MP3/WMAの再生について

MP3/WMAファイルが収録されているメディアを差し込むと、最初にメディア内のすべてのファイルをチェックします。ファイルのチェックが終わると最初のMP3/WMAファイルを再生します。

チェックが終わるまで“MP3/WMAデータを読み込み中です”が表示されます。（最大10分程度）なお、メディア内のファイルをチェックしている間、音はでません。

ファイルのチェックを早く終わらせるためにMP3/WMAファイル以外のファイルや必要のないフォルダなどを書き込まないことをおすすめします。

■ MP3/WMAの演奏時間表示について

MP3/WMAファイルの書き込み状況により、演奏時間が一致しないことがあります。

※ VBRのFAST UP/DOWN動作をすると演奏時間が一致しないことがあります。

■ MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMAファイル、フォルダを次のように表示します。

1 MP3/WMAファイルを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示

2 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示

MP3/WMAファイルの作り方、楽しみ方

MP3/WMAファイルを作成する場合、放送やレコード、録音物、録画物、実演などを録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断では使用できません。

■ インターネット上のMP3/WMA音楽配信サイトから入手する場合

インターネット上には有料でダウンロードするオンラインショップのサイト、試聴専門のサイトや無料ダウンロードサイトなど、様々なMP3/WMA音楽配信サイトがあります。そのサイトごとのルールを守り（料金支払いなど）、そこから指示通りにダウンロードを行います。

■ 音楽CDからMP3/WMAファイルに変換する場合

パソコンと市販のMP3/WMAエンコーダ（変換）ソフトを用意します（インターネット上で無料配布されているエンコーダソフトもあります）。パソコンのCD-ROMドライブに音楽CDを入れ、MP3/WMAエンコーダソフトの手順に従って音楽CDの曲を圧縮変換すると、MP3/WMA形式の音楽データファイルができます。

ワンポイント

- 安定した音質で再生するために、MP3の場合、128kbpsの固定ビットレート、44.1kHzのサンプリング周波数、ステレオのチャンネルモードを推奨します。
- MP3/WMAは市場にフリーウェア等、多くのエンコーダソフトが存在し、エンコーダの状態やファイルフォーマットによって、音質の劣化や再生開始時のノイズ発生、また再生できない場合もあります。

■ メディアに書き込む場合

- メディアに MP3/WMA 以外のファイルを記録すると、メディアの認識に時間がかかったり、再生できない場合があります。
- 走行中はファイル、フォルダ表示のページ切り替え操作ができません。
- Microsoft、Windows、Windows Mediaは、米国マイクロソフトコーポレーションの米国、およびその他の国における登録商標および商標です。

5. MUSIC JUKE plusの使い方

別売のUSBメモリ接続コードに接続したUSBメモリから本機に転送したMP3/WMAファイルを再生することができます。

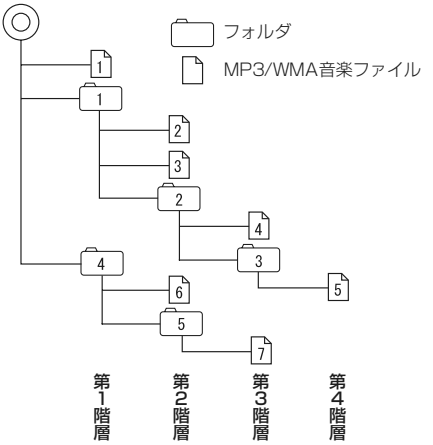
走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

音楽ファイルを転送するには、**「音楽ファイルを本機に転送する」**（363ページ）を参照してください。



[MP3/WMAファイル作成例]

ここでの操作説明は、MP3/WMAファイル作成例をもとに説明しています。



ワンポイント

- 本機のハードディスクには、最大およそ3000曲※保存することができます。
  ※CDからMUSIC JUKEに録音される曲も含みます。
- MP3/WMAファイルにフォルダ名や音楽ファイル名などが記録されているときは、フォルダ名は半角12文字まで、ファイル名は半角14文字まで表示できます。TITLE にタッチすると、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字まで表示できます。WMAは半角、全角とも最大15文字まで表示できます。**「音楽ファイル情報などを表示する」**（375ページ）
- DRM（著作権管理Digital Rights Management）システムのWMAファイルやプロテクト録音（ライセンス管理）されたWMAファイルは再生できません。

MUSIC JUKE plusを聞く

1 オーディオのソースを切り替えます。

●「**ソースの切り替え方**」（324 ページ）を参照してください。

2 Music Juke plus にタッチします。

● 再生を始めます。

● 通常は、1 → 2 → 3 → 4 → 5 → 6 → 7 の順に再生します。「**[MP3/WMAファイル作成例]**」（372ページ）

● 同じ階層に複数のMP3/WMA音楽ファイルやフォルダが存在する場合、転送された順に再生します。

聞きたいフォルダを選ぶ

1 フォルダ・ファイル選択スイッチのフォルダ名にタッチします。

● 選択されたフォルダ内の音楽ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

フォルダの中から聞きたい音楽ファイルを選ぶことができます。

■フォルダ・ファイル選択スイッチから選ぶ

1 音楽ファイル名にタッチします。

● 表示部にいま選ばれているファイル名、フォルダ名が表示されます。

● 同じフォルダ内に音楽ファイルが 9 個以上ある場合は、▲、▼にタッチするとデータを切り替えて表示することができます。（走行中は操作できません。）

■選曲・頭出しスイッチから選ぶ

同じフォルダに複数の音楽ファイルを記録している場合は、選曲・頭出しスイッチから次の音楽ファイル、前の音楽ファイルを選ぶことができます。

1 ⏭、または ⏮ を押します。

● ⏭（右側）：次の音楽ファイルを選ぶとき
⏮（左側）：頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき

早送り・早戻しする

1 ⏭、または ⏮ を“ピッ”と音がするまで押します。

● ⏭（右側）：曲を進めるとき
⏮（左側）：曲を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

5. MUSIC JUKE plusの使い方

1つ上の階層を表示する

再生している階層よりも1つ上の階層のフォルダ、ファイルを表示します。

1 にタッチします。

ワンポイント

MP3/WMA　ファイル作成例については**「[MP3/WMAファイル作成例]」**（372ページ）を参照してください。

画面に“ 2 ”、“ 3 ”、“ 2 ”の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されている時に にタッチすると、“ 1 ”、“ 1 ”、“ 4 ”の第1階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

現在の階層を表示する

再生しているファイルを表示します。

1 HOME にタッチします。

ワンポイント

MP3/WMA　ファイル作成例については**「[MP3/WMAファイル作成例]」**（372ページ）を参照してください。

第3階層の 4 を再生中、画面に“ 2 ”、“ 3 ”、“ 2 ”の第2階層のフォルダ、ファイルが表示されているときに HOME にタッチすると、“ 4 ”、“ 3 ”の第3階層のフォルダ、ファイルが表示されます。

聞きたい音楽ファイルを繰り返し聞く

■いま聞いているファイルを繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

■いま聞いているフォルダを繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 FOLDER RPT にタッチします。

- 再生中のフォルダ内の全ファイルを繰り返します。
- 一度 FOLDER RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 FOLDER RPT にタッチすると解除されます。

音楽ファイルの順番をランダムに聞く

■いま聞いているフォルダの階層からランダムに再生する

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

- 現在再生中のフォルダを含め、その階層内の全ファイルで、ランダム再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

■全てのファイルをランダムに再生する

1 機能 にタッチします。

2 ALL RAND にタッチします。

- ハードディスクに転送した全てのファイルでランダム再生します。
- 一度 ALL RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 ALL RAND にタッチすると解除されます。

ワンポイント

ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

音楽ファイル情報などを表示する

1 TITLE にタッチします。

- ファイルの情報を表示中は、 TITLE が TITLE OFF に切り替わります。
  TITLE OFF にタッチするとフォルダ・ファイル選択スイッチに表示が切り替わります。

ワンポイント

- 再生している音楽ファイル情報の表示文字数は、MP3は半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字です。WMAは半角、全角とも最大15文字です。
- 表示される音楽ファイル情報は本機で編集することはできません。

MUSIC JUKE plusを止める

1 オーディオのソースを切り替えます。

- **「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 OFF にタッチします。

ハードディスクの容量確認

USB AUDIO からMUSIC JUKE plusに転送されているトラック数を確認することができます。詳しくは、**「ハードディスクの容量確認」**（392ページ）を参照してください。

5. MUSIC JUKE plusの使い方

音楽ファイルを削除する

USBメモリから本機に転送した音楽ファイルを削除することができます。

チェック

削除中は、本機の電源を切らないでください。

1 機能 にタッチします。

2 削除 にタッチします。

● オーディオが一時停止します。

3 削除したいフォルダやファイルのリストを表示します。

● フォルダにタッチすると、1つ下の階層のフォルダおよびファイルのリストを表示します。

● にタッチすると、表示している階層よりも1つ上の階層のフォルダおよびファイルのリストを表示します。



4 現在のフォルダより選択 にタッチします。

5 削除したいフォルダ、またはファイルを選択します。

● 複数のフォルダ、またはファイルを同時に削除する場合は、削除するフォルダ、またはファイル全てにタッチしてください。

● 一度選んだフォルダ、またはファイルにもう一度タッチすると、キャンセルすることができます。

● 全選択 にタッチすると、現在の階層にある全フォルダおよび全ファイルを選択します。もう一度 全選択 にタッチすると、解除されます。



6 削除 にタッチします。

● 消去確認メッセージが表示されます。

7 YES にタッチします。

MP3/WMAについて

■MP3/WMAファイル、フォルダのリスト表示順番

MP3/WMAファイルおよびフォルダのリストは、同一階層内にあるMP3/WMAファイル、フォルダを次のように表示します。

1 MP3/WMA　ファイルを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示

2 次にフォルダを数字、アルファベット、日本語（SJISコード）の昇順に表示

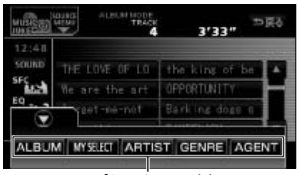
1. MUSIC JUKEをお使いになる前に

MUSIC JUKEの概要

MUSIC JUKEは、CDで再生されている音楽をAAC（Advanced Audio Coding）圧縮技術で圧縮し、録音することができます。CDを録音すると、「Gracenote音楽認識サービス」により、アーティスト名、アルバム名、ジャンルなどを検索し、該当する名称のグループを自動で作成します。

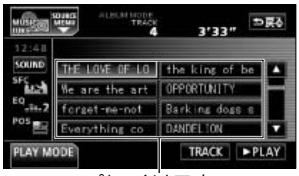
MUSIC JUKEの構成について

MUSIC JUKEは、録音された音楽を5種類のプレイモード（再生モード）に分類し、各プレイモードに作成したプレイリストに細かくグループを分けて管理することができます。聞きたい音楽は、プレイモードやプレイリストから絞り込んで検索することができます。



プレイモード

録音した音楽（トラック）を5つの再生モード（アルバム、アーティストやジャンルなど）で分けています。



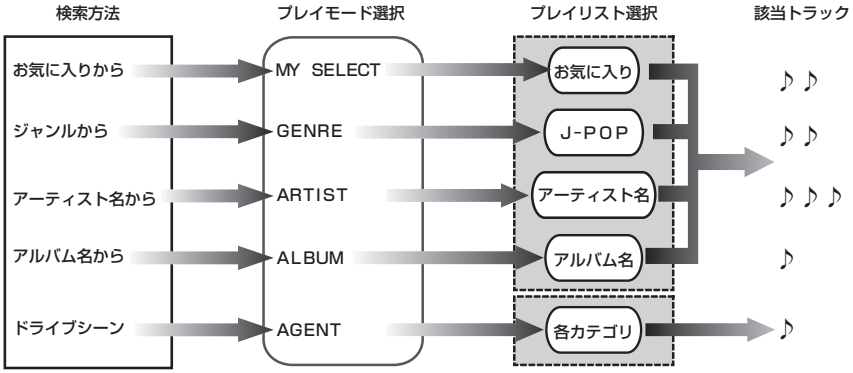
プレイリスト

各プレイモード（再生モード）ごとに録音した音楽（トラック）をそれぞれの種類別に分けています。



トラック

録音した音楽のタイトル



1. MUSIC JUKEをお使いになる前に

■ プレイモード・プレイリストについて

録音した音楽は、5種類のプレイモードの中に自動で作成された、アルバム名別やアーティスト別、ジャンル別、カテゴリ別のグループに分けられます。また、お好みの曲だけを集めたグループを作成することもできます。

プレイモード	プレイリスト
ALBUM	● 録音すると、トラックを収録したプレイリストを作成します。オートタイトリング機能でアルバム名が付与された場合アルバム名がプレイリスト名になります。オートタイトリング機能でアルバム名が付与されなかった場合はCD／ALBUM／番号がプレイリスト名になります。 ● アルバム名から選曲することができます。
MY SELECT	● お好みの曲だけを集めたオリジナルプレイリストを新規作成することができます。 ● オリジナルで作成したリスト名から選曲することができます。
ARTIST	● オートタイトリング機能で、録音された曲のアーティスト名が付与された場合、アーティスト名でプレイリストを作成します。 ● 録音されたトラックの情報に新規でアーティスト名を入力し、プレイリストを作成することができます。 ● アーティスト名から選曲することができます。また、同じアーティストのアルバムを複数録音している場合、アルバム名のリストを表示し、選曲することもできます。
GENRE	● オートタイトリング機能で、録音された曲のジャンルが付与された場合、ジャンルでプレイリストを作成します。 ● ジャンルから選曲することができます。また、同じジャンルのアルバムを複数録音している場合、アルバム名のリストを表示し、選曲することもできます。
AGENT	● プレイリストはありません。 ● オートタイトリング機能で、録音された曲のカテゴリ（曲イメージ・シーン・年代・タイアップ／イベント）が付与された場合、カテゴリ別で選曲することができます。

ワンポイント

本機のハードディスクには、最大999個※1のプレイリストを作成することができ、1つのプレイリストには最大99曲※1までトラックを録音することができます。録音可能なトラックの総数は最大およそ3000曲※2です。

※1 録音時間や録音モードによって、作成可能なプレイリスト数や録音可能なトラック数は異なります。

※2 USBメモリからMUSIC JUKE plusに保存される曲も含みます。

データベースについて

本機は、音楽CD（アルバム/シングルディスク）をMUSIC JUKEに録音した場合、ハードディスクに収録されているデータベースの中から、アルバム名やアーティスト名、ジャンル、カテゴリ、タイトルを検索し、各名称がデータベースに収録されていると、録音したデータに自動で付与します。

本機に収録されているデータベース情報は、Gracenoteメディアデータベース、およびメディアクリックデータベースを使用しています。

■ Gracenoteメディアデータベースについて

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。

Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧下さい。

GracenoteからのCDおよび音楽関連データ: Copyright(C) 2000 - 2010 Gracenote.

Gracenote Software: Copyright 2000 - 2010 Gracenote.

この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります: #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc.から提供されました。

GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。

Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:

www.gracenote.com/corporate



ワンポイント

- 自動で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。
- 「Gracenote音楽認識サービス」によって提供されたデータについては内容を100%保証するものではありません。

1. MUSIC JUKEをお使いになる前に

■ メディアクリックデータベース（MCDB）について

- MCDBは株式会社メディアクリックの登録商標です。
- MCDBのロゴは株式会社メディアクリックの登録商標です。
- メディアクリックは株式会社メディアクリックの登録商標です。

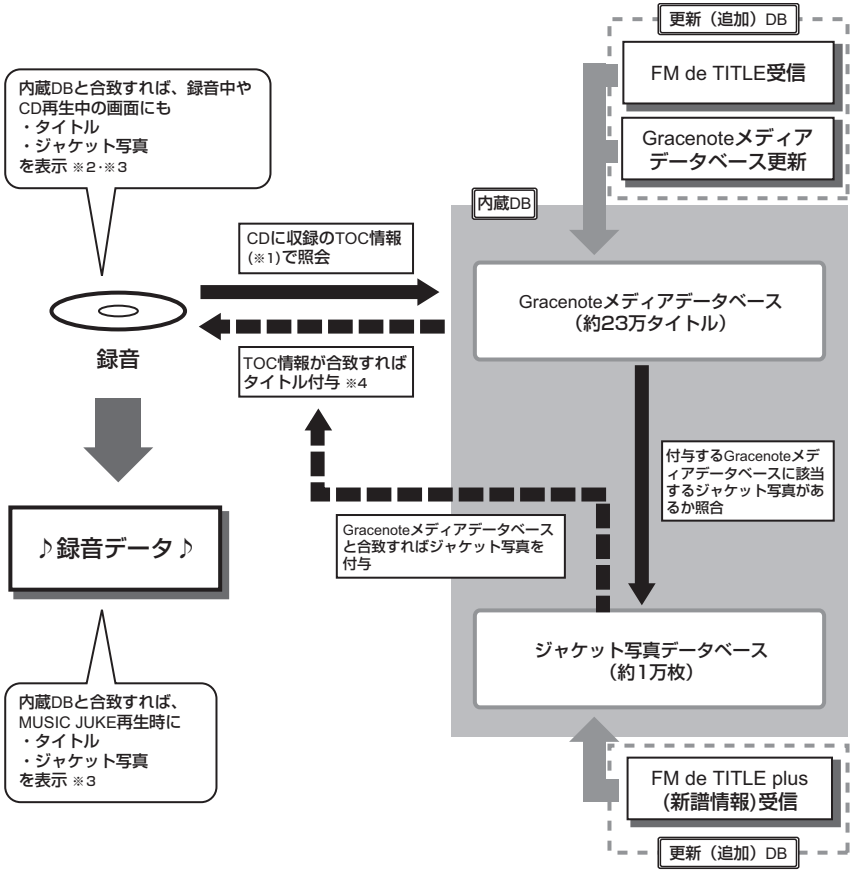
MCDB

- 本製品には、株式会社メディアクリックが提供する音楽情報に関するデータベースであるMCDBが収録されています。MCDBは株式会社メディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースであり、MCDBサービスはMCDBを使用して音楽に関する情報を提供するサービスです。
  この製品を使用してMCDBサービスを利用する際は、以下の項目について同意したものとみなされます。
- MCDBはメディアクリックのノウハウにより構成されているデータベースです。
  メディアクリックが独自に楽曲を選別したもので、楽曲の作曲者・作詞者等により作成・保証されたデータベースではありません。
- MCDBの内容は、お客様の趣味・趣向を100%保証するものではありません。
- MCDBは個人の使用のみに使うこと、商用として利用することは、いかなる場合でも禁止します。
- MCDBへのアクセスは、商品が提供する機能のみでアクセスすることができます。
  本製品が提供する機能以外でのMCDBへのアクセスを禁止します。
- 本製品に収録されたMCDBは、第三者に譲渡・コピー・転送する事を禁止します。
- お客様が上記同意事項に違反した場合には、弊社はMCDBサービスの利用を終了させていただくことができます。
- MCDBの著作権は、株式会社メディアクリックが有しており、著作権法関連諸法規、関連国際条約等で保護されています。
- 収録されているMCDBは2009年12月までのデータです。

■オートタイトリング機能について

本機は、録音した音楽を録音条件やデータベースからのタイトル情報によって自動でプレイリストを作成し、グループ分けします。

※ オートタイトリング機能で付与されたタイトル情報は、実際のタイトル情報と異なる場合があります。



※1：「TOC情報」とは、CDに録音されている曲数や再生時間等の目次情報です。
※2：「TOC情報」でGracenoteメディアデータベースと照会した際に複数のタイトル候補があった場合は、録音中の画面にはタイトル・ジャケット写真共に表示されません。（CD再生中も同じ）
※3：類似した「TOC情報」を持つCDがあった場合には、違うCDタイトルが付与されることがあります。
(特にシングルCDは曲数が少ないために、類似した「TOC情報」を持つCDが市場に多く存在します。)
※4：同一のCDアルバムでも、製造時期・製造場所などにより、「TOC情報」に違いが生じることがあるため、録音されたCDアルバムと、Gracenoteメディアデータベースが必ずしも一致するとは限りません。
このため、Gracenoteメディアデータベース内に、録音されたアルバムのタイトル情報があったとしても、タイトル付与されない場合があります。

次ページに続く

1. MUSIC JUKEをお使いになる前に

ワンポイント

●録音時にタイトル情報が付与できなかったものは、ALBUM プレイモードに下記の情報を作成します。
アルバムプレイモード
…CD／ALBUM／4桁の番号
トラックプレイモード
…CD／Track 2桁の番号

●FM de TITLEおよびFM de TITLE plusの受信については、**「タイトル情報の受信について」**（385ページ）を参照してください。

●Gracenote　メディアデータベースおよびジャケット写真データベースの更新については、**「データベースの更新について」**（383ページ）を参照してください。

■ジャケット写真について

● 格納されているジャケット写真は、本製品で使用する事を許諾したＣＤのジャケット写真のみレコード会社から提供されたもので、それ以外のＣＤについてはジャケット写真の提供は行われていません。

● 同一曲収録 CD（通常盤、初回限定盤など）において、ジャケット写真がそれぞれ異なる場合があります。このような場合、本製品はレコード会社より提供されたものが表示されます。お客様が、お持ちのＣＤのジャケット写真と必ず同じになるとは限りません。

● ジャケット写真は、本製品内のみで使用が可能です。

● 本製品に格納されているジャケット写真をコピー・転送することを禁止いたします。

● 本製品に格納されているジャケット写真を商用として利用することは、いかなる場合でも禁止いたします。

● お客様が、上記同意事項に違反した場合には、本製品に格納されているジャケット写真の利用を終了させていただく事が出来ます。

● 本製品に格納されているジャケット写真の著作権は、各制作者が有しており、著作権法、関連諸法、関連国際条約等で保護されています。

データベース情報の表示について

ハードディスクに収録されているタイトルデータベース（Gracenoteメディアデータベースおよびメディアクリックデータベース）のバージョン情報を見ることができます。

1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 データ管理 にタッチします。

● データ管理 が表示されていないときは、次 にタッチします。



3 データベースのバージョンの バージョン情報 にタッチします。



4 Gracenote Database 、または MCDB にタッチします。

● データベース情報を表示します。



ワンポイント

最大60個まで履歴を残すことができます。60個を超える場合、最も古いものから順に画面から削除されますが、内蔵のハードディスクには保存されています。

データベースの更新について

本機のデータベース（Gracenoteメディアデータベース、およびメディアクリックデータベース）は、提供されたデータによって更新することができます。

Gracenoteメディアデータベースやメディアクリックデータベースの更新時期やデータの提供については、http://www.fujitsu-ten.co.jp/eclipse/をご覧ください。

チェック

- 更新操作は必ずお車を安全な場所に停車し、パーキングブレーキをかけた状態でおこなってください。
- AUDIO が OFF になっていることを確認します。

■Gracenoteメディアデータベースを更新する

1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 データ管理 にタッチします。

● データ管理 が表示されていないときは、次 にタッチします。



3 更新データの書き込まれたCD-R/RWを差し込む、またはUSBメモリを接続します。

次ページに続く

1. MUSIC JUKEをお使いになる前に

4 Gracenote Databaseの **USB で更新** 、または **CD で更新** にタッチします。

- 更新中画面が表示され、データベースの更新を開始します。
- 更新中は本機の操作をしないでください。
- 更新が完了すると、更新中のメッセージが消えます。



5 CD-R/RWを本機から取り出す、またはUSBメモリを本機から取りはずします。

6 お車のエンジンを切り、約15秒程度待ちます。

7 再度お車のエンジンをかけ、データベース情報を表示して更新情報が追加されているか確認します。

●**「データベース情報の表示について」**（382ページ）を参照してください。

ワンポイント

- 一度付与されたタイトル情報は、Gracenoteメディアデータベースを更新後、該当するタイトル情報が保有されていても自動で変更されません。編集時に更新することができます。詳しくは、**「タイトル情報の再取得」**（415ページ）
- 更新にかかる時間はバージョンにより異なります。

■メディアクリックのデータベースを更新する

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **データ管理** にタッチします。

- **データ管理** が表示されていないときは、**次** にタッチします。



3 更新データの書き込まれたCD-R/RWを差し込む、またはUSBメモリを接続します。

4 MCDBの **USB で更新** 、または **CD で更新** にタッチします。

- データベースの更新を開始します。



タイトル情報の受信について

本機は、JFN系列の放送局で放送されている「FM de TITLE」※（エフエム デ タイトル）、および「FM de TITLE plus」※（エフエム デ タイトル プラス）を受信することができます。受信できる内容と機能は下記になります。

	FM de TITLE	FM de TITLE plus
受信できる内容	CDタイトル	レコード会社から配信される新譜情報（ジャケット写真）
制限	なし	一部表示期限あり
保存件数	制限なし	制限なし
受信の通知	CD情報インジケータ	新譜情報受信メッセージおよび新譜情報インジケータ
機能	音楽CDや音楽データ再生時、該当するCDタイトルを表示	音楽CDや音楽データ再生時、該当するジャケット写真を表示

※「FM de TITLE」、「FM de TITLE plus」は、FM多重放送を使い、CD楽曲データベース（CDタイトルや新譜情報）を無料で配信するサービスです。

● FM de TITLEが受信できる放送局については、**「FM de TITLEサービス放送局について」**（556ページ）を参照してください。

■ タイトル情報の受信について

「タイトル情報の受信」（386ページ参照）のFM多重チューナー設定をVICSに設定している場合、下記のソースに切り替えるとタイトル情報が受信できなくなります。

● AMラジオ、FMラジオ（JFN系列を除く）に切り替えた場合

● オーディオOFFの場合

受信したタイトル情報は**「タイトル情報の表示」**（386ページ参照）で確認することができます。画面には、最大1000個表示することができます。1000個を超える場合は、古い順番に自動で画面から削除されますが、内蔵のハードディスクには保存されています。

■ タイトル情報の保存について

受信されたタイトル情報は、自動で本機のハードディスクに保存されますが、下記の場合、タイトル情報は仮保存された状態になります。この場合、手動でタイトル情報を保存してください。詳しくは、**「タイトル情報の更新」**（391ページ）を参照してください。

● MUSIC JUKEで再生、録音、または編集作業を行った場合

● 壁紙（Pic-CLIP）を書き換えた場合

● USBメモリおよびCD-R/RWでデータベースを更新した場合

● ハードディスクに画像データを保存した場合

● 販売店にて地図データの書き換え作業を行った場合

ラジオ、CD等のソースに切り替えると、自動でハードディスクへの保存が可能になります。

1. MUSIC JUKEをお使いになる前に

■ タイトル情報の表示について

再生、または録音時にタイトル情報が付与されなかった音楽は、FM de TITLE/FM de TITLE plusで該当するCDタイトルや新譜情報を受信しても自動で付与されません。編集時に更新することができます。詳しくは、**「タイトル情報の再取得」**（415ページ）を参照してください。

タイトル情報の受信

タイトル情報を配信している放送局を自動で選局し、受信します。

1 MENU を押します。

● ナビメニュー画面が表示されないときは、ナビ にタッチします。

2 VICS にタッチします。



3 FM多重チューナー設定の CD情報 にタッチします。



ワンポイント

FM de TITLEは一度に配信する情報量が決まっています。一度受信・保存が完了し、次回の配信まで受信するデータが無い場合、自動でVICS情報の受信に切り替わります。但し、エンジンスイッチをACCまたはONにするたびに、FM de TITLEの放送を受信します。

タイトル情報の表示

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

■ CDタイトルを表示する

ハードディスクに保存されたCDタイトルを表示します。

チェック

保存されたCDタイトルの表示が可能になった場合、画面にCD情報インジケータを表示します。



1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 タイトルチェック にタッチします。



3 表示したいタイトルにタッチします。

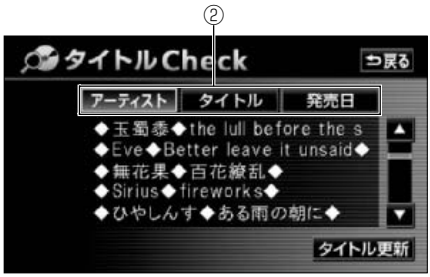
● CDタイトル表示画面を表示します。



CDタイトル画面の見方



● タイトルリスト画面



● CDタイトル表示画面

① 放送局側が最初に配信した日付
受信した順に、上から新しいタイトルを表示しています。

② CDタイトルの並び替え
CDタイトルを、アーティスト、曲のタイトル、発売日で並び替えることができます。

ワンポイント

- FM de TITLE/FM de TITLE plusで配信されたCD情報や新譜情報は内容を100%保証するものではありません。製造時期や製造場所などにより、情報に違いが生じるため、実際に再生している音楽CDやデータと内容が異なる場合や表示できない場合があります。
- CD　タイトル表示画面で表示される文字数は、アーティスト名、タイトル名、発売日合わせて半角文字では最大30文字、全角文字では最大15文字です。

1. MUSIC JUKEをお使いになる前に

■CD情報インジケータの表示を設定する

CDタイトルの表示が可能になったことをお知らせするインジケータの表示ON/OFFを設定することができます。

チェック

CDタイトルを受信した場合は 、新譜情報を受信した場合は NEW が表示されます。(新譜情報に関しては**「新譜情報を表示する」**（388ページ）を参照してください。)

1 MENU を押します。

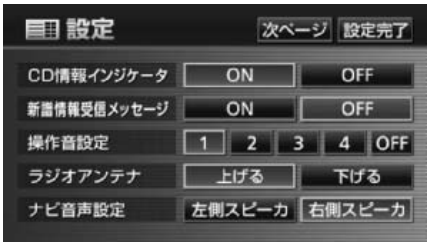
● 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

● **設定** が表示されていないときは、**次** にタッチします。



3 CD情報インジケータの **ON** 、または **OFF** にタッチします。



4 **設定完了** にタッチします。

ワンポイント

- CDタイトルを受信した場合は、インジケータ（ ）の表示がONの場合でもインジケータが表示されてから約6秒以上経過すると表示が消えます。
- 新譜情報を受信した場合に表示されるインジケータ（ NEW ）は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする、または受信した情報をすべて確認すると表示が消えます。**「新譜情報を表示する」**（388ページ参照）

■新譜情報を表示する

ハードディスクに保存された新譜情報（ジャケット写真）を表示します。新譜情報は、情報画面から確認する方法と、新譜情報受信メッセージ画面から確認する方法があります。

画面の見方については**「CDタイトル画面の見方」**（387ページ）を参照ください。

チェック

まだ表示していない新譜情報があると、“NEW”を表示します。

情報メニュー画面から確認する

1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **新譜情報** にタッチします。



3 表示したい新譜情報にタッチします。

● **一覧** にタッチすると、配信日別のタイトルリスト画面を表示します。



4 表示したいタイトルにタッチします。



5 表示したいCDタイトルにタッチします。

● 新譜情報画面を表示します。（走行中は操作・表示できません。）



新譜情報受信メッセージ画面から確認する

新譜情報を受信、確認が可能になった場合、自動で新譜情報受信メッセージ画面を表示します。



1 **見る** にタッチします。

● 新譜情報リスト画面を表示します。

M
J
Ⅳ

次ページに続く

1. MUSIC JUKEをお使いになる前に

ワンポイント

- 新譜情報（ジャケット写真）には表示できる有効期限（一部）があります。
  有効期限の過ぎた新譜情報は該当する音楽CDを再生しても表示することができません。但し、有効期限内に一度CDを差し込むと、音楽データ再生時、新譜情報を表示することができます。
- 新譜情報（ジャケット写真）の表示サイズは横56×縦56dotです。
- 受信した新譜情報（ジャケット写真）が正式版でない場合や不備があった場合、表示されません。

■新譜情報受信メッセージの表示を設定する

新譜情報の表示が可能になったことをお知らせするメッセージ画面の表示ON/OFFを設定することができます。

1 MENU を押します。

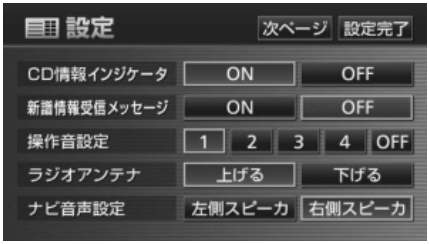
- 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 設定 にタッチします。

- 設定 が表示されていないときは、次 にタッチします。



3 新譜情報受信メッセージの ON 、または OFF にタッチします。



4 設定完了 にタッチします。

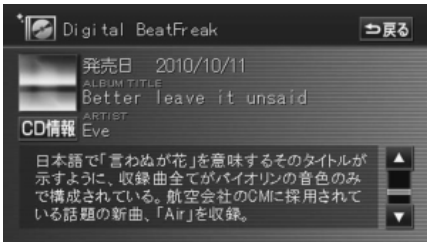
■携帯電話で新譜情報を見る

2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取ると、新譜情報に関連する携帯サイト（FLIP MOBILE）へ接続することができます。

チェック

2次元バーコードの読み取りに対応している携帯電話でご利用いただけます。

1 ジャケット表示画面で、CD情報 にタッチします。



2 携帯電話で2次元バーコードを読み取ります。

- 2次元バーコードの読み取り操作は、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- **サイズ変更** にタッチすると、バーコードの大きさを変更することができます。



ワンポイント

- 2 次元バーコードの読み取りは携帯電話各社で完全に保証されておりません。
  また、読み取り環境や条件によって読み取りが困難になることがあります。
- 2次元バーコードが読み取れないときは、2次元バーコードのサイズを変更する、または携帯電話および本機の画面の明るさを変えることで読み取ることができる場合があります。
- FLIP　MOBILEは株式会社メディアクリックのサービスです。
- 携帯電話の通信料金はお客様のご負担になります。
- QR　コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

タイトル情報の更新

「タイトル情報の保存について」（385ページ）で、保存されなかった場合にタイトル情報を更新することができます。

■CDタイトルを更新する

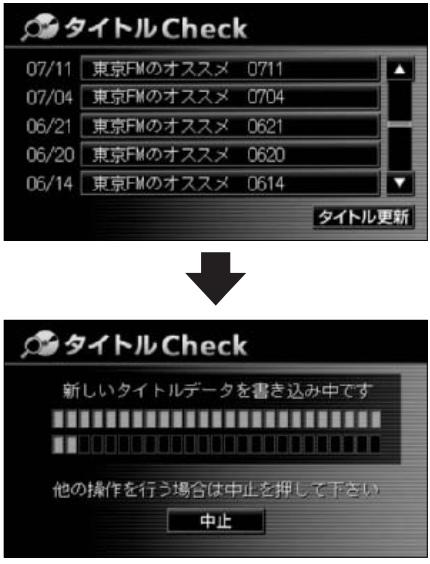
1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されないときは、**情報** にタッチします。

2 **タイトルチェック** にタッチします。

3 **タイトル更新** にタッチします。

- CDタイトル更新画面が表示されます。
- 更新中は主音量の調整以外の操作はできません。
- 更新完了後、タイトルリスト画面にもどります。



● CDタイトル更新画面

1. MUSIC JUKEをお使いになる前に

■新譜情報を更新する

1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

2 新譜情報 にタッチします。

3 更新 にタッチします。

● 新譜情報更新画面が表示されます。

● 更新中は主音量の調整以外の操作はできません。

● 更新完了後、新譜情報リスト画面にもどります。



● 新譜情報更新画面

ハードディスクの容量確認

ハードディスク内の録音トラック数や作成プレイリスト数を表示することができます。録音トラック数は、音楽 CD から MUSIC JUKE に録音したトラック数と、USB AUDIOからMUSIC JUKE plusに転送したトラック数を確認することができます。

1 MENU を押します。

● 情報メニュー画面が表示されないときは、情報 にタッチします。

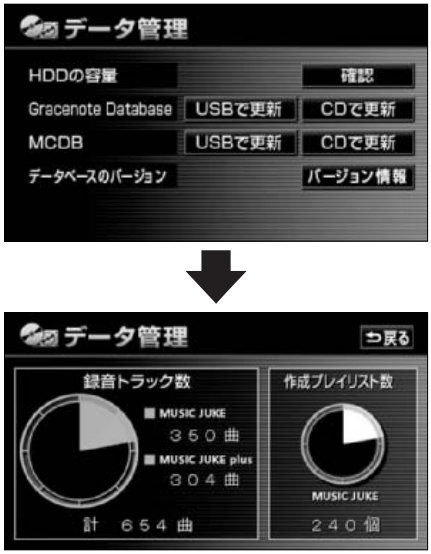
2 データ管理 にタッチします。

● データ管理 が表示されていないときは、次 にタッチします。



3 HDDの容量の **確認** にタッチします。

● ハードディスクの容量を表示します。



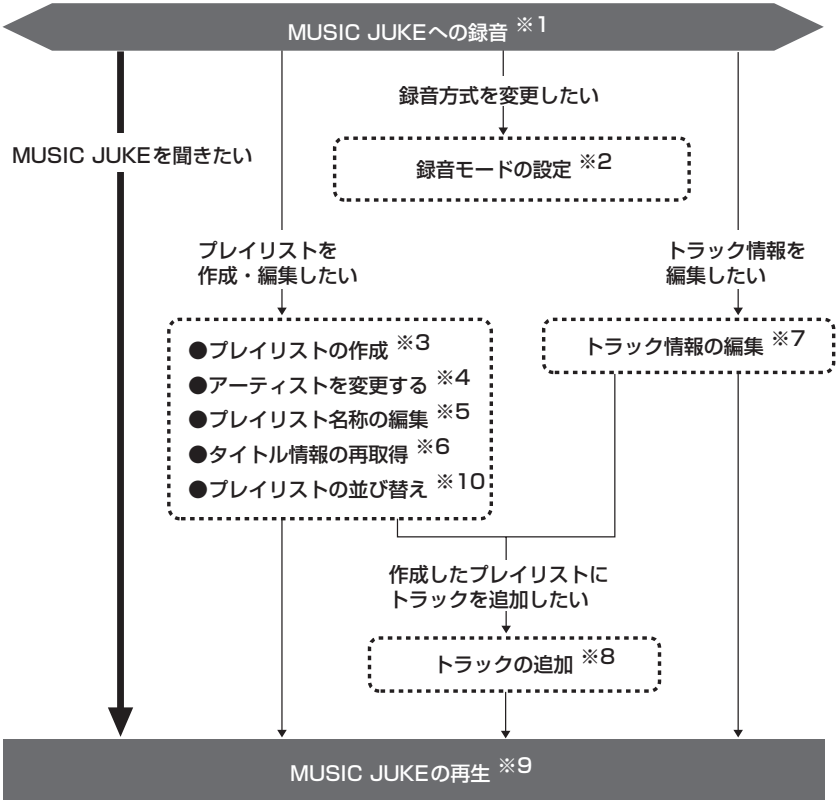
ワンポイント

MUSIC JUKE plusについては、**「MUSIC JUKE plusの使い方」**（372ページ）を参照してください。

1. MUSIC JUKEをお使いになる前に

操作の流れについて

MUSIC JUKEへの録音や、プレイリスト、トラック情報の編集、MUSIC JUKEの聞き方などの操作を説明します。



※1「**MUSIC JUKEへの録音**」(398ページ参照)
※2「**録音モードの設定**」(396ページ参照)
※3「**マイセレクトへのプレイリストの作成**」(409ページ参照)
※4「**アーティストを変更する**」(420ページ参照)
※5「**プレイリスト名称の編集**」(413ページ参照)
※6「**タイトル情報の再取得**」(415ページ参照)
※7「**トラック情報の編集**」(419ページ参照)
※8「**作成したプレイリストにトラックを追加する**」(410ページ参照)
※9「**MUSIC JUKEを聞く**」(401ページ参照)
※10「**プレイリストの並び替え**」(416ページ参照)

2. MUSIC JUKEへの録音

MUSIC JUKEへの録音について

- MUSIC JUKEに録音することができるデータは、CD（アルバム／シングルディスク）の音楽データのみです。
- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、下記のCDは録音することができません。
  - ・オーディオ機器を使用して録音したCD-RやCD-RW（パソコンを使用して作成、または複製したCD-RやCD-RWは、ライティングソフトウェアの仕様に依存されます。）
  - ・録音が禁止されている音楽CD
- 本機の録音は、通常の速さで再生しながら、4倍の速さで録音することができます。また、音楽を録音しながら録音された音楽を再生する裏録音を行っているため、録音中に他のソースに切り替えることができます。詳しくは**「MUSIC JUKEへの録音」**（398ページ）を参照してください。
- 録音中の再生音は、MUSIC JUKEに録音された音のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。（ソースのアイコンの表示が替わります）
- 下記の場合、録音途中のトラック（曲）を削除します。
  - ・録音中にお車のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合
  - ・録音中にCDを排出した場合
- 下記の場合、自動で録音を再開します。（録音モードの設定が AUTO の場合）
  - ・エンジンスイッチをACCまたはONにした場合※1
  - ・CDを挿入した場合※2

※1 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始
再生：再生途中だったトラック（曲）の頭から再生を開始
エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする直前に録音中だった場合のみ、エンジンスイッチをONにすると録音を開始

※2 録音：録音されていないトラック（曲）の中で、最もトラック番号が小さいものから録音を開始
再生：挿入したCDの最初から再生を開始

- 下記の場合、録音を継続します。
  - ・録音中にソースを切り替えた場合
  - ・録音中にオーディオをOFFにした場合
- USB メモリに収録されている音楽データの転送中は、録音することはできません。**「音楽ファイルを本機に転送する」**（363ページ参照）
- すでに録音されている曲は、重複して録音することはできません。
- 手動で録音を停止した場合は、その後録音が完了した曲のみ再生することができます。それ以外の曲を再生する場合は、一度ソースを切り替えた後、再度同じCDを再生してください。

2. MUSIC JUKEへの録音

■録音についての注意

- 本機の故障、誤作動または不具合により録音できなかった録音内容、および消失した音楽データについては保証できません。
- お客様が録音したものは、個人として楽しむなどのほか、著作権法上、権利者に無断で使用できません。
- エンジンスイッチをACCにして録音しているときに、エンジンスイッチをONにすると、録音したデータが消失する恐れがあります。
- ノンストップCD（曲と曲の間の無音部分が無いCD）を録音すると、曲間に無音部分が録音され、不自然な音切れが発生することがありますが、録音するディスクに依存しますのでご了承ください。
- 録音中にラジオなどに切り替え、録音を終了すると、約２秒間ラジオの放送が聞こえなくなります。
- CDを録音開始後、録音された音を出力します。
  録音が完了した後、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にしたり、ソースを切り替えるなどお客様が操作しない限り、録音された音を継続して再生します。
- 一度バッテリーターミナルをはずし、再度接続した場合、地図画面を表示してから約２分間は録音ができません。
- 音飛びなど、何らかの原因で録音が完了していない場合、画面に を表示します。
- 音飛びなどで、再度録音を開始する場合、画面に“R”を表示します。

ワンポイント

MUSIC JUKEに録音した音楽情報については、著作権法上バックアップをおこなうことはできません。

録音モードの設定

録音する場合に、CDの差し込みと同時に録音を開始する AUTO 、または AV を1秒以上押し、録音したいトラック（曲）を選択する SELECT に切り替えることができます。

1 MUSIC JUKE操作画面で 機能 、 設定 の順にタッチします。



2 録音モードの **AUTO** 、または **SELECT** にタッチします。



2. MUSIC JUKEへの録音

MUSIC JUKEへの録音

本機は、CD（アルバム／シングルディスク）のみ録音することができます。

録音の方法は、CDの挿入と同時に自動で録音を開始するAUTO録音と AV スイッチを1秒以上押して、録音したい曲を選んでから録音を開始するSELECT録音があります。

録音中は、録音マーク、録音トラック数確認マークおよび録音進捗バーを表示します。（399ページ参照）

録音中は下記のスイッチが使用できなくなります。

ソース（音声モード）	使用できないスイッチ	
	タッチスイッチ	パネルスイッチ
CDプレーヤー	RPT ・ RAND ・ SCAN ・ CD情報	⏭ ※3 ⏮ ※2
MUSIC JUKE	RPT ・ RAND ・ SCAN ・ PLAYLIST RPT ・ ALL RAND ・ PLAYLIST SCAN ・ PLAY MODE ※2 ・ AGENT ・ CD情報 ・ 設定 ・ 編集	⏭ ※4 ⏮ ※2
CDプレーヤー以外※1	制約なし	制約なし

※1 録音しながら、ソースをラジオやiPod、VTRなどに切り替えた場合。

※2 プレイモードのALBUMおよびMY SELECTは操作可能です。

※3 録音が完了した曲の前曲・次曲の切り替えは可能です。

※4 前曲・次曲の切り替えは可能です。

チェック

USBメモリに収録されている音楽データの転送中は、録音することはできません。**「音楽ファイルを本機に転送する」**（363ページ参照）

■CDを再生しながら自動で録音する

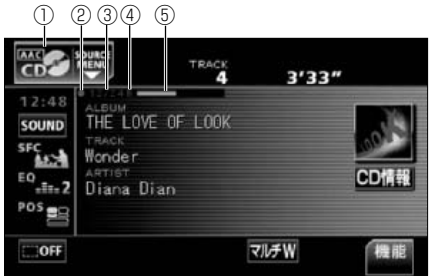
CDを差し込むと、4倍速で録音します。(録音モードの設定が AUTO の場合)

1 CDを差し込みます。

- 自動で録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で音楽が出力されます。
- 全曲の録音が完了すると、自動で録音を終了します。再生は継続されます。(録音が完了している曲のみ)
- 録音を途中で停止する場合は、AV を1秒以上押します。



録音画面の見方



① **SOURCE MENU呼び出しスイッチ**
録音中はスイッチの表示が切り替わります。

② **録音マーク**
録音中に表示されます。

③ **録音トラック数確認マーク**
- AUTO録音の場合
  録音が完了したトラック数/音楽CDの全曲数
- SELECT録音の場合
  録音が完了したトラック数/録音の対象になっている曲数

④ **Retryマーク**
録音中に音飛びが発生し、再度録音を開始したときに表示されます。

⑤ **録音進捗バー**
録音の進捗をバーで表示します。

ワンポイント

- 録音中の再生音は、MUSIC JUKEに録音された音（AAC圧縮技術で圧縮された音声）のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、下記のCDは録音できません。
  - 音楽 CD などから録音した CD-R や CD-RW
  - 録音が禁止されている音楽CD
- すでにCDが差し込まれているときに、ソースをCDに切り替えても自動で録音は開始されません。AV を1秒以上押して録音を始めてください。**「CDの中からお好みのトラック（曲）を録音する」**(399ページ参照)
- お好みの曲のみ録音したい場合は、**「録音モードの設定」**(396ページ)で録音モードを SELECT に設定してください。

■CDの中からお好みのトラック（曲）を録音する

お好みのトラック（曲）を選び、録音（4倍速）を開始します。(録音モードの設定が SELECT の場合)

1 CDを再生中に、AV を1秒以上押します。

次ページに続く

2. MUSIC JUKEへの録音

2 録音したいトラック（曲）にタッチします。

- 複数のトラックを同時に選ぶ場合は、選びたいトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチすると、キャンセルすることができます。
- すでに録音が完了しているトラック（曲）は選べません。



3 開始 にタッチします。



- 選んだトラック（曲）の再生と録音を開始します。このとき、スピーカーからは等倍速（通常の速さ）で　音楽が出力されます。
- 選んだトラック（曲）の録音が完了すると、自動で録音を停止します。選んだトラック（曲）の再生は継続されます。（録音が完了した曲のみ）
- 録音を途中で停止する場合は、AV を1秒以上押します。
- 録音中は、録音マーク、録音トラック数確認マークおよび録音進捗バーを表示します。（399 ページ参照）

ワンポイント

- 録音中の再生音は、MUSIC JUKEに録音された音（AAC圧縮技術で圧縮された音声）のため、CD再生時とは異なった音で聞こえる場合があります。
- SCMS（シリアルコピーマネジメントシステム）に対応しているため、下記のCDは録音できません。
  - 音楽CDなどから録音したCD-RやCD-RW
  - 録音が禁止されている音楽CD
- CDを差し込んだときに、再生と同時に録音を開始したい場合は、**「録音モードの設定」**（396ページ）で録音モードを AUTO に設定してください。

3. MUSIC JUKEの使い方

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。



MUSIC JUKEを聞く

チェック

再生しているプレイリストに該当するジャケット写真データが本機のハードディスクにある場合、ジャケット写真を表示します。**「ジャケット写真の表示を設定する」**（415ページ参照）

MYSELECT、またはAGENTプレイモードで再生中はジャケット写真を表示することができません。

1 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 **Music Juke** にタッチします。

● 前回、MUSIC JUKEを再生していたときに、最後に聞いていたトラック（曲）の停止したところから再生を始めます。

ワンポイント

MUSIC JUKEに記録されているプレイリスト名やトラック名などを表示することができます。**「トラック（曲）情報などを表示する」**（407ページ参照）

3. MUSIC JUKEの使い方

表示・再生について

MUSIC JUKEに保存されている複数のトラック（曲）をアルバム名やジャンルなどグループ別に選ぶことができます。タッチするプレイモードによって、プレイリストやトラックの表示・再生の順番は違います。

● プレイリストの表示･再生の順番は下記になります。

プレイモード	プレイリストの表示・再生順
ALBUM	自動で作成したリストを新しい順に表示・再生（一番上が最新）
MY SELECT	オリジナルで作成したリストを新しい順に表示・再生（一番上が最新）
ARTIST	自動で作成したリストをShift-JIS順に表示・再生
GENRE	あらかじめ設定されている順に表示・再生
AGENT	–

● トラックの表示･再生の順番は下記になります。

プレイモード	プレイリストの表示・再生順
ALBUM	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生
MY SELECT	プレイリストに追加した順に表示・再生
ARTIST	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生※
GENRE	音楽CDに収録されているトラックの順に表示・再生※
AGENT	–

※ 同じ ARTIST/GENRE の全トラックの再生が終了すると、次のARTIST/GENREに切り替わります。

再生中のプレイリストの中で聞きたいトラック（曲）を選ぶ

■選曲・頭出しスイッチから選ぶ

選択されているプレイリスト内でトラックを切り替えることができます。

1 [⏭]、または [⏮] を押します。

● [⏭]（右側）：次曲を選ぶとき
[⏮]（左側）：頭出し・前曲を選ぶとき

■ トラック切り替えスイッチから選ぶ

1 聞きたいトラックにタッチします。

● 選んだトラックを再生します。



プレイモード・プレイリストから聞きたいトラック（曲）を選ぶ

チェック

各プレイモードは、プレイリストが作成されていないと選べません。

1 再生画面で、 にタッチします。



2 PLAY MODE にタッチします。



3 再生したいプレイモードにタッチします。

- アーティストやジャンルのプレイモードを選んだ場合、 ALBUM にタッチすると、選んだアーティスト名やジャンルが付与されているアルバム名を一覧で表示します。
- AGENT は、AGENT機能のカテゴリを選択していないとタッチできません。**「"AGENT"から選ぶ」**（404ページ参照）



4 再生したいプレイリストにタッチします。

- ▶PLAY にタッチすると、タッチしたプレイリストの先頭のトラックから再生を開始します。



5 TRACK にタッチします。

- 選んだプレイリストに収録されているトラックを一覧で表示します。



6 聞きたいトラックにタッチします。

- 選んだトラックを再生します。
- 9個以上リストがある場合は ▲ ・ ▼ にタッチすると、リストを切り替えることができます。



3. MUSIC JUKEの使い方

“AGENT”から選ぶ

録音したトラック（曲）がメディアクリックデータベースから音楽情報を付与されていると、お好みに合わせて、４つのカテゴリから選曲し、該当する曲が見つかった場合、再生することができます。

MUSIC JUKE AGENT機能はあくまでもイメージ選曲です。実際の内容と異なる場合があります。

● カテゴリの項目とイメージされる内容は下記になります。

カテゴリ	項目	対象となるトラック（曲）
曲イメージ	パワフル	曲のテンポが速く、ムードの明るいイメージの曲
	普通	普通
	静か	曲のテンポが遅く、ムードの暗いイメージの曲
シーン	シティクルーズ	日中のドライブなどをイメージした曲
	ハイウェイクルーズ	旅行など、高速道路を走行するドライブをイメージした曲
	ナイトクルーズ	夜のドライブなどをイメージした曲
年代	～'60	60年代以前にヒットした曲
	'70	70年代にヒットした曲
	'80	80年代にヒットした曲
	'90	90年代にヒットした曲
	'00～	00年代以降にヒットした曲
タイアップ/イベント	テレビ　CM	タイアップ情報のTV番組オープニング、エンディング曲、CMソングなど
	ドラマ　ムービー	ドラマ主題歌、挿入歌、映画主題歌、挿入歌など
	ラブソング	歌詞の主題などからLOVEソングとイメージされる曲
	メモリー	クリスマスやバレンタインなど、記念日をイメージされる曲
	メジャーヒット	メジャーヒットした曲

チェック

同じカテゴリ内で、複数の項目を選択することはできません。

1 AGENT にタッチします。



2 各カテゴリにタッチします。



3 ▶PLAY にタッチします。

● 選んだカテゴリに該当する曲を再生します。



早送り・早戻しする

1 ⏭、⏮ を“ピッ”と音がするまで押します。

● ⏭（右側）：トラック（曲）を進めるとき
⏮（左側）：トラック（曲）を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたいトラック（曲）を探す

■ プレイリストの中から聞きたい曲を探す

1 機能 にタッチします。

2 SCAN にタッチします。

● 再生中のプレイリスト内、全曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度に SCAN タッチすると、その曲で再生を続けます。

3. MUSIC JUKEの使い方

■ プレイモードの中から聞きたいプレイリストを探す

チェック

AGENTモード時は操作できません。

1 機能 にタッチします。

2 PLAYLIST SCAN にタッチします。

- 再生中のプレイモード内、全プレイリストの1曲目に収録されている曲を曲の始めの10秒間だけ順に再生します。もう一度に PLAYLIST SCAN タッチすると、そのプレイリストで再生を続けます。

聞きたいトラック（曲）を繰り返し聞く

■ いま聞いている曲を繰り返し再生する

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

- 再生中の曲を繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

■ いま聞いているプレイリストを繰り返し再生する

チェック

AGENTモード時は操作できません。

1 機能 にタッチします。

2 PLAYLIST RPT にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内の全曲を繰り返します。
- 一度 PLAYLIST RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。
  もう一度 PLAYLIST RPT にタッチすると解除されます。

トラック（曲）の順番をランダムに聞く

■ いま聞いているプレイリストの中からランダムに再生する

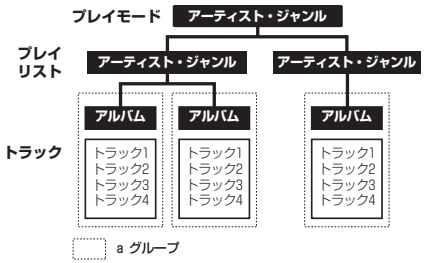
1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

- 再生中のプレイリスト内の全曲でランダム再生します。
- 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。
- RAND にタッチしたときに聞いていたプレイリスト※内のトラック(曲)をランダムに再生します。プレイリスト※内の全トラック（曲）の再生が終了しても、同じプレイリスト内のトラック（曲）をランダムに再生します。

  ※ 選択しているプレイモードがアーティスト/ジャンルの場合は、アルバムリスト（ツリー図のaグループ）単位で再生します。

ツリー図



■全てのトラック(曲)をランダムに再生する

チェック

AGENTモード時は操作できません。

1 機能 にタッチします。

2 ALL RAND にタッチします。

- HDD 内に録音されている全てのトラック(曲)でランダム再生します。
- 一度 ALL RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度に ALL RAND タッチすると解除されます。
- どのプレイモードから切り替えた場合でも、HDD内のトラック(曲)をランダムに選び、再生します。

トラック（曲）情報などを表示する

1 TITLE にタッチします。

- 再生しているトラックの情報を表示中は、TITLE が TITLE OFF に切り替わり TITLE OFF にタッチするとトラック切り替えスイッチに表示が切り替わります。

ワンポイント

MUSIC JUKEに記録されているプレイリスト名やトラック名などの表示文字数は、ジャケット写真の表示・非表示により次のようになります。

- ジャケット写真表示時：半角文字では最大28文字、全角文字では最大14文字
- ジャケット写真非表示時：半角文字では最大32文字、全角文字では最大16文字

携帯電話でアルバム情報を見る

2次元バーコード（QRコード）を携帯電話で読み取ると、再生中のプレイリストに関連する携帯サイトへ接続することができます。詳しくは、**「携帯電話でアルバム情報を見る」**（347ページ）を参照してください。

3. MUSIC JUKEの使い方

MUSIC JUKEを止める

1 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 OFF にタッチします。

4. プレイリストの編集

本機は、MUSIC JUKEに録音すると、アルバム名やアーティスト名などのプレイリストを自動で作成し、グループ分けしますが、お好みのトラック（曲）を集めたオリジナルプレイリストを作成することができます。また、プレイリストの名称の編集やプレイリストの並び替えをすることができます。

● 編集中は音楽の再生を一時停止します。

マイセレクトへのプレイリストの作成

プレイモードのマイセレクトにお好みの曲だけを集めたプレイリストを作成することができます。プレイモードのアーティストに、新しくプレイリストを作成する場合は**「アーティストを変更する」**（420ページ）を参照してください。

■ プレイリストを作成する

1 機能 にタッチします。

2 編集 にタッチします。



3 マイセレクトの編集 にタッチします。



4 新規 にタッチします。



5 タイトル にタッチします。



6 タイトルを入力します。

● 名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（412ページ）を参照してください。



次ページに続く

4. プレイリストの編集

7 タイトルを確認し、**完了** にタッチします。



● トラック追加画面が表示され、作成したプレイリストにトラックを追加することができます。詳しくは、**「作成したプレイリストにトラックを追加する」**（410ページ）を参照してください。

作成したプレイリストにトラックを追加する



●トラック追加画面

● 現在選ばれているプレイリスト内のトラックを追加する場合は、**5** の操作以降をおこないます。

1 トラック追加画面で **PLAY MODE** にタッチします。



2 追加したいトラックを検索するため
のプレイモードにタッチします。

● ARTIST 、または GENRE のプレイモードを選んだときは、アーティスト名、または
ジャンルにタッチします。



3 追加したいトラックが収録されてい
るプレイリストにタッチします。



4 追加したいトラックにタッチします。

● 複数のトラックを同時に追加する場合は、追加するトラック全てにタッチしてください。

● 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。

● にタッチすると、3 の画面にもどります。



次ページに続く

4. プレイリストの編集

5 追加 にタッチします。

- 選んだトラックをプレイリストの一番最後に追加します。
- 削除 にタッチすると、プレイリストに追加したトラックを削除することができます。



6 完了 にタッチします。

ワンポイント

一度に選ぶことができるトラック数は最大99です。

プレイリストの名称入力

1 タイトル にタッチします。



2 文字を1文字ずつタッチして入力します。

- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、カナ （カタカナ）、英字 、数・記号 （数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英字入力、数・記号入力については**「カナ、英字、数・記号の入力」**（413ページ）を参照してください。
- 間違えた（または入力されている）ときは クリア にタッチすると、1つずつ消去されます



3 ひらがなのときは、**無変換** 、漢字のときは、**変換** にタッチします。



4 **変換** にタッチしたときは、変換する熟語リストで、入力する熟語にタッチします。

● 変換する文字の範囲を変更するときは、◀ ・ ▶ にタッチして、範囲を変更し、再度 **変換** にタッチします。



5 **完了** にタッチします。

■カナ、英字、数・記号の入力

1 **カナ** 、**英字** 、**数・記号** にタッチします。

2 **半角** 、または **全角** にタッチして、入力する文字の大きさを切り替えます。

● **▲前** **▼次** が表示されているときは、タッチするとページを切り替えることができます。



3 文字を１文字ずつタッチして入力します。

● 間違えた（または入力されている）ときは **クリア** にタッチすると、１つずつ消去されます。



4 **完了** にタッチします。

プレイリスト名称の編集

プレイモードのアルバム、またはマイセレクトに登録されているプレイリストを編集することができます。

1 **機能** にタッチします。

次ページに続く

4. プレイリストの編集

2 編集 にタッチします。



3 名称編集 にタッチします。



4 プレイリストの編集 にタッチします。



5 ALBUM 、または MY SELECT にタッチします。

6 編集したいプレイリストにタッチします。



7 タイトル にタッチします。



8 タイトルを入力します。

● 名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（412ページ）を参照してください。



9 タイトルを確認し、**完了** にタッチします。



■ジャケット写真の表示を設定する

音楽CDやトラック（曲）を再生するときに該当するジャケット写真を表示します。

チェック

- ジャケット写真の表示設定は、ALBUMプレイモードを選択しているときのみ操作することができます。
- 有効期限が切れたジャケット写真は表示されません。

1 ジャケット写真の表示の **ON** 、または **OFF** にタッチします。

- **OFF** にタッチすると、音楽CD再生中もジャケット写真は表示されません。



タイトル情報の再取得

録音時にタイトル情報が付与できなかった場合や、間違ったタイトルが付与された場合など、再度、本機のデータベースを検索し、該当する情報を付与することができます。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。



3 **名称編集** にタッチします。



4 **プレイリストの編集** にタッチします。



5 **ALBUM** にタッチします。

次ページに続く

4. プレイリストの編集

6 編集したいプレイリストにタッチします。

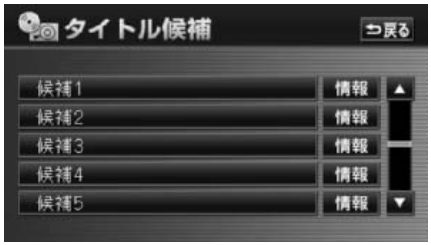


7 タイトル取得 にタッチします。

- 該当するタイトル情報を取得後、直前の画面にもどります。



- 複数のタイトル情報が存在する場合は、下記の画面が表示されます。該当するタイトルにタッチします。
- 情報 にタッチすると、タイトルに含まれているトラック（曲）タイトルを一覧で表示します。確認後、決定 にタッチすると、タイトル情報を取得し、7 の画面にもどります。



プレイリストの並び替え

プレイリストやトラックは、録音した順に表示され、再生されます。プレイリストの表示を並び替えることで、再生する順を任意に変更することができます。

チェック

プレイリストは、MUSIC JUKE設定画面の「表示並び替え」がONに設定されていないと並び替えできません。「表示並び替え」をONに設定する場合は、**「作成した順番に並び替える」**（417ページ参照）の手順で「表示並び替え」の ON にタッチしてください。

■お好みに合わせて並び替える

1 MUSIC JUKE操作画面で、 にタッチします。



2 PLAY MODE にタッチします。

3 選びたいプレイモードにタッチします。

4 選びたいプレイリストにタッチします。

5 ▶PLAY にタッチします。

- 選んだプレイリスト内のトラックを再生し、プレイリストがリストの上段にきます。

■作成した順番に並び替える

お好みに合わせて並び替えたプレイリストを作成（録音）した順番に戻すことができます。

1 機能 にタッチします。



2 設定 にタッチします。



3 表示並び替えの デフォルト にタッチします。

- 作成（録音）した順番にプレイリストを並び替えます。



プレイリストの削除

プレイモードの ALBUM または MY SELECTに登録されているプレイリストを消去することができます。選択したプレイモードにより、消去されるデータが違います。

選択したプレイモード	消去されるデータ
ALBUM	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）は消去されますので、他のプレイモードからも検索することができなくなります。
MY SELECT	選択したプレイリストは消去されますが、トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモードから検索することができます。

チェック

削除中は、本機の電源を切らないでください。

1 機能 にタッチします。

2 編集 にタッチします。



次ページに続く

4. プレイリストの編集

3 削除 にタッチします。



4 アルバムの削除 、または マイセレクトの削除 にタッチします。



5 削除したいプレイリストにタッチします。

- 複数のプレイリストを同時に削除する場合は、削除するプレイリスト全てにタッチしてください。
- 一度選んだプレイリストにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。
- 全選択 にタッチすると、全てのプレイリストが選択されます。



6 削除 にタッチします。

- 消去確認メッセージが表示されます。

7 YES にタッチします。

5. トラックの編集

トラック情報の編集を行います。録音したトラックのアーティスト名やジャンルを設定すると、トラックを検索する時、アーティスト名やジャンルからも探し出すことができます。

● 編集中は音楽の再生を一時停止します。

トラック情報の編集

アーティスト名やアルバム名、トラックのタイトル、ジャンルを変更することができます。

■ トラック編集画面の呼び出し

1 機能 にタッチします。

2 編集 にタッチします。



3 名称編集 にタッチします。



4 トラックの編集 にタッチします。

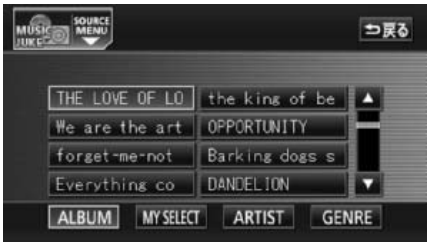


5 プレイモードを選びます。

● ARTIST 、または GENRE のプレイモードを選んだときは、アーティスト名、またはジャンルにタッチします。

● プレイリストを、プレイモードごとに並べ替えて表示します。

6 編集したいプレイリストにタッチします。



次ページに続く

5. トラックの編集

7 編集したいトラックにタッチします。

● トラック編集画面が表示されます。



■トラックタイトルを変更する

1 トラック編集画面で、**タイトル** にタッチします。



● **トラック編集画面**

2 タイトルを入力します。

● 名称の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（412ページ）を参照してください。



■アーティストを変更する

1 **アーティスト** にタッチします。



2 選びたいアーティスト名にタッチします。



● ▲ ・ ▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

● **新規** にタッチすると、新しくアーティストを登録することができます。アーティスト名の入力については、**「プレイリストの名称入力」**（412ページ）を参照してください。

■ジャンルを変更する

1 ジャンル にタッチします。



2 ジャンルにタッチします。

● OTHER にタッチすると、ジャンルを設定せずに登録することができます。



3 完了 にタッチします。



ワンポイント

AGENTのカテゴリを変更することはできません。

5. トラックの編集

トラックの消去

録音したトラックを消去することができます。
選択したプレイモード（プレイリスト）やトラックにより、消去されるデータが違います。

選択したプレイモード	選択したトラック	消去されるデータ
MY SELECT内のプレイリスト	リスト内のトラック	選択したプレイリスト内の登録を消去します。トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
	リスト内の残り１つのトラック	選択したプレイリストは消去されます。トラック（曲データ）は消去されませんので、他のプレイモード、プレイリストから検索することができます。
MY SELECT以外のプレイリスト	リスト内のトラック	選択したトラック（曲データ）を消去します。 他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。
	リスト内の残り１つのトラック	選択したプレイリストおよびトラック（曲データ）を消去します。 他のプレイモード、プレイリストからも検索することができません。

チェック

削除中は、本機の電源を切らないでください。

1 **機能** にタッチします。

2 **編集** にタッチします。



3 削除 にタッチします。



4 トラックの削除 にタッチします。



5 プレイモードを選びます。

- ARTIST 、または GENRE のプレイモードを選んだときは、アーティスト名、または ジャンルにタッチします。
- プレイリストを、プレイモードごとに並べ替えて表示します。

6 削除したいトラックが収録されているプレイリストにタッチします。



次ページに続く

5. トラックの編集

7 削除したいトラックにタッチします。

- 複数のトラックを同時に削除する場合は、削除するトラック全てにタッチしてください。
- 一度選んだトラックにもう一度タッチするとキャンセルすることができます。



8 削除 にタッチします。

消去確認メッセージが表示されます。

9 YES にタッチします。

1. DTVをお使いになる前に

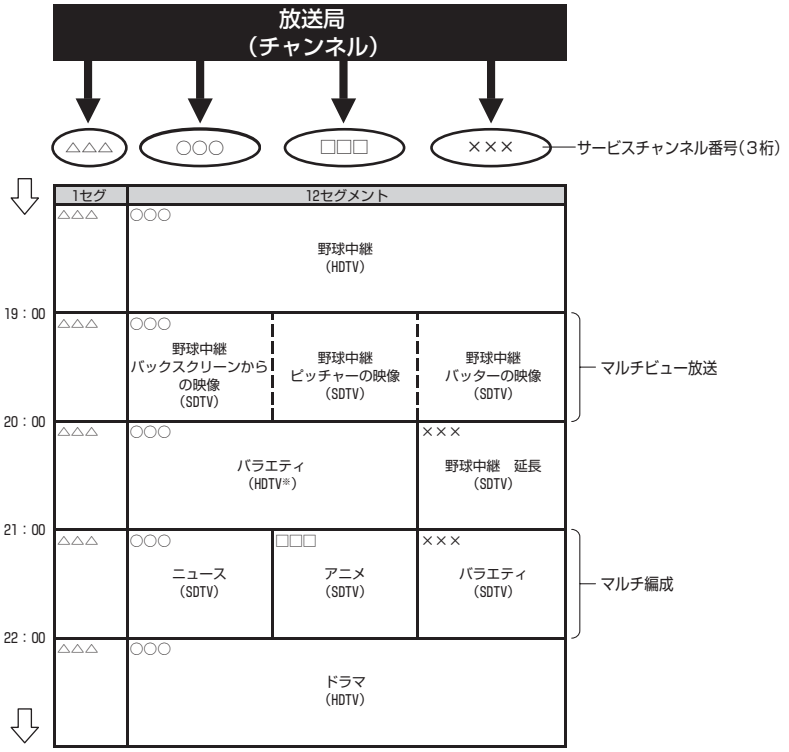
地上デジタルTV放送は、１つのチャンネルが13の「セグメント」という単位で分割されています。一般的に、地上デジタルTV放送は１２セグメントを使用した、ハイビジョン映像(HDTV)や標準映像（SDTV)の放送を指します。１セグメントはワンセグ放送と呼ばれる携帯端末向けの放送に使用されます。

標準映像の番組は４セグメントを使用するため、最大で３つの番組を同時に提供するマルチ編成や、１つの番組で最大で３つの映像を提供するマルチビュー放送をおこなうことができます。

チェック

●地上デジタルTV放送を視聴するには、B-CASカードが必要です。

●DTV機能を初めてご使用なる際は、初回起動時の設定が必要になります。



※ 標準映像の番組も同時に放送しているため、12セグメントを使用したハイビジョン映像より低画質となります。

ワンポイント

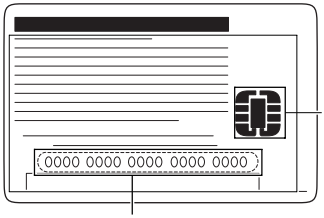
●ワンセグ放送のサービスチャンネル番号は、611～728に割り当てられています。

●ワンセグ放送は、テレビ放送事業者（放送局）などにより提供されるサービスです。

1. DTVをお使いになる前に

B-CASカードについて

B-CASカードは、デジタル放送の番組の著作権保護などに利用するカードです。地上デジタルTV放送を受信するときは、必ずB-CASカードを本機に差し込んでください。B-CASカードの動作確認については**「B-CASカードの動作確認」**（448ページ）を参照してください。



B-CASカード番号

カードを運用・管理するための番号です。問い合わせの際に必要です。

■取り扱いについての注意

- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、使用者ご自身でパッケージを開封し、カードを本機に正しく差し込んでください。
- B-CASカードの説明書をよくお読みのうえ、お使いください。
- 使用許諾契約約款をお読みのうえ、お使いください。
- B-CASカードを挿入しないと、デジタル放送を視聴することができません。
  (ワンセグ放送は視聴することができます)
- 重いものをのせないでください。
- 水をかけたり、濡れた手で触らないでください。
- IC（集積回路）部には手を触れないでください。
- 分解、改造はしないでください。
- 折り曲げたり、変形させたりしないでください。
- 高温になるところにカードを放置しないでください。
- バス・タクシーなど、不特定または多数の人の視聴を目的とした業務用途には使用できません。
- 盗難防止のため、長い期間お車から離れるときは、B-CASカードを抜き、車内に残さないようにすることをおすすめします。

より詳しい情報は、http://www.b-cas.co.jpをご覧ください。

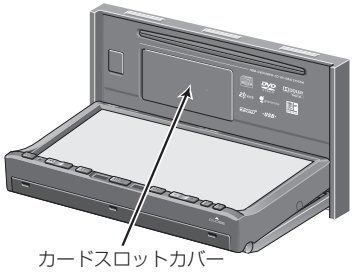
■B-CASカードに関する問い合せ

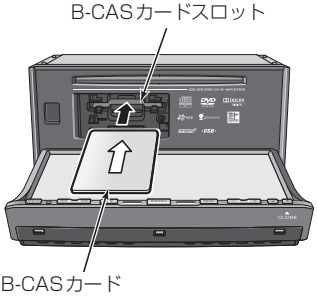
B-CASカードの所有権は株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズにあります。B-CASカードに関するお問い合せは、下記へご連絡ください。

- 本機を破棄するなど、B-CAS　カードが必要なくなったときは、株式会社ビーエス・コンディショナルアクセスシステムズ カスタマーセンターに連絡して手続きをしてください。
  電話番号　0570-000-250
  受付時間　AM10:00～PM8:00（年中無休）
- カードの故障については、コピー制御お問合せセンターへお問い合せください。
  電話番号　0570-000-288
  受付時間　AM10:00～PM8:00（年中無休）

B-CASカードの差し込み・取り出し方について

ディスプレイを開いた状態で、カードスロットカバーを取りはずして、B-CASカードスロットにB-CASカードを差し込み（取り出し）ます。





チェック

カードスロットカバーの取り付け・取りはずしをするときや、B-CASカードの差し込み・取り出しをするときは、指などがディスプレイに触れないよう注意してください。
CLOSE にタッチすると、ディスプレイが閉じます。

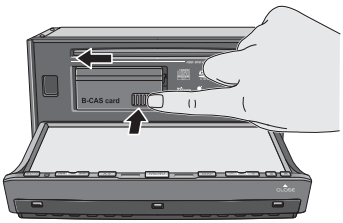
■カードスロットカバーを取りはずす

1 ⏏ を約1秒間“ピッ”と音がするまで押します。

- ディスプレイが開きます。

2 カードスロットカバーの滑り止め部分を押しながら、左へスライドさせます。

- カードスロットカバーが止まるまで、スライドさせてください。

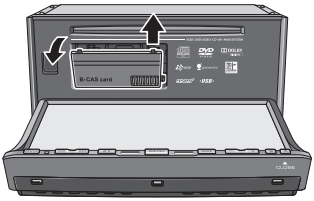


次ページに続く

1. DTVをお使いになる前に

3 カードスロットカバーを手前に引き持ち上げて取りはずします。

● カードスロットカバーを手前に引くときに、下部ツメを折らないように注意してください。



■B-CASカードを差し込む

⚠ 重要

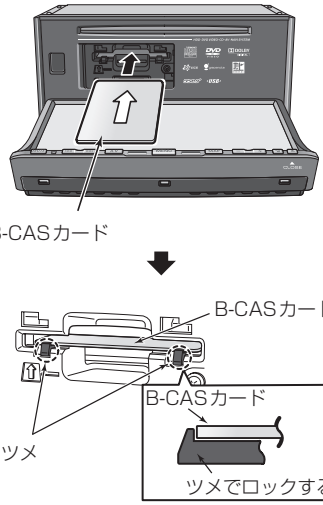
- ●B-CASカード以外のものを差し込まないでください。故障や破損の原因となります。
- ●B-CASカードは、奥に突き当たるまで差し込んで、ツメでロックしてください。しっかり差し込まれていないと、受信不良などの原因になります。
- ●B-CASカードを抜き差ししたときは、3秒以上経ってからB-CASカードの動作確認を行ってください。

チェック

B-CASカードは、矢印表示面を上、IC側を下にして差し込んでください。

1 B-CASカードスロットにB-CASカードを矢印の方向で差し込みます。

● B-CAS カードがツメでしっかりとロックされるまで差し込んでください。



2 B-CASカードの動作確認をします。

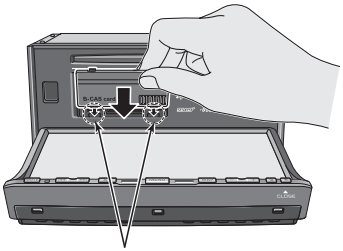
● B-CAS カードの動作確認は必ず行ってください。

詳しくは、**「B-CASカードの動作確認」**（448ページ）を参照してください。

■カードスロットカバーを取り付ける

1 カードスロットカバーの下部ツメを本機の下側の穴に差し込みます。

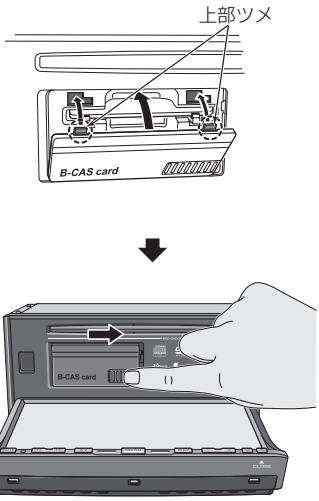
● 下側の穴に差し込むときに、下部ツメを折らないように注意してください。



2 カードスロットカバーの上部ツメを本機の上側の穴にはめ込み、滑り止め部分を押しながら、右へスライドさせます。

● カードスロットカバーを左にスライドさせた状態で、上部ツメを本機上側の穴にはめ込んでください。

● カードスロットカバーが止まるまで、スライドさせてください。



■B-CASカードを取り出す

1 B-CASカードを指で上に引き上げ、ツメからはずします。

2 ゆっくりとB-CASカードを引き出します。

● B-CAS カードは水平方向に引き出してください。

ワンポイント

ご使用中はB-CASカードを抜き差ししないでください。視聴できなくなる場合があります。

初回起動時の設定

本機を初めてご使用になる際は、下記の設定をする必要があります。

● **「チャンネルを記憶する」**（433 ページ参照）

● **「居住地域を設定する」**（446ページ参照）

2. DTVの使い方

チェック

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみ、地上デジタルTV放送をご覧になることができます。（走行中にソースをDTVに切り替えた場合、音声のみになります。）



DTV（地上デジタルTV放送）を見る

1 オーディオのソースを切り替えます。

- **「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 DTV にタッチします。

- DTV画面になります。
- 決定 にタッチすると全画面になります。DTV操作画面にしたいときは、AV を押します。
- DTV 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約10秒間表示されます。AV を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。

ワンポイント

- 通常の地上デジタルTV放送とワンセグ放送はサービスリスト画面で切り替えることができます。**「見たい番組を選ぶ」**（433ページ参照）また、通常の地上デジタルTV放送の受信ができなくなった場合に、自動でワンセグ放送に切り替わるように設定することができます。**「受信モードを設定する」**（447ページ参照）
- 別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席で地上デジタルTV放送をご覧になることができます。
- 後席モニターでは、DTV操作はできません。操作は本機側で行ってください。
- 電波の受信状態が悪くなった場合、画面が静止して音が出なくなることがあります。
- 本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。
- 地上デジタルTV放送では、5.1chをAAC方式で圧縮した番組（AAC 5.1ch放送）を放送している場合があります。本機はAAC5.1ch 放送には対応していません。AAC5.1ch放送を受信した場合、2ch再生となります。
- 本機は双方向通信に対応していません。

バンドを切り替える

本機には2つのバンド（BAND1、BAND2）があり、それぞれのバンドごとに放送局を記憶させることができます。ふだんご覧になるチャンネルはBAND1を使用し、旅先などでのチャンネルはBAND2を使用するなど、用途によって使い分けると便利です。

視聴したい放送局があるバンドに切り替えます。

1 エリア にタッチします。



2 機能 にタッチします。



3 BAND にタッチします。

- BAND にタッチするごとに、BAND1、BAND2が順に切り替わります。



- バンドを切り替えるごとに、操作画面に“BAND1”、または“BAND2”が表示されます。



ワンポイント

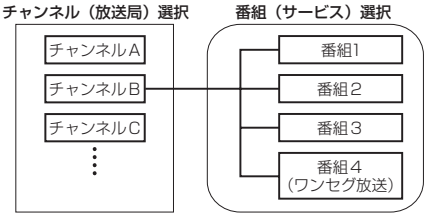
バンド（BAND1、BAND2）へチャンネルを設定する場合は、**「チャンネルを記憶する」**（433ページ）を参照してください。

2. DTVの使い方

見たいチャンネルを選ぶ

■地上デジタルTVのチャンネル構成について

地上デジタルTV放送は、1つのチャンネル（放送局）で複数の番組（サービス）を同時に放送することができます。1つのチャンネルで、同じ番組を放送している場合があります。



ワンポイント

放送局によっては、通常の地上デジタルTV放送とワンセグ放送で番組が異なる場合があります。

■記憶されたチャンネルから選ぶ

パネルスイッチから切り替える

1 ⏭、⏮を押します。

● 押すごとに　1　ステップずつプリセットチャンネルがUP/DOWNします。

⏭（右側）：プリセットチャンネルUP(大きくなる)

⏮　（左側）：プリセットチャンネルDOWN(小さくなる)

タッチスイッチから選ぶ

1 記憶されているプリセットスイッチにタッチします。

● チャンネルの記憶方法は**「チャンネルを記憶する」**（433ページ）を参照してください。

2 **決定** にタッチします。

● 放送局受信画面に切り替わります。

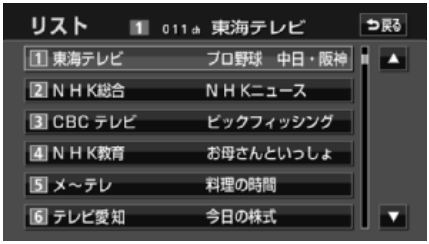
リストから選ぶ

1 **chリスト** にタッチします。

● プリセットされているチャンネルの放送局名を一覧で表示します。



2 見たい放送局名にタッチします。



3 **戻る** にタッチします。

● 放送局受信画面が表示されます。

■受信可能なチャンネルを探して選ぶ

1 ⏭、⏮を“ピッ”と音がするまで押します。

● 現在、受信している放送局（チャンネル）に一番近い放送局を自動的に選局して受信したところで止まります。途中で止めたいときは、もう一度押すと解除され、青い画面が表示されます。

ワンポイント

受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。

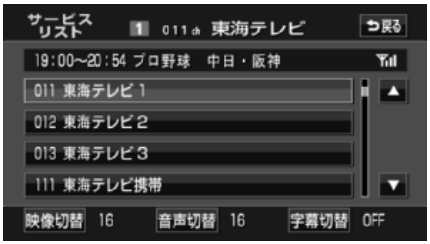
見たい番組を選ぶ

1 サービス にタッチします。

● サービスリスト画面を表示します。



2 見たい番組名にタッチします。



3 戻る にタッチします。

● 放送局受信画面が表示されます。

ワンポイント

●ワンセグ放送のサービスチャンネル番号は、611～728に割り当てられています。

●ご覧になっているチャンネルがワンセグ放送をおこなっていない場合、ワンセグ放送には切り替わりません。

●受信モードが 自動切替 に設定されている場合、通常の地上デジタルTV放送が受信可能なときは、ワンセグ放送に切り替えても自動で通常の地上デジタルTV放送にもどります。（447 ページ参照）

チャンネルを記憶する

プリセットスイッチにチャンネルを記憶させるには、手動設定と自動設定の２つのモードがあります。

チェック

記憶させたいバンド（BAND1、BAND2）に切り替えてください。バンドの切り替えについては**「バンドを切り替える」**（431ページ）を参照してください。

■手動設定で記憶する

1 記憶させたいチャンネルを選びます。

●**「見たいチャンネルを選ぶ」**（432ページ）を参照してください。

2 記憶させたいプリセットスイッチを“ピーッ”と音がするまでタッチします。

● チャンネルが記憶され、プリセットスイッチにタッチして選局ができるようになります。

次ページに続く

2. DTVの使い方

ワンポイント

- 各バンド（BAND1、BAND2）に、それぞれ最大12チャンネルまで記憶することができます。
- 各バンドで、受信できたチャンネルが 12チャンネル未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- 同じ放送局からの受信でも、手動設定で記憶したチャンネルと自動設定で記憶したチャンネルとでは一致しないことがあります。

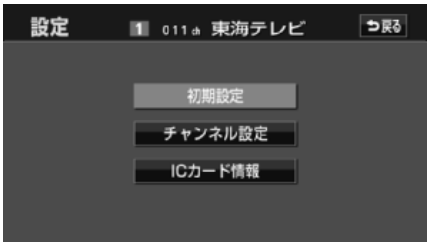
■自動設定で記憶する

1 DTV操作画面で、**設定** にタッチします。



2 **チャンネル設定** にタッチします。

- チャンネルの自動選局を開始します。

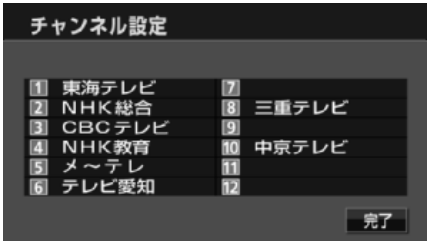


- チャンネル自動選局中は、進捗バーが表示されます。
- 自動選局を中止したいときは、**キャンセル** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

- チャンネルが記憶され、プリセットスイッチにタッチして選局ができるようになります。



ワンポイント

- 各バンド（BAND1、BAND2）に、それぞれ最大12チャンネルまで記憶することができます。
- 各バンドで、受信できたチャンネルが　12チャンネル未満のとき、残りのプリセットスイッチには何も記憶されません。
- 受信電波の弱い地域では自動設定での受信ができないことがあります。
- 同じ放送局からの受信でも、手動設定で記憶したチャンネルと自動設定で記憶したチャンネルとでは一致しないことがあります。
- 自動設定を同じ場所で繰り返し操作しても、受信電波の状態により、記憶されるチャンネルが異なることがあります。

エリアスイッチについて

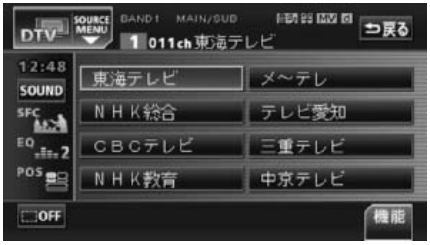
自分のいる地域の放送局のチャンネルがわからないときに、その地域のチャンネルを表示・選局することができます。

1 DTV操作画面で **エリア** にタッチします。

- その地域で放送されている放送局名が表示されます。

2 放送局名が表示されているプリセットスイッチにタッチします。

- 放送局受信画面に切り替わります。



ワンポイント

- 放送局名を表示できても、放送を受信できない場合があります。
- 放送を受信できても、放送局名を表示できない場合があります。

音声多重放送を切り替える

音声多重放送を受信しているときは、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。

チェック

画面に 音多 マークが表示されているときに、音声を切り替えることができます。

1 DTV操作画面で **エリア** にタッチします。

2 **機能** にタッチします

3 **主/副** にタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 MAIN → 副音声 SUB → 主/副音声 MAIN/SUB

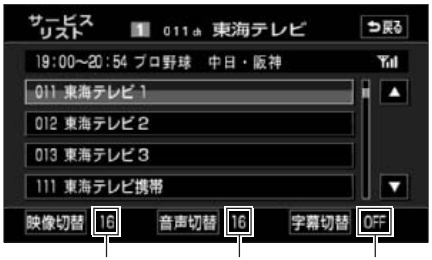


2. DTVの使い方

画面表示・音声の切り替え

ご覧になっている番組が提供している、映像、音声、字幕をお好みに合わせて切り替えることができます。

受信している映像や音声、字幕は視聴設定画面で確認することができます。



映像番号　音声番号　字幕言語

■映像を切り替える

ご覧になっている番組が複数の映像を提供している場合、お好みに合わせて映像を切り替えることができます。

チェック

画面に MV マークが表示されているときに、映像を切り替えることができます。

1 **サービス** にタッチします。

2 **映像切替** にタッチします。

● **映像切替** にタッチするごとに、映像番号および映像が切り替わります。

ワンポイント

映像を切り替えると同時に、音声と字幕も切り替わることがあります。

■音声を切り替える

ご覧になっている番組が複数の音声を提供している場合、お好みに合わせて音声を切り替えることができます。

1 **サービス** にタッチします。

2 **音声切替** にタッチします。

● **音声切替** にタッチするごとに、音声番号および音声が切り替わります。

■字幕を切り替える

ご覧になっている番組が字幕（日本語、英語）を提供している場合、お好みに合わせて字幕を切り替えることができます。

チェック

●画面に 字 マークが表示されているときに、字幕を切り替えることができます。

●ワンセグ放送の字幕放送には対応していません。

1 **サービス** にタッチします。

2 **字幕切替** にタッチします。

● **字幕切替** にタッチするごとに、字幕言語が替わり、下図の順に字幕表示が切り替わります。

OFF（字幕OFF）→ 日（日本語）→ 英（英語）

緊急警報放送を受信したときは

緊急警報放送システム（EWS：Emergency Warning System）とは、放送局が緊急警報信号を送信し、地震や津波などの情報をお知らせするシステムです。緊急警報放送は、警戒宣言、津波警報、知事からの要請があったときに放送されます。

緊急警報放送を受信した場合、自動で放送内容が表示されます。放送が終了すると、自動的にもとのサービスにもどります。

DTV（地上デジタルTV放送）を終わる

1 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 OFF にタッチします。

3. EPG（電子番組表）の使い方

EPGとは放送局が提供する、画面上で見ることができるテレビ番組表です。
画面上で簡単に、見たい番組をさがすことができます。



●番組タイトル画面

● ▲ 、▼ にタッチすると、リストを切り替えて表示することができます。

EPG（電子番組表）を見る

1 DTV操作画面で **番組表** にタッチします。

● 番組タイトル画面が表示されます。



見たい番組を探す

■日付を切り替えて探す

現在から、前日、翌日の番組表に切り替えることができます。

1 ◀ 、または ▶ にタッチします。

● ▶ ：番組表が翌日に切り替わります。
◀ ：番組表が前日に切り替わります。

ワンポイント

EPGは、12セグメント放送で現在から最大3日分、ワンセグ放送で最大10番組分表示することができます。

■チャンネルを切り替えて探す

プリセットスイッチ（リモコンチャンネル切り替え）で番組表を切り替えることができます。

1 プリセットスイッチの **1** ～ **12** のいずれかにタッチします。

● 選んだチャンネルの番組表に切り替わります。

● **7** ～ **12** のチャンネル切り替えスイッチは、▶▶ にタッチすると表示されます。◀◀ にタッチすると、もとの **1** ～ **6** の表示にもどります。

ワンポイント

●受信電波の弱い地域では、自動選局できないことがあります。
●EPGからお好みのDTV映像（番組）に切り替えることはできません。

■番組を切り替えて探す

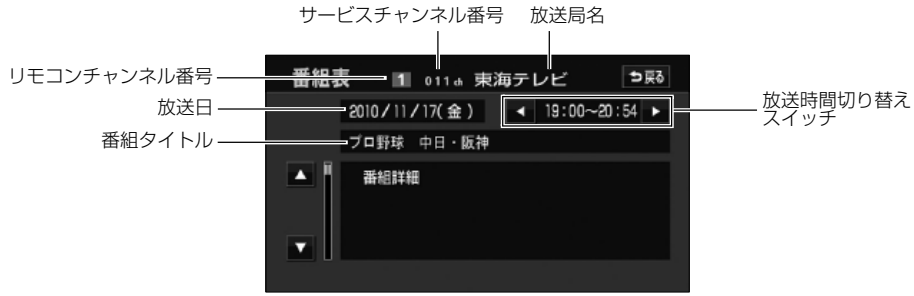
選択しているチャンネルで複数の番組が放送される場合、番組を切り替えることができます。

1 **サービス切替** にタッチします。

- **サービス切替** にタッチするごとに、番組およびサービスチャンネル番号が切り替わります。

3. EPG（電子番組表）の使い方

番組の情報を見る



●番組情報画面

● 放送時間切り替えスイッチ（ ◀ 、 ▶ ）にタッチすると、放送時間帯を切り替えることができます。

◀ ：前の放送時間帯の番組を表示

▶ ：次の放送時間帯の番組を表示

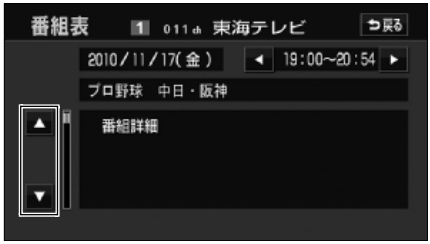
1 番組タイトル画面で情報が見たい番組にタッチします。

● 番組情報画面が表示されます。



📖ワンポイント

情報を表示しきれない場合、▲ 、▼ にタッチすると画面をスクロールすることができます。



4. データ放送の使い方

データ放送とは映像の他に、図形や文字の情報を付加した放送です。
受信するデータ放送により、番組に連動した情報、独立した情報を見ることができます。



●データ放送操作画面

データ放送を見る

チェック

画面に d マークが表示されているときに、データ放送を見ることができます。

1 DTV操作画面で **d操作** にタッチします。

● データ放送操作用のボタンが表示されます。

2 d にタッチします。

● データ放送画面が表示されます。



● データ放送操作画面で、 **ボタン消** にタッチすると、タッチスイッチが消えます。

● データ放送操作画面で、 d にタッチするとDTV画面にもどります。



● データ放送画面

ワンポイント

ワンセグ放送のデータ放送には対応していません。

データ放送を操作する

画面に表示される説明の順に操作すると、さまざまな情報を見ることができます。受信したデータ放送は色ボタン、カーソル、10キー（テンキー）などで操作します。

また、データ放送の内容により、文字入力が必要な場合は、文字を入力することができます。

操作方法は受信したデータ放送により異なります。

■色ボタン・カーソルの操作について

データ放送を操作するときに、色ボタンとカーソルを使用します。

次ページに続く

4. データ放送の使い方

1 表示 にタッチします。

2 色ボタン、またはカーソルにタッチします。

● 移動 にタッチするごとに、色ボタン・カーソルの位置が左右に切り替わります。

3 カーソルにタッチしたときは、選択後 決定 にタッチします。



■ 10キー（テンキー）の操作について

数字を入力するときに使用します。

1 数字 にタッチします。

2 数字にタッチします。

● 移動 にタッチするごとに、10キーの位置が左右に切り替わります。



3 決定 にタッチします。

ワンポイント

- データ放送の内容により、文字を入力することがあります。文字の入力については**「文字入力の操作について」**（442ページ）を参照してください。また、入力する文字の種類は限定されることがあります。（カナのみなど）
- データ放送には双方向サービス（クイズやテレビショッピングに視聴者がリアルタイムで参加できるサービス）をおこなっている番組があります。本機には通信機能がないため、双方向通信に対応していません。

■ 文字入力の操作について

文字入力の操作は、データ放送画面で表示される指示順におこなってください。

1 文字を１文字ずつタッチして入力します。

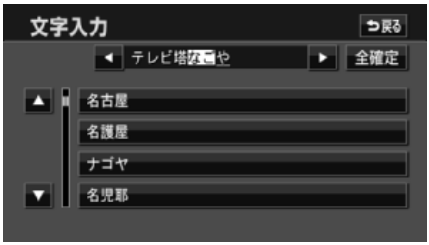
- ひらがなと漢字以外の文字を入力するときは、**カナ**（カタカナ）、**英数字**、**数記号**（数字・記号）にタッチして、入力画面を切り替えます。
- カナ入力、英数字入力、数記号入力については**「カナ、英数字、数記号の入力」**（443ページ）を参照してください。
- 間違えた（入力されている）ときは **修正** にタッチすると、１文字ずつ消去されます。



2 ひらがなのときは **無変換**、漢字のときは **変換** にタッチします。



- **変換** にタッチしたときは、変換する熟語リストで入力する熟語にタッチし、**全確定** にタッチします。
- 変換する文字の範囲を変更するときは、**▶**、**◀** にタッチします。



3 **完了** にタッチします。

カナ、英数字、数記号の入力

1 **カナ**、**英数字**、または **数記号** にタッチします。



次ページに続く

4. データ放送の使い方

2 入力する文字の大きさを切り替えるときは、**半角**（**全角**）にタッチします。

- **英数字** にタッチしたときは、**大文字**（**小文字**）にタッチすると、大文字と小文字を切り替えることができます。

3 文字を１文字ずつタッチして入力します。

- 間違えた（入力されている）ときは **修正** にタッチすると、１文字ずつ消去されます。



4 **完了** にタッチします。

ワンポイント

入力することのできる文字数は全角で最大12文字（半角で24文字）までです。

ただし、データ放送の内容により、最大文字入力数は異なります。

5. DTVの設定

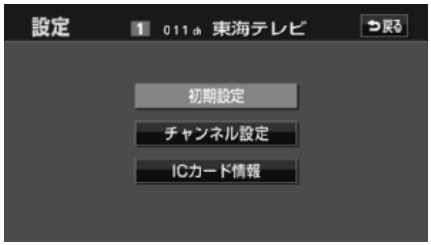
初期設定画面に切り替える

初期設定画面から、各種機能設定ができます。

1 DTV操作画面で **設定** にタッチします。



2 **初期設定** にタッチします。



3 初期設定画面から下記機能の設定をすることができます。

- **「文字スーパーを設定する」**（445 ページ参照）
- **「居住地域を設定する」**（446ページ参照）
- **「イベントリレーを設定する」**（447 ページ参照）
- **「受信モードを設定する」**（447 ページ参照）



初期設定をする

■文字スーパーを設定する

地上デジタルTV放送では、映像や音声などとは別に、放送と独立した文字スーパーの表示（天気予報やニュースなどを字幕で放送するサービス）をおこなっています。文字スーパーは日本語と英語を表示することができます。

1 初期設定画面で文字スーパーの表示の **設定** にタッチします。

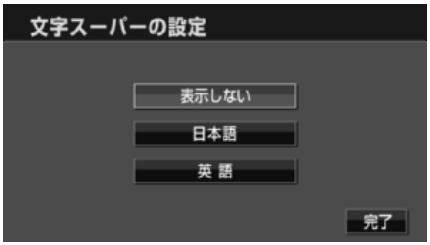


次ページに続く

5. DTVの設定

2 お好みの言語にタッチします。

● **表示しない** にタッチすると、文字スーパーが表示されません。



3 **完了** にタッチします。

■居住地域を設定する

デジタル放送の番組やデータ放送で地域情報を受信するために、居住地域を設定する必要があります。

居住地域は都道府県の選択（446 ページ参照）、または郵便番号の入力（447 ページ参照）により設定することができます。

初めて起動したときや、引っ越ししたときは必ず設定してください。

県域から設定する

1 初期設定画面で居住地域の登録の **設定** にタッチします。

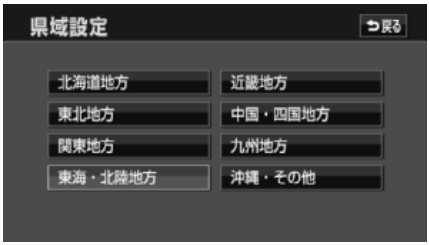


2 **県域設定** にタッチします。



3 お住まいの地方にタッチします。

● 東京都島部（伊豆・小笠原諸島）と鹿児島県島部（南西諸島の鹿児島県域）にお住まいの場合は、**沖縄・その他** を選択してください。



4 お住まいの都道府県、または地域にタッチします。

● 設定が完了し、初期設定画面にもどります。



郵便番号から設定する

1 初期設定画面で居住地域の登録の **設定** にタッチします。



2 **郵便番号設定** にタッチします。



3 数字を1番号ずつタッチして入力します。

● 間違えたときは **修正** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



4 **完了** にタッチします。

■イベントリレーを設定する

イベントリレーとは、視聴中の番組から、異なるイベント（番組）や臨時サービスに自動で切り替える機能です。

例えば、野球の延長放送を視聴中の番組とは異なるサービスチャンネル番号で放送するときに、自動で切り替えます。

1 初期設定画面でイベントリレーの受信の **する** 、または **しない** にタッチします。



2 **完了** にタッチします。

■受信モードを設定する

地上デジタルTV放送の受信方法を周囲の環境に合わせて設定することができます。

次ページに続く

5. DTVの設定

1 初期設定画面で受信モードの **ワンセグ固定** 、 **12 セグ固定** 、または **自動切替** にタッチします。

- **ワンセグ固定** ：常にワンセグ放送のみ受信します。
- **12 セグ固定** ：常に通常の地上デジタルTV放送のみ受信します。
- **自動切替** ：通常の地上デジタルTV放送が受信できなくなると、自動でワンセグ放送の受信に切り替わり、通常の地上デジタルTV放送が受信可能になると、自動でもとに戻ります。



2 **完了** にタッチします。

ワンポイント

自動切替 に設定すると、以下のようになることがあります。

- 自動で切り替わった番組が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- 自動で切り替わった番組の映像や音声が、ご覧になっていた番組と異なることがあります。
- ワンセグ放送をおこなっていない放送局をご覧になっている場合、ワンセグ放送に切り替わりません。

B-CASカードの動作確認

本機に差し込まれているB-CASカードの情報を見たり、テストをしたりすることができます。



● ICカード情報画面

■B-CASカードの情報を見る

チェック

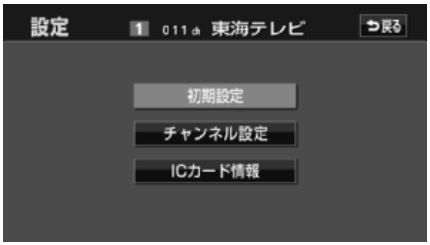
B-CASカードが差し込まれていない、または異なるカードが差し込まれている場合は、カードIDは表示されません。

1 DTV操作画面で **設定** にタッチします。



2 ICカード情報 にタッチします。

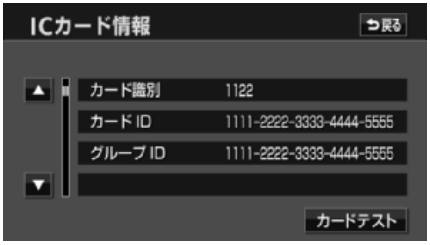
● ICカード情報画面が表示されます。



■B-CASカードの動作確認をする

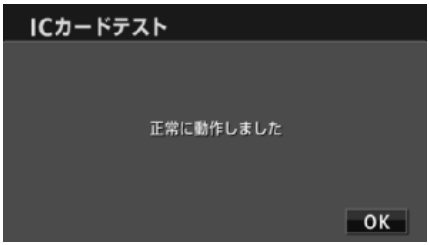
1 ICカード情報画面で カードテスト にタッチします。

● テストを開始します。

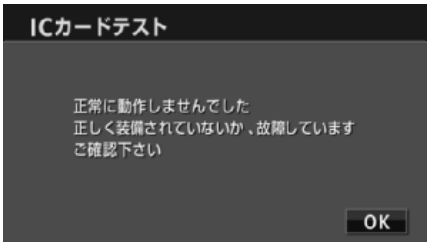


2 OK にタッチします。

● テストで異常を検出した場合、B-CASカードが正しく差し込まれていない、または故障している恐れがあります。お買い上げの販売店にご相談ください。



● テストが正常に終了したとき



● テストで異常を検出したとき

6. DVDプレーヤーをお使いになる前に

本機はDVDビデオや地上デジタル放送などを録画したDVD-ビデオレコーディング(VR)を再生することができます。DVDビデオ、DVD-VRがもつ高画質映像と高音質なデジタルサウンドを再生したり、記録されている複数の言語（音声や字幕など）を切り替えて表示したりすることができます。また、DVDビデオでは、同じ場面が複数のアングルで記録されているものは、好きなアングルで再生することもできます。DVD-VRでは、編集したお気に入りの静止画や映像を再生したり、録画された二ヶ国語放送を楽しんだりすることができます。

DVDの特長

■マルチ音声機能について

DVDディスクには複数の言語が収録されているものがあり、音声言語を切り替えることができます。



街の中心を流れるこの川は...



This river, which runs through the center of the town is...

■マルチアングル機能について

DVDディスクには、同じ場面が複数のアングルで記録されているもの（マルチアングル）があり、再生中、好きなアングルに切り替えることができます。

チェック

DVDビデオモード時のみ操作できます。





● 映像のアングルが切り替わります。

■字幕表示機能について

DVDディスクには複数の字幕が記録されているものがあり、再生中に、字幕言語を切り替えることができます。また、字幕を表示しないように設定して、映像を再生することもできます。



ワンポイント

本機は、ロヴィコーポレーションが保有する米国特許およびその他の知的財産権で保護されたコピー防止技術を採用しています。リバース・エンジニアリングまたは分解は禁止されています。

6. DVDプレーヤーをお使いになる前に

ディスクについて

■再生できるディスクの種類について

本機は、NTSCカラーテレビ方式に対応していますので、ディスクやパッケージに「NTSC」および下記のマークが表示されているディスクをご使用ください。

再生できるディスクの種類とマーク	大きさ／再生面	最大再生時間
 	12cm／片面 1層 2層	＜MPEG 2方式＞ 133分 242分
	12cm／両面 1層 2層	＜MPEG 2方式＞ 266分 484分
	8cm／片面 1層 2層	＜MPEG 2方式＞ 41分 75分
	8cm／両面 1層 2層	＜MPEG 2方式＞ 82分 150分

ワンポイント

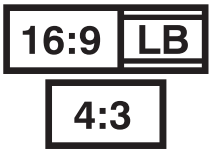
- DVD、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機ではソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能が働かない場合があります。再生するディスクに付属の説明書も必ずご覧ください。
- 本機は、ビデオモードで書き込まれたDVD±R/RW（DVD±Recordable/ReWritable）ディスクと、ビデオレコーディングモード(VR)で書き込まれたCPRM対応のDVD-R/RW（DVD-Recordable/ReWritable）に対応しています。

■再生可能なディスクの地域番号（リージョンコード）について

DVDディスクには 2 （地域番号）が表示されているものがあり、このマーク（数字）はディスクの再生可能な地域を表しています。本機は、このマークに「2」または、「ALL」がないディスクは再生することができません。このようなディスクを再生しても、「このDVDはリージョンが違うので再生できません」というメッセージが画面に表示されます。また、地域番号のマークがないディスクでも地域が制限されていることがあり、本機で再生できないことがあります。

■ディスクに表示されているマークについて

DVDのディスクやパッケージに表示されているマークには下記のものがあります。

マーク	意　味
	音声のトラック数を表します。
	字幕の数を表します。
	アングル数を表します。
	選択可能な画像アスペクト比（TV画面の横と縦の比率）を表します。 ●「16：9」はワイド画面、「4：3」は標準画面です。
	再生可能な地域番号を表します。 ● ALLは全世界向け、数字は地域番号です。「2」は日本を示します。

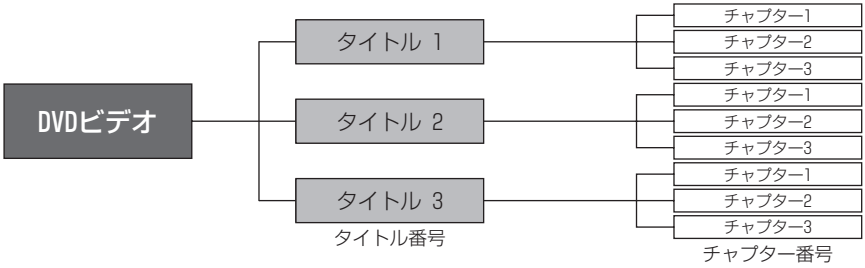
6. DVDプレーヤーをお使いになる前に

■ ディスクの構成について

DVDビデオディスクの構成

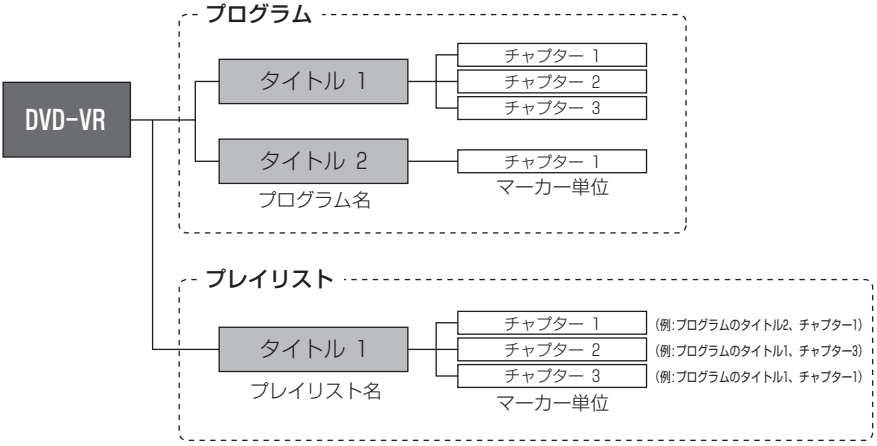
DVDビデオに収録されている映像や曲は、いくつかの区切りに分けられています。

大きく分けた区切りをタイトルと言い、それぞれのタイトルには番号（タイトル番号）が付けられています。また、タイトルは小さな区切りのチャプターで構成されており、それぞれのチャプターにも番号（チャプター番号）が付けられています。



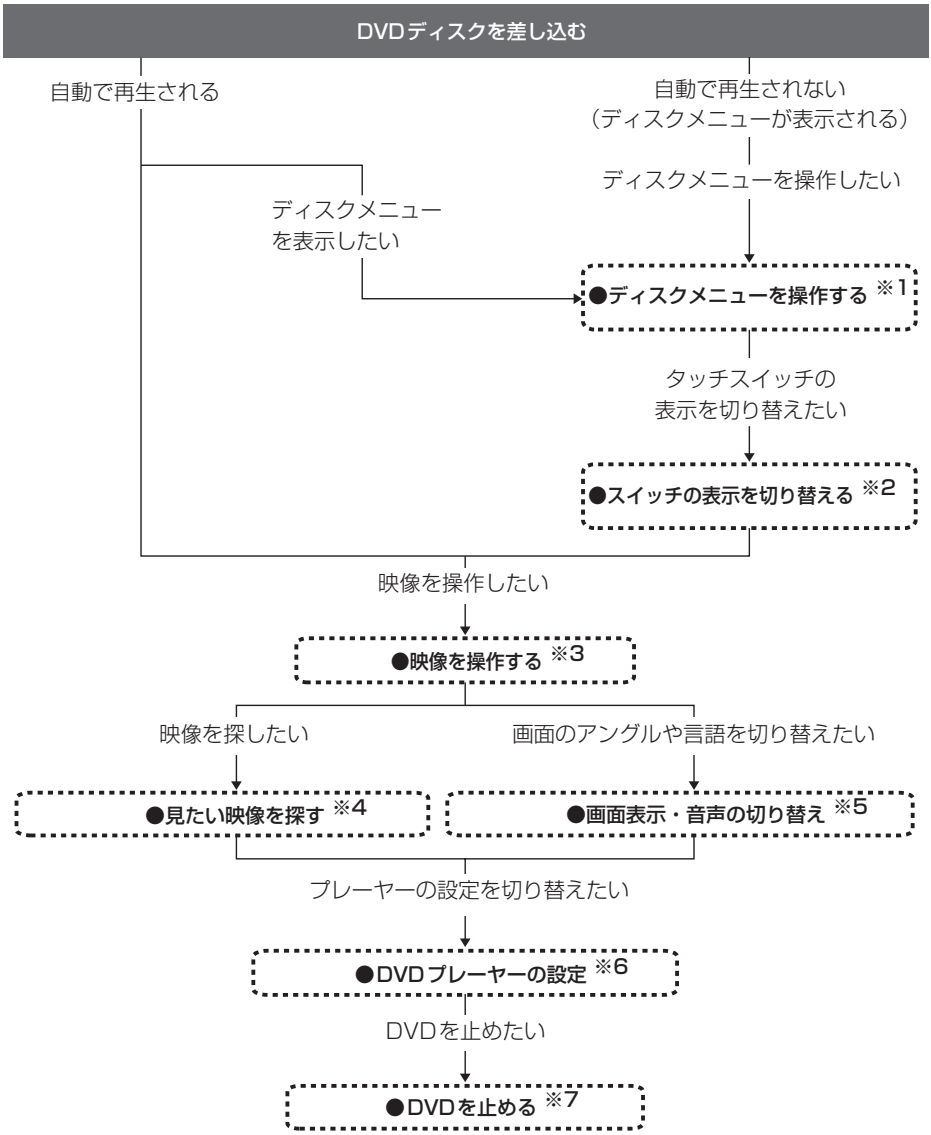
DVD-VRディスクの構成

DVD-VRに収録されている映像や曲、静止画はプログラム(番組)ごとに保存されています。本機はプログラム単位をタイトル、プログラム中にDVDレコーダーで付加するマーカーポイントをチャプターとして管理しています。また、プログラム中にあるお気に入りの場面や番組を、お好みの再生順で指示したものをプレイリストとして保存することができます。プレイリスト単位をタイトル、マーカーポイントをチャプターとして管理しています。



操作の流れについて

映像の操作や検索、DVDプレーヤーの初期設定などの流れを説明します。



次ページに続く

6. DVDプレーヤーをお使いになる前に

※1**「ディスクメニューを操作する」**（459ページ参照）
※2**「スイッチの表示を切り替える」**（463ページ参照）
※3**「映像を操作する」**（458ページ参照）
※4**「見たい映像を探す」**（460ページ参照）
※5**「画面表示・音声の切り替え」**（464ページ参照）
※6**「DVDプレーヤーの設定」**（467ページ参照）
※7**「DVDを止める」**（460ページ参照）

7. DVDプレーヤーの使い方

チェック

- エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみDVDをご覧になることができます。（走行中にソースをDVDプレーヤーに切り替えた場合、音声のみになります。）
- DVDのモードによって、使える機能が異なります。



DVDを見る

ディスク差し込み口にDVDを差し込むと、再生を始めます。

1 DVDが差し込まれているときに、オーディオのソースを切り替えます。

- **「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 Disc にタッチします。

- 再生を始めます。
- 操作スイッチ（タッチスイッチ）を表示する場合は、AV を押す、または画面にタッチします。
- ソースをDVDプレーヤーに切り替えたとき、タッチスイッチなどの情報は約6秒間表示されます。AV を押す、または画面にタッチすると再度、表示します。
- DVD　ビデオモードのときは　“VIDEO”、DVD-VRモードのときは“VR”が画面に表示されます。

VIDEO（DVDビデオモード）



● DVDビデオモード

VR（DVD-VRモード）



● DVD-VRモード

ワンポイント

別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でDVDをご覧になることができます。

7. DVDプレーヤーの使い方

映像を操作する

■映像を再生する

1 ▶ にタッチします。

● 映像、または静止画を再生します。



ワンポイント

ディスクによって、自動再生されないものや、ディスクに記録されているメニュー項目を選択しないと、再生されないものがあります。**「ディスクメニューを操作する」**（459ページ参照）

■早送り・早戻しする

パネルスイッチから早送り・早戻しする

1 ⏭、または ⏮ を“ピッ”と音がするまで押します。

● ⏭（右側）：映像を進めるとき
⏮（左側）：映像を戻すとき
“ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

タッチスイッチから早送り・早戻しする

1 ◀◀、または ▶▶ を“ピッ”と音がするまでタッチします。

● “ピッ”と音がすると早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。



■静止画を送る

再生している静止画を送ることができます。

チェック

DVD-VRモードで静止画を再生しているときのみ、操作することができます。

1 ページ送り にタッチします。



■いま見ているチャプターを繰り返し再生する

チェック

DVDビデオモード時のみ操作できます。

1 CHAPTERリピート にタッチします。



■映像を一時止める

1 ⏸ にタッチします。

- 一時停止中（ ⏸ ）に ⏩ を短くタッチするとスロー再生し、⏸ にタッチするとコマ送り再生します。



■映像を止める

1 ■ にタッチします。



ディスクメニューを操作する

ダイレクトタッチ操作画面でディスクに収録されているメニューを操作することができます。

チェック

DVDビデオモード時のみ操作できます。

1 AV を押す、または画面にタッチします。

2 NEXT にタッチします。

3 メニュー 、トップメニュー 、または ダイレクト にタッチします。

- 再生している映像がディスクに収録されているメニューに切り替わると、ダイレクトタッチ操作画面が表示されます。



■画面を直接タッチして操作する

メニューのアイコンに直接タッチして、選択することができます。

次ページに続く

7. DVDプレーヤーの使い方

1 ダイレクトタッチ操作画面でメニューのアイコンに直接タッチします。



ワンポイント

ディスクによって、表示されるメニューをダイレクトタッチ操作画面から操作できない場合があります。

■ タッチスイッチから操作する

画面にタッチしづらいときは、タッチスイッチで操作することができます。

1 ダイレクトタッチ操作画面で ✥ にタッチします。



2 ↓ ↑ ← → にタッチし、メニューを選びます。

● ダイレクト にタッチすると画面に直接タッチして操作することができます。



3 決定 にタッチします。

ワンポイント

ディスクによって記録されているメニュー項目は違います。また、ディスク内容にしたがって再生を行うため、操作したとおりに機能しない場合があります。

DVDを止める

1 オーディオのソースを切り替えます。

●「ソースの切り替え方」（324 ページ）を参照してください。

2 OFF にタッチします。

見たい映像を探す

見たい映像をタイトルやチャプター、メニュー番号(内容ごとに区切られた番号)から探すことができます。DVD-VRモードのときは、映像や静止画をプログラム（プレイリスト）から探すことができます。

■チャプターから探す

1 ⏭、または ⏮ を押します。

● ⏭（右側）：次のチャプターを選ぶとき
⏮（左側）：頭出し・前のチャプターを選ぶとき



■タイトル番号から探す

1 サーチ にタッチします。



2 −、＋、−10、＋10 にタッチし、タイトル番号を入力します。

● −、または ＋ にタッチすると、タイトル番号が1ずつ切り替わります。

● −10、または ＋10 にタッチすると、タイトル番号が10ずつ切り替わります。



3 決定 にタッチします。

■チャプターから探す

チェック

DVDビデオモード時のみ操作できます。

1 NEXT にタッチします。

2 ✥ にタッチします。



次ページに続く

7. DVDプレーヤーの使い方

3 数字 にタッチします。



4 − 、＋ 、−10 、＋10 にタッチし、CHAPTER番号を入力します。

- − 、または ＋ にタッチすると、CHAPTER番号が1ずつ切り替わります。
- −10 、または ＋10 にタッチすると、CHAPTER番号が10ずつ切り替わります。



5 決定 にタッチします。

■プログラム（プレイリスト）から探す

チェック

- DVD-VRモード時のみ操作できます。
- プレイリストは、プレイリストが作成されているディスクでのみ、操作することができます。

1 DVD操作画面で NEXT にタッチします。



2 VRメニュー にタッチします。

- プログラム再生中は、プログラム（タイトル）選択画面、プレイリスト再生中は、プレイリスト選択画面が表示されます。



3 再生したいプログラム（タイトル）、またはプレイリストにタッチします。



● プログラム選択画面



● プレイリスト選択画面

- プログラム選択画面のとき、**プレイリスト** スイッチが表示されます。**プレイリスト** にタッチすると、プレイリスト選択画面に切り替わります。
- プレイリスト選択画面のとき、**プログラム** スイッチが表示されます。**プログラム** にタッチすると、プログラム選択画面に切り替わります。
- 9個以上プレイリスト、またはプログラム（タイトル）がある場合は、▲ ・ ▼ にタッチするとリストを切り替えることができます。

スイッチの表示を切り替える

再生中、タッチスイッチの表示を切り替えたり、タッチスイッチの表示を消すことができます。

■タッチスイッチを消す

1 NEXT にタッチします。



2 設定 にタッチします。

3 OFF にタッチします。

● AV を押す、または画面にタッチすると、再度、タッチスイッチを表示します。



■タッチスイッチの表示場所を切り替える

チェック

DVDビデオモード時のみ操作できます。

1 NEXT にタッチします。

2 ✥ にタッチします。

次ページに続く

7. DVDプレーヤーの使い方

3 移動 にタッチします。

● タッチするごとにタッチスイッチの表示場所が上下に切り替わります。



画面表示・音声の切り替え

再生する映像の字幕言語や音声言語、表示アングル、音声多重を切り替えることができます。

■アングルを切り替える

ディスクに複数のアングルが収録されていると、アングル・音声多重を切り替えて表示することができます。

チェック

- DVDビデオモード時のみ操作できます。
- 画面にマルチアングルマークが表示されているときに、アングルを切り替えることができます。

1 NEXT にタッチします。

2 アングル にタッチします。

マルチアングルマーク



3 アングル切換 にタッチします。

● アングル切換 にタッチするごとにアングル番号が替わり、ディスクに収録されているアングルが順に切り替わります。

アングル番号



■字幕言語を切り替える

ディスクに複数の字幕言語が収録されていると、字幕を切り替えて表示することができます。

1 NEXT にタッチします。

2 字幕 にタッチします。



3 字幕切換 にタッチします。

- 字幕切換 にタッチするごとに字幕番号が替わり、ディスクに収録されている字幕言語が順に切り替わります。



■音声言語を切り替える

ディスクに複数の音声言語が収録されていると、音声を切り替えて再生することができます。

1 NEXT にタッチします。

2 音声 にタッチします。



3 音声切換 にタッチします。

- 音声切換 にタッチするごとに音声番号が替わり、ディスクに収録されている音声言語が順に切り替わります。



■音声多重を切り替える

DVD-VRモードのディスクに音声多重放送が収録されているときは、主音声と副音声を切り替えて聞くことができます。

チェック

DVD-VRモード時のみ操作できます。

1 NEXT にタッチします。

2 VR メニュー にタッチします。

次ページに続く

7. DVDプレーヤーの使い方

3 主/副 にタッチするごとに、下図の順に切り替わります。

主音声 MAIN → 副音声 SUB → 主/副音声 MAIN/SUB



DVDプレーヤーの設定

再生中の音声や字幕表示、メニュー表示の言語をあらかじめ設定することができます。また、マルチアングルマークの表示・非表示や視聴制限なども設定することができます。

1 NEXT にタッチします。

2 設定 にタッチします。



3 初期設定 にタッチします。



4 各タッチスイッチにタッチすると下記の設定を行うことができます。



タッチスイッチ	機　能	ページ
音声	再生する映像の音声言語を設定します。	468
字幕	再生する映像の字幕言語を設定します。	468
ソフトメニュー	表示するメニューの言語を設定します。	469
マルチアングルマーク	マルチアングルマークの表示・非表示を設定します。	470
視聴制限	再生できるDVDビデオを制限します。	470
映像出力切換	画面サイズを設定します。	471

ワンポイント

初期設定画面で設定を変更した後、決定 にタッチせずに、画面が切り替わるスイッチ（AV）を押すとDVDの再生は停止した状態になります。

再度再生する場合は映像操作画面で ▶ にタッチします。（458 ページ参照）

7. DVDプレーヤーの使い方

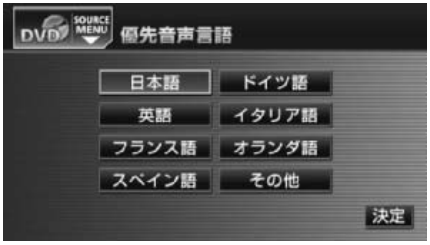
■音声言語を設定する

再生中の映像をお好きな言語で楽しむことができます。

1 初期設定画面で **音声** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 優先音声言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（473ページ）を参照してください。



3 **決定** にタッチします。

ワンポイント

●選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

●ディスクに優先される音声言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、**「画面表示・音声の切り替え」**（464ページ）で言語を切り替えてください。

■字幕言語を設定する

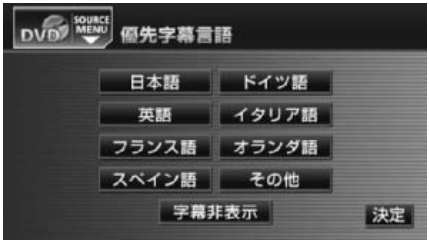
再生中の映像をお好きな字幕で表示することができます。

1 初期設定画面で **字幕** にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● **その他** にタッチすると、画面に表示された言語以外の言語を設定できます。

● **字幕非表示** にタッチすると、画面に字幕を表示せずに再生することができます。



コードを入力する

1 優先字幕言語設定画面で **その他** にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（473ページ）を参照してください。



3 決定 にタッチします。

ワンポイント

●選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

●ディスクに優先される字幕言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語に切り替わらない場合があります。この場合は、**「画面表示・音声の切り替え」**（464ページ）で言語を切り替えてください。

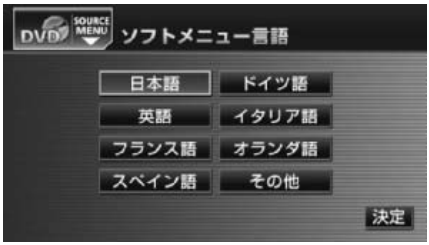
■メニュー言語を設定する

ディスクに収録されているメニューなどの表示言語を設定することができます。

1 初期設定画面で ソフトメニュー にタッチします。

2 お好みの言語にタッチします。

● その他 にタッチすると画面に表示された言語以外の言語を設定できます。



コードを入力する

1 ソフトメニュー言語設定画面で その他 にタッチします。

2 言語コードを入力します。

● 言語コードについては**「言語コード一覧」**（473ページ）を参照してください。



3 決定 にタッチします。

ワンポイント

●選択された言語でもディスクが対応していない言語であれば、切り替えることはできません。

●ディスクに優先されるソフトメニュー言語が記録されていると、ディスク内容にしたがって再生を行うため、設定した言語のメニューに切り替わらない場合があります。

7. DVDプレーヤーの使い方

■マルチアングルマークの表示を設定する

再生中、マルチアングルマークの表示・非表示を設定することができます。

チェック

マルチアングルマークの表示設定を「表示」に設定すると、ディスク内の複数アングルが選択可能な状態になったとき、画面の上部にマルチアングルマークが表示されます。

1 初期設定画面で **マルチアングルマーク** にタッチします。

● タッチするごとに「表示」と「非表示」が切り替わります。



2 **決定** にタッチします。

■視聴制限を設定する

ディスクの中には、成人向けの内容や暴力シーンなど、子供に見せたくない場面の視聴を制限できるものがあります。この視聴制限は、レベルによって段階的に設定することができます。

チェック

視聴制限レベルが記録されていないディスクでは設定ができません。

1 初期設定画面で **視聴制限** にタッチします。

2 数字を1番号ずつタッチして暗証番号を入力します。

● 暗証番号が入力されていない場合、上側に表示される暗証番号は「----」で表示されます。



3 **決定** にタッチします。

4 お好みの視聴制限レベルにタッチします。



5 **決定** にタッチします。

ワンポイント

- 一度、暗証番号を入力すると次回以降、本項目の利用時には暗証番号が必要となります。暗証番号を忘れないようご注意ください。もし、暗証番号を忘れた場合は、**クリア** に10回タッチすると、初期化（暗証番号未設定の状態）することができます。
- 視聴制限レベルは大きく 3 種類に分類されます。

  レベル1…子ども向けのDVDソフトのみを再生します。（一般向けと成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。）

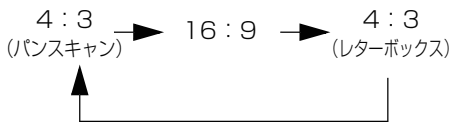
  レベル2～7… 子ども向けと一般向けのDVDソフトのみを再生します。(成人向けのDVDソフトの再生を禁止します。)

  レベル8…全てのDVDソフトを再生します。（初期設定）

■映像出力を切り替える

1 初期設定画面で **映像出力切換** にタッチします。

- タッチするごとに下図の順に画面サイズが切り替わります。



- 4：3（パンスキャン）

  左右両端がカットされた映像になります。

  4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。

- 16：9

  通常のワイドサイズで表示されます。

  4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は左右両端が黒表示、または左右に伸びた表示になります。

- 4：3（レターボックス）

  上下両端が黒く表示された映像になります。

  4：3のサイズで収録されたDVDソフトの場合は画面サイズぴったり（4：3）で表示されます。



2 **決定** にタッチします。

次ページに続く

7. DVDプレーヤーの使い方

ワンポイント

- お客様が個人的にワイド画面で視聴する限りにおいては問題ありませんが、営利目的、または公衆に視聴させることを目的として画面の圧縮・引き伸ばしなどを行うと、著作権法上で保護されている著作者の権利を侵害する恐れがありますので、ご注意ください。
- 後席用モニターなど別のディスプレイを接続した場合、本機（フロント）で設定した映像出力切替のサイズにより、後席用モニターで表示されるサイズは異なります。

言語コード一覧

「音声」、「字幕」、「ソフトメニュー」の言語は、下記のコード番号から数字を入力し選択することができます。

コード	言語名称
1001	日本語
0514	英語
0618	フランス語
0405	ドイツ語
0920	イタリア語
0519	スペイン語
1412	オランダ語
1821	ロシア語
2608	中国語
1115	韓国語
0512	ギリシャ語
0101	アファル語
0102	アブハジャ語
0106	アフリカーンス語
0113	アムハラ語
0118	アラビア語
0119	アッサム語
0125	アイマラ語
0126	アゼルバイジャン語
0201	バシキール語
0205	ベラルーシ語
0207	ブルガリア語
0208	ビハーリー語
0209	ビスラマ語
0214	ベンガル語
0215	チベット語
0218	ブルトン語
0301	カタロニア語
0315	コルシカ語
0319	チェコ語
0325	ウェールズ語
0401	デンマーク語
0426	ブータン語
0515	エスペラント語
0520	エストニア語
0521	バスク語
0601	ペルシア語
0609	フィンランド語
0610	フィジー語
0615	フェロー語
0625	フリジア語
0701	アイルランド語
0704	スコットランドゲール語
0712	ガルシア語
0714	グアラニ語
0721	グジャラート語

コード	言語名称
0801	ハウサ語
0809	ヒンディー語
0818	クロアチア語
0821	ハンガリー語
0825	アルメニア語
0901	国際語
0905	Interlingue
0911	イヌピアック語
0914	インドネシア語
0919	アイスランド語
0923	ヘブライ語
1009	イディッシュ語
1023	ジャワ語
1101	グルジア語
1111	カザフ語
1112	グリーンランド語
1113	カンボジア語
1114	カンナダ語
1119	カシミール語
1121	クルド語
1125	キルギス語
1201	ラテン語
1214	リンガラ語
1215	ラオス語
1220	リトアニア語
1222	ラトビア語
1307	マダガスカル語
1309	マオリ語
1311	マケドニア語
1312	マラヤーラム語
1314	モンゴル語
1315	モルダビア語
1318	マラータ語
1319	マライ語
1320	マルタ語
1325	ビルマ語
1401	ナウル語
1405	ネパール語
1415	ノルウェー語
1503	プロバンス語
1513	オモロ語
1518	オリヤー語
1601	パンジャブ語
1612	ポーランド語
1619	アフガニスタン語
1620	ポルトガル語

コード	言語名称
1721	ケチュア語
1813	レートロマン語
1814	キルンディー語
1815	ローマ語
1823	キンヤルワンダ語
1901	サンスクリット語
1904	シンド語
1907	サンド語
1908	セルボクロアチア語
1909	セイロン語
1911	スロバック語
1912	スロベニア語
1913	サモア語
1914	ショナ語
1915	ソマリ語
1917	アルバニア語
1918	セルビア語
1919	シスワティ語
1920	セストゥ語
1921	スンダ語
1922	スウェーデン語
1923	スワヒリ語
2001	タミル語
2005	テルグ語
2007	タジク語
2008	タイ語
2009	チグリス語
2011	ツルキ語
2012	タガログ語
2014	セツワナ語
2015	ニュージーランド語
2018	トルコ語
2019	ツォンガ語
2020	タタール語
2023	トウィ語
2111	ウクライナ語
2118	ウルドゥー語
2126	ウズベグ語
2209	ベトナム語
2215	ボラピュク語
2315	ウォルフ語
2408	コーサ語
2515	ヨルバ語
2621	ズールー語

8. VTRの使い方

市販のVTR機器を接続すると、ビデオをご覧になれます。

チェック

エンジンスイッチがONまたはACCで、さらに安全上の配慮から車を完全に停止し、パーキングブレーキをかけた場合のみビデオをご覧になることができます。（走行中にソースをVTRに切り替えた場合、音声のみになります。）



VTRを見る

1 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 **VTR** にタッチします。

● VTR画面になります。

● [AV] を押す、または画面にタッチすると、VTR操作画面になります。

● VTR 操作画面に切り替えたとき、各タッチスイッチは約6秒間表示されます。
[AV] を押すと再度、表示します。

ワンポイント

●別売の後席用モニターを接続すると、走行中でも後席でビデオをご覧になることができます。

●接続される機器類により、映像が正常に表示されない場合があります。

VTR設定画面の切り替え

VTRでは、VTR設定画面に切り替えると下記の操作ができます。

● SFC、EQ、POSなどの音質調整

● 画面モード（ワイドモード）の切り替え

1 **設定** にタッチします。

VTRを終わる

1 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 **OFF** にタッチします。

1. iPodプレーヤーの使い方

iPodを接続するとiPodの音楽ファイルや映像ファイルを再生することができます。また、リストからの選曲やランダム再生の切り替えなどを、本機で操作することができます。

本機に対応しているiPodの種類（世代）については、ECLIPSEホームページの「お客様サポート」を確認してください。

※ 最新のiPodソフトウェアにてお使いください。最新のiPodソフトウェアは、Apple社のWebサイトからバージョンアップすることができます。

チェック

iPodを接続する場合は、別売の「iPod接続コード」をお買い求めください。

走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

●音楽ファイルを再生するとき



●映像ファイルを再生するとき



1. iPodプレーヤーの使い方

ワンポイント

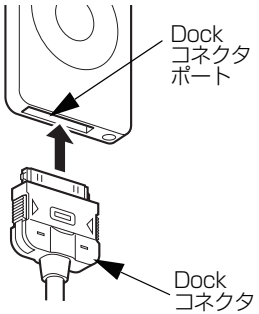
- iPodは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
- iPodおよびiTunesは、著作権の無いマテリアル、または法的に複製・再生を許諾されたマテリアルを個人が私的に複製・再生するために使用許諾されるものです。著作権の侵害は法律上禁止されています。
- オーディオブック機能やpodcast機能、写真表示機能には対応していません。
- iPodの動作に関しては保証致しかねますのでご了承ください。

iPodを接続する

チェック

- iPodに接続されているアクセサリはすべて取りはずしてください。
- ご使用になるiPodおよび接続コードの適合については、ECLIPSEホームページを確認してください。

1 iPodと接続コードのDockコネクタを接続します。



iPodを取りはずす

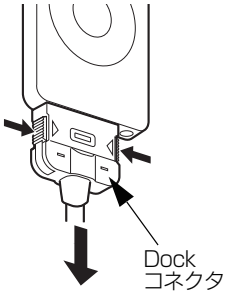
重要

- 本機でiPodを使用しているときにiPodのデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。
- iPodを直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。
- iPod本体に「接続を解除できます。」が表示されますが、音楽の再生中は、iPod保護のため、iPodからDockコネクタを取りはずさないでください。

チェック

エンジンスイッチをOFF（LOCK）にする、またはソースをiPod以外に切り替えてください。

1 Dockコネクタを矢印の方向に押しながら、取りはずします。



ワンポイント

- 本機とiPodを接続しても、ソースは自動でiPodに切り替わりません。
- iPod　を本機に接続すると、iPod　に“ECLIPSE”が表示されます。
  また、“ECLIPSE”が表示されている間はiPodによる操作をすることができません。
- iPodの電源をOFFにしたまま接続すると、“ECLIPSE”が表示されず“充電済”マークが表示されることがあります。この場合、iPodのいずれかのボタンを押すと、“ECLIPSE”が表示されます。
- ご使用になる　iPod　によっては接続中に“ECLIPSE”が表示されない場合がありますが、故障ではありません。
- エンジンスイッチがONまたはACCになっている場合、接続したiPodのバッテリーが充電されます。
- 本機にiPodを接続すると、本機で表示されるリストの順番や表示項目がiPodと異なることがあります。
- iPodが操作不能になった場合は、iPodの接続をはずし、iPodをリセットしてから再度接続してください。iPodのリセット方法については、iPodの取扱説明書を参照してください。
- エンジンスイッチを OFF（LOCK）にした後は、必ずiPodを取りはずしてください。iPodを接続したままにすると、iPodの電源が切れず、iPodのバッテリーを消費する場合があります。

iPodを聞く・映像を見る

1 iPodを本機に接続した状態で、オーディオのソースを切り替えます。

- **「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 iPod にタッチします。

- iPod で最後に再生していたファイルを再生します。

ワンポイント

- iPodに収録されているファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。
- 正しく動作しない場合、iPodの接続をはずし、エンジンスイッチをOFF（LOCK）にして、再度エンジンスイッチをON、またはACCにした後、iPod本体をリセットしてから再度接続してください。
- アーティスト名やタイトル名（トラック名称）などは、以下のように表示することができます。(名称によっては、表示できない場合があります。)
  音楽ファイルを再生している場合：半角で最大32文字、全角で最大16文字まで
  映像ファイルを再生している場合：半角で最大16文字、全角で最大8文字まで

早送り・早戻しする

1 ⏭、⏮を“ピッ”と音がするまで押します。

- ⏭（右側）：ファイルを進めるとき
  ⏮（左側）：ファイルを戻すとき
  早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

1. iPodプレーヤーの使い方

再生したい音楽ファイルを選ぶ

1 ⏭、または ⏮ を押します。

● ⏭（右側）：次のファイルを選ぶとき
⏮（左側）：頭出し・前のファイルを選ぶとき

再生したいファイルをリストから探す

アーティスト名やジャンルなどの選曲モードやカテゴリからリストを表示して、再生したい音楽ファイルや映像ファイルを探すことができます。

■音楽ファイルを探す

1 MUSIC MENU にタッチします。

2 検索したい選曲モードスイッチにタッチします。

● 選択したモードのリスト画面が表示されます。



3 聞きたいリストにタッチします。

● SONGS 画面が表示されるまで繰り返します。各選曲モードにより、SONGS画面が表示されるまでの順序は下記のようになります。

選曲モード	表示順序
PLAYLIST	PLAYLIST画面→SONGS画面
ARTISTS	ARTISTS画面→ALBUMS画面→SONGS画面
ALBUMS	ALBUMS画面→SONGS画面
SONGS	SONGS画面
GENRES	GENRES画面→ARTISTS画面→ALBUMS画面→SONGS画面
COMPOSERS	COMPOSERS画面→ALBUMS画面→SONGS画面

● ▶PLAY にタッチすると、その時点で再生対象となっている全ファイルを再生します。

4 聞きたい音楽ファイルにタッチします。

● 選択された音楽ファイルを再生します。

● 6個以上リストがある場合は、▲ ・ ▼ にタッチするとリストを切り替えることができます。



ワンポイント

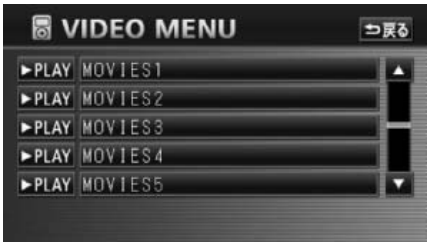
各リストの表示文字数は、半角で最大32文字、全角で最大16文字です。

■映像ファイルを見る

1 VIDEO MENU にタッチします。

2 検索したいカテゴリスイッチにタッチします。

- 選択したカテゴリのリスト画面が表示されます。
- カテゴリは iPod 本体に登録されているもののみ表示されます。
- ▶PLAY にタッチすると、その時点で再生対象となっている全ファイルを再生します。



3 見たいファイルが収録されているリストにタッチします。

- 見たいファイルが表示されるまで繰り返します。
- ▶PLAY にタッチすると、その時点で再生対象となっている全ファイルを再生します。

4 見たい映像ファイルにタッチします。

- 選択された映像ファイルを再生します。
- 6個以上リストがある場合は、▲ ・ ▼ にタッチするとリストを切り替えることができます。



ワンポイント

- 各リストの表示文字数は、半角で最大32文字、全角で最大16文字です。
- 映像ファイルはビデオフォーマットにより画質が悪くなる場合がありますが、故障ではありません。

再生中のリストを表示する

1 LIST にタッチします。

- 再生中のファイルを収録しているリストが表示されます。
- ファイルにタッチすると、選んだファイルが再生されます。

1. iPodプレーヤーの使い方

同じファイルを繰り返し再生する

1 RPT にタッチします。

- 再生中のファイルを繰り返し再生します。
- 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。
- RPT が解除されている場合、再生の対象となるリストが繰り返し再生されます。

ワンポイント

本機で RPT を設定した状態でiPodを取りはずした場合、iPodはリピート再生の設定に切り替わります。

ファイルの順番をランダムに再生する

■今再生しているリストの中からランダムに再生する

1 TRACK SHUFFLE にタッチします。

- 再生中のリスト内の全ファイルでランダム再生します。
- 一度 TRACK SHUFFLE にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 TRACK SHUFFLE にタッチすると解除されます。

ワンポイント

本機で TRACK SHUFFLE を設定した状態でiPodを取りはずした場合、iPodはシャッフル再生の設定に切り替わります。

■リストをランダムに聞く

リストをランダムに再生することができます。ただし、リスト内のファイルは先頭から順に再生されます。

1 ALBUM SHUFFLE にタッチします。

- 一度 ALBUM SHUFFLE にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 ALBUM SHUFFLE にタッチすると解除されます。

ワンポイント

本機で ALBUM SHUFFLE を設定した状態でiPodを取りはずした場合、iPodはシャッフル再生の設定に切り替わります。

iPodを止める

1 オーディオのソースを切り替えます。

- 「ソースの切り替え方」（324 ページ）を参照してください。

2 OFF にタッチします。

2. Bluetooth AUDIOの使い方

別売のBluetoothユニットを接続した場合は、Bluetooth無線技術を搭載した機器※（携帯電話など）に収録されている音楽を再生することができます。
走行中は安全上の配慮などから、操作できなくなる機能があります。

※ 本機で Bluetooth 無線技術を搭載した機器をご使用になる場合は、その機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題が無いことを確認のうえお使いください。動作確認済の携帯電話の機種については、ECLIPSEホームページを確認してください。



機能スイッチ
・RPT
・RAND
・設定

選曲・頭出し・早送り（早戻し）スイッチ

AV スイッチ

MENU スイッチ

Bluetooth AUDIOについて

Bluetooth無線技術を搭載した機器は、本機との通信を無線（Bluetooth）を使用して行います。従来のポータブルオーディオなどを本機に接続するには、別途接続ケーブルなどを用意して接続する必要がありました。これに対しBluetooth無線技術を搭載した機器は、接続ケーブルなどを接続しないで再生することができます。例えば、ポケットにBluetooth機器を入れたままでも通信範囲内であれば使用することができます。

ワンポイント

Bluetooth ワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Incが所有する商標であり、富士通テン株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。

■対応Bluetooth仕様および対応プロファイルについて

本機にBluetooth接続することができるBluetooth機器は、下記の仕様に対応している必要があります。ただし、Bluetooth機器の機種により、一部機能が制限される場合がありますのであらかじめご了承ください。

- 対応Bluetooth仕様：Bluetooth Specification Ver. 1.2以上
- 対応プロファイル：
  - A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) Ver. 1.0以上
  - AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) Ver. 1.0以上（Ver. 1.3以上を推奨）

2. Bluetooth AUDIOの使い方

Bluetooth機器を登録する

Bluetooth AUDIOを使用するには、Bluetooth機器を本機に登録する必要があります。
Bluetooth機器は、最大5台まで登録することができます。

■情報メニュー画面から登録する

カンタンペアリング機能を使用して登録することができます。（299 ページ参照）

■オーディオ操作画面から登録する

Bluetooth AUDIO操作画面から登録することができます。Bluetooth機器側で、本機を探して登録します。

チェック

Bluetooth機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。
Bluetooth機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 Bluetooth Audio にタッチします。

3 登録機器 にタッチします。



4 新規登録 にタッチします。

● すでにBluetooth機器がBluetooth接続されているときは、確認メッセージが表示されます。YES にタッチすると、Bluetooth機器を登録することができます。



5 Bluetooth AUDIO接続画面が表示されたら、Bluetooth機器側から登録を行います。

● Bluetooth機器の登録操作は、Bluetooth AUDIO接続画面が表示されているときに行ってください。

● キャンセル にタッチすると、登録が中止されます。



6 Bluetooth機器本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、パスキーを入力します。

● 登録が完了すると、メッセージが表示されます。

ワンポイント

●パスキーとは、Bluetooth機器を本機に登録するための番号です。4～8桁の任意の数字に変更することができます。**「パスキーを変更する」**（486ページ）を参照してください。

●Bluetooth機器を登録すると、最後に登録した Bluetooth 機器が使用する Bluetooth機器として選択されます。複数登録している場合は、使用するBluetooth機器を選択（486ページ）することができます。

●Bluetooth機器を5台登録していると、それ以上登録することができません。Bluetooth 機器の登録を削除してください。**「Bluetooth機器の登録を削除する」**（488ページ）

Bluetooth機器を接続する

重要

●本機でBluetooth AUDIOを使用しているときにBluetooth機器のデータが消失しても、消失したデータの補償はできませんのでご容赦ください。

●Bluetooth機器を直射日光の当たるところに長時間放置すると、高温により変形・変色したり、故障する恐れがあります。使用しないときは、直射日光の当たらないところに保管してください。

●Bluetooth機器をBluetoothユニットから遠ざけすぎないでください。音質が劣化したり、Bluetooth接続状態が悪化することがあります。

■自動で接続する

Bluetooth　機器を登録すると、自動でBluetooth接続される状態になります。これにより、エンジンスイッチをACC、またはONにするたびに、本機に選択されているBluetooth機器（486ページ）と自動的にBluetooth接続します。

チェック

Bluetooth機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。Bluetooth機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 エンジンスイッチをACC、またはONにします。

● 自動で、Bluetooth機器とのBluetooth接続が開始されます。

● Bluetooth 接続が完了すると接続完了のメッセージが表示されます。

● Bluetooth 接続に失敗したときは、メッセージが表示されます。画面の案内にしたがってやり直してください。

● Bluetooth 接続に失敗したときや自動接続の設定（487ページ）が“しない”に設定されているときは、手動でBluetooth接続することができます。（483ページ）

ワンポイント

機器により自動接続では、Bluetooth接続できない場合があります。この場合は、手動でBluetooth接続してください。

■手動で接続する

Bluetooth機器との自動接続に失敗したときや自動接続の設定（487　ページ）が**しない**に設定されているときは、手動でBluetooth接続することができます。

次ページに続く

2. Bluetooth AUDIOの使い方

チェック

Bluetooth機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。Bluetooth機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 Bluetooth Audio にタッチします。

3 接続 にタッチします。

● Bluetooth AUDIO接続画面が表示され、Bluetooth機器とのBluetooth接続が開始されます。

● 複数の Bluetooth 機器を登録している場合、最後に接続していた機器と接続します。

● Bluetooth 接続が完了すると接続完了のメッセージが表示されます。



Bluetooth AUDIOを聞く

1 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 Bluetooth Audio にタッチします。

● 再生を始めます。

● "オーディオ機器が接続されていません"のメッセージが表示された場合は、Bluetooth機器をBluetooth接続します。**「Bluetooth機器を接続する」**（483ページ）

ワンポイント

●Bluetooth 機器によっては、自動で再生が開始しない場合があります。この場合、機器本体を操作すると再生が開始できることがあります。

●Bluetooth 機器に収録されている音楽ファイル数、ソフトウェアバージョンによっては、操作画面による操作を行っても、すぐに反応しなかったり、正しく動作しない場合があります。

●アーティスト名や曲名（トラック名称）などは、アルファベット・記号の半角文字では、最大30文字、漢字・カタカナ・ひらがなの全角文字では、15文字まで表示できます。ただし、文字や接続しているBluetooth機器によっては、上記のように表示されない場合や文字が表示されない場合があります。

●Bluetooth 機器によっては、機能に対応していないため、スイッチにタッチしても操作できない場合があります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

●オーディオのソースがBluetooth AUDIOのときに音量を調整すると、Bluetooth AUDIO用の音量レベルとして記憶させることができます。

早送り・早戻しする

1 ⏭、⏮ を“ピッ ”と音がするまで押します。

● ⏭ （右側）：ファイルを進めるとき
⏮ （左側）：ファイルを戻すとき
早送り（早戻し）モードに切り替わり、スイッチから手を離すまで早送り（早戻し）します。

聞きたい音楽ファイルを選ぶ

1 ⏭、または ⏮ を押します。

● ⏭（右側）：次の音楽ファイルを選ぶとき
⏮（左側）：頭出し・前の音楽ファイルを選ぶとき

同じ音楽ファイルを繰り返して聞く

1 機能 にタッチします。

2 RPT にタッチします。

● 再生中の音楽ファイルを繰り返し再生します。

● 一度 RPT にタッチすると、解除するまで繰り返します。もう一度 RPT にタッチすると解除されます。

ワンポイント

Bluetooth機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。この場合、機器本体を操作すると機能が使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

音楽ファイルの順番をランダムに再生する

1 機能 にタッチします。

2 RAND にタッチします。

● 再生中のリスト内の全ファイルでランダム再生します。

● 一度 RAND にタッチすると、解除するまでランダム再生します。もう一度 RAND にタッチすると解除されます。

ワンポイント

●ランダムに聞く場合、曲が終わるごとに次に再生する曲を任意に決めているので、同じ曲が数回連続で再生されることがあります。

●Bluetooth 機器によっては、機能に対応していないため、操作できない場合があります。この場合、機器本体を操作すると機能が使用できることがあります。また、機能に対応している場合でも別動作をすることがあります。

Bluetooth AUDIOを止める

1 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 OFF にタッチします。

2. Bluetooth AUDIOの使い方

Bluetooth AUDIOの設定

下記の項目を設定することができます。

項目	機能	ページ
Bluetooth機器の選択	使用するBluetooth機器を選択することができます。	486
パスキーの変更	Bluetooth機器を本機に登録するときのパスキーを変更することができます。	486
自動接続の設定	エンジンスイッチをACC、またはONにしたとき、Bluetooth機器を自動でBluetooth接続するか、しないか選択することができます。	487
詳細情報の表示	使用しているBluetooth機器の情報を表示し、Bluetooth接続方法を変更することができます。	487
Bluetooth機器の削除	登録したBluetooth機器を削除することができます。	488

■Bluetooth機器を切り替える

通常は、最後に登録したBluetooth機器が使用する機器として選択されますが、登録している別の機器を選択することができます。

チェック

Bluetooth機器のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。Bluetooth機器側の操作については、各機器の取扱説明書を参照してください。

1 登録機器 にタッチします。



2 使用するBluetooth機器にタッチします。



3 接続 にタッチします。

● 他のBluetooth機器がBluetooth接続中の場合、YES にタッチします。

■パスキーを変更する

1 機能 にタッチします。

2 設定 にタッチします。

3 パスキーの **変更** にタッチします。

● **初期状態** にタッチすると、パスキーが初期状態にもどります。



4 数字に1文字ずつタッチして、4～8桁の数字を入力します。

● 間違えた場合は、 **クリア** にタッチすると、1文字ずつ削除されます。



5 **決定** にタッチします。

■自動接続を設定する

チェック

Bluetooth 機器の Bluetooth 接続方法が **オーディオ機器から接続** （487 ページ参照）に設定されている場合は、自動接続を設定することができません。

1 **機能** にタッチします。

2 **設定** にタッチします。

3 自動接続の **する** 、または **しない** にタッチします。

● **しない** にタッチすると、手動でのBluetooth接続（483 ページ参照）が必要になります。

● **初期状態** にタッチすると、設定が初期状態にもどります。



4 **戻る** にタッチします。

■詳細情報を表示する

登録されているBluetooth機器の情報を確認することができます。

1 **登録機器** にタッチします。



次ページに続く

2. Bluetooth AUDIOの使い方

2 使用するBluetooth機器にタッチします。



3 詳細情報 にタッチします。

4 接続方法の AVNから接続 、または オーディオ機器から接続 にタッチします。

- AVNから接続 ：本機側からBluetooth接続する場合
- オーディオ機器から接続 ：Bluetooth機器側からBluetooth接続する場合



5 戻る にタッチします。

■Bluetooth機器の登録を削除する

1 登録機器 にタッチします。



2 削除するBluetooth機器にタッチします。



3 削除 にタッチします。

4 YES にタッチします。

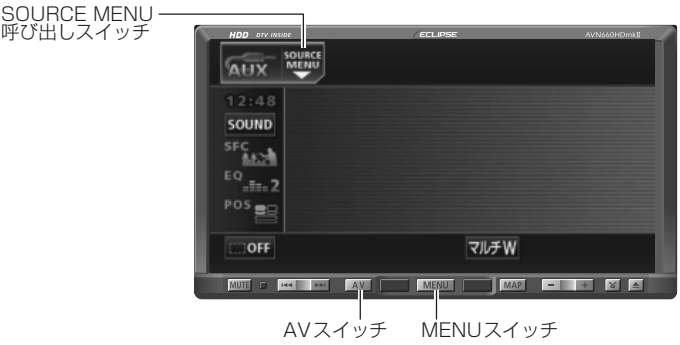
- 削除するBluetooth機器がBluetooth接続中の場合は、メッセージが表示されます。YES にタッチすると、削除が開始されます。

3. AUXの使い方

市販のポータブルオーディオなどを本機のAUX（RCA）端子に接続すると、ポータブルオーディオに収録された音楽を本機で再生することができます。

チェック

- ポータブルオーディオを接続する場合は、「接続コード」をお買い求めください。
- 本機でポータブルオーディオ機器をご使用になる場合は、そのポータブルオーディオ機器の取扱説明書をよくお読みになり、本機での使用に問題がないことをご確認のうえお使いください。



3. AUXの使い方

ポータブルオーディオをお使いになる前に

⚠ 警告

●接続したポータブルオーディオや接続コードを、SRSエアバッグの展開を妨げるような場所に設置しないでください。SRSエアバッグが正常に作動しなくなったり、SRSエアバッグが展開したときにポータブルオーディオが飛ばされるなどにより、死亡・重傷に至ることがあります。

SRSエアバッグ展開場所については、お車の取扱書をご覧ください。



●ポータブルオーディオや接続コードを、運転の邪魔にならない場所に避ける、または邪魔にならない場所で仮固定するなどしてください。

運転に支障をきたし、交通事故の原因になることがあります。



ポータブルオーディオを接続する（取りはずす）

⚠ 重要

接続コードの端子に手を引っ掛けたりしないよう注意してください。

チェック

●ポータブルオーディオの電源が切れていることを確認してください。

●オーディオのソースがAUX以外になっている、またはOFFになっていることを確認してください。

1 接続コードをポータブルオーディオに接続します（取りはずします）。

ワンポイント

運転中は、ポータブルオーディオの接続・取りはずしをしないでください。

ポータブルオーディオを聞く

ポータブルオーディオ側の操作は、ポータブルオーディオに添付されている取扱説明書をご覧ください。

1 接続したポータブルオーディオの電源を入れ、再生します。

2 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

3 AUX にタッチします。

● ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されます。

ワンポイント

●運転中は、ポータブルオーディオの操作をしないでください。
●接続された機器によって出力レベルが異なりますので、音量にご注意ください。
●オーディオのソースがAUXのときに音量を調整すると、AUX用の音量レベルとして記憶させることができます。
●ポータブルオーディオの電源は、ポータブルオーディオに付属されているバッテリー等を使用してください。お車に装着されているシガライタソケットやアクセサリーソケットなどで充電しながら再生すると、雑音が出ることがあります。

ポータブルオーディオを終わる

1 オーディオのソースを切り替えます。

●**「ソースの切り替え方」**（324 ページ）を参照してください。

2 OFF にタッチします。

● AUX を終了してもポータブルオーディオは、再生を続けます。（音声は出力されません。）

1. マルチウィンドウ機能

マルチウィンドウについて

ナビゲーションの画面とオーディオ、DVDなどの操作画面を左右に分割して同時に表示することができます。

チェック

マルチウィンドウ画面を表示中は、地図向きの切り替えや、地図の移動（ワンタッチスクロール）は操作できません。



● ナビゲーション画面＋DVD画面

マルチウィンドウ画面の表示

1 オーディオ操作画面で、**マルチW** にタッチします。

● 今、お使いになっているソースのマルチウィンドウ画面を表示します。



マルチウィンドウ画面の操作

■オーディオソースの切り替え

マルチウィンドウ画面を表示しながら、簡単にソースを切り替えることができます。

1 SOURCE MENU呼び出しスイッチにタッチし、各ソースにタッチします。

● ソースが切り替わり、マルチウィンドウ画面にもどります。ただし、映像が表示されるソースに切り替えたときは全画面になります。

● 切り替えたいソースが表示されないときは、**次** にタッチします。

SOURCE MENU
呼び出しスイッチ





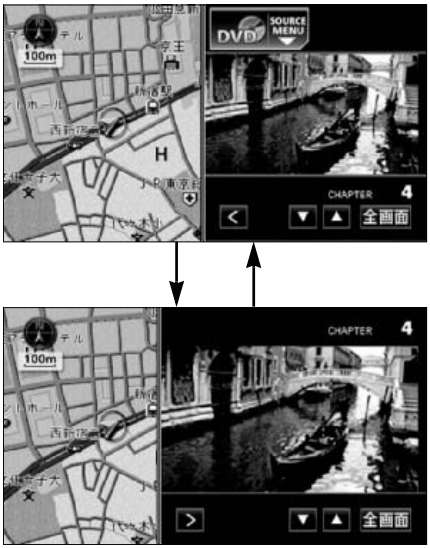
■画面サイズの調整

映像が表示されるソースでは、マルチウィンドウの画面サイズ（右画面）を切り替えることができます。

画面の比率を切り替える

1 ＜ にタッチします。

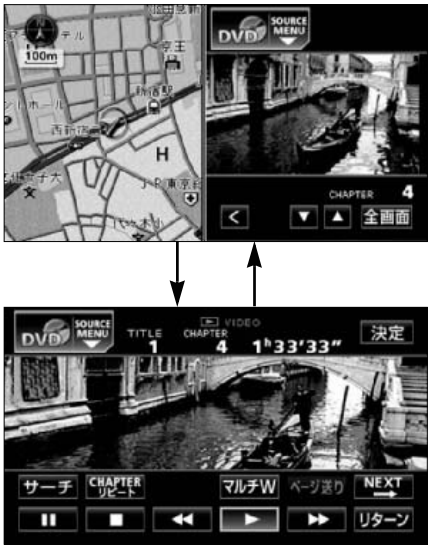
- 30：70の割合の画面に切り替わります。
- ＞ にタッチすると、50：50の画面にもどります。



全画面に切り替える

1 全画面 にタッチします。

- マルチW が表示されているときに マルチW にタッチすると、マルチウィンドウ画面にもどります。



■ オーディオ画面の操作

マルチウィンドウ画面を表示中に、一部のオーディオ機能を操作することができます。

次ページに続く

1. マルチウィンドウ機能

1 ▲、または ▼ にタッチします。

● タッチスイッチが表示されないオーディオソースについては、各オーディオソースの操作ページを参照してください。



ワンポイント

マルチウィンドウ機能使用中は、DVDのダイレクトタッチ機能を使用することができません。

ハンズフリー

1. ご使用になる前に

⚠ 警 告

- ●ハンズフリー機能を使用する場合、安全のため、運転者は走行中に電話機のBluetooth接続や、携帯電話本体のご使用はさけてください。
- ●運転中は電話をかけないでください。また、運転中にかかってきたときには、あわてずに安全な場所に停車してから受けてください。どうしても受けなければいけないときは、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してからかけ直してください。

⚠ 注 意

- ●携帯電話は車室内に放置しないでください。（炎天下など、車室内が高温となる場合があります。）
- ●Bluetooth携帯電話をBluetoothユニットから離しすぎないでください。音質が劣化したり、Bluetooth接続状態が悪化することがあります。

ハンズフリーについて

動作確認済のBluetooth接続対応の携帯電話※（以下「携帯電話」）を本機にBluetooth接続することで、携帯電話を直接操作することなく、「電話をかける」「電話を受ける」という電話機能を使用できます。これをハンズフリー機能と呼びます。本機でハンズフリー機能をご使用になるには、別売のBluetoothユニットが必要です。

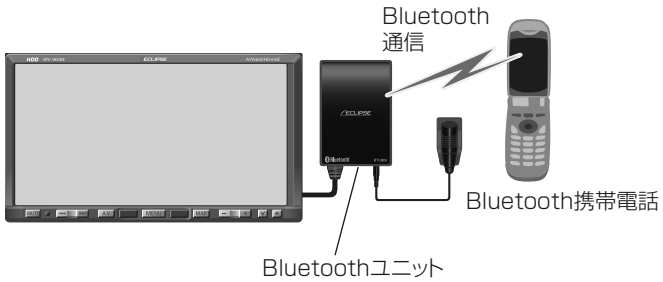
※ 本機で動作確認済みの機種については、ECLIPSEホームページをご確認ください。

■ Bluetooth携帯電話について

Bluetooth携帯電話は、他の機器との間の通信を無線（Bluetooth）を使用して行う携帯電話です。

従来の携帯電話は、ハンズフリー機能を利用するために、別途ハンズフリーキットなどのケーブルを用意して、接続する必要がありました。これに対し、Bluetooth携帯電話は、接続ケーブルなどを接続することなく、ハンズフリー機能を利用することができます。

例えば、胸ポケットに携帯電話を入れたままでも、そのままの状態でハンズフリー機能がご利用いただけます。



※ 本機では、有線（ケーブル）接続の携帯電話はご利用になれません。

■対応Bluetooth仕様および対応プロファイルについて

- 対応Bluetooth仕様：Bluetooth Specification Ver.1.2以上
- 対応プロファイル：
  - ・HFP（Hands Free Profile）Ver.1.0以上
  - ・OPP（Object Push Profile）Ver.1.1

Bluetoothワードマークおよびロゴは、Bluetooth SIG, Incが所有する商標であり、富士通テン株式会社はこれら商標を使用する許可を受けています。他のトレードマークおよび商号は、各所有者が所有する財産です。

■ハンズフリーが使用できないとき

次の場合は、ハンズフリー機能を使用することができません。

- 通話エリア外のとき
- 回線が混雑しているなど、発信規制中のとき
- 携帯電話から電話帳データを転送中のとき
- Bluetoothケータイリンク機能を使用中のとき
- 携帯電話がダイヤルロックされているとき
- 携帯電話が故障しているとき
- 携帯電話が本機とBluetooth接続されていないとき
- 携帯電話のバッテリー残量が不足しているとき
- 携帯電話の電源がOFFのとき
- 携帯電話の設定が、ハンズフリーモードでないとき
- 本機側で電話帳転送からハンズフリー通話に切り替えているとき
- その他、携帯電話自体が使えないとき

ワンポイント

- 携帯電話の機種によっては、Bluetooth 接続中に表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFにしてください。(設定については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。)
- 携帯電話の設定によっては、Bluetooth 接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- Bluetooth接続する携帯電話によっては、動作や音量が異なることがあります。
- 通話中にエンジンスイッチを OFF（LOCK）にすると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。
- 携帯電話の割込通話（キャッチホン）や三者通話を契約しているときは、携帯電話本体で割込通話（キャッチホン）や三者通話を解除してからお使いください。

1. ご使用になる前に

■ハンズフリー操作について

本機の画面に表示されるタッチスイッチを操作することにより、ハンズフリーのさまざまな機能が利用できます。

■音声について

- 発信後および着信後は、マイクおよびスピーカーを通して通話できます。
- 着信通知や通話時などの音声出力は、フロントスピーカーから出力されます。ただし、状況によっては、片側、または他のスピーカーから出力されることがあります。
- ハンズフリーで音声や呼出音などが出力されると、オーディオ音声やナビ案内音声などはミュート（消音）されます。

ワンポイント

- ●通話時は通話相手と交互にお話しください。通話相手と同時に話した場合、こちらの音声が相手に、相手の音声がこちらに聞こえにくくなることがあります。（故障ではありません。）
- ●受話音量はできるだけ小さく調整してください。通話相手側にエコーが聞こえることがあります。また、声は大きくはっきりとお話しください。
- ●次のような場合は、通話相手側にこちらの音声が聞こえにくくなることがあります。
  - ・悪路走行時
  - ・高速走行時
  - ・窓を開けているとき
  - ・エアコンの吹き出し口をマイクの方に向けたとき
  - ・エアコンのファンの音が大きいとき
  - ・携帯電話をマイクに近づけたとき
- ●使用する携帯電話やネットワークの影響により、音質が悪化（ノイズ、エコーなど）することがあります。
- ●他のBluetooth機器が同時にBluetooth接続されている場合、ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。

1. 携帯電話の登録

携帯電話を登録する

ハンズフリー機能を使用するには、携帯電話を本機に登録する必要があります。携帯電話は、本機に最大5台まで登録することができます。

■情報メニュー画面から登録する

カンタンペアリング機能を使用して登録することができます。（299 ページ参照）

■携帯電話画面から登録する

携帯電話画面から登録することができます。携帯電話側で、本機を探して登録します。

チェック

- 携帯電話の Bluetooth 待ち受けを ON にするなど本機と接続できる状態にします。携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。
- HFP（Hands Free Profile）が搭載されていない携帯電話は、本機に登録できません。また、そのような携帯電話では、OPP(Object Push Profile)のみのサービスも利用できません。

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されていないときは、**情報** にタッチします。

2 **携帯電話** にタッチします。



3 **登録機器** にタッチします。



4 **新規登録** にタッチします。

- すでに携帯電話が Bluetooth 接続されているときは、確認メッセージが表示されます。**YES** にタッチすると、携帯電話を登録することができます。

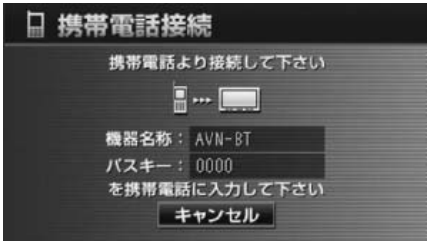


次ページに続く

1. 携帯電話の登録

5 携帯電話接続画面が表示されたら、携帯電話側から登録を行います。

- 携帯電話側の登録操作は、携帯電話接続画面が表示されているときに行ってください。
- **キャンセル** にタッチすると、登録が中止されます



6 携帯電話本体で、本機に表示されている機器名称を選択し、パスキーを入力します。

- 登録が完了すると、メッセージが表示されます。

ワンポイント

- パスキーとは、携帯電話を本機に登録するための番号です。4～8桁の任意の数字に変更することができます。(521 ページ参照)
- 携帯電話を登録すると、最後に登録した携帯電話が使用する携帯電話として選択されます。複数登録している場合は、使用する携帯電話を選択することができます。(513 ページ参照)
- 携帯電話を5台登録していると、それ以上登録することができません。携帯電話の登録を削除してください。**「携帯電話の登録を削除する」**(514ページ)
- 携帯電話の設定によっては、Bluetooth 接続後にダイヤルロックがかかることがあります。携帯電話のオートロック機能を解除してご使用ください。
- Bluetooth 接続する携帯電話により、動作や音量が異なることがあります。
- Bluetooth AUDIO再生中に携帯電話を登録する場合、Bluetooth AUDIOの音声が途切れることがあります。
- 登録時、携帯電話側に登録完了が表示されても、本機への登録が完了しない場合があります。その場合、携帯電話側からBluetooth接続を行ってください。

2. 携帯電話の接続

Bluetooth携帯電話の本機へのBluetooth接続は、自動と手動の2通りの方法があります。なお、携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

携帯電話を自動で接続する

ハンズフリー設定画面の自動接続（521 ページ参照）が **する** に設定されている場合、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACC、またはONにするたびに、本機は選択されている携帯電話と自動的にBluetooth接続します。

ワンポイント

- 携帯電話の機種によっては、Bluetooth 接続中に表示部の照明がついたままになることがあります。この場合、携帯電話本体で照明をOFFに設定してください。（設定については、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。）
- ハンズフリー機能を使用する場合、他のBluetooth機器を使用しているときは、次のようになります。
  - 携帯電話の Bluetooth 接続が切断されることがあります。
  - ハンズフリーの音声にノイズが発生することがあります。
  - ハンズフリーの動作が遅くなることがあります。
- ハンズフリー接続とオーディオ接続の両方に対応している携帯電話でも、ハンズフリー接続とオーディオ接続を同時にできない場合があります。
- Bluetooth AUDIO再生中にBluetooth接続動作を行った場合、音声が途切れることがあります。
- Bluetooth AUDIOの操作後に携帯電話のBluetooth接続を行った場合、Bluetooth接続できないことがあります。また、携帯電話のBluetooth接続動作中にBluetooth AUDIOの操作を行った場合、Bluetooth接続が中断されます。これらの場合、しばらくしてから手動でBluetooth接続を行ってください。（501 ページ参照）

■ Bluetooth接続確認表示

ハンズフリー設定画面の ACC-ON 時のBluetooth接続確認表示（521 ページ参照）が **する** に設定されているときは、Bluetooth接続されると、接続完了メッセージが表示されます。
ハンズフリー機能を使用するときは、この表示をご確認ください。

Bluetooth接続確認表示



- Bluetooth 接続されたかどうかは、Bluetooth接続状態表示でも確認できます。（302 ページ参照）

■ 自動接続できなかった場合

自動接続は約60秒行います。自動接続を開始して約60秒経過した時点でBluetooth接続完了していない場合、メッセージが表示されます。
60秒以内にBluetooth接続できなかった場合は、手動でBluetooth接続操作を行ってください。（501 ページ参照）

携帯電話を手動で接続する

携帯電話との自動接続に失敗したときや自動接続の設定（521 ページ参照）が **しない** に設定されているときは、手動でBluetooth接続することができます。

次ページに続く

2. 携帯電話の接続

チェック

携帯電話のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されていないときは、**情報** にタッチします。

2 **携帯電話** にタッチします。



3 **接続** にタッチします。

- 携帯電話接続画面が表示され、携帯電話とのBluetooth接続が開始されます。
- Bluetooth接続が完了すると、接続完了のメッセージが表示されます。



ワンポイント

- Bluetooth 接続完了の表示は、エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACC、またはONにした後、初めて携帯電話とBluetooth接続完了したときに1回のみ表示されます。Bluetooth接続失敗の表示がされてもその後Bluetooth接続できれば、Bluetooth接続完了の表示が1回のみ表示されます。
- 携帯電話の状態によっては、一度で Bluetooth接続できない場合があります。その場合、しばらくしてから再度接続操作を行ってください。

Bluetooth接続の再接続について

エンジンスイッチがACC、またはONのときに、一度成立したBluetooth接続がBluetoothネットワーク電波状況などで切断された場合は、自動接続の設定に関わらず、自動的に再接続処理を行います。

■ Bluetooth接続が意図的に切断された場合

携帯電話側からBluetooth接続をOFFにするなど、一度成立したBluetooth接続が意図的に切断された場合は、再接続処理は行いません。
この場合は、次のいずれかの方法で再接続してください。

● 手動でBluetooth接続する.....501ページ
● 改めて携帯電話を選択する.....513ページ

ワンポイント

再接続処理は一定時間行われます。その間にBluetooth接続できなかった場合は、手動でBluetooth接続操作を行ってください。（501 ページ参照）

1. 電話のかけ方

本機では様々な方法で電話番号を呼び出し、電話をかけることができます。

携帯電話画面を表示する

携帯電話画面から、次のいずれかの方法で電話をかけることができます。

- **ダイヤル発信** 505ページ
  電話番号を入力して電話をかける
- **電話帳発信** 505ページ
  本機に登録した電話帳から電話をかける
- **履歴発信** 506ページ
  発信履歴または着信履歴から電話をかける

また、携帯電話本体から電話をかけることもできます。(507 ページ参照)

1 MENU を押します。

- 情報メニュー画面が表示されていないときは、**情報** にタッチします。

2 **携帯電話** にタッチします。

- 携帯電話画面が表示されます。



ワンポイント

- ハンズフリー機能を使用して電話をかけるときの通話料は、お客様のご負担になります。
- ハンズフリー機能を使用する場合は、次の点に注意してください。
  - Bluetooth 携帯電話は、本機に携帯電話を登録してBluetooth接続しないとハンズフリー機能が使用できません。ハンズフリー機能を使用するときは、まずご使用になる携帯電話の登録を行ってください。(299 ページ参照)
  - 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。携帯電話側の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書をご覧ください。
  - Bluetooth 接続状態表示が切断表示の場合は、ハンズフリー機能はご使用になれません。(302 ページ参照)
  - 走行中は安全のため一部の操作ができなくなります。
  - 電話をかけると同時に着信があると、画面表示と携帯電話の動作が異なることがあります。

ダイヤル発信する

電話番号を入力して電話をかけることができます。
携帯電話画面を表示しているときに走行を開始すると、10キーがトーンダウンして、操作できなくなります。この場合、電話番号が入力済みであれば、発信することはできます。

1 携帯電話画面で、1桁ずつタッチして電話番号を入力します。

● 修正 にタッチすると、最後の1桁が消去できます。



2 にタッチします。

ワンポイント

●携帯電話の機種によっては、次のようなことがあります。
- 発信音や呼出音が鳴らず、無音になることがあります。
- 発信中画面が表示されず、相手が電話に出る前に通話中画面が表示されることがあります。
- 通信事業者のサービスにより発信中画面で10キー入力する必要がある場合、10キー入力をしてもトーン信号を送れないことがあります。10キー入力については、**「10キー入力する」**（510ページ参照）をご覧ください。

●Bluetooth AUDIO再生中に発信すると、発信中画面の表示および発信音の鳴る動作が遅れることがあります。

電話帳発信する

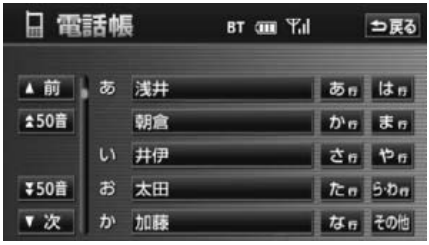
あらかじめ携帯電話本体の電話帳データを本機に転送しておくと（516 ページ参照）、登録した電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

1 携帯電話画面で、電話帳 にタッチします。

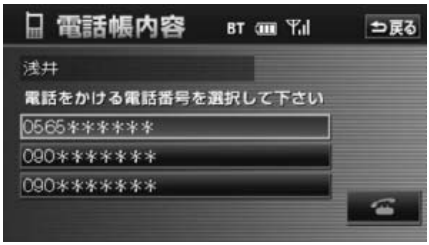


2 希望の通話相手にタッチします。

● その他 にタッチすると英数字ショートカットに切り替わります。



3 電話番号が2件以上登録してあるときは、希望の電話番号にタッチします。



1. 電話のかけ方

4 にタッチします。

履歴発信する

過去に発信または着信した電話番号を、それぞれ最大5件記憶しています。それぞれの履歴は5件以上になると、古い履歴から自動で削除されます。履歴に登録されている電話番号を呼び出して電話をかけることができます。

1 携帯電話画面で、履歴 にタッチします。



2 発信履歴 、または 着信履歴 にタッチして、履歴の表示を切り替えます。



● **発信履歴画面**



● **着信履歴画面**

3 希望の通話相手にタッチします。



4 にタッチします。

ワンポイント

●着信履歴画面では、不在着信および着信拒否の電話番号の場合、それぞれアイコンが表示されます。

●発信履歴は、状況によって次のように登録されます。
・本機の電話帳に登録されている電話番号に発信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も発信履歴に登録されます。
・同一電話番号から発信した場合は、最新の発信履歴のみ登録されます。
●着信履歴は、状況によって次のように登録されます。
・本機の電話帳に登録されている電話番号から着信した場合、そのデータに名称情報があると、名称も着信履歴に登録されます。
・不在着信および着信拒否も着信履歴として登録されます。
・相手先電話番号の情報がない場合は、着信履歴に“通知不可”と表示されます。
●履歴を削除したいときは、**「履歴を削除する」**（507ページ）をご覧ください。

■履歴を削除する

発信履歴および着信履歴のデータは、まとめて削除することができます。

1 発信履歴画面、または着信履歴画面で、**全件削除** にタッチします。



2 **YES** にタッチします。

ワンポイント

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（76 ページ参照）

携帯電話本体から発信する

本機にBluetooth接続された携帯電話本体を直接操作して、発信することができます。

⚠ 警告

安全のため、運転者は運転中に携帯電話本体の操作をしないでください。

ワンポイント

●携帯電話本体から発信した場合、Bluetooth接続中であれば、情報メニュー画面で **携帯電話** にタッチする、または **AV** を押すと、ハンズフリー画面が表示されます。この場合、**通話転送** 以外のタッチスイッチはトーンダウンし、操作できません。タッチスイッチを使用したいときは、通話転送の操作をしてください。（511 ページ参照）
●携帯電話本体から発信した場合、次の点がハンズフリーと異なります。
・携帯電話側で直接操作して発信した場合は、発信履歴に登録されません。
・単独で通話中の携帯電話が本機に Bluetooth接続された場合、相手先電話番号は発信履歴または着信履歴に登録されません。
●携帯電話本体から発信した場合、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。

発信を中断する

発信中画面で ☎ にタッチすると、発信を中断できます。

● 携帯電話本体で電話を切った場合も、発信を中断します。
● 発信が中断されると、ハンズフリー画面が解除されます。

2. 電話の受け方

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、**「簡易画面について」**（512ページ）を参照してください。

電話を受ける

1 表示中の画面に関わらず、電話がかかってくると着信音を鳴らして着信中画面を表示し、着信を通知します。



2 にタッチします。

- 通話中画面が表示されます。
- 通話終了後は、ハンズフリー画面が解除されます。

ワンポイント

- 着信中に地図画面など他の画面を表示することができます。情報メニュー画面で **携帯電話** にタッチする、または AV を押すと、もとの画面にもどります。
- 着信時、一時的に“通知不可”と表示される場合がありますが、故障ではありません。
- 着信したら、ハンズフリー以外で出力される音声をミュート（消音）し、オーディオ機能が停止します。ただし、ハンズフリーより優先される音声の場合は、ミュートされません。
- ハンズフリー機能を使用する場合は、次のようなことがあります。携帯電話の操作については、携帯電話の取扱説明書でご確認ください。
  - ドライブモードなど、携帯電話の設定によっては、着信できないことがあります。
  - 携帯電話は Bluetooth 機能を使用できる状態にしてご使用ください。
  - 携帯電話をマナー（バイブレータ）モードや着信音消去に設定すると、着信音が聞こえない場合があります。
  - 着信音については、
    ①車両のスピーカーから聞こえる
    ②携帯電話から聞こえる
    ③両方から聞こえる
    など、機種によって異なります。また、着信音は携帯電話で選択している着信音を鳴らします。ただし、機種によっては、本機に登録されている着信音が鳴ることや着信音が聞こえないことがあります。
  - 機種によっては、着信時に相手の電話番号が表示されないことがあります。
  - 携帯電話本体を直接操作して電話を受けたとき、または携帯電話を自動着信応答に設定したときは、ハンズフリーでの通話になるか、携帯電話本体での通話になるかは、機種によって異なります。
  - 携帯電話でデータ通信を行っている最中に着信があった場合、機種によっては、本機に着信中画面が表示されず、着信音も鳴らないことがあります。
  - ハンズフリー設定画面で自動着信応答を **する** に設定しておくと、自動で電話を受けることができます。（522 ページ参照）
  - Bluetooth　AUDIO再生中に着信があった場合、着信中画面の表示および着信音の鳴る動作が遅れることがあります。

着信中画面で操作する

ここでは、電話を受ける以外に着信中画面で操作できることを説明します。

■電話を保留する（応答保留）

1 着信中画面で、☎ にタッチします。

- 応答が保留されます。
- 応答保留中、小 または 大 にタッチすると音量を調整できます。
- 応答保留中、☎ にタッチすると、電話を切って、ハンズフリー画面が解除されます。



2 ☎ にタッチします。

- 応答保留が解除され、通話できるようになります。
- 応答保留中でも 通話転送 にタッチすると、通話を転送することができます。（511 ページ参照）



ワンポイント

- 携帯電話の機種によっては、応答保留できないことがあります。
- 携帯電話の機種によっては、本機の操作で応答保留中になると、自動的に携帯電話本体での通話に切り替わることがあります。
- Bluetooth 接続中に、携帯電話本体で応答保留する、または携帯電話本体で応答保留を解除すると、携帯電話本体での通話に切り替わります。

■着信音の音量を調整する

着信中画面で、小 、または 大 にタッチする。



■着信拒否する

着信中画面で、☎ にタッチし続けると、着信拒否できます。
ただし、携帯電話が着信拒否に対応しているときのみ使用することができます。
着信拒否すると、ハンズフリー画面が解除されます。

3. 通話中の操作

ここでは、全画面表示の場合で説明しています。簡易表示の場合は、**「簡易画面について」**（512ページ）を参照してください。

通話中画面で操作する

通話中は通話中画面が表示され、次の操作をすることができます。

- 受話音量の調整
- 通話の終了
- 10キー入力
- 送話音のミュート
- 通話の転送



● **通話中画面**

チェック

通話中はオーディオ機能を使うことができません。

ワンポイント

- 通話中に地図画面など他の画面を表示することができます。情報メニュー画面で **携帯電話** にタッチする、または AV を押すと、もとの画面にもどります。
- 単独で通話中の携帯電話が本機に Bluetooth接続されると、通話中画面が表示されます。この場合、そのままで通話が維持されるか、ハンズフリーでの通話になるかは、機種によって異なります。
- ハンズフリーで通話中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にする、またはエンジンをかけると、機種によって、通話が切断される場合と、通話が携帯電話で継続される場合があります。なお、通話が携帯電話で継続される場合は、携帯電話の操作が必要になることがあります。この場合、エンジンスイッチがACC、またはONであれば、通話を転送することでハンズフリーでの通話に切り替えられます。（511 ページ参照）

■受話音量を調整する

通話中画面で、**小** 、または **大** にタッチすると、受話音量を調整することができます。

■通話を終了する

通話中画面で ☎ にタッチすると、通話を終了します。携帯電話本体で電話を切った場合も、通話は終了します。通話が終了すると、ハンズフリー画面が解除されます。

■10キー入力する

通話中画面で、**トーン** にタッチすると、トーン入力画面が表示され、10キー入力できるようになります。



● **トーン入力画面**

■送話音をミュート（消音）する

通話中画面で **ミュート** にタッチすると、お客様の音声を通話相手に聞こえなくすることができます。（この場合でも、通話相手の声はお客様に聞こえます。）
再度 **ミュート** にタッチすると、ミュートが解除されます。

■通話を転送する

Bluetooth携帯電話では、本機と携帯電話の間で、通話を転送することができます。
ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話、または携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えられます。

画面で操作する

通話中画面、または応答保留中画面で、通話転送 にタッチします。

- 走行中は、ハンズフリーでの通話から携帯電話本体での通話に切り替えることはできません。

ワンポイント

画面で通話転送の操作をした場合、転送に失敗して音声が聞こえなくなることがあります。

携帯電話本体で操作する

発信中、通話中、着信中、応答保留中に通話を転送することができます。

- 携帯電話本体での通話からハンズフリーでの通話に切り替えると、ハンズフリー画面が表示され、タッチスイッチでの操作ができます。
- 携帯電話の機種により、転送方法や動作が異なります。携帯電話の操作については、携帯電話に添付の取扱説明書でご確認ください。

4. 簡易画面での操作

簡易画面について

次のような画面が表示され、着信中であることをお知らせします。画面に電話番号および名称は表示されますが、操作することはできません。 AV を押して携帯電話画面に切り替えると、操作することができます。電話が切れると、表示は解除されます。
ハンズフリー設定の着信割り込み表示（522ページ参照）で **簡易** を選択しているときに表示されます。



● 簡易画面

1. 登録機器の設定

使用する携帯電話を選択する

携帯電話の登録をすると、一番新しく登録した携帯電話が使用する携帯電話として選択されます。複数の携帯電話を登録しているときは、使用する携帯電話を選択する必要があります。
携帯電話は本機に最大5台まで登録することができますが、本機で使用できるのは電話機選択で選択された携帯電話のみです。

チェック

携帯電話のBluetooth待ち受けをONにするなど本機と接続できる状態にします。
携帯電話側の操作については、携帯電話の取扱説明書を参照してください。

1 携帯電話画面で **登録機器** にタッチします。



2 使用する携帯電話にタッチします。

- Bluetooth 接続がされている携帯電話には、Bluetoothマークが表示されます。



Bluetoothマーク

3 **接続** にタッチします。

- 他の携帯電話が Bluetooth 接続中のときは、確認のメッセージが表示されます。切断してよければ、**YES** にタッチします。
- 携帯電話接続画面が表示されます。
- **キャンセル** にタッチすると、Bluetooth 接続が中止されます。
- Bluetooth 接続完了のメッセージが表示されます。

ワンポイント

- 携帯電話の登録については、**「携帯電話の登録」**（499ページ）を参照してください。
- Bluetooth AUDIO再生中に電話機選択をした場合、音声が途切れることがあります。

電話機詳細情報を表示する

電話機詳細情報は、本機に登録されている携帯電話に関する情報の表示と設定をすることができます。
情報は、次の項目が表示されます。

- **機器名称**
  本機に表示される携帯電話の名称で、変更することはできません。
- **機器アドレス**
  機器固有のアドレスで、変更することはできません。
- **自局電話番号**
  携帯電話の電話番号です。



● 携帯電話詳細情報画面

次ページに続く

1. 登録機器の設定

1 携帯電話画面で **登録機器** にタッチします。



2 詳細情報を表示したい携帯電話にタッチします。



3 **詳細情報** にタッチします。

● 携帯電話詳細情報画面が表示されます。

携帯電話の登録を削除する

1 携帯電話画面で **登録機器** にタッチします。



2 削除する携帯電話にタッチします。



3 **削除** にタッチします。

4 **YES** にタッチします。

● 削除する携帯電話が Bluetooth 接続中の場合は、メッセージが表示されます。
YES にタッチすると、削除されます。

2. ハンズフリーメニュー画面について

ここでは、ハンズフリーの各種設定方法について説明しています。
お客様の使用状況に応じて、ご利用ください。

ハンズフリーメニュー画面を表示する

1 ハンズフリーメニュー にタッチします。

● ハンズフリーメニュー画面が表示されます。



● ハンズフリーメニュー画面

タッチスイッチ	機　能	ページ
電話帳編集	電話帳の転送・削除	516
音量設定	ハンズフリーの各音量の設定	519
ハンズフリー設定	各ハンズフリー機能の設定	520

3. 電話帳の編集

携帯電話に登録されている電話帳を転送することで、電話帳に電話番号を登録することができます。

携帯電話の電話帳データを転送する

携帯電話に登録されている電話番号（電話帳データ）を、本機に転送することができます。本機の電話帳は、1名につき最大3件の電話番号が登録でき、最大1000名分のデータが登録できます。

チェック

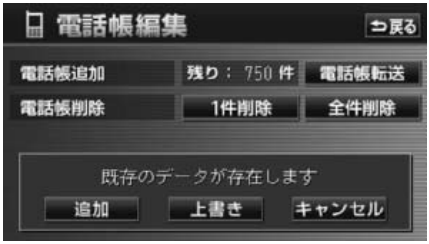
- ●転送するときはバッテリー上がり防止のため、エンジンをかけた状態で行ってください。
- ●この機能は、OPP（Object Push Profile）に対応していない携帯電話では使用できません。また、携帯電話によって、携帯電話からの電話帳データの転送方法が異なります。詳しくは、携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

1 電話帳編集画面で、**電話帳転送** にタッチします。



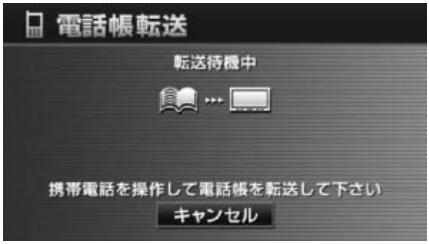
2 すでに電話帳データがある場合は、転送方法の確認メッセージが表示されます。
既存のデータに上書きするときは **上書き** 、既存のデータに追加するときは **追加** にタッチします。

- **キャンセル** にタッチすると、転送が中止されます。



3 電話帳転送画面が表示されたら、携帯電話を操作して電話帳データを転送します。

- 携帯電話側の転送操作は、電話帳転送画面が表示されているときに行ってください。
- 転送中は、転送完了のメッセージが表示されるまで、そのままでお待ちください。
- **キャンセル** にタッチすると、転送が中止されます。
- 転送が完了すると、転送完了のメッセージが表示されます。



● 電話帳転送画面

ワンポイント

●電話帳データを転送する際、各データについては、次のような制限があります。
- ・携帯電話の電話帳で1つの名称に4件以上の電話番号が登録されている場合、本機の電話帳には同じ名称を複数登録してすべての電話番号を登録します。
- ・電話番号と同時に名称･名称読みも転送されますが、機種によっては漢字や記号などが転送されないことや、すべての文字が転送されないことがあります。また、転送されても正しく表示されないことがあります。
- ・通常はシークレットメモリの読み出しは行いません。（携帯電話の仕様により可能な場合もあります。）
- ・携帯電話に登録されているグループ名は転送されません。

●電話帳データを転送する際、機種によっては、携帯電話の暗証番号および認証パスワードの入力を求められることがあります。この場合、認証パスワードは“1234”を入力してください。

●一括転送可能な機種は、電話帳データを転送する際、次のような特徴があります。
- ・転送にかかる時間は、転送する電話番号の件数や電話帳データの容量により異なります。データによっては、数10分かかる場合があります。
- ・電話帳データ転送画面が表示されているときでも他画面に切り替えることができます。この場合、電話帳データ転送は継続されます。

●電話帳データ転送中は、次のように対応します。
- ・電話帳データ転送中に着信があった場合は、状況によりどちらかが優先されます。着信が優先された場合、着信した電話は携帯電話本体での通話になります。この場合は、通話終了後、再度転送操作をやり直してください。
- ・電話帳データ転送中にエンジンスイッチをOFF（LOCK）にした場合、転送は中止されます。この場合は、エンジンをかけて、再度転送操作をやり直してください。

●次の場合、転送済みの電話帳データは本機の電話帳に保存されます。
- ・本機のメモリ容量により途中で転送が終了したとき
- ・何らかの原因で転送が中断されたとき

●本機の電話帳データを携帯電話に転送することはできません。

●電話帳データ転送中は、Bluetooth AUDIOやハンズフリー機能のBluetooth接続が切断されます。この場合、転送が終了すると再接続されます。（機種によっては、再接続できないことがあります。）

電話帳のデータを削除する

電話帳データは、個別に選択して削除、または全削除ができます。

ワンポイント

お車を手放すときには、個人情報の初期化を行ってください。（76 ページ参照）

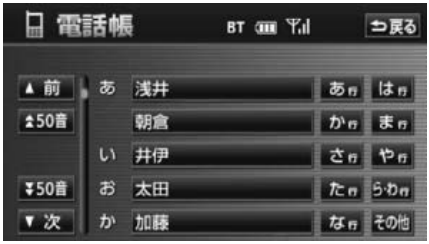
■電話帳のデータを個別に削除する

1 電話帳編集画面で、電話帳削除の **1 件削除** にタッチします。



3. 電話帳の編集

2 削除したいデータにタッチします。



3 YES にタッチします。

■電話帳のデータをすべて削除する

1 電話帳編集画面で、電話帳削除の 全件削除 にタッチします。



2 YES にタッチします。

4. 音量の設定

音量の設定をする

■音量を調整する

1 音量設定画面で、各音量の 小 、または 大 にタッチして調整します。

- 受話音量：通話相手の音声の音量が調整できます。
- 着信音音量：着信音の音量が調整できます。
- 初期状態 にタッチすると、音量設定の項目が初期設定の状態にもどります。



2 戻る にタッチします。

ワンポイント

- 受話音量は、発信中画面、通話中画面、応答保留中画面でも調整できます。
- 着信音音量は、着信中画面でも調整できます。
- 受話音量はできるだけ小さく調整してください。エコーが出ることがあります。

■高速走行時の自動音量切り替えを設定する

高速走行中は、設定した音量が自動的に1段階上がるようにすることができます。

自動音量切り替えをON（自動で上がる）にするか、OFF（上がらない）にするか、選ぶことができます。

1 高速時の自動音量切替 にタッチします。

- タッチするたびに、ONとOFFが切り替わります。



2 戻る にタッチします。

ワンポイント

高速時の自動音量切替をONにすると、車速が約80km/h以上になると、設定した音量が自動的に1段階上がります。（車速が約70km/h以下になると、もとの音量にもどります。）

5. ハンズフリーの設定

ハンズフリー設定画面では、下記の項目を設定することができます。





● ハンズフリー設定画面

項目/スイッチ	機　能	ページ
機器名称	Bluetoothネットワーク内での本機の名称です。変更することはできません。	—
パスキー	携帯電話を登録するための番号です。4～8桁の数字で任意に変更することができます。	521
機器アドレス	本機に登録されている機器固有のアドレスです。変更することはできません。	—
自動接続	エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACC、またはONにしたとき、自動でBluetooth接続ができるようにするか、しないかを設定することができます。	521
ACC-ON時のBluetooth接続確認表示	エンジンスイッチをOFF（LOCK）からACC、またはONにしたとき携帯電話とのBluetooth接続結果を表示するか、しないかを設定することができます。	521
自動着信応答	自動着信応答を設定しておくと、電話がかかってきたとき、あらかじめ設定した待ち時間が経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話できるように設定することができます。	522
着信割り込み表示	携帯電話画面以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を設定することができます。	522
電話帳ロック	ロックNo.を設定して、ハンズフリー機能の使用に制限をかけることができます。	522
初期状態	タッチすると、Bluetooth設定の項目が初期設定の状態にもどります。	—

パスキーを変更する

1 パスキーの **変更** にタッチします。

● **初期状態** にタッチすると、設定を初期状態にもどすことができます。



2 数字に1文字ずつタッチして、4～8桁の数字を入力します。

● 間違えた場合は、 **クリア** にタッチすると、1文字ずつ削除されます。



3 **決定** にタッチします。

自動接続を設定する

1 自動接続の **する** 、または **しない** にタッチします。

● 通常は **する** を選択した状態で使用してください。

● 携帯電話は Bluetooth 接続可能な状態にしておいてください。

● **初期状態** にタッチすると、設定を初期状態にもどすことができます。



ACC-ON時のBluetooth接続確認表示を設定する

エンジンスイッチをOFF(LOCK)からACC、または　ON　にしたとき携帯電話とのBluetooth接続結果を表示するか、しないかを設定することができます。



5. ハンズフリーの設定

1 ACC-ON時のBluetooth接続確認表示の **する** 、または **しない** にタッチします。

● **初期状態** にタッチすると、設定を初期状態にもどすことができます。



自動着信応答を設定する

自動着信応答を設定しておくと、電話がかかってきたとき、あらかじめ設定した待ち時間を経過すると、自動で通話中画面に切り替わり通話することができます。

1 自動着信応答の **する** にタッチします。



2 **－** 、または **＋** にタッチして、自動応答するまでの待ち時間を1～60秒の間で設定できます。

● 設定を解除するときは **しない** にタッチします。

着信割り込み表示を設定する

携帯電話画面以外の画面が表示されているときに電話がかかってきた場合の、画面の表示方法を設定することができます。

1 着信割り込み表示の **全画面** 、または **簡易** にタッチします。

● **全画面** にタッチすると、着信中にハンズフリー画面が表示されて、タッチスイッチで操作することができます。

● **簡易** にタッチすると、着信中に、簡易画面がオンスクリーン表示されます。タッチスイッチは表示されません。応答するには、携帯電話画面に切り替える必要があります。



電話帳ロックを設定する

電話帳ロックを設定すると、電話帳に関する機能を使用することができません。ホテルで車を預けるときなど、他人に見られたくないときにご利用になると便利です。ロックの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要になります。

■ロックNo.を設定する

⚠ 注意

ロックNo.を変更するときは、ロックNo.を忘れないように管理してください。ロックNo.を忘れると、販売店でも解除ができません。万一ロックNo.を忘れてしまった場合は、電話帳ロック設定の初期化を行ってください。（525 ページ参照）ただし、初期化を行うと、電話帳データや発信履歴および着信履歴も削除されます。

電話帳ロックの設定および解除をするには、ロックNo.の入力が必要です。ロックNo.は4桁の数字で、初期設定は「0000」になっています。電話帳ロックを使用するときは、必ずロックNo.を変更してからご使用ください。なお、ロックNo.を変更するときは、他人にわかりにくい番号にしておいてください。

1 電話帳ロックの **設定する** にタッチします。



2 ロックNo.変更の **変更** にタッチします。



3 現在のロックNo.を入力します。

● 間違えたときは、 **クリア** にタッチすると、1番号ずつ消去されます。



4 **決定** にタッチします。

5 新しいロックNo.を入力します。



6 **決定** にタッチします。

7 再度、ロックNo.を入力します。

● 確認のメッセージが表示されます。



5. ハンズフリーの設定

8 決定 にタッチします。

9 YES にタッチします。

- ロックNo.が変更されます。
- ロックNo.を入力し直す場合は、NO にタッチします。

■電話帳ロックを設定する

電話帳ロックを設定すると、次の機能を使用することができなくなります。

- 電話帳画面の表示、電話帳データの転送・削除
- 発信時および着信時の相手先名称の表示
- 発信履歴画面および着信履歴画面の表示、履歴の削除、履歴発信
- ロックNo.の変更

1 電話帳ロックの 設定する にタッチします。



2 電話帳ロックの する にタッチします。



3 ロックNo.を入力します。



4 決定 にタッチします。

■電話帳ロックを解除する

1 電話帳ロック設定画面で、電話帳ロックの しない にタッチします。



2 ロックNo.を入力します。



3 決定 にタッチします。

■電話帳ロック設定を初期化する

チェック

初期状態にもどすと、すべての電話帳データや発信履歴および着信履歴も削除されます。

1 電話帳ロック設定画面で 初期状態 にタッチします。

● 確認のメッセージが表示されます。



2 YES にタッチします。

MEMO

ご参考に

1. 知っておいていただきたいこと

ナビゲーションの機能概要および初期状態について

ナビゲーションの各種設定で設定する各項目の機能概要や購入直後の設定について説明しています。

■地図表示設定

項目	機能概要	初期状態	ページ
2D 時フロントワイド	ノースアップ表示（1画面表示）のとき、車の進行方向の地図を広く表示することができます。	しない	105
2D 時フロントワイド 右画面の地図で表示	2画面表示の右画面がノースアップ表示のとき、車の進行方向の地図を広く表示することができます。	しない	105
2D 時フロントワイド	ヘディングアップ表示のとき、車の進行方向（画面上側）の地図を広く表示することができます。	する	105
2D 時フロントワイド 右画面の地図で表示	2画面表示の右画面がヘディングアップ表示のとき、車の進行方向（画面上側）の地図を広く表示することができます。	する	105
3D 時のルート方向アップ	（目的地案内中に）3D表示のとき、ルートが表示されている方向の地図を広く表示することができます。	しない	117
3D地図表示設定	3D地図表示の見下ろす角度を調整することができます。	約23°	115
3Dビル表示	バーチャタウンマップにビルを表示することができます。	する	115
	バーチャタウンマップに表示するビルの高さ（階数）を設定することができます。	3階以上	116
行政区域塗り分け表示	リアルワイドマップ表示中に行政区を塗り分けして表示することができます。	する	119
昼の地図色	昼画の地図表示色を変更することができます。	ノーマル	89
夜の地図色	夜画の地図表示色を変更することができます。	ノーマル	89
リアルワイドマップ表示	地図マークのイラスト表示や道路の太さをより実際の道路に近づけて表示することができます。	する	118
地図の文字サイズ変更	地図に表示されている名称（文字）の大きさを切り替えることができます。	小	89
立体ランドマーク表示	地図に立体的な施設マーク（3Dランドマーク）を表示することができます。	する	120
シーズンレジャーランドマーク表示	桜などの季節になると、地図に桜や紅葉の名所をマーク表示することができます。	する	119
地図スクロール時の地名表示	地図スクロール時に地図中心（ ）の地名を表示することができます。	する	95

■ 自動表示切替設定

項目	機能概要	初期状態	ページ
交差点拡大図自動表示	（目的地案内中に）分岐する交差点に近づくと、自動的に交差点拡大図を表示することができます。	する	188
リアル交差点拡大図自動表示	（目的地案内中に）分岐する交差点に近づくと、リアルな交差点拡大図を表示することができます。	する	190
高速分岐模式図自動表示	（目的地案内中に）高速道路走行中、分岐点に近づくと、自動的に高速分岐案内図を表示することができます。	する	203
レーンリスト自動表示	（目的地案内中に）走行する交差点の名称と車線レーンのリスト図を表示することができます。	する	192
ターンリスト自動表示	最終目的地まで走行する道路名称、ターン方向及び距離のリスト図を表示することができます。	しない	201
都市高マップ自動表示	（目的地案内中に）都市高速を走行すると、自動的に都市高速マップを表示することができます。	しない	205
高速路線マップ自動表示	高速道路を走行すると、自動的に高速路線マップを表示することができます。	する	111
駐車場マップ自動表示	収録されている地下駐車場に入ったとき、自動的に駐車場マップを表示することができます。	する	112
細街路自動ツイン表示	細街路を走行すると、自動的に2画面表示に切り替えることができます。	する	194

■ 案内表示設定

項目	機能概要	初期状態	ページ
縮尺切替メッセージ表示	縮尺切り替え時に地図表示切り替えを通知するメッセージを表示することができます。	しない	100
踏切警告	自車マークが踏切に近づくと、警告マークと音声で案内することができます。	しない	122
合流警告	高速道路走行中、自車マークが合流道路に近づくと、警告マークと音声で案内することができます。	しない	122
カーブ警告	自車マークが急カーブに近づくと、警告マークと音声で案内することができます。	しない	122
交通事故多発区間警告	一般道では、交通事故が多発している地点にマーク表示します。高速道路では、警告マークと音声で案内することができます。	しない	121
レーン警告	一般道の右左折専用レーンを音声で案内することができます。都市高速のレーン減少地点を警告マークと音声で案内することができます。	しない	122
料金案内	（目的地案内中に）料金所に近づくと、料金を画面と音声で案内することができます。	する	196

1. 知っておいていただきたいこと

項目	機能概要	初期状態	ページ
料金所レーン案内	（目的地案内中に）料金所に近づくと、レーンの案内を画面と音声で案内することができます。	する	199
県境案内	都道府県をこえたときに、マークと音声で案内することができます。	する	123
3D交差点拡大図	（目的地案内中に）分岐する交差点に近づくと、３Ｄで交差点拡大図を表示することができます。	しない	190
到着予想時刻表示	平均車速を変更することができます。（目的地までの到着予想時刻を計算する基準となります）	一般道路：30km/h 有料道路：60km/h 高速道路：80km/h VICS情報・交通データ考慮ON	195
	時刻表示を、アナログ／デジタル表示に切り替えることができます。	アナログ	195

■ 音声設定

項目	機能概要	初期状態	ページ
VICS渋滞・規制音声自動発声	（目的地案内中に）ルート上（約10km以内）のVICS情報を自動的に音声で案内することができます。	する	248
自動音声案内	（目的地案内中に）交差点や分岐点、目的地に近づくと自動的に音声で案内することができます。	する	208
他モード時の案内	ナビゲーション以外の画面を表示しているときに、ナビゲーションの音声案内をすることができます。	する	209
操作説明音声	表示している画面の操作手引き（説明）を音声で案内することができます。	する	92
交差点目印案内	目的地案内中に分岐する交差点付近の目印を案内することができます。	する	208
ハートフル音声	自宅に到着したときなどに「お疲れさまでした」などの気のきいたフレーズの音声を出力することができます。	する	92

■ ルート系設定

項目	機能概要	初期状態	ページ
自動再探索	（目的地案内中に）ルートからはずれたとき、自動的にルートを再探索することができます。	する	217
ルート学習	よく通る道を考慮したルートを探索することができます。	する	162

項目	機能概要	初期状態	ページ
ルート学習結果の消去	学習したルートの結果を消去することができます。	–	163
交通状況学習結果の表示	交通状況の学習結果を地図表示することができます。	–	256
交通状況学習結果の消去	交通状況の学習結果を消去することができます。	–	256
季節規制メッセージ表示	季節規制区間（冬期通行止め道路など）を含むルートを探索したときに、メッセージを表示することができます。	する	168
渋滞統計データを考慮	渋滞統計データおよびビーコンより受信した渋滞・規制情報※を考慮したルートの探索を設定することができます。	する	163

※ 別売の2メディア/3レベル対応VICSユニット接続時

■ その他

項目	機能概要	初期状態	ページ
スイッチ表示設定	地図画面に表示するタッチスイッチを設定することができます。	、 以外非表示	96
周辺施設　走行中呼出ジャンル	走行中に簡易操作で表示できる施設マーク（周辺施設の6項目）を変更することができます。	GS コンビニ レストラン 駐車場 銀行 郵便局	128
車両情報設定※	車両情報（ナンバープレートの分類・車両寸法）を設定することができます。	5・7 未入力	197
目的地履歴の消去	過去に設定した目的地の履歴を消去することができます。	–	184
画面切り替え時の動画表現	画面を切り替えるとき、ゆっくりした動きの表現に変更することができます。	しない	90
ショートカット	地図画面によく使う機能をショートカットスイッチとして表示することができます。	–	97
時計表示	地図画面にGPS時計を表示することができます。	する	90
ナビ補正	現在地の修正や距離の補正をすることができます。	–	304 305

※ 目的地が設定されているときは、トーンダウンし、タッチしても操作できません。

1. 知っておいていただきたいこと

こんなメッセージが表示されたときは

下記のようなメッセージが表示された場合、原因と処置を参考にもう一度確認してください。

■ 共通操作関係

メッセージ	原　因	処　置
画像編集のため、オーディオOFFします	オーディオソースがMUSIC JUKEのときに、HDDに画像データを保存しようとしたため。	オーディオソースを切り替える、またはオーディオをOFFにしてから画像データを保存してください。
画像データが読めません ディスクが正しいかご確認下さい	壁紙の記録されていないディスクが入っている、または何かしらの原因でディスクが読めないため。	画像データを確認してください。（57 ページ参照）
画像ファイルを表示できません	画像の容量が大きすぎるため。 壁紙の画像データのファイル形式が違っているため。	画像データを確認してください。（57 ページ参照）
画像ファイルの保存に失敗しました	何かしらの原因で、HDDに画像データが保存できなかったため。	画像データを確認してからHDDへ保存してください。（57 ページ参照）
画像ファイルの消去に失敗しました	何かしらの原因で、HDDから画像データが消去できなかったため。	再度消去してください。消去できない場合は、販売店に相談してください。
通信できませんでしたもう一度操作して下さい	取得したデータに不備があったため。 接続先との通信が途絶えてから30秒以上経過したため。	しばらくしてから再度、赤外線通信を行ってください。
録音中は赤外線通信を行うことができません	録音中に赤外線通信を行おうとしたため。	録音を中止してから赤外線通信を行ってください。（399 ページ参照）
壁紙の登録に失敗しました	何かしらの原因で、画像データを壁紙に登録できなかったため。	画像データを確認してください。（57 ページ参照）

■ナビゲーション関係

メッセージ	原　因	処　置
施設情報は800m図より広域の地図には表示されません※	施設（施設ランドマーク）表示中に800mスケール図より広域な地図にしたため。	800mスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。（99 ページ参照）
周辺に該当する施設がありません	周辺の施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（126 ページ参照）
ルート沿いに該当する施設がありません	ルート沿いの周辺施設を検索するとき、近くに該当する施設が見つからないため。	場所を移動するか、ほかの施設で検索してください。（126 ページ参照）
自宅が登録されておりません。 自宅登録を行いますか？ **はい** **いいえ**	自宅が登録されていないときに、**自宅へ帰る** にタッチしたため。	**はい** にタッチするとメモリ地点登録画面を表示します。（222 ページ参照） **いいえ** にタッチするともとの画面にもどります。
自宅が登録されていません メニューのメモリ地点から登録できます	自宅が登録されていないときに、**自宅周辺** にタッチしたため。（目的地を追加する場合）	自宅を登録してからお使いください。（222 ページ参照）
特別メモリ地点が登録されていません メニューのメモリ地点から登録できます	特別メモリ地点が登録されていないときに、特別メモリ **1** ～ **5** 、または特別メモリ周辺 **1** ～ **5** にタッチしたため。	特別メモリ地点を登録してからお使いください。（222 ページ参照）
該当する電話番号が検索できません 確認して修正して下さい	電話番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	電話番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当する郵便番号が収録されていません 確認して修正して下さい	郵便番号で地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	郵便番号を再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
該当するマップコードが収録されていません 確認して修正してください	マップコードで地図を呼び出すとき、入力した番号が登録されていないなどの原因で、地図が呼び出せなかったため。	マップコードを再度入力しなおしても地図が呼び出せないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。
履歴が登録されていません	履歴で地図を呼び出すとき、過去に目的地を設定していないことが原因で、地図を呼び出せなかったため。	目的地を設定すると目的地履歴に登録されます。目的地履歴が登録されていないときは、ほかの方法で地図を呼び出してください。（131 ページ参照）
この縮尺では位置が特定できません 詳細な地図に切り替えます	800mスケール図より広域の地図で目的地、メモリ地点などを設定・登録しようとしたため。（ワンタッチメモリ地点登録のときを除く）	目的地、メモリ地点などの設定・登録はできるだけ詳細な地図（800mスケール図以下）で行ってください。

※ 各種設定の縮尺切替メッセージ表示が **する** になっていないと表示されません。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原　因	処　置
目的地周辺に河川などの水域があります 目的地を移動しますか？	目的地と最寄りの道路との間に、河川などがあるため。	**はい** にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、**いいえ** にタッチしてください。
目的地周辺に線路があります 目的地を移動しますか？	目的地を設定するときに、線路が近くにあるため。	**はい** にタッチしたあと、地図を移動して、道路付近に目的地を設定してください。表示されている位置に目的地を設定するときは、**いいえ** にタッチしてください。
目的地が遠すぎます 直線距離5000km以内に目的地の変更をお願いします	直線距離5000kmをこえる目的地を設定したため。	目的地は、直線距離5000km以内に設定してください。
これ以上設定できません 消去してからお使い下さい	目的地を設定した数が5カ所のときに、さらに設定（追加）しようとしたため。	不要な目的地を消去してから設定（追加）してください。（176ページ参照）
付近に案内可能な道路がありません 移動してから再操作をお願いします	通過道路を指定するときに、道路情報などにより、通過道路が指定されなかったため。	地図を移動して、道路付近に通過道路を指定してください。
都市高マップは200m図より詳細な地図では表示できません※	都市高マップ表示中に200mスケール図より詳細な地図にしたため。	200m～1.6kmスケール図の縮尺に地図を切り替えてください。（99 ページ参照）
都市高マップは1.6km図より広域な地図では表示できません※	都市高マップ表示中に1.6kmスケール図より広域な地図にしたため。	200m～1.6kmスケール図の縮尺に地図を切り替えてください。（99 ページ参照）
メモリ地点が登録されていません メモリ地点を登録してからお使い下さい	メモリ地点が登録されていないときに、メモリ地点で地図を呼び出そうとしたため。	メモリ地点を登録してからお使いください。（222 ページ参照）
これ以上登録できません 消去してからお使い下さい	メモリ地点を登録した数が400カ所のときに、さらに登録しようとしたため。	不要なメモリ地点を消去してから登録してください。（231 ページ参照）
VICS文字（図形）情報を受信中です しばらくお待ち下さい	VICSメニューを受信していないため。	しばらくしてもメッセージを表示する場合、選局しなおしてください。（241 ページ参照）
VICS情報は1.6km図より広域の地図には表示されません※	VICS表示中に1.6kmスケール図より広域の地図にしたため。	1.6kmスケール図以下の詳細な地図に切り替えてください。（99 ページ参照）
VICSの文字（図形）情報を受信していません VICS選局で周波数をご確認下さい	FM多重放送を行っている放送局を選局していないか、または情報を受信していないため。	選局しなおしてVICSの情報を受信してください。（241 ページ参照）

※ 各種設定の縮尺切替メッセージ表示が **する** になっていないと表示されません。

メッセージ	原　因	処　置
走行中は自動送りできません 停車してから自動送りを再開します	自動送り機能を走行中にしたため。	停車してからご使用ください。
○○○○のためFM多重放送を受信できません	ラジオ受信中にFM多重放送を受信しようとしたため。	FM多重の放送を行っている放送局を受信してください。（260ページ参照）
ETCカードが挿入されていません	ETCカードが挿入されていないため。	ETCカードを挿入してお使いください。
ETCカードが読めません カードをお確かめ下さい	ETCカードが正しく読めないため。	カードをお確かめの上、正しく挿入してください。
ETCゲートを通過できません	本機とETC車載器の接続に異常があるか、セットアップがされていないため。	お近くの販売店にお問い合わせください。
ETCカードに書き込みできません カードをお確かめ下さい	ETCカードにデータを書き込む事ができなかったため。	お近くの販売店、もしくはカード発行会社にご相談ください。
ETCゲートとの通信に失敗しました	ETC車載器と料金所間におけるデータ通信が失敗したため。	係員の指示に従ってください。
ETCに異常が発生しました ETCはご利用できません	ETC車載器に何らかの異常があるため。	お近くの販売店にお問い合わせください。
ETCゲートを通過できません 徐行して、料金所で一旦停止して下さい	路側アンテナ側から「ETC車線通行不可＆徐行」の通知があった場合に表示されます。	料金所の係員の指示にしたがってください。 （末尾にエラーコードが表示されている場合は、**「ETC統一エラーコード一覧」**（536ページ）を参照してください。）
ETCゲートを通過できます 徐行して下さい	路側アンテナ側から「ETC車線通行可＆徐行」の通知があった場合に表示されます。	徐行して、ETCゲートを通過してください。
ETCカードが挿入されました	ETC車載器にカードを挿入し、確認されたときに表示されます。	－

1. 知っておいていただきたいこと

ETC統一エラーコード一覧

エラーコード	原　因	処　置	お問い合わせ先
01	ETCカード挿入異常	ETCカードの挿入状態をご確認のうえ、再度挿入してください。	–
02	データの処理異常	「ETCカード挿入時」 挿入されたETCカードのデータが読み出せませんでした。再度挿入してください。	お買い上げの販売店
		「ETC利用時」 料金所にて車両の停止が案内（表示）されることがあります。車両停止後、係員の指示にしたがってください。	
03	ETCカード異常	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであること、および挿入方向などをご確認の上、再度挿入してください。	ETCカード発行会社
04	ETCユニットの故障	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店
05	ETCカード情報の異常	挿入されたカードがETCカードであると認識できませんでした。正しいETCカードであることをご確認の上、再度挿入してください。	お買い上げの販売店
06	ETCユニット情報の異常	ETCユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	–
07	通信異常（ETCアンテナ外れ検知時含む）	ETCユニットと料金所間におけるデータ処理にエラーが発生しました。係員の指示にしたがってください。	–
	ETCアンテナが正しく接続されていない	お買い上げの販売店にお問い合わせください。	お買い上げの販売店
–	ETCが利用不可	「予告アンテナ通過時」 ETCがご利用できません。ETC混在車線、または一般車線に進入し、係員の指示にしたがってください。	お買い上げの販売店
		「料金所通過時」 ETCがご利用できません。係員の指示にしたがってください。係員が不在の場合にはお近くのインターホンにてお問い合わせください。	
	ETCユニットの未セットアップ	車両の情報などがETCユニットに登録されていません。ETCユニットのセットアップ作業をご依頼ください。	お買い上げの販売店

■ オーディオ・ビジュアル関係

メッセージ	原因	処置
ディスクをお確かめください	ディスクが汚れている、または裏返しになっているため。	ディスクが汚れているときはクリーニングしてください。裏返しのときは正しく入れてください。
再生できるディスクが入っていません	CDプレーヤーに再生可能なディスクが入っていないため。	再生可能なディスクを入れてください。
異常検知でCD停止中です※	なんらかの原因でCDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
走行中は音声をお楽しみください	走行中にDTV、またはDVDを見ようとしたため。	車を安全な場所に停車させてパーキングブレーキをかけてからお楽しみください。
iPodとの通信に失敗しました	iPodからの応答がないため。	Dockコネクタを再接続してください。（476 ページ参照）
iPodのファームウェアバージョンをご確認ください	iPodのソフトウェアバージョンが対応していないため。	最新のソフトウェアをApple社のWebサイトからダウンロードしてください。
	iPodとの接続が検知できないため。	販売店にご相談ください、もしくはiPodをご確認ください。
再生できるデータがありません	iPodに再生可能な音楽データが記録されていないため。	iPod内のデータを確認してください。データが記録されている場合はiPodをリセットしてください。
再生できるファイルがありません	CD-R/RWに再生可能な音楽データが収録されていないため。	再生可能な音楽データが記録されているCD-R/RWを入れてください。
	USBメモリに再生可能な音楽データが収録されていないため。	再生可能な音楽データをご確認ください。（367 ページ参照）
音楽データがありません	MUSIC JUKEに何も録音されていないときに、オーディオソースをMUSIC JUKEに切り替えようとしたため。	MUSIC JUKEに録音してからオーディオソースをMUSIC JUKEに切り替えてください。（398 ページ参照）
HDDの容量が一杯になったので録音を停止します	録音中にHDDの容量が一杯になったため。	HDD内の音楽データを削除してから、再度録音してください。（417 ページ参照）、（422 ページ参照）
このCDは録音済みなので、録音をキャンセルします	すでに録音されている音楽CDアルバムを再度録音しようとしたため。	すでに録音されている音楽CDは録音することができません。録音する場合は、録音されているデータを削除してから、再度録音してください。（417 ページ参照）、（422 ページ参照）
タイムオーバーなので、録音を停止します	連続録音時間が300分に達したため。	再度、[AV]を1秒以上押して録音を続けてください。

※ イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
録音完了トラックがありませんので、CDを再生します	録音開始後、1曲も録音完了せずに終了したため。	再度、録音する場合は、AVを1秒以上押してください。
音飛びしましたので、録音をやり直します	再生曲を録音中に音飛びが発生したため。	しばらくお待ちください。録音をやり直します。
現在録音中の曲が録音完了するまでしばらくお待ちください	録音開始後、現在再生している曲の録音が完了していないときに操作した場合、先頭から再び録音をやり直す必要があるため。	1曲録音が完了するまでの間、しばらくお待ちください。
受信したタイトルがありません	FM de TITLEで受信したタイトルがない、またはHDDに保存したCD情報がないため。	CD情報インジケータが表示されるまでお待ちください。
受信した新譜情報がありません	FM de TITLE plusで受信した新譜情報がないため、またはHDDに保存した新譜情報がないため。	新譜情報受信メッセージが表示されるまでお待ちください。
ジャケット写真を表示できませんでした	ジャケット写真を表示する有効期限が切れているため。	有効期限の切れたジャケット写真は表示することができません。
	受信した新譜情報に不備があるため。	受信した新譜情報に不備がある場合、ジャケット写真を表示できません。ご了承ください。
更新するデータベースはありません	受信したCDタイトルや新譜情報が1つも存在しないときに、**タイトル更新** や **更新** にタッチしたため。	FM多重チューナー設定が「CD情報」であることを確認してください。また、受信できるまでお待ちください。
異常検知のため書き込みを中止します	タイトル更新、または更新作業が何らかの要因で異常終了したため。	再度タイトル更新、または更新操作を行ってもメッセージを表示する場合、お買い上げの販売店にご相談ください。
プレイリストが一杯なので、プレイリストを削除してから録音開始して下さい	MUSIC JUKE内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、自動でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、録音を開始してください。(417ページ参照)
トラックが一杯なので、トラックを削除してから録音開始して下さい	MUSIC JUKE内のトラック数が一杯になり、これ以上、音楽を録音できないため。	トラックを削除してから、録音を開始してください。(422ページ参照)
プレイリストが一杯です	MUSIC JUKE内のプレイリスト数が一杯になり、これ以上、新規でプレイリストを作成できないため。	プレイリストを削除してから、新規でプレイリストを作成してください。(409 ページ参照)、(417 ページ参照)
トラックが一杯です	プレイリスト内のトラック数が一杯になり、これ以上、トラックを追加できないため。	トラックを削除してから、トラックを追加してください。(422 ページ参照)
録音中は、編集モードへ移行できません	録音中に、編集作業を行おうとしたため。	録音を中止してから編集作業を行ってください。(399 ページ参照)
異常検知でMusic Juke停止中です	何かしらの原因で異常を検知したため。	エンジンスイッチをOFF(LOCK)にしてください。

メッセージ	原因	処置
異常発生により、録音を停止します	何かしらの原因で異常を検知したため。	オーディオをOFFにしてください。
Music Juke準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。	オーディオソースをMUSIC JUKEに切り替えたとき、初期化を行っているため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
録音準備中 【注】準備中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	録音中、車のエンジンスイッチをOFF（LOCK）にし、再度車のエンジンスイッチをACCまたはONにしたため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
高温のため、 録音を停止します※	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
低温のため、 録音を停止します※	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
データ更新中 【注】更新中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ更新中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ保存中 【注】保存中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ保存中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
データ消去中 【注】消去中は電源を落とさないで下さい。また、メディアを抜かないで下さい。	データ消去中に電源を落としたり、メディアを抜くと、データが破損する恐れがあるため。	しばらく待ち、メッセージが消えてからお使いください。
すでにデータベースが更新されているため、更新することができません	すでにバージョンアップが完了しているデータベースをもう一度バージョンアップしようとしたため。	すでにバージョンアップされているデータベースは、同じバージョンのデータでは更新できません。
データ更新失敗しました	何かしらの原因でデータベースの更新に失敗したため。	再度更新してください。更新できない場合は、販売店に相談してください。
高温のためHDD停止中です※	HDD内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
低温のためHDD停止中です※	HDD内の温度が異常に低いため。	温度が上がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
Bluetoothユニットが接続されていません	別売のBluetoothユニットが本機に接続されていないため。	販売店にご相談ください。
オーディオ機器が接続されていません	Bluetooth機器が本機に接続されていないため。	Bluetooth機器を本機に接続してください。（483 ページ参照）
接続できませんでした オーディオ機器を削除してから再度登録して下さい	登録したBluetooth機器が本機に認証されなかったため。	登録したBluetooth機器を削除して、再度登録してください。（488ページ、482ページ参照）

※ この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

1. 知っておいていただきたいこと

メッセージ	原因	処置
接続できませんでした オーディオ機器のパスキー、設定をご確認下さい	本機と Bluetooth 機器のパスキーが一致しないなどの理由で登録できなかったため。	パスキーを確認のうえ、再度Bluetooth機器を登録してください。(482 ページ参照)
接続できませんでした オーディオ機器の設定をご確認下さい	何らかの理由でBluetooth機器が本機に接続できなかったため。	Bluetooth 機器の設定を確認してください。Bluetooth機器に添付の取扱説明書を参照してください。
オーディオ機器の自動接続ができませんでした	Bluetooth機器が本機に自動接続できなかったため。	手動で接続してください。(483 ページ参照)
HDD内のファイルが一杯なのでファイルを削除してから行って下さい	MUSIC JUKE plus内のトラック数が一杯になりこれ以上、音楽ファイルを転送できないため。	音楽ファイルを削除してから転送してください。(376 ページ参照)
転送先の制限を越えているため 転送できません	MUSIC JUKE plus内の転送先でファイル保存制限を超え、1曲も保存できないため。	転送先にある音楽ファイルを削除してから転送してください。(376 ページ参照)
異常発生により、ファイル転送を終了します ○○○○/○○○○ 転送完了	音楽ファイルの転送作業が何らかの原因で異常終了したため。	再度転送操作を行ってください。(363 ページ参照)
高温のため、ファイル転送を終了します ○○○○/○○○○ 転送完了	HDD 内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
一部ファイルの転送に失敗しました ○○○○/○○○○ 転送完了	一部の音楽ファイルが転送できなかったため。	再度転送操作を行ってください。(363 ページ参照))
接続状態をお確かめ下さい	USBメモリ接続コードが正しく接続されていないため。	販売店にご相談ください。
ファイル転送中は音楽ソースを切り替えることができません	音楽ファイル転送中に、オーディオソースを切り替えようとしたため。	転送が終了するまでお待ちいただく、または **転送中止** にタッチして転送を停止してからオーディオソースを切り替えてください。
対応していないフォーマットのため再生できません	USBメモリに収録されている音楽ファイルが、本機に対応していない規格であるため。	再生可能な音楽データをご確認ください。(367 ページ参照)
異常検知で停止中です※1	何らかの原因で再生が停止したため。	USBメモリを再接続していください。
高温のため、ファイル転送できません	HDD 内の温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。
異常検知でDVD停止中です※2	何らかの原因でDVDプレーヤーが動かないため。	イジェクト操作を行ってください。
温度異常のため DVD停止中です※3	DVDプレーヤーの温度が異常に高いため。	温度が下がるまで、しばらくそのままでお待ちください。

※1 再接続しても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※2 イジェクト操作をしても動作しないときは、販売店にご相談ください。

※3 この状態のときは、しばらくお待ちください。デッキ内部の温度が常温に復帰しますと、表示が消えて再生を再開します。長時間経過しても表示が消えないときは販売店にご相談ください。

メッセージ	原因	処置
このDVDは演奏できません	対応していないDVDを入れているため。	対応しているDVDを入れてください。(319 ページ参照)、(452 ページ参照)
このDVDはリージョンが違うので再生できません	対応していないリージョンコードのDVDを入れているため。	対応しているリージョンコードのDVDを入れてください。(452 ページ参照)
受け付けないコードです	DVDに対応していない言語コードを入力したため。	DVDに対応している言語コードを確認してください。
コード番号が正しくありません	暗証番号が正しく入力されなかったため。	正しい暗証番号を入力してください。
視聴制限がかかっており再生できません	視聴制限がかかっているため。	視聴制限の設定を変更して再生してください。
ICカードが正常に動作しません でした販売店へお問い合わせ下さい	IC（B-CAS）カードが正しく差し込まれていない、もしくは故障しているため。	お買い上げの販売店にお問い合わせください。
放送を受信できません	IC(B-CAS)カードのセキュリティエラーのため。	IC(B-CAS)カードの動作確認をしてください。(448 ページ参照)
	地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）の受信エリア外にいるため。	地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）を受信できるエリアに移動するか、受信可能なチャンネルに切り替えてください。

■ハンズフリー関係

メッセージ	原因	処置
携帯電話が接続されていません	携帯電話がBluetooth接続されていない。	使用する携帯電話を接続してください。(501 ページ参照)
携帯電話をご確認ください	携帯電話に異常がある。(携帯電話の充電不足、携帯電話の故障)携帯電話にロックがかかっている。	次の点を確認してください。携帯電話の充電は十分であるか。携帯電話のロックが解除されているか。
通話エリア外です 通話エリアに移動してご利用下さい	サービスエリア圏外にいる。	場所を変えて、数回試してみてください。

1. 知っておいていただきたいこと

故障とお考えになる前に

ちょっとした操作のちがいで故障と間違えることがありますので、以下の表にもとづき、まず、確認してください。

処置をしても直らないときは、販売店で点検をお受けください。

■共通操作関係

症　状	考えられること	処　置
エンジンスイッチをONの位置にしたあと、しばらく画面にムラがある。	寒冷時、液晶パネルのバックライトの特性上、光ムラが発生することがあります。	バックライトが温まれば、数分後には解消されます。
日中なのに画面が暗い。	夜画面になっていませんか？	昼画面に切り替えてください。（67 ページ参照）
画面が見にくい。	画面のコントラスト、明るさ調整は適正ですか？	コントラスト、明るさを調整してください。（67 ページ参照）
画面が乱れる、ノイズが入る。	電気的なノイズを発生する電装品を本機のそばで使用していませんか？ 高電圧を発生させて作動するもの （例）マイナスイオン発生器 高電波を発生するもの （例）携帯電話、無線機	本機からできるだけ遠ざけてご使用ください。遠ざけても影響が出る場合は、ご使用をお控えください。
低温時に電源をONにした場合、しばらく画面が暗い。	液晶の特性によるものです。	故障ではありませんので、しばらくそのままでお待ちください。
ディスプレイに光る点がある。	液晶パネルは99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
壁紙が表示されない。	取り込む画像のファイル形式は適切ですか？	壁紙に使用できるファイル形式を確認してください。（57 ページ参照）
「データ確認中です」というメッセージが消えない。	ディスクへの書き込み形式は適切ですか？	壁紙に使用できるファイル形式を確認してください。（57 ページ参照）

症　状	考えられること	処　置
バッテリーターミナルをはずした後、エンジンスイッチをONにしたら操作ができなくなった。	ESNにより、本機がロックされた。	お客様相談窓口に連絡してください。

■ナビゲーション関係

症　状	考えられること	処　置
走行しても地図が動かない。	現在地画面以外になっていませんか？	現在地画面を表示させてください。（94 ページ参照）
自車マーク ▲ が表示されない。	現在地画面以外になっていませんか？	現在地画面を表示させてください。（94 ページ参照）
GPSマークが表示されない。	GPS情報を利用できない状態ではありませんか？	GPSマークは3個以上のGPS衛星から電波を受信すると表示されます。 SYSTEM CHECK画面でGPS受信感度をご確認ください。（270 ページ参照） 場所を移動してもGPS受信感度が点灯しない状態が続く場合は、お買上の販売店にご相談ください。
案内音声が出力されない。	案内中止になっていませんか？	目的地案内を中止したときは、目的地案内を再開させてください。（185 ページ参照）
	案内の音量が小さく（音声OFFに）なっていませんか？	音量を大きくしてください。（91 ページ参照）
音声案内がGマークの手前で終了する。	目的地周辺のルートが細街路（水色）ではありませんか？	音声案内は濃い青色のルートの最終地点手前100mで終了します。（164 ページ参照） 故障ではありませんので、そのままご使用ください。

1. 知っておいていただきたいこと

症　状	考えられること	処　置
モニターの画面中に小さな斑点や輝点がある。	液晶パネル特有の現象です。液晶パネルは非常に精密度の高い技術でつくられており、99.99%以上の有効画素がありますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものが生じることがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
実際の現在地と異なる場所に自車マークが表示されている。（自車マークがずれている。）	GPS衛星の状態、車両の状態（走行場所や運転条件）などにより、自車マークがずれることがあります。また、新設道路など、地図データが実際の道路形状と異なる道路を走行すると、自車マークがずれることがあります。	しばらく走行すると、マップマッチングやGPS情報が利用されて、現在地が自動的に修正されます。（場合によっては、数分程度かかることがあります。）GPS情報が利用されず、現在地が自動的に修正されないときは、安全な場所にいったん停車して、現在地の修正を行ってください。（304 ページ参照）
距離補正画面で **自動補正** がトーンダウンしている。	ナビゲーションを取り付けた直後ではありませんか？	取り付け直後（別のお車からの載せ換え含む）はGPS受信と車速信号により自動で距離の補正をしており、**自動補正** にタッチすることができません。GPSの受信状態が良好な道路をしばらく走行してください。走行して改善されない場合は、お買上の販売店にご相談ください。
目的地設定画面・ナビメニュー画面の一部がトーンダウンしている。 50音・住所などがトーンダウンしている。 メモリ地点などトーンダウンしている。	走行中ではありませんか？	車を停車し、パーキングブレーキをかけた状態で操作してください。
リストの中に目的の市町村名がない。	リストを50音ごとにとばして動かしていませんか？	1項目ずつ動かしてください。（86 ページ参照）
目的地案内中に自動で2画面表示になる。（右側は25mまたは50mスケール）	細街路を走行していませんか？	故障ではありませんので、そのままご使用ください。（193 ページ参照） **案内図替** にタッチすると、1画面表示になります。（別の細街路に入った場合は再度2画面表示に切り替わります。）2画面表示にしない場合は、細街路での自動2画面表示を **しない** に設定してください。（194 ページ参照）

症　状	考えられること	処　置
高速道路上で案内が終了してしまう。	目的地が高速道路上に設定されていませんか？	目的地が高速道路周辺の場合、目的地を設定するときに道路の種類を選択します。（160 ページ参照）目的地が別の道路上の場合は、目的地設定をやり直してください。 故障ではありませんのでそのままご使用ください。
地図上にVICS情報が表示されない。	スクロールさせても情報がない場合、情報をまだ受信していない。	受信状態が悪い場合、情報を受信するまで数分かかることがあります。
	VICS放送を行っている放送局を受信していますか？	FM多重選局でVICS放送を行っている局に選局してください。
	VICS表示がOFFになっていませんか？	VICS表示をONにしてください。
	表示情報の設定が全てOFFになっていませんか？	表示情報の設定をONにしてください。
	VICSサービスエリアを外れていませんか？	VICSの提供エリアは、**「VICSの問い合わせ先」**（252ページ）を参照してください。
	地図データ情報が古い。 VICSエリアは毎年拡大され、そのエリアは地図データにより更新されます。	最新版の地図データにバージョンアップしてください。（バージョンアップは有償です。）
	スクロールさせたら表示する場合は、そのエリアには情報がない。	情報を受信次第表示されます。
	VICS放送が行われていない時間帯であるとき。	情報を受信次第表示されます。
VICS情報の表示が乱れる。	電波や光の情報がうまく受信されない。	情報を受信次第表示が更新されます。
VICS の時間が時刻と違う。	時計ではなく、表示中のVICS情報の提供時刻を示しています。VICS情報を長時間受信していない場合、古い時間が表示されます。	情報を受信次第更新されます。
ハートフル音声で今日の日付の案内をしない。	エンジンスイッチをACC、またはONにして、すぐに目的地設定などの操作をしていませんか？	しばらくの間、エンジンスイッチをACC、またはONの状態にしていると音声を発声します。
	ナビゲーション起動時に、現在地画面以外の画面が表示されていませんか？	現在地画面を表示させてください。（94 ページ参照）

1. 知っておいていただきたいこと

症　状	考えられること	処　置
自宅に到着してもハートフル音声が「お疲れ様でした。」と発声しない。	各種設定の「ハートフル音声」が **しない** になっていませんか？	各種設定の「ハートフル音声」の **する** にタッチしてください。
	自宅をメモリ地点に登録していますか？	メモリ地点に自宅を登録してください。（224 ページ参照）
	自宅を目的地に設定していますか？	自宅を目的地に設定してください。（159 ページ参照）
	自宅周辺では案内されないことがあります。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
各種設定画面で「車両情報設定」の **変更する** がトーンダウンしている。	目的地が設定されていませんか？	目的地を消去してください。（176 ページ参照）

■ オーディオ・ビジュアル関係

症　状	考えられること	処置
音が出ない。	音量が0になっていませんか？	VOLスイッチを押して確認してください。
	MUTE（消音）になっていませんか？	MUTE を押して確認してください。（328 ページ参照）
片側（左右もしくは前後）のスピーカーだけ音が出る。	スピーカーコードが正しく接続されていますか？	スピーカーコードの接続を確認してください。
	音量バランスは適切ですか？	左右（前後）音量調整をして確認してください。
音質調整をしても音質が変化しない。	お聞きの放送、ディスクが調整した音質に対応していますか？	放送、ディスクを変更して確認してください。
CD・DVDが入らない。	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	すでに差込口に1枚入っていませんか？	すでに入っているCD・DVDをイジェクトしてから、お好みのCD・DVDを入れてください。

症　状	考えられること	処置
CD・DVDの再生ができない。	本機が結露していませんか？	しばらく待ってから使用してください。（319 ページ参照）
	CD・DVDに大きなキズやソリがありませんか？	他のCD・DVDを入れてください。
	CD・DVDがひどく汚れていませんか？	クリーニングしてください。（319 ページ参照）
	CD・DVDが裏返しになっていませんか？	CD・DVDを正しい向きで差し込んでください。
	本機に対応していないCD・DVDが差し込まれていませんか？	対応しているCD・DVDを差し込んでください。（319 ページ参照）、（452 ページ参照）
	自動再生されないDVDが差し込まれていませんか？	DVDディスクに収録されているメニューを操作してください。（459 ページ参照）
DVD再生時、リヤスピーカーから台詞が出力されない。	5.1ｃｈ対応のDVDソフトを再生していませんか？ 5.1ｃｈ対応のDVDソフトの主音声（台詞）はフロントスピーカーから出力されます。	故障ではありませんので、そのままご使用ください。
DVD再生時、字幕/音声の切り替えができない。	ディスクメニューからの切り替え操作が必要なDVDではありませんか？	字幕 、音声 での切り替えではなく、ディスクメニューからの切り替えが必要な場合があります。ディスクメニュー操作から切り替えてください。（459 ページ参照）
FM de TITLEが受信できない。	お車がFM de TITLEを受信できない地域にありませんか？	受信できる地域（放送局）をご確認ください。（556 ページ参照）
CDを再生しても自動で録音されない。	録音モードが「SELECT」になっていませんか？	録音モードの設定を確認してください。（396 ページ参照） 「SELECT」に設定されている場合は、AV を1秒以上押し、録音したいトラックを選択すると録音が開始されます。
CDを録音できない。	録音できないCDを再生していませんか？	MP3/WMAはMUSIC JUKEへの録音が出来ません。
音声は出るが、映像が出ない。	画面消しボタンを押して画面を消していませんか？	MAP を押してください。（67 ページ参照）
音声は出るが、ＤＴＶやワンセグ映像が出ない。（停車中）	パーキングブレーキが解除されていませんか？	パーキングブレーキを引いてください。
映像も音も出ない。	電源が入っていますか？	車のエンジンスイッチを「ACC」または「ON」の位置にしてください。
	接続コードが正しく接続されていますか？	各接続コードの接続を確認してください。

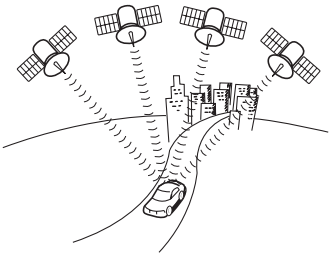
1. 知っておいていただきたいこと

症　状	考えられること	処置
ポータブルオーディオの再生音がスピーカーから出力されない。	ポータブルオーディオの電源が入っていますか？	ポータブルオーディオの電源を入れてください。
	ポータブルオーディオが再生されていますか？	ポータブルオーディオを再生してください。
地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）の映像、音が出ない。	B-CASカードが正しく差し込まれていますか？	B-CASカードを正しく差し込んでください。（427 ページ参照）
地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）の映像が止まって音が出ない。	地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）の受信状態は良好ですか？	サービスエリア内でも環境により受信できない場合がありますので、受信できる場所に移動してください。
	B-CASカードが正しく差し込まれていますか？	B-CASカードを正しく差し込んでください。（427 ページ参照）
地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）が受信できない。	お車が地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）を受信できない地域にありませんか？	地上デジタルTV放送（ワンセグ放送）を受信できる地域に移動してください。

2. 用語説明

より楽しく有効に利用していただくために、次に出てくる用語の説明をご一読ください。

● GPS(Global Positioning System)



GPSは、高度約21000kmの軌道上を周回する通常4個以上、場合により3個のGPS衛星から地上に放射される電波を受信して、現在の位置（緯度、経度、高度）を知ることができるシステムです。

この衛星は、主として軍事利用のために米国国防総省によって打ち上げられ管理されていますが、民間の使用も解放されています。本機では、GPSの情報や各種センサー、道路地図データなどを利用してナビゲーションを行っています。

● 自立航法

車速センサー、振動ジャイロセンサーからのデータによって自車走行軌跡を求め、現在地を表示する技術です。トンネルや高架下道路などでも自車の現在地を表示できます。

● 広域地図、詳細地図

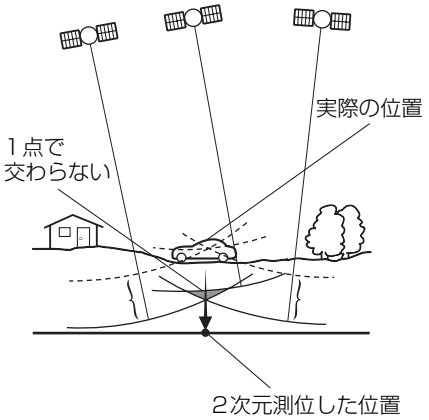
広域地図とは範囲の大きな地図で、詳細地図とは範囲の小さな地図のことです。地図の縮尺は1／2048万、1／1024万、1／512万、1／256万、1／128万、1／64万、1／32万、1／16万、1／8万、1／4万、1／2万、1／1万、1／5000、1／2500です。

● 測位



3個以上のGPS衛星からの電波を受信して、自車の現在地を測定することです。本機では3個以上のGPS衛星の電波を受信して測位可能な場合に、現在地画面上の左上隅に「GPS」を表示します。（メニュー画面、設定や登録の画面では、「GPS」は表示しません。）

● 2次元測位と3次元測位



GPSは3点測量の原理にしたがって位置を計算しています。

1個の衛星から電波を受信するとその衛星との距離がわかり、3個の衛星から受信すると現在地が測位できます。

しかし、実際にはGPS衛星およびナビユニットに誤差があるので、3個のGPS衛星からの電波しか受信できないときには、緯度と経度の2次元で測位しています。この場合は精度が低くなります。

また、4個以上のGPS衛星からの電波を受信したときは、緯度、経度、高度の3次元で測位しています。3次元測位は2次元測位より精度が上がり、自車位置の表示の誤差も少なくなります。

2. 用語説明

● 振動ジャイロセンサー

走行中に右や左にどれだけ曲がったかを電気的に検出する振動ジャイロセンサーと路面の傾斜を検出する傾斜計（Gセンサー）で現在地を割り出しています。

本機の自立航法では、このセンサーが非常に重要な役割を果たしています。

● スーパーオーディオCD（SACD）

原音のアナログ波形に極めて近い形で音をデジタル記録するDSD（Direct Stream Digital）方式を採用した高音質オーディオディスクの規格です。

スーパーオーディオCDには以下の種類があります。

- シングルレイヤーディスク

  HD層※が1層のみのディスク
- デュアルレイヤーディスク

  HD層※が2層のみのディスク
- ハイブリッドレイヤーディスク

  HD層※とCD層※が合わさった2層のディスク

※ HD層：スーパーオーディオCDの高密度信号層
CD層：既存のCDプレーヤーで読み取り可能な層

● CD-EXTRA

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にマルチセッションで書き込んだものです。この場合、第1セッションには音楽データトラックを記録し、第2セッション以降にPCデータトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第2セッション以降のPCデータトラックを再生することがなくなります。

● Mixed Mode CD

音楽用の音楽データトラックとパソコン用のPCデータトラックを1枚のメディアの中にシングルセッションで書き込んだものです。この場合、第1トラックにはPCデータトラックを記録し、第2トラック以降に音楽データトラックを記録するため、音楽CDプレーヤーは第1トラックのPCデータを再生してしまい、大きなノイズが出力されてしまいます。これは音楽CDプレーヤーがマルチセッションに対応しているため、マルチセッションのCDを再生すると第1セッションしか認識せず、これが再生されてしまうためです。

● MP3

MP3はMPEGAudioLayerⅢの略で、MPEG Audio Layer3は音声圧縮技術に関する標準フォーマットです。MP3は人間の聞きとれない音声、不可聴帯域を圧縮するので、元のファイルを約1/10のサイズにすることができます。

● ID3タグ

MP3ファイルには、ID3タグと呼ばれる付属文字情報を入力する領域が確保されていて、曲のタイトル、アーティスト名などを保存できます。ID3タグに対応したプレイヤーでID3タグ情報の表示・編集が可能です。

● エンコーダ

WAVEファイルからMP3ファイルへ変換（圧縮）するためのソフトウェアのことです。

● SCMS
(シリアルコピーマネジメントシステム)

デジタル録音は、音質の劣化がとても少ないという特徴があり、著作権保護の観点から、デジタル信号でコピーした音源をさらにデジタル信号で録音（コピー）することはデジタル録音機器によって規制されています。これがSCMS（シリアルコピーマネージメントシステム）です。

● Gracenote音楽認識サービス

音楽認識技術と関連情報はGracenote®社によって提供されています。

Gracenoteは、音楽認識技術と関連情報配信の業界標準です。詳細は、Gracenote®社のホームページwww.gracenote.comをご覧下さい。

● コピーコントロールCD
レーベルゲートCD

パソコンなどで音楽データを読み取り、データ化、保存ができないように処理してあるCDのことです。

コピーコントロールCD、レーベルゲートCDには下記のマークが付与されています。

ご使用になる前に、必ずパッケージなどに同梱されている説明書をお読みください。





● セッション

CD-R、CD-RWでは、書き込みをする度にデータの前後にリードイン、リードアウトという領域が付加されます。このリードイン、データ、リードアウトの固まりを“セッション”と言います。１枚のCD-R/RWに１つのセッションが書き込まれているものを「シングルセッション」、１枚のCD-R/RWに追記によって複数のセッションが書き込まれているものを「マルチセッション」といいます。

● ワンセグ放送

ワンセグ放送とは、１セグメントを使用した携帯端末向けの放送のことです。１セグメントのみ使用するため解像度は低いですが、視聴可能な範囲が広いのが特長です。

● AAC

AAC（アドバンスド・オーディオ・コーディング）とは音声圧縮方式のひとつです。

● データ放送

通常の番組とは他に、さまざまな情報を提供する放送のことです。たとえば、天気予報やニュース、道路の混雑状況を見たり、クイズに参加したりすることができます。

2. 用語説明

● ハイビジョン

高精細度テレビジョン（HDTV：High Definition TV）のことです。地上デジタル放送ではハイビジョン映像と標準映像の2種類の映像を配信することができます。標準映像の縦横比が4：3なのに対して、ハイビジョン映像は16：9と、横長になっています。走査線の数も標準映像が525本なのに対して、ハイビジョン映像は倍以上の1125本となっており、細部まできれいに表現することができます。これにより、画面と融合しているかのような臨場感溢れる映像を楽しむことができます。

本機はハイビジョン放送の受信は可能ですが、表示は標準映像となります。

● マルチビュー放送

1つの番組を複数の映像に分けて放送することです。例えば野球の放送を、ピッチャーの映像、バッターの映像、バックスクリーンからの映像、というように3つのアングルから選んで楽しむことができます。

● Bluetooth

2.4GHz帯域を用いて、Bluetooth搭載機器間で無線通信を行うことができます。本機は、Bluetooth無線技術を搭載した機器との無線通信により、ハンズフリー機能や目的地設定、音楽ファイルの再生機能が使用できます。

3. 地図データについて

地図データについて

このGPSナビゲーションシステムの「地図」は財団法人日本デジタル道路地図協会作成の「全国デジタル道路地図データベース」と株式会社ゼンリンの地理情報に基づいて、アイシン・エィ・ダブリュ株式会社と株式会社トヨタマップマスターが制作したものです。但し、調査時期やその取得方法により現場の状況と異なる場合があるため、使用に際しては実際の道路状況および交通規制にしたがってください。

渋滞考慮探索機能（交通情報推定機能）はアイシン・エィ・ダブリュ株式会社の提供です。

地図データの詳細につきましては、MENU の ナビ の 使用データ をご覧ください。

いかなる形式においても著作権者に無断でこの地図の全部または一部を複製し、利用することを固く禁じます。

●この地図の作成に当たっては、国土交通省国土地理院発行の 5 万分の 1 地形図および 2.5 万分の 1 地形図を使用しました。

●この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て同院発行の 20 万分の 1 地勢図、2 万 5 千分の 1 地形図、1 万分の 1 地形図、数値地図 25000（地図画像）、数値地図 25000（地名・公共施設）及び数値地図 50m メッシュ（標高）を使用しました。（承認番号平 21 業使、第 350-002 号）

●この地図の作成に当たっては、国土情報整備事業の一環として国土交通省国土地理院において作成された、国土数値情報を使用しました。

●この地図の作成に当たっては、財団法人日本デジタル道路地図協会発行の全国デジタル道路地図データベースを使用しました。（測量法第 44 条に基づく成果使用承認　90-060）

●この地図に使用している事故多発区間警告データは、警察庁および国土交通省のデータをもとに作成しました。

●この地図に使用しているボトルネック踏み切りデータは、国土交通省の資料を参考に作成しました。

●スマート IC（ETC 専用）について
スマート IC は ETC 専用のインターチェンジのため、実際の走行の際には ETC を使用できる状態でなければご利用頂けません。また、スマート IC は乗降方向（上り下り）や時間帯、車種が限定される箇所がありますので、必ず現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

●交通規制データの出典について
この地図に使用している交通規制データは、道路交通法および警察庁の指導に基づき全国交通安全活動推進センターが公開している交通規制情報を使用して、（株）トヨタマップマスターが作成したものを使用しています。

●道路交通規制の優先について
このデータが現場の交通規制と違う場合は、現場の交通規制標識・標示等にしたがってください。

●道路交通情報データについて
道路交通情報データは、財団法人日本道路交通情報センターから提供されます。
データ作成には、財団法人道路交通情報通信システムセンター（VICS センター）の技術が用いられています。

●統計交通情報について
統計交通情報データは、JARTIC/VICS および独自で収集した交通情報を基にトヨタメディアサービス株式会社が統計処理をしたデータを使用しています。

©2010 財団法人　日本デジタル道路地図協会
© アイシン・エィ・ダブリュ（株）& ZENRIN CO.,LTD&（株）トヨタマップマスター&（株）昭文社

本製品のデータ格納機能として、株式会社ACCESSのAVE-File(TM)を搭載しています。
Copyright© 2000-2004 ACCESS CO., LTD.

4. VICS情報有料放送サービス契約約款

VICS 情報有料放送サービス契約約款

第１章　総　則

（約款の適用）
第１条　財団法人道路交通情報通信システムセンター（以下「当センター」といいます。）は、放送法（昭和 25 年法律第 132 号）第 52 条の 4 の規定に基づき、この VICS 情報有料放送サービス契約約款（以下「この約款」といいます。）を定め、これにより VICS 情報有料放送サービスを提供します。

（約款の変更）
第 2 条 当センターは、この約款を変更することがあります。この場合には、サービスの提供条件は、変更後の VICS 情報有料放送サービス契約約款によります。

（用語の定義）
第 3 条 この約款においては、次の用語はそれぞれ次の意味で使用します。
(1) VICS サービス
当センターが自動車を利用中の加入者のために、FM 多重放送局から送信する、道路交通情報の有料放送サービス
(2) VICS サービス契約
当センターから VICS サービスの提供を受けるための契約
(3) 加入者
当センターと VICS サービス契約を締結した者
(4) VICS デスクランブラー
FM 多重放送局からのスクランブル化（攪乱）された電波を解読し、放送番組の視聴を可能とするための機器

第２章　サービスの種類等

（VICS サービスの種類）
第４条 VICS サービスには、次の種類があります。
(1) 文字表示型サービス
文字により道路交通情報を表示する形態のサービス
(2) 簡易図形表示型サービス
簡易図形により道路交通情報を表示する形態のサービス
(3) 地図重畳型サービス
車載機のもつデジタル道路地図上に情報を重畳表示する形態のサービス

（VICS サービスの提供時間）
第 5 条 当センターは、原則として一週間に概ね 120 時間以上の VICS サービスを提供します。

第３章　契　約

（契約の単位）
第 6 条 当センターは、VICS デスクランブラー 1 台毎に 1 の VICS サービス契約を締結します。

（サービスの提供区域）
第 7 条 VICS サービスの提供区域は、当センターの電波の受信可能な地域（全都道府県の区域で概ね NHK-FM 放送を受信することができる範囲内）とします。ただし、そのサービス提供区域であっても、電波の状況により VICS サービスを利用することができない場合があります。

（契約の成立等）
第 8 条 VICS サービスは、VICS 対応 FM 受信機（VICS デスクランブラーが組み込まれた FM 受信機）を購入したことにより、契約の申込み及び承諾がなされたものとみなし、以後加入者は、継続的にサービスの提供を受けることができるものとします。

（VICS サービスの種類の変更）
第 9 条 加入者は、VICS サービスの種類に対応した VICS 対応 FM 受信機を購入することにより、第４条に示す VICS サービスの種類の変更を行うことができます。

（契約上の地位の譲渡又は承継）
第 10 条　加入者は、第三者に対し加入者としての権利の譲渡又は地位の承継を行うことができます。

（加入者が行う契約の解除）
第 11 条　当センターは、次の場合には加入者が VICS サービス契約を解除したものとみなします。
（1）加入者が VICS デスクランブラーの使用を将来にわたって停止したとき
（2）加入者の所有する VICS デスクランブラーの使用が不可能となったとき

（当センターが行う契約の解除）
第 12 条
1　当センターは、加入者が第 16 条の規定に反する行為を行った場合には、VICS サービス契約を解除することがあります。また、第 17 条の規定に従って、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、VICS サービス契約は、解除されたものと見なされます。
2　第 11 条又は第 12 条の規定により、VICS サービス契約が解除された場合であっても、当センターは、VICS サービスの視聴料金の払い戻しをいたしません。

第４章　料　金

（料金の支払い義務）
第 13 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの料金として、契約単位ごとに加入時に別表に定める定額料金の支払いを要します。
なお、料金は、加入者が受信機を購入する際に負担していただいております。

第５章　保　守

（当センターの保守管理責任）
第 14 条　当センターは、当センターが提供する VICS サービスの視聴品質を良好に保持するため、適切な保守管理に努めます。ただし、加入者の設備に起因する視聴品質の劣化に関してはこの限りではありません。

（利用の中止）
第 15 条
1　当センターは、放送設備の保守上又は工事上やむを得ないときは、VICS サービスの利用を中止することがあります。
2　当センターは、前項の規定により VICS サービスの利用を中止するときは、あらかじめそのことを加入者にお知らせします。
ただし、緊急やむを得ない場合は、この限りではありません。

第６章　雑　則

（利用に係る加入者の義務）
第 16 条　加入者は、当センターが提供する VICS サービスの放送を再送信又は再配分することはできません。

（免責）
第 17 条
1　当センターは、天災、事変、気象などの視聴障害による放送休止、その他当センターの責めに帰すことのできない事由により VICS サービスの視聴が不可能ないし困難となった場合には一切の責任を負いません。
また、利用者は、道路形状が変更した場合等、合理的な事情がある場合には、VICS サービスが一部表示されない場合があることを了承するものとします。
但し、当センターは、当該変更においても、変更後 3 年間、当該変更に対応していない旧デジタル道路地図上でも、VICS サービスが可能な限度で適切に表示されるように、合理的な努力を傾注するものとします。
2　VICS サービスは、FM 放送の電波に多重して提供されていますので、本放送の伝送方式の変更等が行われた場合には、加入者が当初に購入された受信機による VICS サービスの利用ができなくなります。当センターは、やむを得ない事情があると認める場合には、3 年以上の期間を持って、VICS サービスの「お知らせ」画面等により、加入者に周知のうえ、本放送の伝送方式の変更を行うことがあります。

［別表］　視聴料金　315 円（うち消費税 15 円）
ただし、車載機購入価格に含まれております。

5. Gracenoteメディアデータベースのご利用について

Gracenote® エンド ユーザー使用許諾契約書

本アプリケーション製品または本デバイス製品には、カリフォルニア州エメリービル市の Gracenote, Inc. (以下「Gracenote」) のソフトウェアが含まれています。本アプリケーション製品または本デバイス製品は、Gracenote 社のソフトウェア (以下「Gracenote ソフトウェア」) を使用することにより、ディスクやファイルを識別し、さらに名前、アーティスト、トラック、タイトル情報 (以下「Gracenote データ」) などの音楽関連情報をオンラインサーバーから、或いは製品に実装されたデータベース (以下、総称して「Gracenote サーバー」) から取得し、さらにその他の機能を実行しています。お客様は、本アプリケーション製品または本デバイス製品の本来、意図されたエンドユーザー向けの機能を使用することによってのみ、Gracenote データを使用することができます。

お客様は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーをお客様個人の非営利的目的にのみに使用することに同意するものとします。お客様は、いかなる第 3 者に対しても、Gracenote ソフトウェアや Gracenote データを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここで明示的に許可されていること以外に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、または Gracenote サーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**

お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様は Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーのあらゆる全ての使用を中止することに同意するものとします。Gracenote は、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、および Gracenote サーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenote は、お客様に対して、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務も負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc. が直接的にお客様に対して、本契約上の権利を Gracenote として行使できることに同意するものとします。

Gracenote のサービスは、統計処理を行う目的で、クエリを調査するために固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenote サービスを利用しているお客様を認識、特定しないで、クエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenote のサービスに関する Gracenote プライバシーポリシーを参照してください。

Gracenote ソフトウェアと Gracenote データの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用許諾が行なわれるものとします。Gracenote は、Gracenote サーバーにおける全ての Gracenote データの正確性に関して、明示的または黙示的にかかわらず、一切の表明や保証を致しません。Gracenote は、妥当な理由があると判断した場合、Gracenote サーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーがエラーのない状態であることや、或いは Gracenote ソフトウェアまたは Gracenote サーバーの機能が中断されないことの保証は致しません。Gracenote は、Gracenote が将来提供する可能性のある、新しく拡張、追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でそのサービスを中止できるものとします。

Gracenote は、市販可能性、特定目的に対する適合性、権利、および非侵害性について、黙示的な保証を含み、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenote は、お客様による Gracenote ソフトウェアまたは任意の Gracenote サーバーの使用により得られる結果について保証をしないものとします。いかなる場合においても、Gracenote は結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。

© Gracenote 2010

6. FM de TITLEサービス放送局について

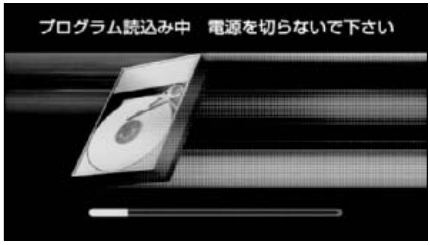
FM de TITLEが受信できる放送局

放送局名	愛称	放送局名	愛称
FM北海道	air-G	FM滋賀	E-Radio
FM青森	AFB	fm osaka	EASY851
FM岩手	FMI	Kiss-FM KOBE	Kiss-FM Kobe
FM秋田	Co-Much FM	FM山陰	V-air
FM山形	BOY-FM	FM岡山	–
FM仙台	Date-FM	広島FM放送	–
ふくしまFM	–	FM山口	FMY
FM栃木	レディオ・ベリー	FM香川	–
FMぐんま	–	FM徳島	Passion Wave
TOKYO FM	TOKYO-FM・TFM	FM高知	Hi-Six
K-MIX	K-MIX	FM愛媛	–
FM AICHI	FMA	FM福岡	BEAT STATION
FM三重	–	FM佐賀	–
岐阜FM	レディオ エイティ	FM長崎	SMILE-FM
FM新潟	–	FM中九州	FMK
FM長野	–	FM大分	Air radio FM88
FMとやま	–	FM宮崎	JOY-FM
FM石川	HelloFive	FM鹿児島	μFM
FM福井	–	FM沖縄	–

7. バッテリーの交換時について

バッテリーを交換したとき（バッテリーの⊕ターミナルを接続）は、エンジンスイッチをACC、またはONにするとプログラムの読み込みが開始されます。プログラム読み込み中（約1分間）は絶対にバッテリーターミナルをはずさないでください。

下記のように画面がかわります。



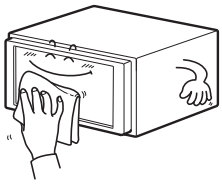




8. お手入れについて

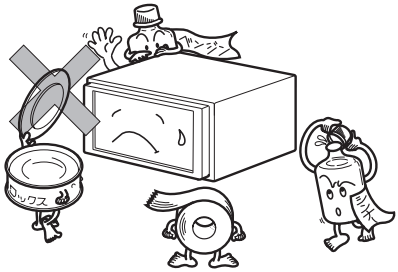
本機のお手入れについて

● 汚れをおとすときは、柔らかい布（シリコンクロスなど）をお使いください。
汚れがひどいとき、水でうすめた台所用洗剤にひたした布をよく絞ってふきとり、乾いた布でしあげる。
化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。



タッチパネルは傷がつきやすいのでご注意ください。

● ベンジンやシンナーなどの揮発性のある薬品は使用しないでください。
変質したり、塗装がはげることがあります。



アンテナのお手入れについて

● 掃除をするときは、タオルや柔らかい布などで軽く押えるようにして拭いてください。爪などでこするとアンテナパターン線がはがれる原因となります。

● アンテナ部からコードを取り外すことはできません。無理に取り外すと動作できなくなり、再使用もできません。

● コードのコネクタ部分に力をかけないでください。

● 一部の車種に採用されている断熱ガラス、熱遮断フィルムには電波を反射させる性質があり、受信感度が極端に低下する場合があります。またお車のフロントガラスにミラータイプ等のフィルムを貼っている場合、受信感度が落ちることがあります。

● 受信状態が良くなる角度に調整してください。

● トランクドアやバックドアを開けたときに、エレメントが車両（ボディ）に当たらないような角度にしてください。

● カーウィンドフィルムの上からフィルムアンテナを貼った場合、フィルムアンテナをはがす際にカーウィンドフィルムを傷めることがありますのでご注意ください。

9. 仕様

<GPSアンテナ>

寸法	26（W）× 16（H）× 6（D）mm（突起部を除く）
重量	約86（g）
電源電圧	4.2V～5.0V
消費電流	10mA（最大）

<ディスプレイ>

液晶パネル	7.0型ワイド低反射パネル
画面寸法	156.0（W）×83.0（H）mm
画素数	280,800画素（400（H）×234（V）×3）
有効画素率	99.99%以上
表示方法	透過型カラーフィルター方式
駆動方式	TFT（薄膜トランジスタ）アクティブマトリクス方式

<ラジオ・チューナー部>

受信周波数	● AM522～1,629kHz ● FM76～90MHz
実用感度	● AM22dBμV (S/N20dB) ● FM14dBf (新IHF)
周波数特性	30～15,000Hz (FM)

<CD部>

ワウ・フラッタ	測定限界以下
高調波歪み率	0.01%（0dB、1kHz）
周波数特性	20～20,000Hz
S／N比	90dB（1kHz）
ダイナミックレンジ	88dB

<DVD部>

高調波歪み率	0.01%（0dB、1kHz）
周波数特性	20～20,000Hz
S／N比	90dB（1kHz）

<DTV部>

受信チャンネル	470MHz～770MHz（UHF帯：13ch～62ch）
インピーダンス	75Ω
アンテナ	4ch（フロント×4）

9. 仕様

<共通部>

高調波歪み率	0.008%（0dB、1kHz）
周波数特性	20～20,000Hz
S／N比	88dB（1kHz）
定格出力	15W×4（1kHz、1%4Ω）（EIAJ）
最大出力	50W×4（試験電圧14.4V）
適合負荷インピーダンス	4Ω（各チャンネル）
電源電圧	DC13.2V（10.5-15.8V） アース専用
動作温度範囲	- 20°C ～ + 65°C
保存温度範囲	- 40°C ～ + 85°C
消費電流	● 0.5W×4出力時　約3.5A ● 最大約15A
外形寸法	横幅180mm・高さ100mm・奥行165mm
質量（重量）	約3.3kg

<HDD（ハードディスクドライブ）部>

容量	40GB
使用温度範囲	- 10°C ～ + 60°C

<バックアイカメラBEC108／BEC109（別売）>

撮像素子		1/4インチ　カラーCCD
CCD画素数		約27万画素
水平解像度		300TV（中心）以上
カメラ	焦点距離	f = 1.3mm
	F値	1：3.0
	画角（水平、垂直）	135°、105°
TV方式		NTSC
標準映像出力レベル		1Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		1.4 lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1：1600以上
電源電圧		5.7V～8.4V
消費電流		最大130mA（DC6V ± 0.3V時）
ケーブル長		12m
使用温度範囲		- 20°C ～ + 60°C
保存温度範囲		- 30°C ～ + 80°C
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約27mm × 22mm × 24mm
質量（重量）		約200g（ケーブル含む）

<バックアイカメラBEC308／BEC309（別売）>

撮像素子		1/4インチ　カラー CMOS
CMOS画素数		約31万画素
水平解像度		300ＴＶ（中心）以上
カメラ	焦点距離	f = 1.3mm
	F値	1：3.0
	画角（水平、垂直）	135°、105°
TV方式		NTSC準拠
標準映像出力レベル		1.0Vp-p（75Ω）
最低被写体照度		1.4 lux（25IRE）
ホワイトバランス方式		自動
自動感度調整範囲		1：1600以上
電源電圧		DC5.7V～8.4V
消費電流		100mA MAX（DC6V ± 0.3V時）
カメラコード長		12.0m
スイッチコード長		2.0m
使用温度範囲		- 20°C ～ + 60°C
保存温度範囲		- 30°C ～ + 80°C
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約27mm × 22mm × 24mm（突出部除く）
質量（重量）		約230g（スイッチ、コード含む）

<フロントアイカメラ（別売）>

撮像素子		1/4インチ　カラー CCD
CCD画素数		約27万画素
カメラ	画角（水平、垂直）	片側26°、42°
TV方式		NTSC
電源電圧		DC6V ± 0.3V
消費電流		190mA（最大）
ケーブル長		5.0m
外形寸法カメラユニット（W × H × D）		約35mm × 28mm × 50mm
質量（重量）		約50g（ケーブル除く）

製品の仕様および外観等の変更により、本書の内容が本機と一致しない場合がありますのでご了承ください。

10.凡例

表示①… リアルワイドマップ画面　　表示②… 通常地図画面

表示①	表示②	内容
(紫色)	(紫色)	高速・都市高・有料道路
	(赤色)	国道
(緑色)	(緑色)	主要地方道
	(橙色)	県道
(灰色)	(灰色)	その他の道路(巾5.5m 以上)
(灰色)	(灰色)	その他の道路(巾3.0m 以上)
		トンネルまたは整備計画区間 (上記各道路で表示あり)
		私鉄
		JR
		水域
		都道府県界
		緑地
		駅舎・敷地
		踏切
		ボトルネック踏切※
		官公庁
		都道府県庁
		市役所・東京23区役所
		町村・東京以外区役所
		警察署
		消防署
		郵便局
		インターチェンジ
		スマートインターチェンジ
		サービスエリア
		パーキングエリア
		信号機
		駐車場
		駅
		道の駅
		フェリーターミナル

表示①	表示②	内容
		港湾
		空港・飛行場
		学校
		幼稚園
		病院・医院
		電力会社・発電所
		電話局
		銀行・信用金庫・農協
		デパートなど
		ホテル・旅館など
		ビル
		工場
		灯台
		神社
		寺院
		教会
		霊園・墓地
		城・城跡
		名所・観光地など
		ゴルフ場
		スキー場
		海水浴場
		アイススケート場
		マリーナ・ヨットハーバー
		陸上競技場・体育館
		キャンプ場
		公園
		温泉
		山
		その他の施設

※列車が頻繁に通過するため、通過するのに時間がかかる踏み切り。

・表示されるマークの位置は実際と異なることがあります。また、複数の施設を代表して1つのマークで表示することがあります。

・VICS情報表示中は、道路の色が異なります。（対象一般道：緑、対象高速道：紫）

11.索引

共通索引

五十音順

ア

オープニング画面
オープニング画面を切り替える 60
お好みの画像データに書き換える 61
携帯電話に保存した画像データを
オープニング画面に設定する 63
使用できる画像データについて 65
お手入れについて 558

カ

壁紙（Pic-CLIP）
壁紙を切り替える 53
お好みの画像データに書き換える 54
携帯電話に保存した画像データを
壁紙に設定する 55
使用できる画像データについて 57
画像データを保存する.....58
画像データを消去する.....60
画面
画質調整画面を表示する.....66
夜画・昼画表示に切り替える 67
画面を消す 67
画質の調整.....67
画質の補正（Vivid View）.....68
カンタンペアリング 299
故障とお考えになる前に
共通操作関係.....542
ナビゲーション関係 543
オーディオ・ビジュアル関係.....546
個人情報の初期化 76
**こんなメッセージが
表示されたときは**
共通操作関係.....532
ナビゲーション関係 533
オーディオ・ビジュアル関係.....537
ハンズフリー関係 541

サ

仕様 559
操作音の設定.....52

タ

ディスク
各ディスク（CD・DVD）の
入れ方.....40
各ディスク（CD・DVD）の
出し方.....43
ディスプレイ
角度調整.....44

ナ

ナビゲーション音声
出力位置を切り替える.....52

ハ

バッテリーの交換時について.....557
本機
各部の名称と操作 37
電源の入れ方・切り方.....39
モードについて 46
作動条件について 47
各モードの呼び出し 48

11. 索引

ヤ

用語説明.....549

ラ

ラジオアンテナの設定 68

アルファベット／数字

B

Bluetoothユニット.....298

E

E-iSERV

- E-iSERV について 49
- E-iSERV へのアクセスについて 49
- 赤外線通信について 50
- Bluetooth 通信について 51

ESN

- ESN 設定画面を表示する.....70
- ESN を作動する 71
- ロックを解除する 72
- 暗証番号を変更する 75
- セキュリティインジケータの表示を設定する.....76
- ESN を解除する 73

U

USB

- 接続する（取りはずす）.....44

V

Vivid View 68

ナビゲーション索引

五十音順

ア

案内道路情報.....168
迂回メモリ地点
登録する.....233
修正する.....234
消去する.....235
音声案内
目的地案内中の音声案内について.....206
自動音声案内を設定する.....208
交差点目印案内を設定する.....208
音量
調節する.....91
高速時の自動音量切り替えを設定する.....91
オンルートスクロール
開始する.....211
施設を設定する.....211
操作する.....211

カ

画面切り替え時の動画表現.....90
カレンダー機能.....278
季節規制区間
回避する.....167
メッセージ表示を設定する.....168
距離の補正.....305
クイックサーチ.....128
区間別探索条件
変更する.....174
県境案内.....123
現在地
表示する.....94
修正する.....304
交差点拡大図.....187
交差点・側道・レーン（車線）案内
分岐しない交差点.....187
分岐する交差点.....187
交差点拡大図の自動表示を設定する.....188
交差点拡大図を解除する.....188
3D イラスト拡大図.....189
立体交差点拡大図.....189
難交差点拡大図.....189
リアル交差点拡大図.....189
3D 交差点拡大図.....190
側道案内拡大図.....191
側道案内拡大図を解除する.....191
レーン（車線）リスト図表示.....192
レーンリスト図を解除する.....193
高速分岐案内
自動表示を設定する.....203
解除する.....204
高速路線マップ
縮尺を切り替える.....110
自動表示を設定する.....111
解除する.....111
高速路線マップに切り替える.....112
交通事故多発区間警告.....121
交通状況学習機能
交通状況学習機能について.....256
学習結果の表示.....256
学習結果の消去.....256
交通データ情報
設定する.....254
表示する.....254

11. 索引

サ

細街路
細街路案内について 193
自動 2 画面表示を設定する 194
シーズンレジャーランドマーク表示 119
市街図の表示
切り替える 101
縮尺を切り替える 102
解除する 102
施設の内容を表示する 102
施設の表示
走行中に簡易操作で表示する 124
施設ランドマークを消去する 125
複数ジャンルを表示する 125
周辺の施設を検索する 126
ルートを考慮したリストを表示する 127
施設の情報を表示する 128
シティドライブモード画面
操作する 109
解除する 109
自動再探索 216
車速情報 311
車両情報
設定する 197
ジャンクションレーンアシスト 203
渋滞考慮機能
渋滞考慮について 253
渋滞考慮ルート探索 163
周辺施設走行中呼び出しジャンル 128
乗降インターチェンジ（IC）
指定する 178
指定を解除する 179
情報付施設 271
情報メニュー画面 258
ショートカットスイッチ表示
設定・表示する 97
解除する 97
スポットインフォメーション
検索・表示・編集 271
ソフトウェアキーボードの使い方 273
精度と誤差 312
赤外線通信ケータイリンク 150
全ルート図の再表示 210
全ルート図表示
ルートの表示 164
細街路の表示 165
見方 166
走行軌跡
表示する 103
解除する 103
操作説明音声 92

タ

ターンリスト図案内
見方 201
自動表示を設定する 201
解除する 202
タッチスイッチの表示
切り替える 96
設定する 96
他モードでの案内 209
地図データ
表示する 310
地図データについて 553
地図の移動
移動する 95
地名表示を設定する 95
地図の縮尺
切り替える 99
目的地までの縮尺に切り替える 100
縮尺切替メッセージ表示を設定する 100

地図の操作
位置を変更する 154
施設内容を表示する 154
提携駐車場を検索する 154
住所を検索する 155
地図の表示色 89
地図の向き 104
地図の名称（文字）サイズ
切り替える 89
地図の呼び出し方法
50 音・名称で呼び出す 133
主要施設で呼び出す 141
住所で呼び出す 143
メモリ地点で呼び出す 144
履歴で呼び出す 145
電話番号で呼び出す 145
郵便番号で呼び出す 147
ジャンルで呼び出す 147
マップコードで呼び出す 150
赤外線通信で呼び出す 150
Bluetooth 通信で呼び出す 152
駐車場マップ
自動表示を設定する 112
解除する 113
通過道路
指定する 180
指定を修正する 182
指定を解除する 183
到着予想時刻表示 194
到着予想時刻／残距離表示
切り替える 210
道路形状警告（踏切警告・合流警告・カーブ警告・レーン警告） 122
時計表示 90
都市高速マップ
自動表示を設定する 205
解除する 206

ナ

ナビゲーション画面の見方 80
ナビゲーションの機能概要と初期状態 528
ナビゲーションの設定の記憶
記憶することのできる設定項目 307
記憶する 307
呼び出す 308
名称を変更する 308
消去する 308
ナビメニュー画面 83
ノースアップ表示 104

ハ

バーチャタウンマップ 114
ハートフル音声 92
ハイパーリルート 216
ハイパーレーンアシスト 192
バックアイカメラ
映像を映す 289
ガイド線の設定・調整 289
画面の見方 291
ガイド線表示の解除 291
視点の切り替え 292
ビーコン即時案内 280
ビルディングクイックサーチ 102
フェリー航路の案内 194
フロントアイカメラ
手動で表示する 296
自動で表示する 296
フロントワイド表示
切り替える 105
設定する 105
ヘディングアップ表示 104
ボイスヘルプ 92
補正
現在地を修正する 304
距離を補正する 305

11. 索引

マ

メモリ地点の登録
地点の登録について 220
登録する 222
修正・入力する 223
消去する 231
メンテナンス機能
メンテナンスメニュー画面について 264
時期を設定する 264
案内を設定する 266
案内について 267
設定を更新する 267
設定を消去する 268
販売店を設定する 268
販売店を修正・消去する 269
目的地
追加する 172
並び替える 175
消去する 176
目的地案内
開始する 185
中止・再開する 185
デモンストレーション（デモ） 185
目的地設定
目的地設定・ルート探索について 157
地図スクロールから設定する 158
登録地点から設定する 159
地図の呼び出し方法から設定する 160
目的地の予約
設定する 218
案内 219
消去する 219
目的地履歴の消去 184

ラ

ラストゴールメモリーの消去 184
リアルワイドマップ
表示を設定する 118
行政区域塗り分け表示を設定する 119
リスト画面の切り替え方 86
料金案内 196
料金所レーン案内
自動表示を設定する 199
解除する 199
ルート学習探索
設定する 162
学習結果を消去する 163
ルート情報 168
ルート探索 161
ルートの再探索
ルートの再探索について 213
再探索する 216
ロケーションサーチ 130

ワ

ワンタッチスクロール 94

アルファベット／数字

B

Bluetoothケータイリンク 152

E

ETCシステム
初めて使うときは 283
ETC について 284
ETC メニュー画面を表示する 285
走行中の表示について 285
履歴を表示する 286
登録情報の表示 287
各項目を設定する 287

F

FM多重放送
表示する 260
放送局を切り替える 260
番組を切り替える 261
独立情報番組のページ送り 261
連動情報番組の文字情報を繰り返し見る 262
文字情報の記録・呼び出し・消去 262

S

SYSTEM CHECK機能 270

V

VICS情報
VICS について 236
VICS メディア概要 237
VICS 情報提供内容と表示 239
放送局を選択する 241
表示を設定する 244
表示道路色を切り替える 244
VICS 情報の表示について 246
VICS 情報を地図表示する 247
VICS 情報を消去する 247
渋滞・規制音声案内 248
VICS 図形情報を表示する 249
VICS 文字情報を表示する 250
VICS 表示マークの種類 251
用語説明 252
問い合わせ先 252

W

Wサイトナビ 106

数字

2画面表示
切り替える 106
右画面を操作する 107
解除する 107
2メディア/3レベル対応VICSユニット
ユニットの構成について 279
割り込み情報を表示する 280
渋滞考慮探索 282
3D表示
切り替える 113
バーチャタウンマップを表示する 114
バーチャタウンマップの視点を調整する 114
見下ろす角度を調整する 115
ビル表示を設定する 115
ビル表示の高さを設定する 116
地図向きを回転する 116
ルート方向アップ表示を設定する 117
解除する 117
3Dランドマーク表示
表示を設定する 120
内容を表示する 121
5ルート探索機能 169
5ルート同時表示 169

11. 索引

オーディオ索引

五十音順

ア

イコライザ
選択する……332
手動で調整する……334
記憶する……334
リセットする……335
エリアスイッチ
ラジオ……345
DTV……435
オートタイトリング機能……381
音
主音量を調整する……328
音質
音質調整画面を表示する……329
SFC を設定する……330
LOUDNESS を設定する……330
音質補正を設定する……331
EQ を調整する……332
POS を調整する……335
サブウーファを設定する……337

カ

機能スイッチ……341
画面
画面スイッチの表示を切り替える……341
機能スイッチを表示する……341
モードを切り替える……341
局名スイッチ……345
緊急警報放送……437

サ

サブウーファ
出力方式を設定する……337
位相を切り替える……338
出力レベルを調整する……338
X-OVER（クロスオーバ）を設定する……339
ジャケット写真
表示を設定する……415
新譜情報
表示する……388
受信メッセージの表示を設定する……390
携帯電話で見る……390
更新する……392
ソース
切り替える……324
操作画面を表示する……325

タ

タイトル情報
受信について……385
保存について……385
表示について……386
受信する……386
CD タイトルを表示する……386
CD 情報インジケータの表示を設定する……388
新譜情報を表示する……388
新譜情報受信メッセージの表示を設定する……390
携帯電話で新譜情報を見る……390
CD タイトルを更新する……391
新譜情報を更新する……392
タッチスイッチを設定する
画面スイッチの表示を切り替える……341
機能スイッチを表示する……341

地上デジタルTV放送
地上デジタル TV 放送について 323, 425
B-CAS カードについて 426
B-CAS カードを差し込む・取り出す 427
初回起動時に設定する 429
見る 430
バンドを切り替える 431
見たいチャンネルを選ぶ 432
見たい番組を選ぶ 433
チャンネルを記憶する 433
エリアスイッチについて 435
音声多重放送を切り替える 435
画面表示・音声の切り替え 436
緊急警報放送を受信したときは 437
終わる 437
EPG（電子番組表）を見る 438
EPG（電子番組表）で見たい番組を探す 438
EPG（電子番組表）で番組の情報を見る 440
データ放送を見る 441
データ放送を操作する 441
初期設定画面に切り替える 445
初期設定をする 445
B-CAS カードの動作確認をする 448

ディスク
使用できるディスクについて 319

データベース
Gracenote メディアデータベースについて 379
メディアクリックデータベースについて 380
オートタイトリング機能について 381
ジャケット写真について 382
情報の表示について 382
更新について 383

データ放送
見る 441
操作する 441

電子番組表
見る 438
番組を探す 438
番組の情報を見る 440

トラック
情報を編集する 419
消去する 422

ハ

ハードディスク
容量を確認する 392

ハーモナイザー 331

早送り・早戻し
CD 346
MP3/WMA 350
USB AUDIO 360
MUSIC JUKE plus 373
MUSIC JUKE 405
DVD 458
iPod 477
Bluetooth AUDIO 484

ビデオ
見る 474
設定画面に切り替える 474
終わる 474

プレイリスト
マイセレクトへプレイリストを作成する 409
名称入力する 412
カナ、英字、数・記号を入力する 413
名称を編集する 413
タイトル情報を再取得する 415
並び替える 416
削除する 417

11. 索引

編集
マイセレクトへプレイリストを作成する 409
プレイリストの名称を入力する 412
ジャケット写真の表示を設定する 415
タイトル情報を再取得する 415
プレイリストを並び替える 416
プレイリストを削除する 417
トラックタイトルを変更する 420
アーティストを変更する 420
ジャンルを変更する 421
トラックを消去する 422
ポータブルオーディオ
接続する（取りはずす） 490
聞く 491
終わる 491
ポジショニングセレクター
ポジションを設定する 335
ボデータイプとツィーターを設定する 336
音量バランスを調整する 337

マ

マルチウインドウ
マルチウインドウ画面の表示 492
ソースを切り替える 492
画面サイズを調整する 492
オーディオ画面の操作 493

ラ

ラウドネス 330
ラジオ
聞く 343
聞きたい放送局を選ぶ 343
放送局を記憶する 343
記憶した放送局を変更する 345
エリアスイッチについて 345
局名スイッチについて 345
止める 345
録音
MUSIC JUKE への録音について 395
録音モードの設定 396
CD を再生しながら自動で録音する 399
CD の中からお好みのトラック（曲）を録音する 399

ワ

ワイドモード 341

アルファベット／数字

A

ALBUM SHUFFLE 480
ALL RAND
USB AUDIO.....362
MUSIC JUKE plus.....375
MUSIC JUKE 407
AUX
ポータブルオーディオを接続する（取りはずす） 490
ポータブルオーディオを聞く 491
ポータブルオーディオを終わる 491

B

B-CASカード
差し込む・取り出す 427
動作確認をする 448
Bluetooth AUDIO
Bluetooth AUDIO について.....481
Bluetooth 機器を登録する.....482
Bluetooth 機器を接続する.....483
聞く 484
早送り・早戻しする 484
聞きたい音楽ファイルを選ぶ.....485
同じ音楽ファイルを繰り返して聞く 485
音楽ファイルの順番をランダムに再生する 485
止める.....485
Bluetooth AUDIOの設定
Bluetooth 機器を切り替える.....486
パスキーを変更する 486
自動接続を設定する 487
詳細情報を表示する 487
Bluetooth 機器の登録を削除する 488

C

CDタイトル
表示する.....386
インジケータ表示を設定する 388
更新する.....391
CDプレーヤー
聞く 346
聞きたい曲を選ぶ 346
早送り・早戻しする 346
聞きたい曲を探す 347
同じ曲を繰り返し聞く.....347
曲の順番をランダムに聞く 347
携帯電話でアルバム情報を見る 347
止める.....348
ディスクについて 319

D

DTV
B-CAS カードについて 426
B-CAS カードを差し込む・取り出す 427
初回起動時に設定する.....429
見る 430
バンドを切り替える 431
見たいチャンネルを選ぶ.....432
見たい番組を選ぶ 433
チャンネルを記憶する.....433
エリアスイッチについて.....435
音声多重放送を切り替える.....435
画面表示・音声の切り替え 436
緊急警報放送を受信したときは 437
終わる.....437
EPG（電子番組表）を見る.....438
EPG（電子番組表）で見たい番組を探す.....438
EPG（電子番組表）で番組の情報を見る 440
データ放送を見る 441

11. 索引

データ放送を操作する.....441
初期設定画面に切り替える.....445
初期設定をする.....445
B-CAS カードの動作確認をする.....448

DVDプレーヤー
DVD の特長.....450
ディスクについて.....452
操作の流れについて.....455
見る.....457
映像を操作する.....458
ディスクメニューを操作する.....459
止める.....460
見たい映像を探す.....460
スイッチの表示を切り替える.....463
画面表示・音声を切り替える.....464

DVDプレーヤーの設定
音声言語を設定する.....468
字幕言語を設定する.....468
メニュー言語を設定する.....469
マルチアングルマークの表示を設定する.....470
視聴制限を設定する.....470
映像出力を切り替える.....471
言語コード一覧.....473

E

EPG
見る.....438
番組を探す.....438
番組の情報を見る.....440

EQ
選択する.....332
手動で調整する.....334
記憶する.....334
リセットする.....335

F

FLIP MOBILE.....347
FOLDER RPT
USB AUDIO.....361
MUSIC JUKE plus.....374

G

Gracenote メディアデータベース
Gracenote メディアデータベースについて.....379
データベース情報の表示.....382
更新する.....383

H

HARMONIZER.....331
HDD
容量を確認する.....392
HOME
MP3/WMA.....351
USB AUDIO.....361
MUSIC JUKE plus.....374

I

iPodプレーヤー
接続する.....476
取りはずす.....476
聞く・映像を見る.....477
早送り・早戻しする.....477
再生したい音楽ファイルを選ぶ.....478

再生したいファイルを
リストから探す 478
再生中のリストを表示する....479
同じファイルを繰り返し再生する 480
ファイルの順番をランダムに
再生する 480
止める....480

L

LOUDNESS....330

M

MCDB
メディアクリックデータベース
(MCDB) について....380
データベース情報の表示....382
更新する....383
MP3/WMA
聞く 350
聞きたいフォルダを選ぶ....350
聞きたい音楽ファイルを選ぶ....350
早送り・早戻しする 350
1 つ上の階層を表示する....351
現在の階層を表示する....351
聞きたい音楽ファイルを探す 351
同じ音楽ファイルを
繰り返して聞く 351
順番をランダムに聞く....351
音楽ファイル情報などを表示する 352
止める....352
MP3/WMA について....353
MUSIC JUKE
概要 377
構成 377
データベースについて....379
データベース情報の表示について 382
データベースを更新する....383
タイトル情報の受信について 385
タイトル情報を受信する....386
タイトル情報を表示する....386
タイトル情報を更新する....391
ハードディスクの容量を確認する 392
操作の流れについて 394
録音について 395
録音モードを設定する....396
録音する....398
聞く 401
表示・再生について 402
再生中のプレイリストの中で聞きたい
トラック（曲）を選ぶ....402
プレイモード・プレイリストから
聞きたいトラック（曲）を選ぶ....402
“AGENT”から選ぶ 404
早送り・早戻しする 405
聞きたいトラック（曲）を探す 405
聞きたいトラック（曲）を
繰り返し聞く 406
トラック（曲）の順番を
ランダムに聞く 406
トラック（曲）情報などを
表示する....407
携帯電話でアルバム情報を見る 407
止める....408
マイセレクトへプレイリストを
作成する....409
プレイリストの名称を入力する....412
プレイリスト名称を編集する....413
タイトル情報を再取得する....415
プレイリストを並び替える....416
プレイリストを削除する....417
トラック情報を編集する....419

11. 索引

トラックを消去する 422
MUSIC JUKE plus
聞く 373
聞きたいフォルダを選ぶ 373
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 373
早送り・早戻しする 373
1 つ上の階層を表示する 374
現在の階層を表示する 374
聞きたい音楽ファイルを繰り返し聞く 374
音楽ファイルの順番をランダムに聞く 375
音楽ファイル情報などを表示する 375
止める 375
音楽ファイルを削除する 376
MUTE 328

P

PHASE CONTROL 338
PLAYLIST RPT 406
PLAYLIST SCAN 406
POS
ポジションを設定する 335
ボデータイプとツィーターを設定する 336
音量バランスを調整する 337

R

RAND
CD 347
MP3/WMA 351
USB AUDIO 361
MUSIC JUKE plus 375
MUSIC JUKE 406
Bluetooth AUDIO 485
RPT
CD 347
MP3/WMA 351
USB AUDIO 361
MUSIC JUKE plus 374
MUSIC JUKE 406
iPod 480
Bluetooth AUDIO 485

S

SCAN
CD 347
MP3/WMA 351
MUSIC JUKE 405
SFC
設定する 330
調整する 330
リセットする 330

T

TRACK SHUFFLE 480

U

USB AUDIO
聞く 360
聞きたいフォルダを選ぶ 360
聞きたい音楽ファイルを選ぶ 360
早送り・早戻しする 360
1 つ上の階層を表示する 360
現在の階層を表示する 361
聞きたい音楽ファイルを繰り返し聞く 361
音楽ファイルの順番をランダムに聞く 361
音楽ファイル情報などを表示する 362
止める 362
音楽ファイルを本機に転送する 363
MP3/WMA について 367

V

VOL
音量を調整する 328
VTR
見る 474
設定画面に切り替える 474
終わる 474

W

WOOFER LEVEL 338
WOOFER OUTPUT 337

数字

2次元バーコード 347

ハンズフリー索引

五十音順

カ

携帯電話

ハンズフリーについて.....496
携帯電話を登録する 499
携帯電話を接続する 501
電話をかける.....504
電話を受ける.....508
通話中に操作する 510
簡易画面について 512
設定・編集.....513

サ

設定・編集

使用する携帯電話を選択する.....513
詳細情報を表示する 513
登録を削除する 514
電話帳を編集する 516
音量を設定する 519
パスキーを変更する 521
自動接続を設定する 521
ACC-ON 時の Bluetooth 接続
確認表示を設定する.....521
自動着信応答を設定する.....522
着信割り込み表示を設定する.....522
電話ロックを設定する.....522
設定を初期化する 525

タ

電話

ハンズフリーについて.....496
携帯電話を登録する 499
携帯電話を接続する 501
電話をかける.....504
電話を受ける.....508
通話中に操作する 510
簡易画面について 512
設定・編集.....513

ハ

ハンズフリー

ハンズフリーについて.....496
携帯電話を登録する 499
携帯電話を接続する 501
電話をかける.....504
電話を受ける.....508
通話中に操作する 510
簡易画面について 512
設定・編集.....513

MEMO

MEMO

製品に対するお問い合せにつきましては、
お買い上げの販売店までご連絡ください。

富士通テン株式会社
〒652-8510　神戸市兵庫区御所通1丁目2番28号
電話　神戸（078）671-5081

この説明書は、再生紙を使用しています。
©富士通テン株式会社　2010

1009 (K)